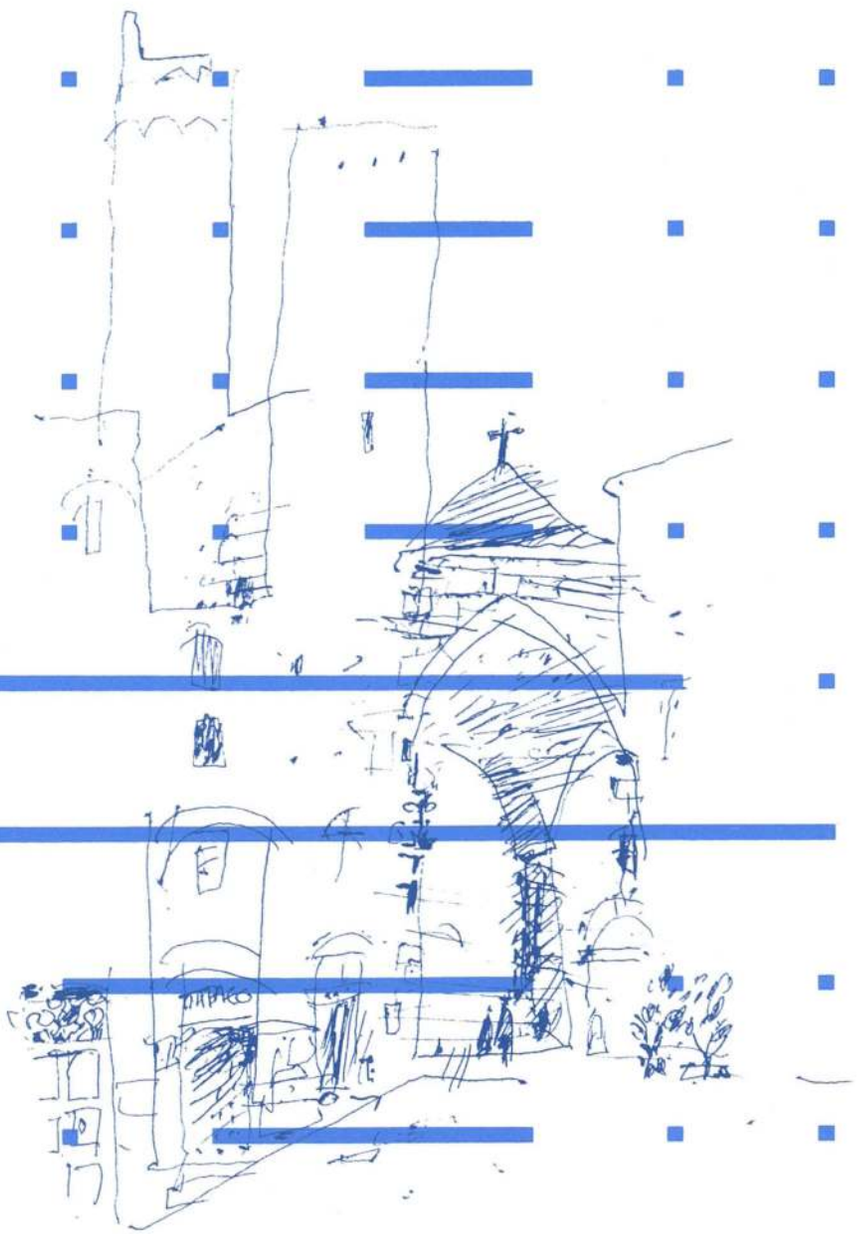
Vol. 66通巻760号

昭和60年7月25日発行　毎月1回25日発行　昭和24年3月19日第3種郵便物認可

# 建　築　と　社　会

## ARCHITECTURE AND SOCIETY 1985 7

特集●大阪国際見本市新会場



日本建築協会




エックスプリオール

# お湯と仲よく暮らしたい—PRIOR

お湯を上手に使って生活する人々をプリオール人といいます。
ガス温水暖房＆給湯システム〝エックスプリオール〟は新しいタイプのセントラルヒーティングシステム。プリオール人になって、毎日わが家で快適漂流しませんか。

**①便利だね、浴室が乾燥室に早変わり**
**——浴室換気乾燥機**

浴室スペースを利用して、雨の日でも夜でも洗たく物をカラッと乾かせます。

**②足もとからのポカポカが一番よ**
**——床暖房**

暖房用温水を利用したふく射熱が、効率よく足もとからお部屋全体をあたためてくれます。家族があつまるリビングなどにピッタリですね。

**③サウナでからだスッキリ、毎日サッパリ**
**——温水サウナ**

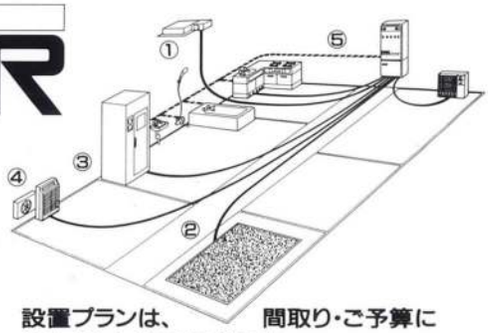
わずかなスペース・維持費で、気軽にわが家でサウナをどうぞ。いま評判の低温の遠赤外線サウナで、ヘルシーライフはいかが。

**④お部屋いっぱい、やさしい風で春気分**
**——冷暖房**

温水ならではのマイルドな温風が、下吹き出しでお部屋いっぱいに…。夏は冷房もOKの頼もしい味方です。またお台所などには、ビルトインタイプの足もと暖房も重宝ですね。

**⑤たっぷり朝からお湯につつまれて**
**——給湯**

お台所はもちろん、お風呂にシャワーに洗面所に…。いつでもお好みの温度が選べるセントラル給湯システムです。




**設置プランは、　　間取り・ご予算にあわせてご自由にどうぞ。**

エックスプリオールは、組み合わせ自由。
また、プランごとにあらかじめ価格を定めたパック価格ですので、設備費用は簡単に計算できます。
たとえば上記プランでは約160万円です。

大阪ガス

資料ご希望の方は……〒541 大阪市東区平野町5-1 大阪ガス営業部〝プリオール〟係まで　資料請求券 K-6



インテックスプラザ(間口40×奥行70×高さ30m)
設計: 大阪市都市整備局 ㈱東畑建築事務所　元請: 大林組・松村組共同企業体　施工: 太陽工業株式会社



## 21世紀のふれあい空間

# 光の広場。

新国際見本市会場「インテックス大阪」が、大阪南港にオープン。そこは人・物・情報の国際交流の場であると同時に、さながら最先端の膜面技術の展示会場でもあります。大型コンピューター設計による柱が1本もない、国際スケールの大空間を実現したTMトラス。透光性にすぐれ、明るい「屋根のある広場」をつくるテフロン&ガラス繊維布の天井など。太陽工業の誇る膜画技術が、21世紀の新しいふれあい空間づくりに成功。今、大きな感動が生まれています。


太陽テント

**太陽工業株式会社**

環境事業部

〒532 大阪市淀川区木川東4－8－4　☎(06) 306-3065
〒153 東京都目黒区東山3－22－1　☎(03) 714-3461
〒452 名古屋市西区玉池町2　☎(052)503-3111

●札幌・仙台・新潟・千葉・北関東・横浜・浜松・水島・西日本・九州・サンフランシスコ・シカゴ
●一級建築士事務所 ●特定建設業者大臣許可(特-59)第381号 ●㈳日本膜構造協会正会員

# 20年保証

## 超耐久性フッ素樹脂塗装鋼板

# RESINO 20-F

（レヂノ 20-F）




（大阪国際見本市会場 施工例）

## 川鉄鋼板株式会社

本社　東京都港区芝公園2-4-1〈秀和芝パークビル〉〒105 03-433-5301〈代表〉

大阪営業所　大阪市北区梅田2-3-24〈西阪神ビル〉〒530 06-341-6031〈代表〉

札幌営業所　仙台営業所　千葉工場　玉島工場　松戸工場

# ナニを隠そう、おしりもきれい。



## 洗うたび、おしりは、いつも元気です。

マイコン ウォシュレット。

マイコン制御で、洗う、乾かす、暖める…と、すべてをコントロール。しかもビデ洗浄付です。○ウォシュレットGIII(TCF421)〔洗浄・ビデ・乾燥・暖房便座〕水道直結タイプ ¥139,000 (取付工事費別途)詳しくはカタログをごらんください。

良いものだけを作りたい

**TOTO**

ウォシュレット

東陶機器㈱大阪支社／〒530 大阪市北区曽根崎2-3-7 梅新第一生命ビル東館 ☎(06)364-1181




(写真はウォシュレットGIII TCF421)

## 新しい環境空間を創造する！

# 膜面構造体

私ども京浜テントは、創業以来四半世紀にわたり膜面構造物を創造してまいりました。
21世紀へ向けて、無柱空間の大型膜構造物が、最も未来志向的建築物と言えるでしょう。
当社の蓄積された、設計・施工の技術と経験を有効に活用し、世のお役に立つよう、より一層努力を続けてまいります。
尚、ここに紹介する膜面構造物は、大阪・南港に60年5月オープンした大阪国際見本市新会場に当社施工の回廊テント4,750㎡(G. L㎡)であります。




### ■大阪国際見本市新会場回廊テント　工事概要

- 建築主　大　阪　市
- 所在地　大阪市住之江区南港1丁目地先
- 設　計　大阪市都市整備局・㈱東畑建築事務所
- 元　請　大林組・松村組共同企業体
- 施　工　㈱京浜テント製作所
- 構　造　鋼管構造(サスペンション工法)
- 膜材料　ガラス繊維(PVCコーティング)
- 面　積　4,750M2(G. LM2)

### ■事業内容

- 大型膜面構造物の設計・施工
- 空気膜構造・テンション構造の設計・施工
- テント倉庫・開閉式テント等の設計・施工
- 自転車置場・バス停等の
  カラーアルミパネルの設計・施工
- 防音間仕切・防音壁・建設防音等の
  システムエンジニアリング

新しい環境空間を創造する

株式会社 京浜テント製作所

本社・工場　〒230　横浜市鶴見区岸谷3-1-29　☎045(581)2631(代)
千葉支店　〒280　千葉市神明町543　☎0472(42)4315(代)
静岡支店　〒420　静岡市東草深22-1　☎0542(45)7966(代)
東京営業所　〒110　東京都台東区台東1-13-6　☎ 03(836)1361(代)
大阪営業所　〒532　大阪市淀川区木川西2-1-1　☎ 06(305)0351(代)
名古屋営業所　〒460　名古屋市中区大井町2-3　☎052(332)2381(代)
北関東営業所　〒373　群馬県太田市東本町27-29　☎0276(25)1041

■一級建築士事務所登録第3273号
■一般建築業者知事許可　第23712号
■社団法人日本膜構造協会会員
■日本帆布製品工業連合会会員

工場／横浜・千葉・静岡

1917創刊
1985
第66集

7
通巻
760

■表紙デザイン
吉引顕久(竹中工務店)
記憶の断片ー夕闇の彼方に
ーサン・ジミニアーノ

■特集予告
8月号／建築と水の演出
8月号／都市と健康・スポーツ
(予定) 神戸研究学園都市の
建築・まちづくり
9月号／接合ー人体と建築にみるー
10月号／これからの住空間
屋根

会　長　佐野正一
副会長　足立　孝・市川　宏
松村雄二・薬袋公明
編集委員会（昭和60年度）

編集委員長
◎井上　滉
編集理事
井上　滉
今井潤之介
金井　弘次
金多　潔
木内　清三
竹中　錬一
武田　恭一
長谷部朔郎
松村　慶三
渡辺　忠
編集委員
(特集小委員会)
■計画分科会
足立　啓
岡田　信幸
奥村　礼子
金澤　成保
杉本　章子
田附　尚
＊田中　直人
中山　徹
藤田　治彦
舟橋　國男
本多　友常
山根　勝利
■構造分科会
日下部　馨
阪本　隆敏
田中　茂樹
西田　理
＊真塚　達夫
俣野　博
山田　裕治
■設備分科会
磯田　憲生
＊遠藤　進
加賀和伊久男
柿内　隆雄
川戸　敏雄
河津　隆之
久須美高朗
中尾　信之
桑　學
■施工材料分科会
荒木　弘之
田中　光紀
西牧　恵吉
前田　松和
＊水口　譲
横井　征夫
■法令分科会
押川　兼宏
＊広江　雅樹
松田　洋三
南出　和延
(投稿機小委員会)
赤井　富弘
伊藤　郁郎
小林　正純
○中馬　博良
永原　守
堀畑　裕一
(作品作風小委員会)
荒川　朱美
浦山　哲
大泉　研二
小椋　豊久
加藤　俊明
菊池　稔
○北村　恭一
黒川　省二
浜崎　彰
松村　孝治
湯地　龍一
(広告企画小委員会)
○伊藤　敬祐
池渕　俊男
大墨　正
木原　幹雄
北村　潤
田上　章
中井　進
原田　常介
平等　一之
広田　和正
藤田　孝吉
山下　修司
⊗吉田　健次
○渡辺　忠

○副委員長　⊗副委員長代行　＊幹事

編集人　松　井　昭　光
印　刷　昭和60年7月20日
発　行　昭和60年7月25日
発行人　吉　田　悦　二
発行所　(社)日本建築協会
大阪市北区梅田1-1-3-2100
電　06－348－0635
振替口座 大阪1-39975
印刷所　日本写植印刷株式会社
電　06－606－1111(代)
大信印刷株式会社
電　06－451－7631
定　価　950円（送料共）

会告
ニュース
作品作風・新建築
Gallryーまち・建築・ひと
スケッチブック
法令コーナー207
読者の頁
新建材紹介コーナー
日本建築総合試験所だより
設計者のプロフィール
見学記
すまいづくり講座
建築の眼
特集
作品作風
本文
構造の頁131
設備の頁130
施工材料の頁129
月報

建築と社会 © ARCHITECTURE AND SOCIETY
# CONTENTS
JOURNAL OF THE ARCHITECTURAL ASSOCIATION OF JAPAN

## 特集●大阪国際見本市新会場
*SPECIAL FEATURES ON INTERNATIONAL EXHIBITION CENTER OSAKA*

大阪国際見本市新会場「インテックス大阪」を見る．都ホテル大阪新築工事見学会．青年技術者のみなさまへ．
工高生デザインコンクール募集規定．通常総会決議報告．会員の受賞．昭和59年度決算報告．
昭和59年度事業報告書……37
西澤文隆さんを祝う会．第10回吉田五十八賞決まる．……52
サンパレスひらかた(大阪府勤労者憩の家王仁山荘)……設計施工：大阪府建築部営繕室　施工：青木建設…6
御堂筋本町ビル……設計監理：安井建築設計事務所　施工：清水建設…8
甘木・朝倉歴史民俗資料館……設計:ユニオン・創元設計共同体　監理:福岡県建築部営繕課　施工:大坪・梶原建設共同企業体…10
象印マホービン東京ビル……設計：日建設計　施工：錢高組…12
堺市立鴨谷体育館……設計:大阪府企業局・大建設計　監理:大阪府企業局　施工:大成建設・今西組建設共同企業体…14
ヴィ・ザ・ヴィ芦屋……設計監理：創美設計　施工：清水建設…16
大阪ガスアイデアル住宅NEXT…企画:大阪ガス　設計監理:安井建築設計事務所　施工:ダイケンホーム・今津建設…23
大阪府立貝塚少年自然の家……18
最近竣工した新建築9点(No.1873～1881)……22
立体自動車車庫の取り扱い……27
投稿特集・最近の「建築と社会」に思う
発行日、早くならないか／山本光博．ヨコ割り特集を提案／千葉桂司．「建築と社会」へ一言／
岡田善弘．「建築と社会」は何をめざす？／杉本昇．ハイテク分野との接点を／小北博一．……28
この人ー下村純一／赤井富弘……29
ドアコンシステム／松本英良……30
昭和59年度業務概要……31
嶋田勝次氏(神戸大学助教授)を訪ねる／松村孝治……33
手摺子の記憶ー大改修を終えた兵庫県公館(旧兵庫県南庁舎)を見て／加藤　力……34
(休載)
タウンハウス／嶋田勝次．まちの緑／生田喜一郎
手を止めて／土肥耕一．ローコスト／狩野忠正……36

### 大阪国際見本市新会場

インテックス大阪ー大阪国際見本市新会場 設計監理:大阪市都市整備局・東畑建築事務所　施工:大林組・松村組共同企業体/鹿島・奥村共同企業体・53
大阪国際見本市新会場の建設……山本　晃…73
建築計画……谷淳之介／松本博俊…75
構造計画……徳田裕英…81
設備計画……西山賢治／吉田信夫／尾山　治…84
施工計画(その1)……村上英賢／南　達成…88
施工計画(その2)……永吉晋一…92

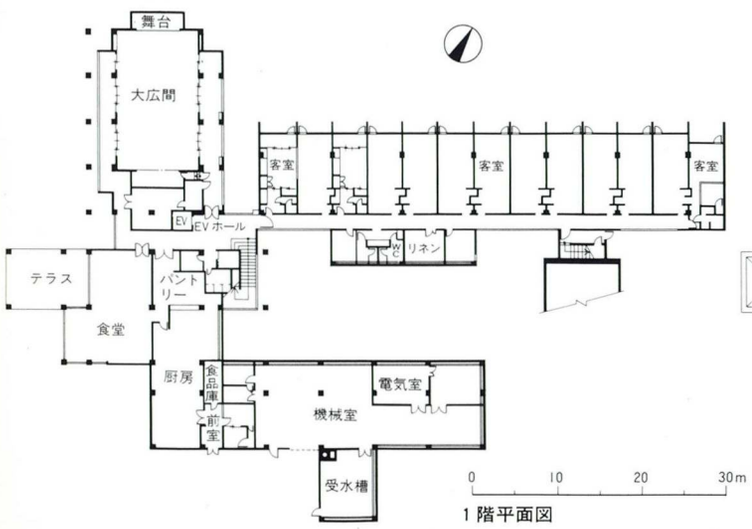
二層系地盤における杭の水平剛性の評価法／観音延平・野村外喜夫……115
大阪国際見本市新会場の給水システムーPC制御インバータ駆動方式／三小田渡……116
浸透型吸水防止材／野々市迪夫……118
日本建築協会月間の動き(昭和60年5月分)……121

# サンパレス ひらかた 大阪府勤労者憩の家 王仁山荘

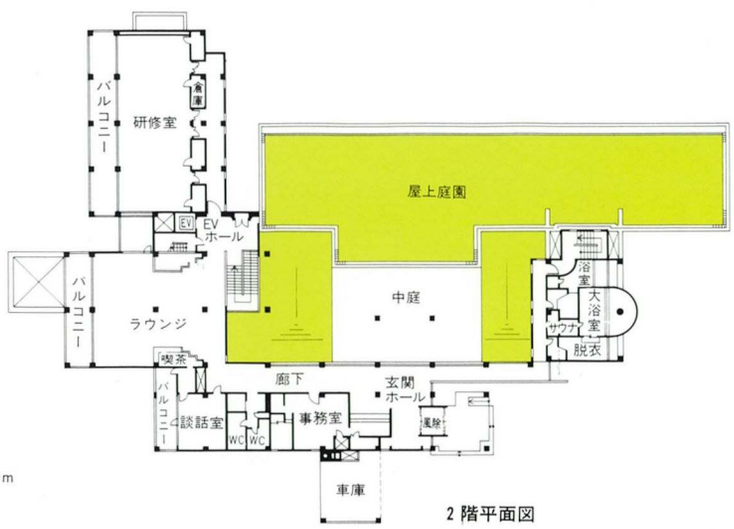
設計監理　大阪府建築部営繕室
施　　工　青木建設
外装タイル　ＩＮＡＸ



中庭東面




1階平面図




2階平面図

所 在 地　枚方市藤阪東町１丁目2277番２
敷地面積　9,296㎡
建築面積　2,151㎡
延床面積　3,072㎡
構造規模　RC、２F（一部１F）、小屋組S
工　　期　昭和58年12月～昭和60年３月
最 寄 駅　国鉄片町線藤阪駅

建築は、環境の影響を受け易いものであり、その存立基盤も環境に負うところが多い。本計画においては、市街化の波が押し寄せつつある敷地において、保養施設という非日常の世界を何如に確保するか。すなわち、環境からの隔離と環境の取り込みをどのように組み合わせるかがポイントとなった。
建物イメージとしては、隣接する王仁公園の緑、近くに点在する歴史的遺産、迫り来る建売住宅等に対して、日本的伝統を受けつぎつつ、シティー感覚のモダンな建物がふさわしいと考えた。
平面計画は、廻遊式庭園のように（中庭が池であり、廊下が園路である）、中庭を中心としたサークル状の動線が、１階、２階を視覚的につなぎながら廻り、歩を進めるうちに、内部空間はもちろんのこと、神経のゆきとどいた外部空間が次々にシーンとして展開することにより、あきさせない豊かな雰囲気作りを行った。
外観においては、日本建築の特徴である、軸組構造を現代の表現として引きつぎ、しっくい壁の白さのイメージにつながるラスタータイルの輝きで壁を覆った。屋根は、日本建築の最も重要な構成要素であり、最もシンプルな形態である切妻の組み合せとした。
（吉羽逸郎／大阪府建築部）


玄関ホールを見る


ラウンジ

撮影　島　修一　他


航空写真


西側外観


南東よりエントランスをみる

外装　壁　：50□ ラスタータイル
　　屋根：カラーベスト




外観西南面

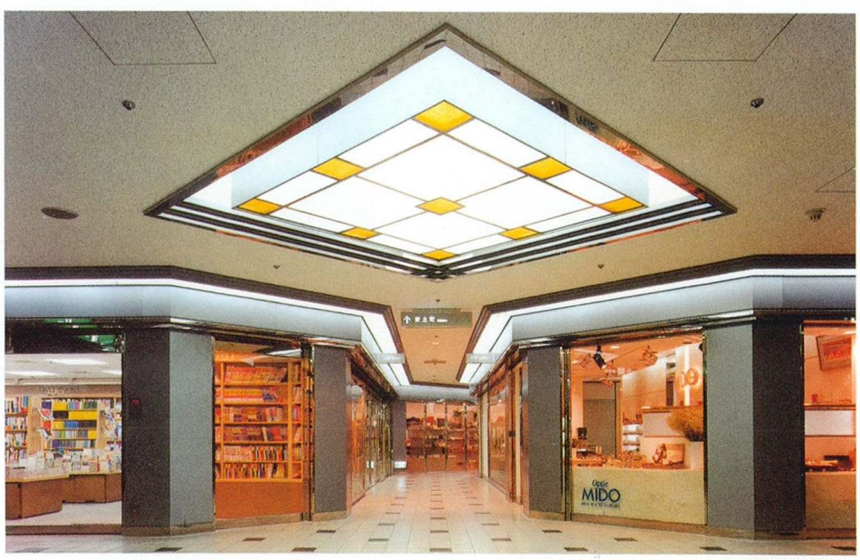
# 御堂筋本町ビル

設計監理　安井建築設計事務所
施　　工　清水建設

所 在 地　大阪市東区本町４－15－１
敷地面積　3,445.01㎡
建築面積　3,209.75㎡
延床面積　36,125.76㎡
構造規模　ＲＣ、ＳＲＣ、Ｓ造　Ｂ３、11Ｆ
工　　期　昭和58年４月～昭和60年４月
最 寄 駅　地下鉄御堂筋線・本町駅



玄関ホール




地階店舗まわり



外観南面ディテール

この４月に完成した御堂筋本町ビルは、清和興業株式会社と日本生命相互会社の２社による共同ビルである。

御堂筋は、大阪の中枢業務地区を南北に貫通する幹線軸であると同時に、イチョウ並木の美しい街路とその両側に連なる整然とした建築群により、わが国における最も優美な都市景観の一つに数えられている。

敷地はこのように、条件の恵まれた御堂筋と本町通りの角地で、大阪市条例の美観地区指定を受けた街区の一画にある。

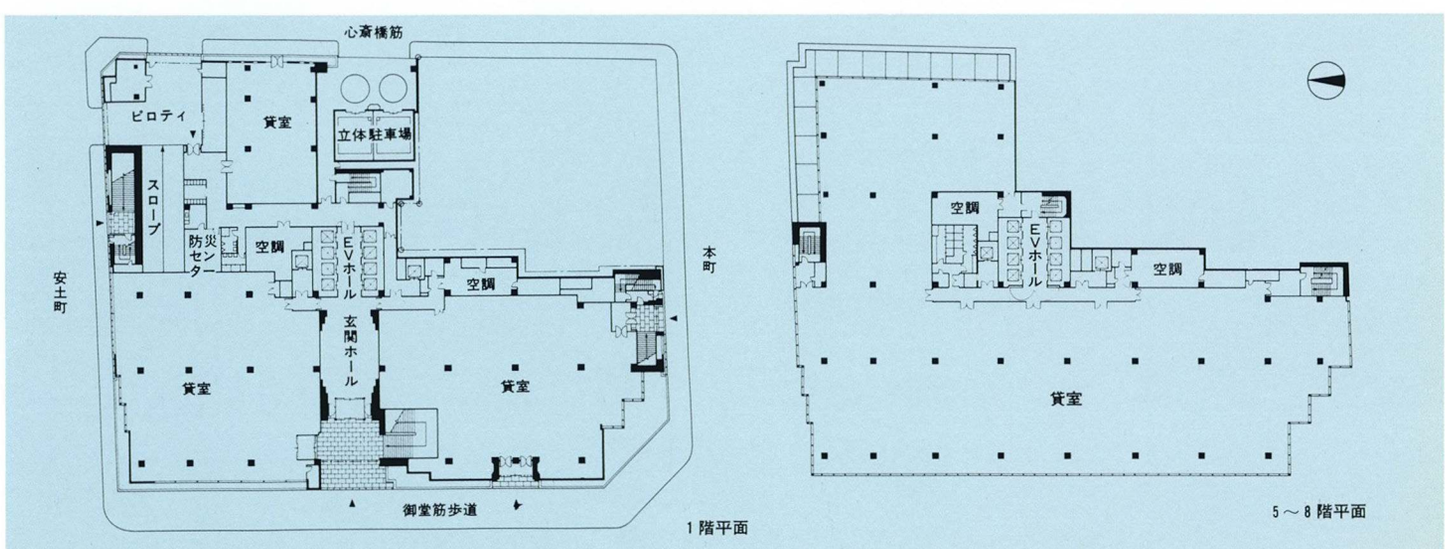
計画のねらいは、この立地条件をふまえて、２社により所有されている１街区の70％を占める２つの土地を、一体の敷地として、効率的で、都市景観の向上に寄与し得る貸ビルを建設することにあった。

建物の形態設計については、市条例美観地区指定の御堂筋斜線（軒高31ｍ以上３：２）が断面規制し、南北両側を本町交差点の隅切り境界線と安土町通り道路境界線がそれぞれ鈍角に平面規制している点に着目して、隅角部と８～11階のパラペットを雁行状に一体化してセットバックさせ、これを外観のデザインモチーフとして高い識別性を与えるとともに、所定の容積率の確保を図った。

外装については、本町交差点を囲む既設の建物との調和と、大型ビルとしての圧迫感を除くことを考慮して、全面ハーフミラー硝子を嵌め込んだ軽快なフッ素樹脂焼付のアルミカーテンウォールとし、反面、１階廻りおよびコーナー壁面の一部は石貼りとして重厚さも加味した。

また建物の１階外周には植え込みをめぐらし、とくに隅角部では雁行状のハーフミラー硝子面に季節・時刻の変化に応じて大空をバックに樹木や歩行者の姿を二重、三重に映し出し、街角のアメニティを一段と高めることも意図した。

（安井建築設計事務所）



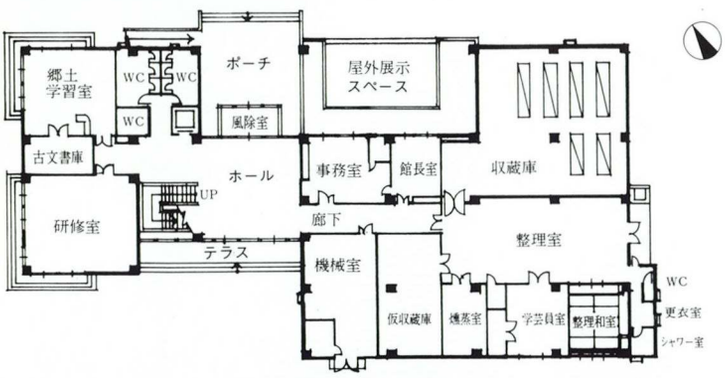
# 甘木・朝倉歴史民俗資料館

設　計　ユニオン・創元設計共同体
監　理　福岡県建築部営繕課
施　工　大坪・梶原建設共同企業体

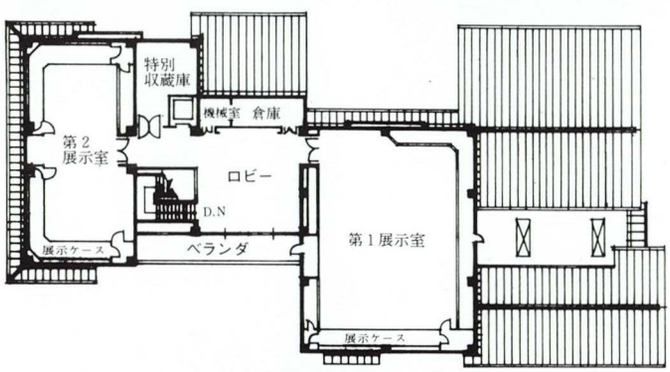
所 在 地　福岡県甘木市大字甘木字娘田216－2
敷地面積　5,031.00㎡
建築面積　937.38㎡
延床面積　1,467.50㎡
構造規模　RC(一部S)、2F
工　　期　昭和59年2月～昭和59年11月
最 寄 駅　国鉄甘木線甘木駅



西側庭園より見る　外装仕上　腰：なまこ壁（いぶし瓦陶板300×300）　壁：合板型枠コンクリート素地の上吹付タイル　軒天：モルタル下地吹付タイル　屋根：和瓦葺（4寸5分勾配）




1階平面図　1：600




2階平面図

撮影　Nスタジオ



正面（北東側）全景



第Ⅰ展示室

甘木・朝倉地方は、旧秋月藩（黒田５万石）に属し、九州最大の筑後川を中心として多くの歴史的、民俗的遺産が残されている。しかし今日の社会や生活様式の急速な変化は、今まで大切に保存され、伝承されてきた貴重な先人の遺物や習慣までも忘れさせようとしている。歴史民俗資料館は、そのような社会の変化に対処して計画されたものである。

それは甘木・朝倉地方に散在する地域の流れを裏づける遺物、文書などの歴史資料、あるいは広く地域の特色（農耕及び三連水車）などを示す民俗資料など、時代の進展とともに忘れさせられようとしている文化財を集め、末永く保存し、広く公開し、そして地域住民がより豊かな生活を享受し実りある将来を勝ち取るための手掛かりとなることを期待したものである。

今回の計画は、甘木市の文化ゾーン、緑の公園、図書館、市民センター等の一角に位置するものである。建物の性格を良く表し、周囲の環境に調和したものとし、文化財保存施設としての十分な安全性を加え、展示施設としてオープン性をいかに確保するかという条件を踏まえ、県民の施設としての空間を意図した。

設計については、それらを加味し日本古来のゆとりと落ちついた民俗風外観を持たせた。１階外部には屋外展示スペースを設置し、内部は管理部門として事務室、整理室、仮収蔵庫を配置し、また地域住民を対象にした郷土学習室及び研修室等の分離を考え配置した。２階には第１展示室、第２展示室、及び特別収蔵庫（重要文化財保存室）を設け、農耕及び遺物等の展示スペースを確保した。

（手島甚一郎・牛嶋正雄・佐々木史郎／ユニオン設計・創元設計）

主な協力業者

| | |
|---|---|
| 電気 | 新栄電業社 |
| 空調 | 喜志磨工業 |
| 給排水衛生(屋内) | 岩橋電機商会 |
| 給排水衛生(屋外) | 中尾設備 |
| 浄化槽 | 西日本ネオ工業 |
| エレベーター | 三精輸送機 |
| 鉄骨 | 鶴田工業 |
| 組積・屋根瓦 | 本田工業 |
| 防水 | 古賀防水工業 |
| タイル・左官・なまこ壁 | 塚本工業 |
| 金属製建具・硝子 | 稲永ガラス店 |
| 軒天・内装 | キタジマ建材 |
| 製作金物 | 掘建築金物店 |
| 造付家具・クロス床 | 中村尚古堂 |
| 塗装 | 古森塗装 |

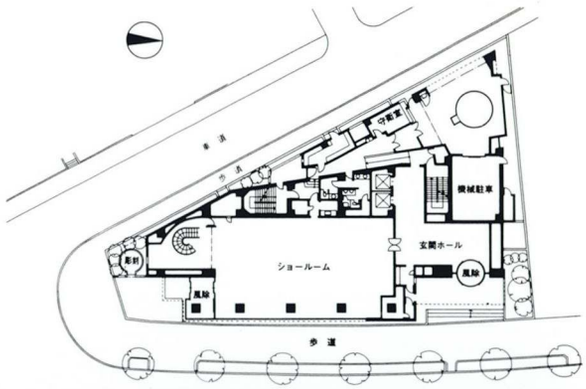


全景（南東側）

# 象印マホービン東京ビル

設　　計　日建設計

施　　工　錢高組




所 在 地　東京都港区南麻布１－24－１
敷地面積　　987.70㎡
建築面積　　779.07㎡
延床面積　5,838.87㎡
構造規模　ＳＲＣ、Ｂ１、９Ｆ
工　　期　昭和58年12月～昭和60年１月
最 寄 駅　国鉄山手線田町駅

外装仕上　屋根：アスファルト防水、豆砂利コンクリート押え
外装：磁器タイル模様付、特殊施釉（ラスター）
サッシ：アルミ押出型材、電解着色
外構床：外国産花崗石Ｊ＆Ｐ

港区南麻布に位置するこの建物周辺は、各国大使館が点在する東京でも屈指の高級住宅地と言える所である。

今回の計画は、昭和47年に入手した敷地に大阪に本社をもつ象印マホービンが、事業の拡張にともない関東方面における販路拡大の拠点として企画された。敷地は東側前面が幅員40ｍの都道谷町志田町線、西側に幅員10ｍの一方通行の区道が交差している三角形の約300坪である。この敷地は商業地域、一部準工業地域で日影の規制を受けるほか駐車場入口の制約もある。計画に当たっては、不整形な敷地の形と、日影による法規の制約を活かして、特徴のある建築形態にまとめ、品の良い顕著性と清潔で豊かな表情をもつ商業建築とした。イチョウ並木にシャリンバイの植込が整備された感じのよい街路に面して、象印本社の玄関を設けている。

この建物は、１階がショールーム、２階は商談コーナー、お客様相談室である。接客部門の２層は吹抜にして回り階段を設け連絡をはかっている。基準階である３階より７階は西側に階段、エレベーター、空調機械室などを配し、日照負荷の軽減を計り、各階ステップの空調方式とした。東側は開放感のある事務室としている。８階は社長室、会議室、ロビーである。

海外との商取引も多く、外人客をはじめ多くの来客に社長自らお茶の接待をされる本格的な茶室も用意されている。

外装はハーフミラーガラス入りのアルミカーテンウォールとアイボリー系ラスタータイル貼りの構成になっている。また敷地先端の象印玄関横は建物の一部を２階までカットし道路の視野を広げると共に玄関への寄り付きを良くしている。足元に置かれている石の彫刻は空充秋作の「自在心」である。また８階社長室、会議室、ロビーのインテリアは象印市川社長の知人で㈱合田インテリアデザイン事務所の合田正甫氏の協力を得た。

（日建設計／大阪）







上・１階円形階段　中・８階ロビー　下・８階会議室

撮影　川島 幸延

# 堺市立鴨谷体育館

設計　大阪府企業局・大建設計
監理　大阪府企業局
施工　大成建設・今西組建設共同企業体



外観全景（西南面）



北東面外観



玄関ホール

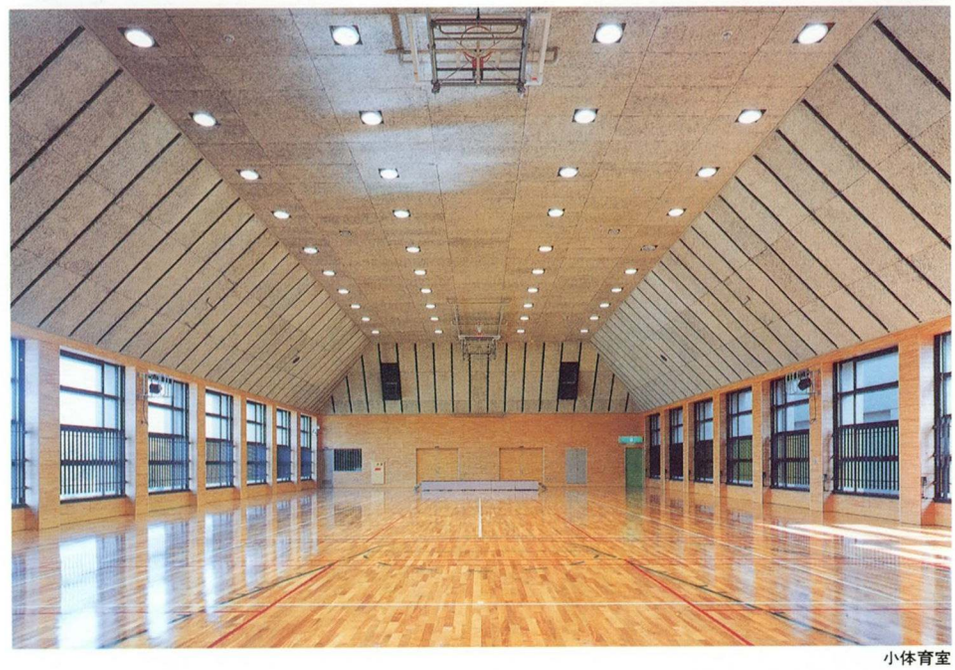
所 在 地　堺市鴨谷台２丁４番１号
敷地面積　6,905.50㎡
建築面積　3,703.66㎡
延床面積　4,724.00㎡
構造規模　ＲＣ造およびＳ造
工　　期　昭和58年12月～昭和60年３月
最 寄 駅　泉北高速鉄道光明池駅


大体育室

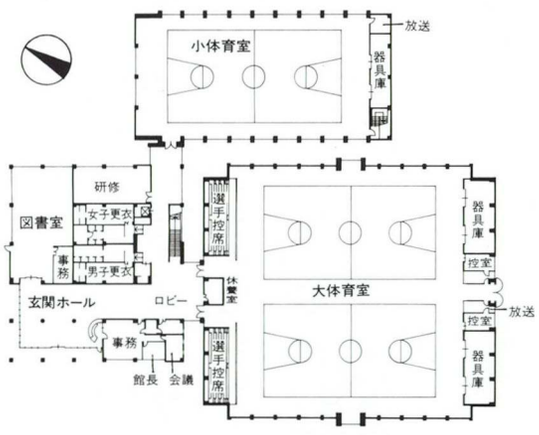
大阪府企業局の手で進められてきた泉北ニュータウン開発事業の一環として、各地区に特色のある施設が建設されてきました。
本建物は、泉ケ丘の図書館、栂の公民館につづく光明池の体育館であります。ニュータウンおよび周辺地域の人々を対象としたもので、多目的で質の高いスポーツ施設をテーマとしています。敷地は、鴨谷公園の一角にあるため、公園や野球場への玄関として計画しています。
施設は、大体育、小体育、管理の３部門より構成され、大体育室は、勾配大屋根で切妻のハイセンスな外観としています。また屋根中央に、ルーフライトを設け、自然採光と換気による快適さと省エネルギーをこころがけました。室内は木を中心とした仕上げで、親しみのある内部空間となっています。
小体育室の階下に、敷地の高低差を利用し、柔剣道場、卓球場、トレーニング・ルームを設けることによって、建物の高さを低くおさえ、周辺との調和をはかっています。
エントランスホール正面の幅15ｍ、高さ３ｍの陶板レリーフは、青少年の躍動を表現しています。
そして、このホールに面し、図書館の分室が併設


レリーフ

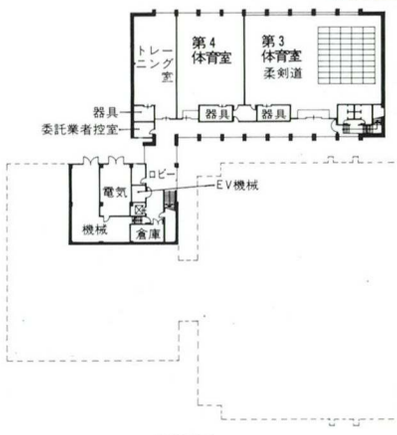
され、地域の人々に、スポーツの場とあわせコミュニティの場を提供しています。　（大建設計）


小体育室


第３体育室（柔剣道室）



上階平面　１：1200



下階平面

主な業者（ＰＲ）

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 軽量天井 | 奥村重兵衛 | 大阪市北区西天満５-３-７<br>ＴＥＬ06－312－4135 | タ イ ル | 青木産業 | 大阪市西区土佐堀３-21-103<br>ＴＥＬ06－441－1045 |
| 塗　　装 | 石渡靖一郎塗装店 | 大阪市住吉区帝塚山東1-3-34<br>ＴＥＬ06－671－0151 | 製作金物 | 臼田金属 | 大東市中垣内５-１-25<br>ＴＥＬ0720－73－5241 |
| 内　　装 | 橋本商店 | 大阪市大淀区国分寺１-７-14<br>TEL06－354－1855 | 木製建具 | 布川製作所 | 枚方市長尾家具町２-７-11<br>ＴＥＬ0720－55－2861 |
| 左　　官 | 岩根左官工業所 | 大阪市阿倍野区阪南町15-14-10<br>ＴＥＬ06－621－0955 | サ ッ シ | 浪速建材 | 大阪市西区新町１-４-26<br>ＴＥＬ06－533－6601 |
| 屋　　根 | 三晃金属大阪支店 | 大阪市東区大川町127<br>ＴＥＬ06－231－8571 | 屋　　外 | 日本総合緑化 | 大阪市東区内本町橋詰町56<br>ＴＥＬ06－941－2631 |

# ヴィ・ザ・ヴィ芦屋

設計監理　創美設計
施　　工　清水建設




外観を見上げる

撮影　金井輝明

| | |
|---|---|
| 所在地 | 芦屋市大原町219番地 |
| 敷地面積 | 906.91㎡ |
| 建築面積 | 590.44㎡ |
| 延床面積 | 3,136.61㎡ |
| 構造規模 | SRC、B1、6F、P1<br>立体駐車場併設 |
| 工期 | 昭和59年7月～60年6月 |
| 最寄駅 | 国鉄芦屋駅前 |

この「ヴィ・ザ・ヴィ芦屋」は国鉄の芦屋駅前に計画されたものである。国鉄芦屋駅北地区第一種市街地再開発事業地区に近接した位置にあるので、「ヴィ・ザ・ヴィ芦屋」のオープンにより新しい段階を迎えることになった。このあたりは、昭和62年春の完成をめざしている北地区のホテル棟や商業棟、住居棟などの再開発によって活気ある界隈空間が形成されていくであろう。

この建物の外装仕上については、赤御影石(本磨)、結晶化ガラスおよびステンレス鏡面ボーダーを使いわけて、新しさのなかにも、流行をコントロールした格調の高さをねらったデザインを心掛けた。

テナントミックスについては、地階および1階～3階が飲食関係、4～5階がカルチュアー、メディカル関係、最上階6階がレストランとなっている。

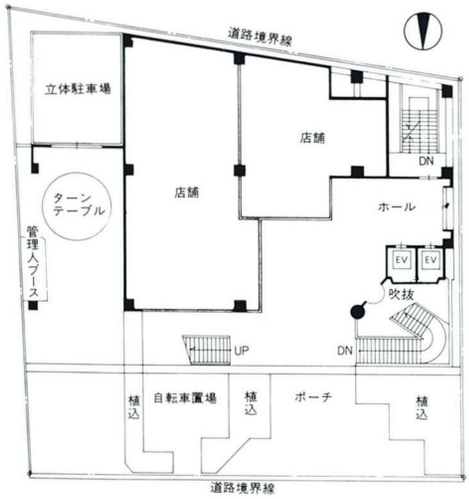
立体駐車場は大型専用29台を収容できるよう併設計画した。

メインホールおよび各階通路は、適切なデザインコントロールを意図することにより、多様化したテナントデザインに相乗効果を生みだし、バイタリティのある集合体を形成することをねらった。

(中原英雄／創美設計)




下：1階平面　上：4～6階平面　1：500






ポーチ廻り




廊下と店舗

# Gallery　まち・建築・ひと



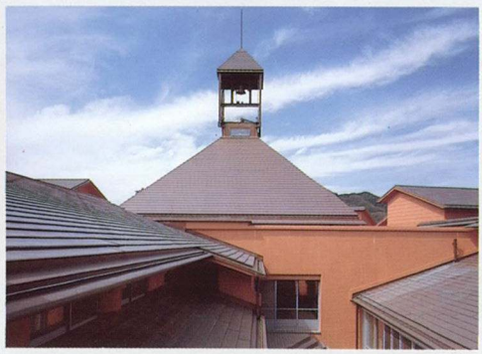

自然があり、建築があり、少年たちがいる。
そこに生まれる新しい野性のロマン。そんな
出遭いの時と場を求めて……。
自然のあや―緑、光、風、音 etc ―をできる
かぎり織りこんだ多感な空間を。
少年の動きや太陽の動きと共に、展開し変容
してゆく時に刻まれる空間を。
……つくれればと思った。
（松林祐爾／坂倉建築研究所）

## 大阪府立少年自然の家

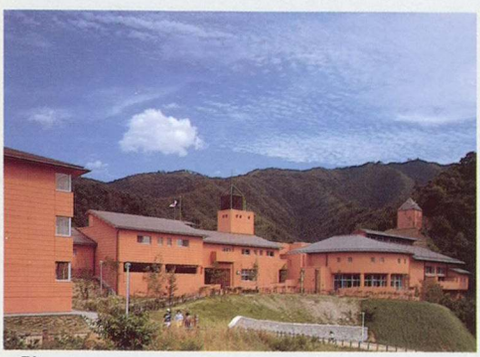


屋根

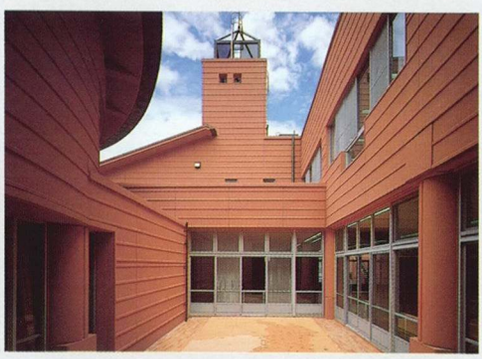


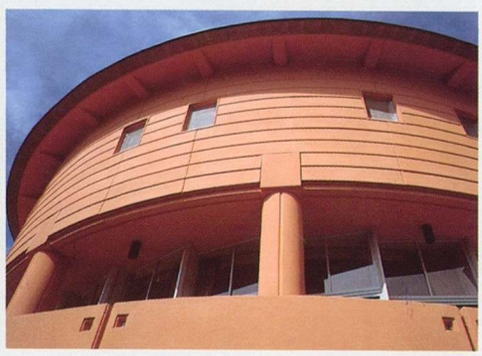


重なる　流れる　ひびく



壁

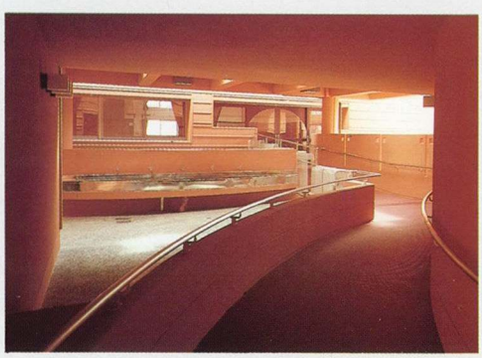




映える　かこむ　まとう



光と風





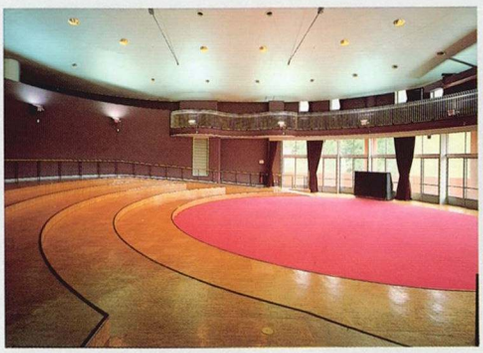
かげる　わたる　いざなう

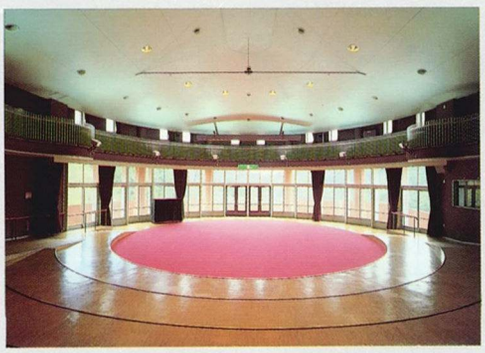





この施設は、和泉葛城山系のふもと、太陽と緑豊かな自然の中で、少年たちが非日常的な集団生活や野外活動を通じて健康で豊かな人間性をはぐくむための社会教育施設である。

ここで紹介する管理棟、宿泊棟、体育館からなる〈本館〉を中心として、その周辺にキャンプ場、野外ステージ等、多様な野外活動施設が配備されている。



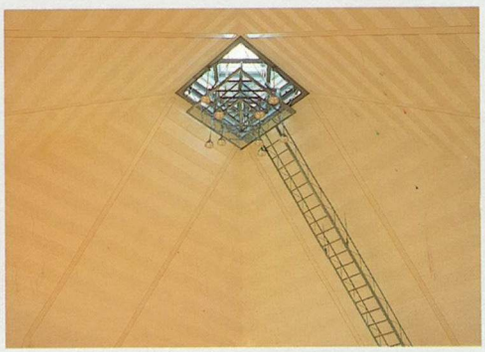


オリエンテーションホール



つどう　知る

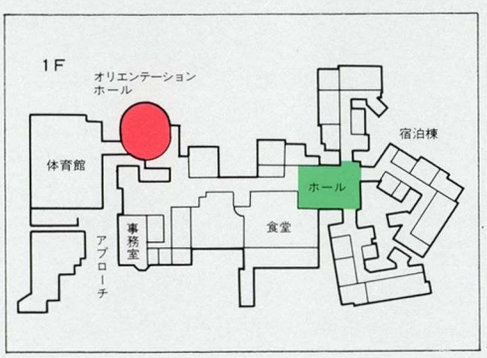


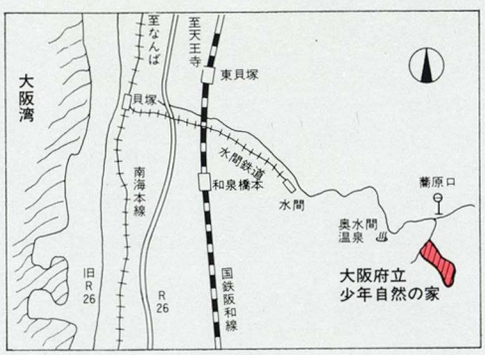


ホール



よぎる　出遭う




| | |
|---|---|
| 設　計 | 大阪府建築部営繕室<br>坂倉建築研究所大阪事務所 |
| 所在地 | 大阪府貝塚市木積字秋山長尾3350 |
| 敷地面積 | 255,000.00㎡ |
| 延床面積 | 7,623.00㎡（本館） |
| 構造規模 | RC(一部S)、3F |
| 工　期 | 昭和58年10月～昭和60年３月 |
| 仕上げ | 屋根　銅板段葺、外壁　GRC製下見板貼 |
| 企画編集 | 作品作風小委員会　加藤委員 |
| 撮　影 | 西浦宏己・河野　豊 |

元旦製品は施工がカンタン

# 元旦 屋根の理想を追求する元旦の技術。

元旦製品はすべて特許製品です。



●府立青少年自然の家●設計／坂倉建築研究所●施工／真柄建設
●元旦ルーフ 素材／銅板0.4㎜

定尺工法・ダブル角ハゼ

## 元旦ルーフ

使用材料●銅板●カラーステンレス板●カラーアルミ板
●カラー鉄板●フッ素樹脂加工品(フルフロン)

どんな建物にも美しくフィットする横葺き意匠。パーフェクトな雨仕舞と頑強な構造を実現したダブル角ハゼと継手。元旦の独創的な技術が金属屋根材の最高峰、「元旦ルーフ」を生みました。またシステムとしての屋根の機能を考える元旦は、建物の大敵、結露を防ぎ、断熱、遮音、吸音等の諸性能を向上させる外断熱システム屋根を開発。屋根の歴史を大きく前進させました。

元旦は屋根の理想へ向ってたゆまぬ研究と技術の研鑽に努めます。


製造発売元

元旦ビューティ工業株式会社

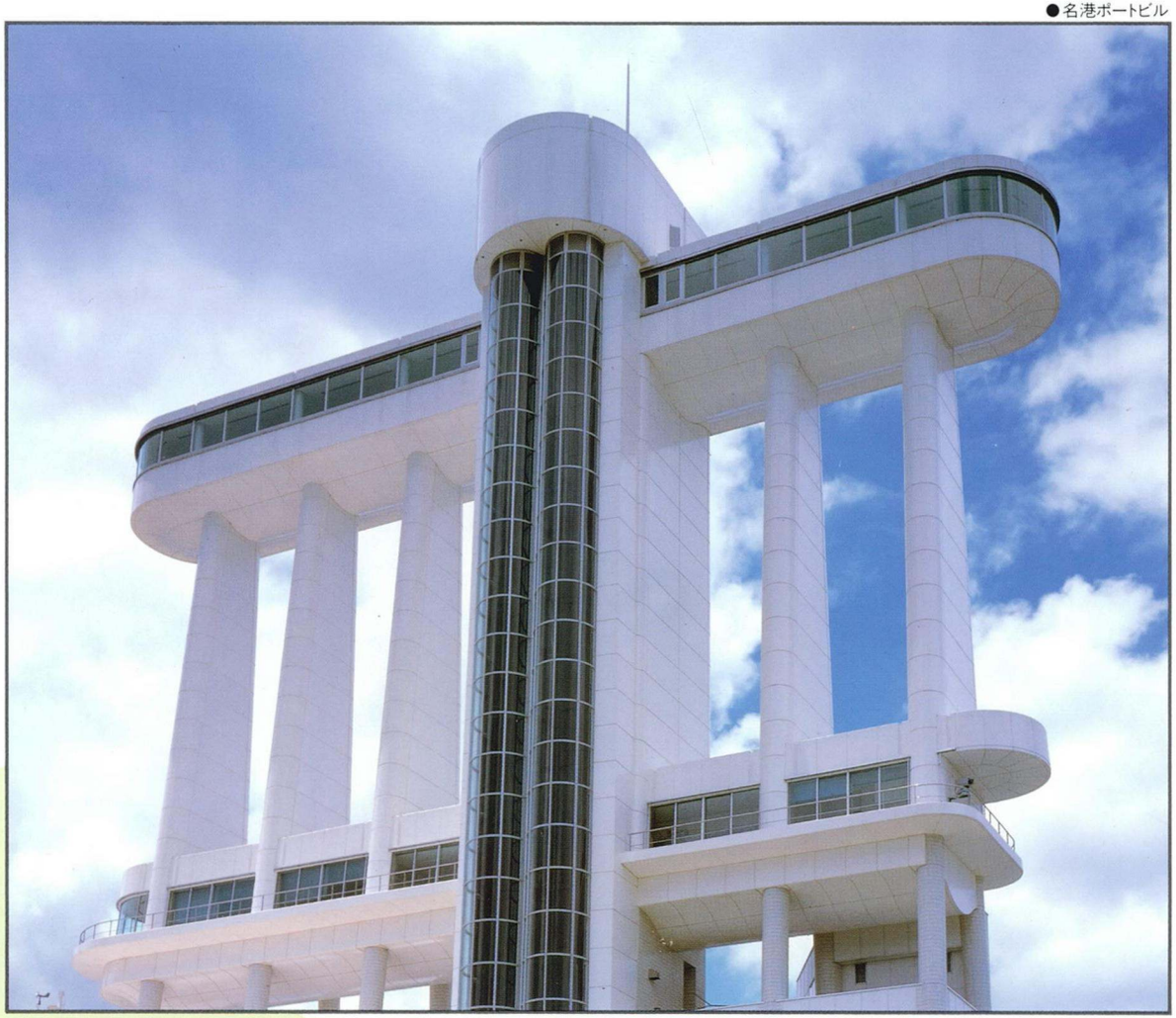
本　　社　神奈川県藤沢市湘南台5―36―5　〒252 ☎(0466)45-8771
東京支店　東京都中央区八丁堀1―7―2 第二長岡ビル5F　〒104 ☎(03) 555-1801
神奈川支店　神奈川県藤沢市湘南台5―36―5　〒252 ☎(0466)45-8771

大阪営業所　大阪市淀川区西宮原町1-7-47 ネオハイツ第二新大阪208号　〒532 ☎(06) 396-7231
名古屋営業所☎(052)251-7671／福岡営業所☎(092)712-1691／仙台営業所☎(0222)65-9431
福島営業所☎(0249)44-7188／山梨営業所☎(0551)47-4321／盛岡営業所☎(0196)22-2271
高崎営業所☎(0273)63-5175／広島出張所☎(082)261-3161／北陸出張所☎(0762)68-4651
札幌出張所☎(011)893-1632／静岡出張所☎(0542)71-7321

# ラウンジ浮上。サンクリート造。

旭硝子
本社〒100東京都千代田区丸の内2-1-2
TEL03(218)5791・5761(GRC部)
大阪支店〒530大阪市北区芝田1-1-4
TEL06(373)5878(GRC課)

●名港ポートビル



名古屋港を臨む新名所、名港ポートビルが竣工し、大きな話題を呼んでいます。この帆船を思わせるタワーは、実は鉄骨の構造体を旭硝子の高品質GRCサンクリートで被覆したもので、曲面を大胆に使いこなし、ラウンジ底部には船底をイメージさせる複雑な形状を実現しています。サンクリートは、旭硝子がガラス繊維の製造から成形、施工までを一貫責任体制で行なうガラス繊維強化セメントです。コンクリートの重量感をもちながらも、精巧でしかも軽量、高強度のパネルが製造でき、ビルの外装から内装まで幅広く採用されています。名港ポートビルでは、セメント系複合材で唯一3次元曲面を創造できる素材として、また軽く高強度のうえ、無機質で塩害に強いという性能が、高く評価されました。デザインを重視しながら、快適な環境づくりをめざしていくこれからの建物に、サンクリートの数々の特長が、大きな力を発揮していきます。

旭硝子のGRC

サンクリート®

■写真と概要をどしどしお送り下さい。
凡例：a．所在地　b．敷地面積　c．建築面積　d．延床面積　e．構造規模　f．工期　g．最寄駅



### 1873 大阪府立母子保健総合医療センター院内託児所

設　計：大阪府建築部営繕室
施　工：寄田組

a．大阪府和泉市室堂町840
b．　68.08㎡
c．116.60㎡
d．103.21㎡
e．RC、1F
f．昭和59年10月～昭和60年2月
g．泉北高速鉄道光明池駅



### 1874 カトリック阿倍野教会

設　計：東畑建築事務所
施　工：竹中工務店

a．大阪市阿倍野区松崎町3－66
b．1,918.22㎡
c．　806.28㎡
d．1,131.07㎡
e．SRC、2F
f．昭和59年8月～昭和60年3月
g．地下鉄谷町線阿倍野駅



### 1875 奈良県広域地場産業振興センター

設　計：プラス建築都市設計研究所
施　工：村本建設

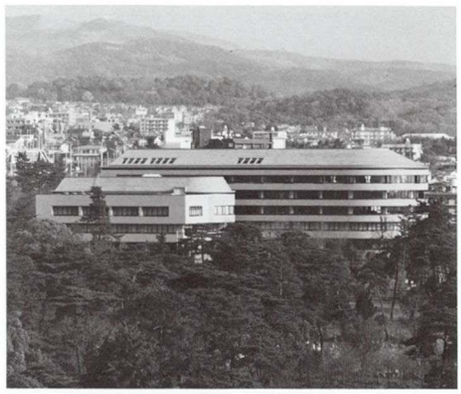
a．奈良県大和高田市幸町
b．6,000.00㎡
c．3,018.57㎡
d．7,167.64㎡
e．RC、SRC、B1、6F
f．昭和58年11月～昭和60年3月
g．国鉄高田駅、近鉄大和高田駅



### 1876 瓜破会館

設　計：宮後建築事務所
施　工：奥村組

a．大阪市平野区瓜破東6－1410－1
b．2,645.65㎡
c．1,010.20㎡
d．1,499.85㎡
e．RC（一部S）、2F
f．昭和59年8月～昭和60年5月
g．地下鉄喜連瓜破駅



### 1877 別府市庁舎

設　計：佐藤武夫設計事務所
施　工：大成・梅林・三光建設ＪＶ

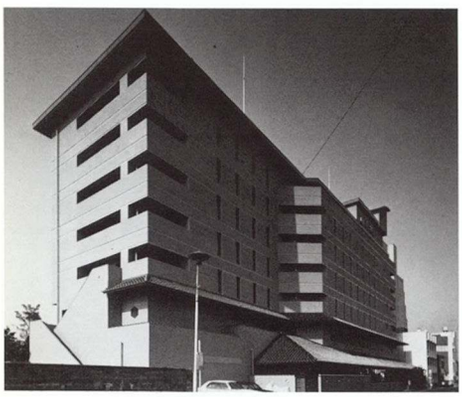
a．大分県別府市上野口1－15
b．10,273.29㎡
c．　3,516.74㎡
d．21,831.87㎡
e．SRC（一部S、RC）、B1、6F
f．昭和58年7月～昭和60年2月
g．国鉄日豊本線別府駅



### 1878 安城市北庁舎

設　計：山下設計名古屋支社
施　工：鴻池組名古屋支店

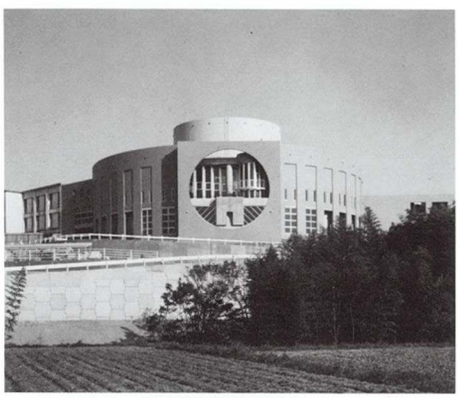
a．愛知県安城市桜町18－23
b．12,244.46㎡
c．　1,213.91㎡
d．　8,525.40㎡
e．SRC、B1、7F、P2
f．昭和58年8月～昭和60年2月
g．国鉄東海道線安城駅



### 1879 ホテル八木

設　計：竹中工務店
施　工：竹中工務店

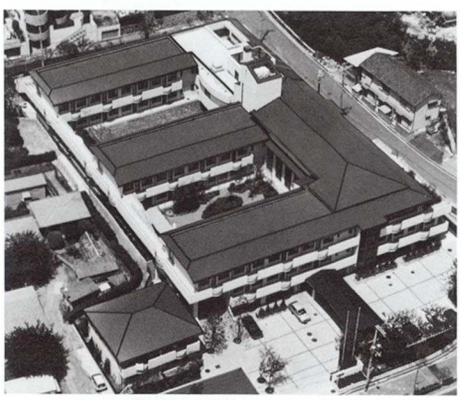
a．福井県坂井郡芦原町温泉4
b．4,947.47㎡
c．1,590.26㎡
d．6,668.75㎡
e．RC、B1、7F、P2
f．昭和59年4月～昭和60年4月
g．国鉄北陸本線芦原温泉駅



### 1880 智辯学園図書館棟

設　計：高木幹郎設計事務所
施　工：松村組大阪本店

a．奈良県五条市野原町417
b．37,647㎡
c．　1,749㎡
d．　3,282㎡
e．RC、2F
f．昭和59年9月～昭和60年5月
g．国鉄和歌山線五条駅



### 1881 大阪府立第9特別養護老人ホーム

設　計：赤松管野建築設計事務所
施　工：紙谷工務店

a．大阪府箕面市白島111－1
b．4,306.99㎡
c．1,705.74㎡
d．3,385.37㎡
e．RC、3F
f．昭和58年12月～昭和60年2月
g．阪急箕面線箕面駅

# 大阪ガス アイデアル住宅 NEXT



正面外観　　外壁：サイディング貼りメタリック塗装　屋根：コロニアル葺　サッシュ：カラーアルミ

### 近未来の提案住宅

高度経済成長から安定成長への移行のなかで起こった住生活をとりまく社会的な変化は、次の４点に要約されよう。第１に，社会全体として資源エネルギーの問題に直面せざるを得なくなったこと。第２に、科学技術の発達が余暇の拡大と情報化社会をもたらし、価値構造の変化を招いている。第３に、高齢化の進行に対応する社会システムが模索されている。最後に、個性が重視され、生活のトータルデザインの概念が育ってきたことがあげられる。

この住宅はこれらの背景に対し、①エネルギーの効率利用 ②自動化・情報化の推進　③高齢化社会への対応　④安全で健康な暮らし　の４つをテーマに、約10年後の住まいのあり方を提案する近未来住宅として企図された。



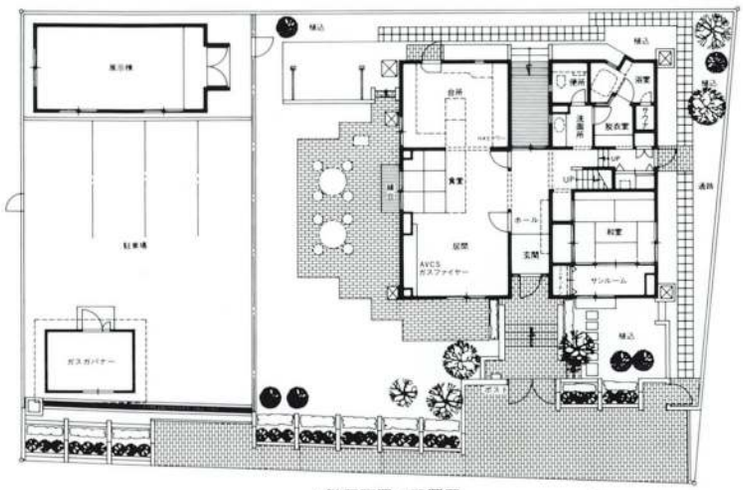
玄関ホール吹抜

### シンプルで明快な空間構成

平面は、玄関ホール吹抜を中心軸として、ほぼ対称に構成され、南北への見通しのきく明るく風通しの良いこの吹抜空間が、各室の環境を向上させ、またプライバシーを確保している。

全体として、フレキシブルな利用を目指し、シンプルで明快な空間構成とした。とくに、３世代のだんらんの場となる食堂スペースは、オープンな利用を考えた計画とした。さらに、中間領域の形成を計画のポイントとし、食堂から庭へのパーティなどの展開をはかる、ホール北側をアクティブヤードとしてホールと一体化する、老人室と庭とのつながりなど、外部空間とのつながりを重視した。

（大阪ガス・安井建築設計事務所）



１階平面図・配置図



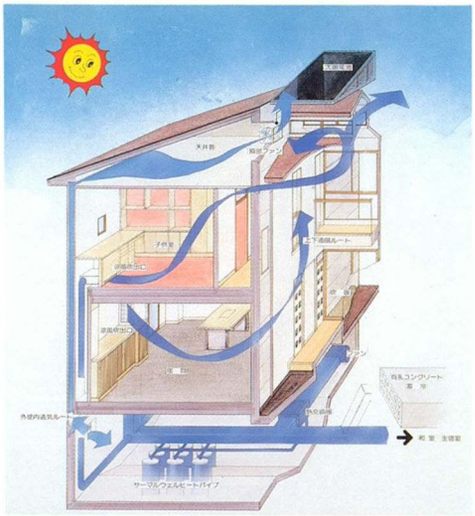
２階平面図

企　　画　大阪ガス
設計監理　安井建築設計事務所
施　　工　ダイケンホーム（建築）
　　今津建設（建築）
　　大阪電気暖房（設備）

用　　途　提案住宅
所 在 地　尼崎市東塚口町１
敷地面積　584，955㎡
建築面積　102，984㎡
延床面積　177，925㎡
構造規模　木造、枠組壁工法、２階建
最 寄 駅　国鉄、阪急塚口駅

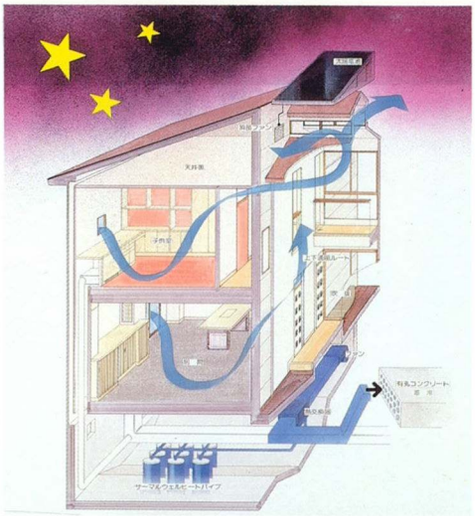
**昼間の空気の流れ**

サーマルウェルでとり出した地中の低温を利用して、外気温より3～4℃低い涼風をつくって各部屋に送る。自然な涼風の流れを感じて、からだにムリのない健康的な冷房を実現。また、屋根や壁からの熱の侵入を防ぐ、外壁内通気システムによって冷房効果を高める。



**夜間の空気の流れ**

夜間は吹き抜けの自然通気を利用して、住まい全体を「風の道」として計画。各部屋ではガラリ雨戸などから涼しい外気を取り入れ、ドア上の換気窓から吹き抜けへ逃がし、さわやかな風を感じて自然の涼感を得る。





吹抜上部換気窓



ランマ通風



すり上げ障子



ガラリ雨戸

## エネルギーの効率利用

キーワード
- ●太陽エネルギー
- ●地中熱利用
- ●外気
- ●廃熱

提案
- ●太陽電池ファンによる夏の外壁内通気—冷房負荷の低減、蓄熱床コンクリート
- ●サーマルウェルによる地中熱利用の冷房、給湯
- ●各室通風ルートの確保、ガラリ雨戸の採用
- ●風呂廃熱回収槽、断熱性の向上

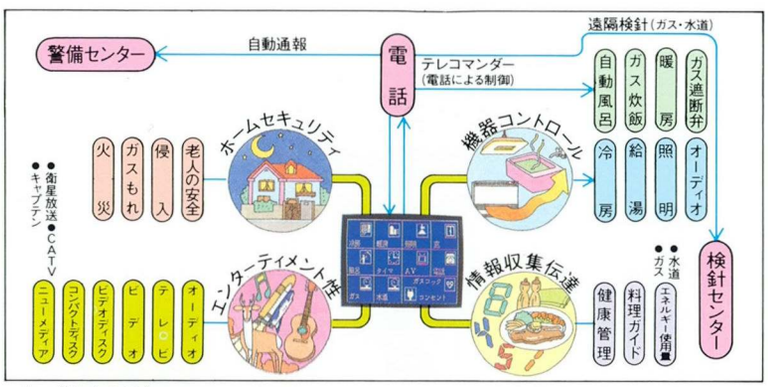
## 自動化、情報化の推進

キーワード
- ●システムの総合性
- ●利用の容易さ
- ●余暇を生む効率性
- ●コミュニケーション

提案
- ●同軸線のホームバスシステムによる全体の統御
- ●わかり易いグラフィック表示の操作画面——タッチパネル方式
- ●HA、リモコン（テレコントロール）の導入
- ●マイコンソフト(料理ガイド、健康モニター)による家庭のコミュニケーション



HA風呂システム、装置壁




トータルシステム



エンターテイメントの核 AVCS



タッチパネル方式



健康モニター



老親室



ミニキッチン



庭からのアプローチ

## 高齢化社会への対応

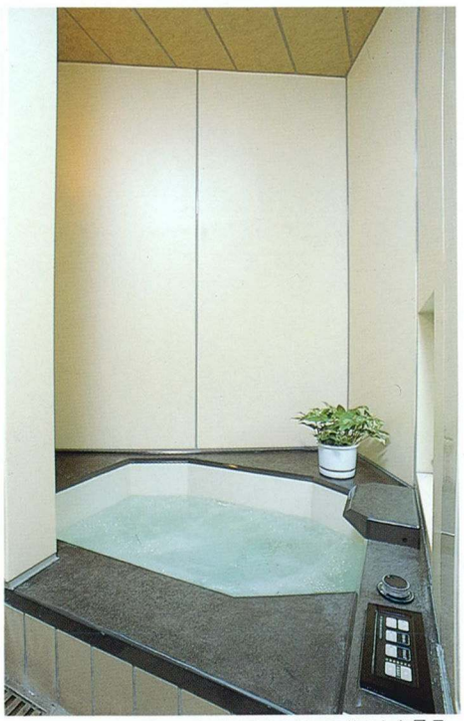
キーワード
- ●老親室の位置
- ●個別の生活や交際
- ●救急システム
- ●おだやかな環境

提案
- ●１階南東側に位置し、トイレ、風呂に近い
- ●個別のミニキッチン、庭からのアプローチ
- ●トイレ、風呂に救急用の人体センサーを設置
- ●サーマルウェルによるマイルドな冷房、トイレの壁暖房、蓄熱輻射床

## 安全で健康な暮らし

キーワード
- ●躯体の保護
- ●快適空間
- ●健康のための設備
- ●能動的設備利用

提案
- ●２×６部材の外壁、壁体内通気――結露防止
- ●明るく風通しの良い吹抜――アクティブヤード
- ●遠赤外線サウナ、ジェットバス
- ●メニュー豊富な情報システムや複合調理器



ジェットバスのあるゆったりとした風呂



アクティブな設備の利用が楽しめる食堂・居間





可動間仕切り



可動座



子供室家具間仕切



浴室外壁取りはずしパネル



床下配管と壁内への通気孔

## 住宅のライフサイクル

キーワード
- ●多目的利用―可変性
- ●ライフサイクルに対応
- ●更新システム
- ●メンテナンスシステム

提案
- ●ホール居間間の可動間仕切、可動座、はね上げテーブル
- ●子供室の家具間仕切
- ●浴室内外壁のパネル化、機器個別配管ルート
- ●床下配管スペース、パイプシャフト

## 住宅設備機器の展開

キーワード
- ●機能の充実、複合化
- ●象徴的役割
- ●インテリアとしての設備
- ●軽薄短小化

提案
- ●多機能の複合調理器や浴室装置壁、システムトイレ
- ●浴槽のデザイン、照明器具付フードとレンジ付食卓の中心性
- ●炎の見える暖房器とＡＶＣＳ組込み家具
- ●外付クリーンヒーター、け込みファンコンベクターなど、目立たないデザイン



システムトイレ



複合調理器を中心とする台所



だんらんの中心―食卓

日本建築協会法規委員会
編集委員会法令分科会

# 法令コーナー

質疑などの投稿をお待ちしております。

## 207

## 立体自動車車庫の取り扱い

床版をメッシュにした自走式自動車車庫が、最近各地で急増している。屋根がないので、建築基準法上、建築物としてとらえることがむつかしく、各行政庁はその取り扱いに苦慮していたが、以下のような各行政庁間の申し合わせ事項が出された。

### 1．建築物として取り扱う根拠

建築基準法第２条第１号中、「高架の工作物内に設ける事務所、店舗、興行場、倉庫その他これらに類する施設」に該当するものであるため。

### 2．建築物として取り扱う範囲

図１～４に示すものについては、上記の根拠により、建築物として取り扱うことが適当である。ただし、低層のものについては、従来、いわゆる準用工作物として取り扱ってきた機械式駐車装置と実態的な差がなく、従来通りの取り扱いにとめて差し支えない。その範囲は、おおむね**次表**に示す通りである。

〈工作物として扱うもの〉

| 階層が明確なもの（拡がりをもった床版を有するもの） | | 階層が不明確なもの | | |
|---|---|---|---|---|
| 自走式（図１） | エレベーター・スライド式（乗降のみ自走）（図２） | エレベーター・スライド式（図３） | 吊上式（図４） | |
| １層（２段）のもの | ３層（４段）以下、かつ８ｍ以下のもの | ３層（４段）以下、かつ８ｍ以下のもの | ８ｍ以下のもの | 従来通り取扱い範囲 |

※　１層（２段）とは、１階部分および屋上部分を利用するものを指す。（屋上部分にさらに屋根を設けたものは通常の２階建てとなる）

※　高さの算定は、図１～３にあっては屋根（床版）の最高部分またはパラペットとみなしうる部分の上端、図４にあっては当該建建物の最高部分とする。

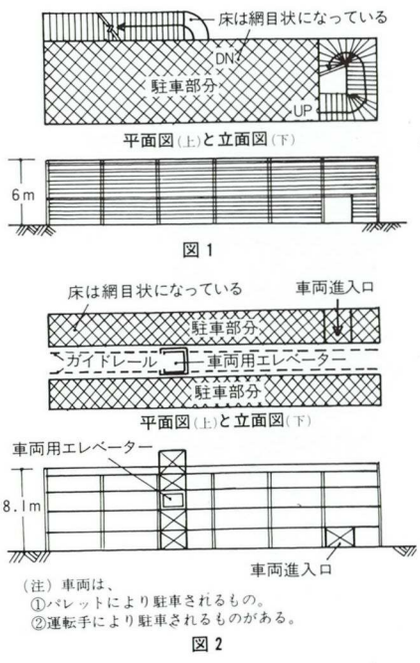
**吊上式自動車車庫の取扱について**
（昭和35年住発第368号通達）

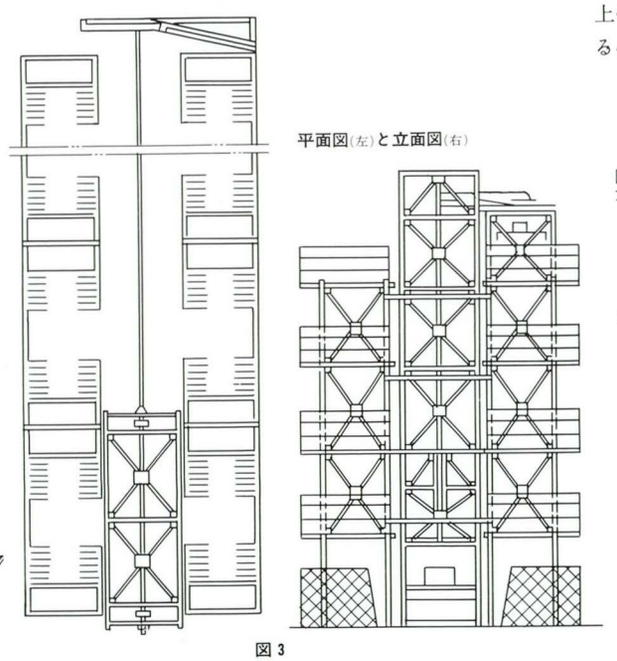
最近の自動車需要の激増及び道路交通法による駐車制限の強化に伴い、別添〔省略〕のような吊上式自動車車庫が考案され、各地で建築される予定と聞いているが、この種の自動車車庫については、下記により取り扱われたい。

記

原則としては、階数が３以上で延べ面積が150㎡をこえる建築物に該当するものと解されるが、次の各号の要件を満たすものについては、建築基準法第27条、第61条及び第62条の規定の適用に関しては、階数が１の建築物として取り扱ってさしつかえない。

1　耐火建築物又は建築基準法第２条第９号の３ロに該当する簡易耐火建築物とすること。
2　木造建築物が密集している市街地内で他の建築物（耐火建築物又は簡易耐火建築物を除く。）又は隣地境界線から５ｍ以下の距離に建築する場合には、外壁を不燃材料でおおい、かつ、地盤面からの高さが15ｍ以下の外壁の部分を耐火構造とすること。
3　前号の場合で、延焼のおそれのある部分に車輌の出し入れ口を設ける場合には、これに甲種防火戸を設けること。
4　木造建築物が密集している市街地で既存の建築物又は他の建築部分と一体に建築する場合には、当該既存の建築物又は他の部分を第２号にいう他の建築物とみなして第２号及び第３号によること。
5　住居地域内には建築しないこと。
6　吊上機の騒音により周囲の安寧を害するおそれのないものとすること。
7　外周の美観に考慮を払うこと。




用語解説

## 法第22条の規定等に基づく屋根の構造

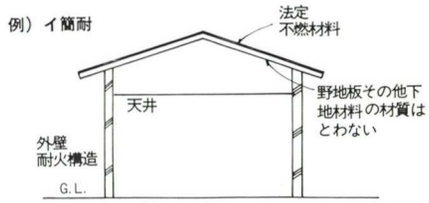
（昭和45年６月18日建設省から抜粋）

建築基準法第22条第１項、第25条または第63条の規定における「屋根を不燃材料でふく」の取り扱いはつぎのとおりとする。

１．「屋根を不燃材料でふく」とは、野地板その他これに類する下地材料の材質にかかわらず瓦、平板その他のふき板を法定の不燃材料とすることをいう。

２．金属板ぶきの場合で、ふき下地に可燃性の断熱材等を用いても、ふき材が法定の不燃材料であればよい。

３．前２項は、屋根を法第２条第７号の耐火建築物、同条８号の防火構造、法第２条第９号３ロ号に規定する簡易耐火建築物、法第35条の２に規定する内装制限にかかる建築物で天井を有しないためふき下地が露出する場合は取り扱いできない。




### 3．その他の留意事項

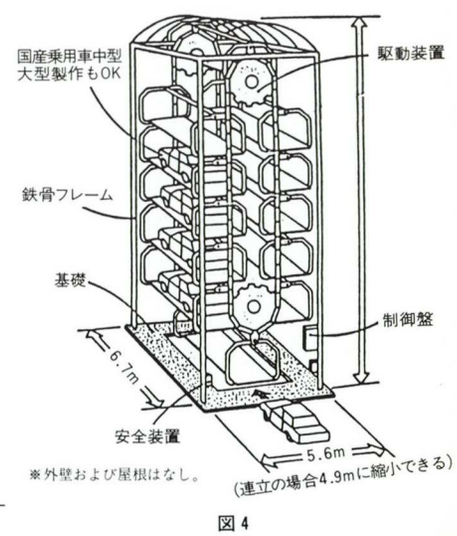
ア．当該駐車場が、他の建築物の部分と一体となっている（一棟とみなしうる）場合には、上の表にかかわらず建築物の部分として取り扱う。

イ．図２～４について床面積の算定が困難な部分については、収容１台当たり15㎡として算定する。

ウ．階層が不明確なもの（拡がりをもった床版がないもの、および床版が可動式のもの）については、階数の算定等について昭和35年住発第368号通達に準じて扱う。

エ．準用工作物として扱うものも、構造、防火上の安全性の確保、良好な市街地環境の確保を図る必要がある。

（文責：日本建築協会編集委員会法令分科会）



# 読者の頁

## あなたの「声」をお寄せください

○内容は、建築・しごとのこと、近況、「建築と社会」へのご意見・要望など何でも結構です。
○原稿は500～2000字程度でお願いします（ハガキ使用可）。原則として原稿は返却いたしません。掲載分には謝礼をさしあげます。
○氏名、住所、職業・会社、年齢を明記して、〒530 大阪市北区梅田1－1－3－2100大阪駅前第3ビル21階（社）日本建築協会編集部宛お送りください。

## 発行日、早くならないか

山本光博（大阪市）

本年度の事業計画でも、当会誌「建築と社会」の充実を謳われていますが、編集部に一考をお願いしたい点があります。

小生、当協会に入会来、十余年の歳月を経過するが、最今、気がかりな点があるので一言、申し上げたい。

情報革命の時代と言われて久しい今日、書店の前に立ち寄ると、氾濫する情報に埋没しそうで、めまぐるしい世の中の変遷が感じ取れます。いつか新聞誌上で目にしたことがありましたが、最近の月刊誌などといえば、月末ともなると、発行日より遙か2カ月も先の号数として店頭にならべられていて、子供の設問に困ったということが掲載されていました。当世の事情を何も2カ月先の号数で発行するなどいかがなものかとも思いますが、事ほど左様に、より一歩先の情報として求めていたい世情であり、そうであることがステータスシンボルともなるような昨今。ところが、それにもまして当会誌の発行日は毎月25日であると聞く。これでは会員諸氏の手元に届くのはいつも一カ月も遅れた号数である。何と悠長なと感じざるを得ない。当方、業界の最新情報として期待もしている当会誌が、どうも月遅れの雑誌を読んでいるようで滑稽さを禁じ得ない。

いろいろ事情はあろうと思いますが、せめて当月中に手元に届くようにはならないものか。これが会員のいつわらざる心境であろうと思います。会員の拡大のためにも、適当なお計らいをお願いしたいと思います。

## ヨコ割り特集を提案

千葉桂司（住・都公団関西支社）

関西で発行される唯一の建築雑誌である本誌は、建築関係各界の人達の非常に大きな努力と、ユニークな編集スタイルのもとに発刊されており、敬意を表すものです。

しかし今日、全国には建築ジャンルの雑誌が数多くある中で、独自性を保ちつつ、多様な読者の興味をつなぎとめるのは至難の業でもあります。そこで重要なのが企画であり、特集のユニークさ、おもしろさであると思います。

例えば、これまでの計画、構造、設備、施工材料そして法令といった、公平で、技術的なタテ割り特集とは別に、十分議論された年間テーマあるいはストーリーのもとに、〝シリーズ〟としてヨコ割り的な特集があってもいいのではないでしょうか。ヨコ割りが無理であれば、一つのテーマを多面的に採り上げるとか、対極のテーマ（例えばニュータウンと再開発）を同時並行して採りあげるといった工夫もできると思います。こうすることによって、建築や都市あるいは文化や社会をめぐる今日の複雑な状況の中での、細分化したそれぞれの建築技術分野の位置付けや役割りを再認識し得ることにも役立つし、自分の専門以外の特集に殆んど関心のない読者の眼もひきつけられるのではないでしょうか。

そしてまたなによりも中味をおもしろくするために、例えば発表機会の少ない関西の若手建築家や技術者、研究者、プランナー等が参加できる「責任編集」スタイルとか、座談会ではない「誌上パネルディスカッション」等、種々な企画やしかけが考えられると思いますが、いかがでしょうか。

## 特集 最近の「建築と社会」に思う



佳水園（京都）

## 「建築と社会」へ一言

岡田善弘（鹿島建設大阪支店）

「建築と社会」が届けられ、最初に目を通すのが「特集」の頁である。この内容の充実度によって、その号を面白く読むかどうか短絡的に決めてしまう。不真面目な読者であろうか。それとも情報過多時代の一般的読者の一人であろうか。

長い歴史を持つ「建築と社会」の特集をみるとき、その時々の建築社会の持つ課題が浮き彫りにされ、建築の変遷を感じることができる。また、そのような期待感を持って特集を読む。期待が大きいだけに裏切られることもある。自分のニーズとマッチしていない場合も多分にあるが、企画のマンネリ化も一部あるかも知れない。

作品作風は西日本中心で、これも「建築と社会」の特色かも知れないが、首都圏の作品紹介もお願いしたい。ただ、一般建築雑誌にも掲載される場合が多いため、何か一つ違った工夫、味付けが必要と思う。

数年前、編集委員として参画させていただき、長年の編集の方々の苦労と努力を実感しているだけに、このような身勝手な発言をすることに躊躇したが、一読者として「建築と社会」に大いに期待していることも事実である。

今後共、伝統を受け継ぎ、かつ、独創的な編集をお願いする次第である。

## 「建築と社会」は何をめざす？

杉本昇（大阪府）

「建築と社会」のような、会誌と一般誌との性格を合わせ持つ（と私は思っているのだが）ような雑誌の編集には大変御苦労が多いことだろうと思う。編集の方々の日夜の労に感謝した上で、フツーの会員としての気楽な立場からあえてより一層の希望を述べさせていただくことをお許し願いたい。

まず会誌として「建築と社会」を見れば、その充実した毎号の内容は質量とも他誌と比べて決してヒケをとるものではないのであるが、会としての動きや主張がもうひとつ伝わってこないところがある。会員参加誌の持つ親しみやすさ、くだけたところが少なく、全体として堅くきまじめすぎるのである。生の声や躍動感が直接伝わってくるような頁（催し参加レポートなど）がもう少し考えられていいと思う。会の動きにしても、事務的記録以外に、各部からのやわらかい報告や訴え、トピックなどがあってもよく、また、編集後記、会員登場、などはぜひ企画してほしいものである。

一方、一般建築雑誌として「建築と社会」を見れば、はたしてそれが950円の対価に耐えるものかどうか、はなはだ心もとない。店頭で手に取って、並いる建築雑誌をさしおいて「建築と社会」を購入することは、特集テーマに特に関心を持つ号以外にはまず考えられないことであろう。この場合は当然会員誌としての誌面づくりが、逆にマイナス要因となりやすい。現在でも会員構成の多様さを反映してか、誌面全体に雑多な印象が抜けず、思い切った刷新の手が打てないという会誌としての限界が感じとられるのである。例えば、作品作風コーナーなど、他誌に比べると明らかに見劣りし、その位置づけの理解に苦しむのである。全体のこうした雑多な印象は編集技術上の影響も大きく、見出しのデザイン、レイアウト、写真技術などによって相当解決されるものがあると思われる。

# この人7　下村 純一　写真家

ちょっとおじゃまします

聞き手　赤井富弘（近畿地方建設局）

**「この人」シリーズの連載にあたって**

建築にかかわるあらゆる分野の人々を訪問し、その人と仕事を紹介しています。読者のみなさまから、いろいろな「この人」を募集していますのでよろしく。

## 近代建築を見つめて

使うフィルムは35ミリだけ。大きなカメラは視点が固定されて自由に撮れない、特にディテールを撮るときは大きいことがかえって邪魔になる。そう言って、いつも一人で被写体を求めて世界を歩かれる。

下村氏の写真は、一枚一枚に迫力があり、個性がある。また、ふだん我々が雑誌等で見なれているはずのヨーロッパ近代建築に、こんな表情があったのか！　と新しい発見をさせてくれる。

処女作のガウディ写真集『貝の伽藍―アントニオ・ガウディ』は、彼が大学の講義でガウディを識り、感動し、そのまま2週間スペインへ飛び、夢中で写した写真だった。技術的には初歩的なミスが多いが、今でもその時の写真が一番好きだという。

なぜ近代建築を追っているのか、との問いに彼は答える。ポストモダニズムの動きを否定しようという気持ちがあるわけではない。ただ、近代のヨーロッパ人が成し遂げてきた仕事の方が、自分なりに面白さを感じるんだと。

大学で金属工学科を卒業するが、高校生の頃から興味のあった写真を志すため、再び美術史学科に入学。そこで先生から、写真を撮るなら建築を、と薦められる。ご自身、ほんとうは建築をやりたかったというぐらいの建築好きだから、当然のごとく建築の写真を撮ろうと方向が決まる。また、金属工学の知識は、物の素材を知り、物をとらえるのに役立っており、美術史学科では、写真と絵の違いを理解するのに大いに勉強になったという。



**しもむら　じゅんいち**

**略　歴**　昭和27年、東京生まれ
早稲田大学理工学部金属工学科および同大学第1文学部美術史学科卒業（後者の卒業論文テーマにガウディを選び、スペインへ赴き建築写真を撮り始める）
昭和52年博報堂に入社するが、建築の〝表情〟への熱い思い断ちがたく、一年で退社。以後、本格的にヨーロッパ近代建築を追われてきた
現在、早稲田大学講師、日本写真家協会会員

**主な著書写真集**　『貝の伽藍―アントニオ・ガウディ』（グラフ社1979）『織りなされた壁―近代建築への30年』（グラフィック社1983）『モダニズムの壁』（グラフィック社1984）『近代の光―光のイメージをめぐる建築の7章』（求龍堂1985）『不思議な建築―近代建築のかたち（仮称）』（講談社現代新書・本年末に発行予定）

学生時代からずうっとヨーロッパの近代建築を撮り続けてこられたが、最近催されたＩＮＡＸの「豊饒の近代建築展――下村純一の眼」を一区切りにして、これからはアメリカの建築も撮っていかれるそうだ。アメリカといっても、現代建築よりもリチャードソン・サリバンライトなどを追っていきたい。ヨーロッパはどこも、早い時期に都市化が進み、風土が建築に反映されていないので根底の要素は同じであるのに対し、アメリカは、風土の方が伝統・文化よりも勝っており、造形に強い影響を与えている。そこのところを撮っていきたいという。

その次は、日本も。特にヨーロッパの建築が日本に入ってきた頃の建物を撮っていきたい。ヨーロッパから入ってきたものをどういうふうに変えて日本の建築に組み入れていったのかを見つめたい。そのことが、日本の現代建築へとつながっていくのだから。

また、最近は、建築をとらえるに当たって、写真以外にムービーにも関心を持たれている。写真は超広角で映し出さないと一つの画面に多く入らない。しかしそれではひずみが生じ、本来的に持っている空間の柔らかさ、質感が失われる。だから視点を動かすということが、空間を撮るには必要になってくる。だからムービーだという。

最後に、インタビューを通して印象に残ったことは、下村氏の柔らかい人柄と、その中に秘めた建築と写真への情熱である。彼は「建物が、撮るべき所を指定してくれる」と言う。これこそ良い写真を撮る真髄ではないだろうかと思った。

---

ごくフツーの会員にとってみれば、建築協会とは、毎号送られてくる「建築と社会」のことであり、また、何もしない会員というのが最も多くのものを要求するというのが世の常である。会員誌と一般誌との性格を合わせて、どちらも満足されることを求めているのである。

「建築と社会」がどの方向に進んでゆくのか、この情報誌氾濫の社会の中では、ますますその選択が難しいとは思う。が、他の一般誌にはない〝ユニークな建築雑誌〟であって、しかも〝親しみのある水準の高い会員誌〟としての道はないものであろうか。

## ハイテク分野との接点を

小北博一（ジャス）

関西の産業界になにやら新しい動きがある。

40年後半から、日本経済の多角化への苦しい試みの後に、技術の分野で、特に関西ではエレクトロニクスの分野で独創的な成果を生み出している。新製品を作り、成熟した社会に合った市場を開拓している。

門外漢の私達も、エレクトロニクスの恩恵に日夜あずかっているわけだが、先日、ある調査を始めて、京都・大阪の工場数社を見学する機会があった。

電線メーカーのＳ社で、医用工学の機器や都市交通システム。地域情報システムのお話しをうかがった。一商品の誕生の背景には、人間工学的な配慮・病院のニーズ・監督官庁の許可条件・コンピューターシステムなど人間の誕生時の陣痛に似た物語がある。送電線と共に、光ファイバーケーブルや新生児等に使われる経皮血液ガスモニタや、科学万博の人気もの、エレクトーンの名演奏ロボットの分身も見聞した。主要整品である電線ケーブルの売上高は、58年が5割で、他の半分は、新技術によるベンチャー型のものである、と推察する。日本でも屈指の大企業であるから変貌ぶりはおどろきである。

「建築と社会」は、建築業界における横断的交流を基礎として、ユニークな編集である。

建築業界の各分野も、異種の業界との技術上の情報交流が必要であろう。日本における最も先端的な産業が、幸いにも関西の私達をとりまいているのだから。エレクトロニクス、バイオテクノロジー等々……。

建築芸術・建築科学といった求心的構造は、広く技術・文化・社会の遠心的方向とのバランスのもとに、社会のニーズを吸収し、健全な創作と発展が可能となる。

文化・芸能といった領域との交流が、昨今の誌面にうかがわれる。今後は、産業・技術といった日夜革新を続けている分野との接点も、誌面を活きいきとさせるのではないだろうか。

日本建築協会建材委員会

# 新建材紹介コーナー

あなたの「声」をお待ちしています。

○紹介建材、掲載内容に対するあなたのご意見・要望をお寄せ下さい。

○(社)日本建築協会建材委員会　Tel 06－348－0635
〒530 大阪市北区梅田１－１－３－2100
大阪駅前第３ビル21階

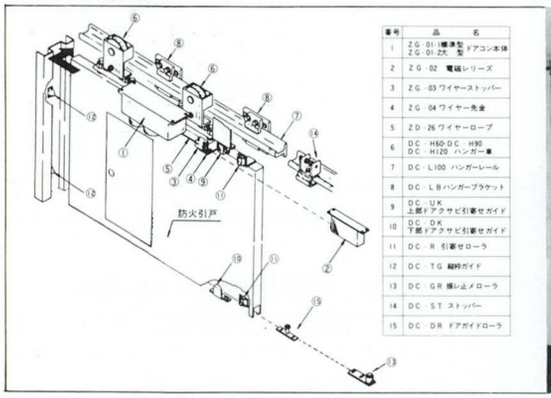
《新建材紹介　№122》

## 煙・熱感知器連動防火引戸用自動閉鎖装置
# 『ドアコン システム』


株式会社 豊和

本社・工場　尼崎市猪名寺字川原畑418　Tel 06－494－1111
支　　店　大阪・東京・名古屋・北陸
営 業 所　広島・四国・北関東・横浜


ドアコンシステム図




| 番号 | 品名 |
|---|---|
| 1 | ZG-01(標準型) ZG-01-ZX 型 ドアコン本体 |
| 2 | ZG-02 電磁レリーズ |
| 3 | ZG-03 ワイヤーストッパー |
| 4 | ZG-04 ワイヤー先金 |
| 5 | ZD-26 ワイヤーロープ |
| 6 | DC-H60・DC-H90 DC-H120 ハンガー車 |
| 7 | DC-L100 ハンガーレール |
| 8 | DC-LB ハンガーブラケット |
| 9 | DC-UK 上部ドアクサビ引寄せガイド |
| 10 | DC-DK 下部ドアクサビ引寄せガイド |
| 11 | DC-R 引寄せローラ |
| 12 | DC-TG 縦枠ガイド |
| 13 | DC-GR 振レ止メローラ |
| 14 | DC-ST ストッパー |
| 15 | DC-DR ドアガイドローラ |

階段の防火引戸の例




### 1.はじめに

ドアコンシステムは、このほど防火引戸用自動閉鎖装置として、国内初の防災性能評定品として(財)日本建築センターの防災性能評定委員会において認められた。

防災性能評定品のドアコンシステムとは、火災により煙が発生した時、また温度が急激に上昇した場合、防火引戸をドアの三方枠へ自動的に引き寄せ密着閉鎖するものである。引戸を枠へ引き寄せることにより引戸とドア枠との隙間をなくし、有害な煙や炎を遮断する機構となっている。

その上避難時には、手動操作で簡単に引戸の開閉ができるばかりか、引戸に設置してあるくぐり戸を押し開けることができるので、防災と避難の両面にわたって十分な配慮がなされた、わが国初の認められたシステムとして開発されたものである。

### 2.概要（ドアコンシステム図参照）

この装置は、①ドアコン本体と、②電磁レリーズなどによって構成される自動閉鎖装置と、防火引戸に取り付けられる⑥ハンガー車⑦レール⑧ハンガーブラケット⑨上部ドアクサビ引寄せガイド⑩下部ドアクサビ引寄せガイド⑪引寄せローラ⑫縦枠ガイド⑬振レ止メローラ⑭ストッパー⑮ドアガイドローラによって構成されている。

防火引戸は、⑥ハンガー車のヒンジによって完全に閉鎖した時、⑨上部ドアクサビ引寄せガイド⑩下部ドアクサビ引寄せガイド⑪引寄せローラ⑫縦枠ガイドなどにより、防火引戸全体をドア枠側へ引寄せて煙や炎を遮断する。

### 3.特徴

①遮煙性能にすぐれた引戸

引戸をドア通路枠三方へ引き寄せて密着でき、通路枠との隙間をなくし、有害な煙や炎を遮断する。

②強制排煙等の風の力に関係なく作動する。

火災時の強制排煙作動等の圧力差による風の力がドアに加わっても、開き戸のように扉の先端が開くことがない。

③廊下、階段等の使用有効床面積が広く使用できる

引戸式なので設置場所をとらず、使用床面積が広く使用できる。従来の開き戸のように回転に要する面積が必要でなくなり、使用有効床面積が広くとれる。

④法規制によるスペースが最小で可能

ドアコンシステムを設けた場合、法令通りのスペースでよい。開き戸では、階段踊り場の有効幅が、開き戸の回転範囲で制限され、避難上問題になる。同じく開き戸の場合、廊下では有効開口幅が廊下幅より小さくなり、法令より廊下幅を広くとる必要がある。

⑤ドアの作動に加速がつかず、安全確実

電気分銅を使わずに作動し、終始一定したスピードと力が保持されるため、閉扉時の衝撃等接触事故の危険性がない。

⑥物品等によるドア閉鎖時の障害が少ない

開き戸のように作動範囲が円運動の場合は、作動範囲内に物や障害物があると、閉鎖しないといった弊害が生じるが、引戸の作動範囲は線上で作動するため、開き戸のような弊害を生じない。

### 4.公的機関による試験結果

日本建築センター防災性能評定〔No.ＢＣＪ－ＤＣＳ（Ｓ－Ｔ）－15〕により、昭和48年建設省告示第2563号第１に規定する「火災によって煙が発生した場合に自動的に閉鎖する防火戸の構造」に適合するものとして認められ、昭和48年建設省告示第2563号第２の第１項に規定する「火災により温度が急激に上昇した場合に熱感知器と連動して自動的に閉鎖する防火戸の構造」にも適合するものとして認められた。

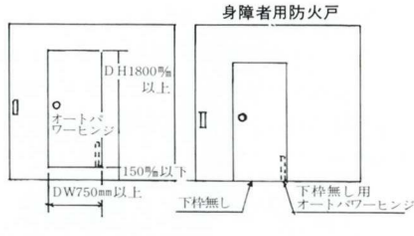
### 5.ドアコンシステムの性能

| 製品番号 / ドア重量 / 寸法 / 性能 | H－120F | H－160F | H－250F | H－500F |
|---|---|---|---|---|
| | 120kg以下 DW1500×DH2400以下 | 160kg以下 DW1700×DH2500以下 | 250kg以下 DW2500×DH2500以下 | 500kg以下 DW3500×DH3000以下 |
| ハンガー戸車 | 戸車小（φ60）使用 | 戸車中（φ90）使用 | | 戸車大（φ120）使用 |
| ドアコン本体 | 標準使用（本体番号ＺＧ－01－1） ドア重量 160kg以下 | | 大型使用（本体番号ＺＧ－01－2） ドア重量160～500kg以下 | |
| 本体閉じ力 | 7kg 定荷重 | | 14kg定荷重 | |
| 本体ストローク | 5m | | | |
| ドア起動必要力（摩擦係数 0.025） | 3kg | 4kg | 6.3kg | 12.5kg |

〈くぐり戸〉

防火引戸の大きさが、ドア幅2,000㎜を越えるもの、またはドア面積３㎡を越えるものについては、右図のくぐり戸を設ける。くぐり戸には、避難方向に開き、自閉するオートパワーヒンジ等の自閉装置を設ける。身障者用（車椅子通過可能）に、下枠をなくしたくぐり戸もできる。

身障者用防火戸





建材委員／松本英良　（竹中工務店）

# 昭和59年度の業務概要

当試験所の業務は、受託試験業務、建築審査・受託調査研究業務、公示検査業務および講習会業務に大別されますが、昭和59年度（昭和59年４月１日～昭和60年３月31日）の実施概要は次のとおりです。

## １．受託試験業務

昭和59年度の受託試験件数は、前年度とほぼ同数でしたが、比較的高額単価の試験依頼が増加したこともあって試験料収入は前年比約13%増となりました。各部門における詳細は次のとおりです。

### (1)　耐火・防火関係試験

受託件数では前年度と同様に推移しましたが、準不燃材料告示改正に伴い、新たに模型箱試験が追加され、金額では前年比約９%の増となりました。試験項目別の受託件数は次のとおりです。

ａ）耐火構造試験…… 59件
ｂ）防火構造試験…… 82件
ｃ）防火材料試験……522件
ｄ）防炎性能試験・難燃性能試験……20件
計　683件

### (2)　構造物関係試験

受託件数で前年比約12%増、金額でも大口の大型構造試験及び風洞による周辺気流測定等の依頼があった関係で約19%の増となりました。試験項目別の受託件数は次のとおりです。

ａ）構造物試験…… 71件
ｂ）建物診断…… 5件
ｃ）施設使用…… 35件
ｄ）風洞試験…… 12件
計　123件

### (3)　音・熱・動風圧関係試験

前年度にかなり受託したサッシの認定試験及び性能試験が本年度は減少したため、受託件数で前年度比約19%減、金額で約７%減となりました。また本年２月から新規にグリース阻集器の性能試験を実施しています。試験項目別の受託件数は次のとおりです。

ａ）音響関係試験…… 149件
ｂ）熱関係試験…… 150件
ｃ）動風圧関係試験…… 141件
ｄ）グリース阻集器の性能試験（８体）… １件
グリース　計　441件

### (4)　材料関係試験

住宅都市整備公団の適合資料の見直し試験、コンクリート用骨材の潜在性アルカリ反応試験の依頼が大幅に増加し、受託件数では、前年比約2.2倍、金額で約２倍と大幅増となりました。試験項目別の受託件数は次のとおりです。

ａ）有機質材料試験…… 173件
ｂ）無機質材料試験…… 314件
ｃ）その他……41件
計　528件

### (5)　工事用材料関係試験

本所材料試験室ならびに各分室では、いずれもコンクリート試験、骨材試験、鋼材試験等の工事用材料試験を実施していますが、受託件数では前年度と同様に、推移し、金額で約3.9%増となりました。各室の受託件数は次のとおりです。

ａ）本所材料試験室……37,412件
ｂ）大淀分室……58,779件
ｃ）堺分室……58,864件
ｄ）京都分室……21,323件
ｅ）加古川分室……24,660件
計　201,038件

## ２．建築審査・調査研究業務等

昭和59年度の建築審査は、受託件数が21件であり、また、調査研究も10件を受託実施しました。なお、昭和59年度は、自主調査研究として次の５件を実施しました。

(1)アルカリ骨材反応性の早期判定法に関する研究
(2)コンクリート中鋼材の非破壊腐食探査に関する研究
(3)火災時における床版のコンクリート内部温度推定に関する研究
(4)鉄筋コンクリート構造物の地震損傷に関する研究
(5)三次元角柱のギャロッピングにおける寸法化の影響に関する研究

また、昭和58年度末（社）日本建築材料協会との共催で発足した建材研究会は、昭和59年度会員数20社で「耐火・防火」、「音・熱」、「耐久性」の３分科会に分れ、工場見学、講習会等を合計30回開催しました。

## ３．公示検査業務

公示検査業務としては、工業標準化法第21条の２に基づく公示検査を本年度は昭和58年度告示分32件、昭和59年度告示分133件のうち16件の計48件を行いました。

## ４．講習会等業務

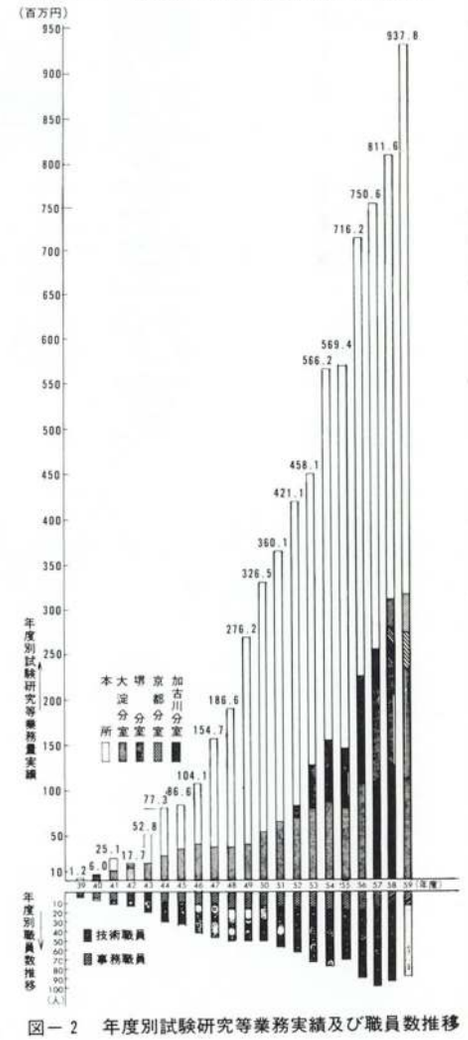
講習会業務としては、昭和59年度も前年度に引き続き大阪府下特定行政庁連絡協議会制定のコンクリート工法に関する指導要綱」に基づく、工事監理者・工事施工管理者に対する指定研修を２回開催し、この研修による修了者数は632名でした、また、研修免除者の申請受付けは、前年と同様、常時おこないました。適格者21名のうち希望者に研修用テキスト「コンクリート工事の実務」の頒布を行いました。

## ５．業務量とその推移

昭和59年度における当試験所の業務概要は以上のとおりですが、総実施額 937,800,804円で、前年度に比して約15%増加しました。総実施額を各部門別に分類し**図－１**に示します。なお、昭和59年度までの年度別業務実績の推移を**図－２**に示します。




図－１　昭和59年度受託業務状況（金額比）




図－２　年度別試験研究等業務実績及び職員数推移

本試験所●所在地……〒565 吹田市藤白台５－８－１（阪急北千里駅より北西約１km、国立循環器病センター西隣）
●電　話……(06) 872－0391(代)
●営業時間……平日：午前９時～午後５時、土曜日：午前９時～正午

INTERIOR
RENAISSANCE
ktm



建築家・インテリアデザイナーの設計構想を生かす。

感性が光る!
カワシマオリモノインテリアファブリックス

インテリア空間のイメージから完成まで——
カワシマオリモノのINTERIOR FABRICSが演出!

つぎつぎと生み出される新しい建築、インテリア空間。ホテル、店舗、住宅等々、それらのどのスペースにも現代の進んだ技術と感性が生かされ、独創的で個性的な空間は、私達を深く引き込む魅力に溢れています。

インテリア空間を形創るさまざまな素材の中で人間の歴史と共に永い文化の背景を持つ布地こそは、それ自体が持っている繊細な、優美さによって永久に愛される素材といえます。その繊細で多様なテクスチャー、色、柄。川島織物はアーキテクチャー、インテリアデザイナーの優れた感性と構想に十分お応えするオリジナリティ溢れる織物創作を得意とし、有名建築に数多くの実績を誇っております。

■営業品目
カーテン・カーペット・壁装・椅子張・美術工芸織物・緞帳

ktm 川島織物

株式会社川島織物
東京営業本部　TEL.(03)580-4511(代)
大阪営業本部　TEL.(06)347-0451(代)

# 嶋田勝次

神戸大学

聞き手・編集委員　松村孝治（東畑建築事務所）
プロフィール撮影　島　修一（STUDIO A・T）

略　歴

| | |
|---|---|
| 生年月日 | 昭和6年12月11日生（53歳） |
| 出身地 | 神戸市 |
| 最終学歴 | 神戸大学工学部建築学科 昭和29年卒業 |
| 教職 | 神戸大学工学部建築学科 助教授 |
| 大学所在地 | 〒657 神戸市灘区六甲台町 1－1 |
| 公職 | 兵庫県自然環境保全審議会委員　神戸市都市景観審議会会長　伊丹市都市景観審議会会長他 |
| おもな受賞 | 井植文化賞（科学技術部門・1979）神戸市建築文化賞（灘神戸生協生活文化センター基本計画・1985） |
| 代表作品 | 神戸ポートアイランド・コミュニュティスクェア基本計画他 |
| 好きな建築作品・インテリア | 藤村記念堂（谷口吉郎）MITチャペル（エーロ・サーリネン）　ソサイェティ・ヒル（I・P・ペイ）　アルネ・ヤコブセンの家具など |



大阪府金剛コロニー基本計画



甲南こもん



## 都市景観を創る

「都市は生きもの、都市は時代の反映」と語る。都市空間は、歴史の蓄積の上に、その時代の経済や文化に強く影響されながら、人との関わりの中で常に変化している。変化することが生きていることであり、都市空間に活気をもたらすもとになっている。変化のさせ方は、その時代を生きている人の決断によるが、肝腎なのは、次代の人に選択の余地があるかどうかだと説く。

都市は変化するものという持論から、保存の是非に対する基準もユニークである。「いろいろな価値の重なった建築のみ、保存再生の道を拓くべきであり、単に古いというだけで残すという考えは、都市にとって迷惑だ」と語る。最近、兵庫県公館（迎賓館＋県政資料室）として再生された旧兵庫県庁舎の現地保存運動に関わったのも、この建築が、明治中期の第一級の建築であり、兵庫県の歴史文化的モニュメントとして、重要な財産であるばかりでなく、神戸という都市のシンボルでもあったからだという。「明治村は明治建築の墓場だ」と語る氏は、この旧庁舎が用途を変えて見事に再生されたことをうれしそうに語る。「神戸は、近代建築の博物館。明治・大正・昭和のよい建築がそれぞれ都市景観の核となり、神戸という都市の風格を生みだすもとになっている」と分析する。

神戸で貿易商の長男として生まれた氏は、戦災で二度に亘り家を焼かれ、終戦後、北野の異人館に住んだ経験をもつ。20帖くらいのリビングルームに畳を敷いたところが、一家6人の住居であったと語る。同じ館の他の室には、米兵相手の女性や、他の家族が住み、思春期を迎えていた氏にとって、異人館は、当時のうらぶれた坂道や路地と共によい思い出とはなっていないという。神戸の都市景観審議会会長として、その北野山本地区の景観保全に力を注いだ時は、個人として複雑な気持だったと述懐する。建築家を志ざした動機は、焼け出された経験から、「家を建てることが出来るだろう」という親のヒントだと笑う。

神戸大学の頃は、毎日、ソフトボールに明け暮れていたが、神戸市・石原左内氏、日建設計・大西孝夫氏と共に製図室の住人で、三人とも眼鏡をかけていたところから、眼鏡の三羽烏とよばれ、卒業時には三人で賞を分けあったという。ゼミは、当時意匠担当だった鳥田家弘先生のもとで過し、秘蔵っ子となって、大学に残り、意匠・歴史・建築計画・都市計画・都市環境計画と研究範囲を拡げてきている。特に都市計画や、都市環境計画を、大学の研究室という枠にとどまらず、常に実践の場で行っていることは、大学人の中でも数少なく、特筆される。地域社会の発展に寄与したということで、第4回の井植賞を受賞したのも、実践の積み重ねによるものである。

「神戸というところは、他に先がけて最初にやってやろうという気持が強く、自分にぴったりだ」と語る。都市景観に関しても、近代建築から学んだ歴史の蓄積と、都市計画とをうまく組み合せることで、よりよい方向が考えられるのでは、という発想の原点があり、京都や横浜と違って、一般解を神戸方式は求めていると自負する。建築家は、よい環境をつくるために、もっと都市環境に眼を注ぐべきだし、よい環境をつくるためにもっと施主を教育すべきだと語る。氏が基本計画を行ない、神戸市建築文化賞を受賞した「甲南こもん」（兵庫県立健康センター・灘神戸生協生活文化センター）では、主体の違う二つの建物が一つの広場を共有し、この広場を通ってそれぞれの建物にアプローチするよう計画されている。「より高次の建築を創るためには、共同の意識をもつことが必要である。景観も、この共同の意識があってはじめて生まれる」という自説を現実化した建築である。

「建築は街並づくりや、都市形成の主役ではなく、背景であり、主役は利用者・使用者だ」と力説する。内井昭蔵氏の〝素直で健康な建築〟が好きという氏の話は、非常に平明で、聴く人にすぐとけこむ。この平明さが、共感を呼び、共同の意識をもたせる秘訣であろうか。都市環境・都市景観という今後の街づくりに欠かすことのできないテーマを実践してきた氏に寄せられる期待は大きい。

〔次号の登場者は石原左内氏（神戸市）〕

# 手摺子の記憶

## 大改修終えた兵庫県公館（旧兵庫県南庁舎）を見て——

加藤　力

古い建物が保存、生き続けるためにはそれなりの必然もある、が一方、運・不運も左右する。思えば兵庫県公館は不幸を背負いながらも、寸前のところで運を盛り返し、生き続けた建築である。もとより順風満帆な歩みではなかった。夭逝の建築家、山口半六の死と引き替えのように生を預けられた建物である。設計者の山口はこの建物の完成を見ずして急逝。しかし当時兵庫県技師であった秋吉金徳によって、その遺志が引きつがれ、見事その壮麗さ日本一といわれる県庁舎が完成した。明治35年の春のことであった。美麗、壮厳なフランスルネッサンス調の建物であった。山口の晩年の気概がせまりくるような美しさでもあった。

今、手元に上棟当時のものと思われる一枚の古い写真のコピーがある。これをみれば、ドーム状のたおやかな屋根の架構の上に、棟梁たちがすずなりになって駆け上り気勢をあげているところか？　西欧文明を取り入れんとする明治のこの港町の活気あふれる様子が伝わりくるようである。美しき洋風建物は、この後、神戸のあるいは兵庫県民の心の支えとして、明治、大正、昭和の前半をすごすことになった。この間、実は大正９年、兵庫県に営繕課が設立さる。以後、県の主要建物は自ずからのところで設計を行うという、つとに著名、優秀な自主設計の伝統が築かれた。

昭和20年、しかしこの建物は不幸にも戦禍にみまわれる。特色であるドーム状の屋根を焼失、内部の大半を失なって廃墟と化する。レンガ積みの厚い、堅固な壁だけが、生き残ろうとする意志をむき出しにして、クスノキの繁みの中で立ちつくしていた。これだけの戦災にあえば、普通であれば取り壊しの浮目にあっていたかも知れぬ。しかし、この美しき堅固な建物を愛しむ幾多の声が存った。戦災にもめげぬ建物の意志があった。ついに議会はこれを修理、修復し、再び庁舎としてよみがえすことを決定した。

１期・２期と４年もの歳月をかけて修復工事が完工された。はたして修復なったものの、元のものとはいささか形を異にしていた。屋根は特色ある曲線から台形の直線に変じ、窓サッシ、内部建具など幾ばくか姿を変えていた。しかし、その壮麗さ、厳粛な気品の本質は失うことなく引き継がれていった。

やがて昭和の成長期に入る。当然、庁舎の機能はこの建物の容量をも超えることになった。そこで当時の営繕課長・光安義光の引いる県営繕の手によって現在の高層の本庁舎が建設される。伝統ある明治の建物は南庁舎と各を替えて、新らたな役割をはたすことになった。下山手通りをはさんで下手に明治の南庁舎、上手に新らしき時代の庁舎が立ち並ぶ。その間をとりもつかのように、赤レンガ造りの栄光教会の建物が配されている。県木であるクスノキの繁みが時間の重みをつけて、青青としげり、ほどよい都市の景観が始まった。教会の塔の高さが人々の視線を支え、この土地の空気を引きしめる。歴史の感触のたかぶりが陶然とわきあがってくるような都市の景観の形成がある。たぐい稀なる時の深みをもつ街の一画が造り出されていった。

ところが昭和56年の始め、突如、ここの地を対象に生活文化ホール構想がもちあがる。明治のこの建物を移築・保存、この地に新らたにオペラハウスを建設しようとの提案であった。提案としてはなかなか魅力的なものであったが、たちまちのうちに神戸在住の文化人・建築家の有志によって反対がわき起こる。ただちに「神戸の建築を守る会」が結成される。神戸の人は動きが素早い。文化的遺産とも言えるこの美しき建物を、現地で保全、たぐい稀なる都市の美観を守っていこうとの運動があった。保全か、移築かの論争が始まった。シンポジウムが開催され集会がもたれた。

幸い、人々の熱意が通じたが、その年の夏、兵庫県知事より現地保存、有効利用の意向が打ち出される。改築、保存し、迎賓館と県政資料館の２つの機能をかねそなえて県公館として、よみがえることになった。人々かように愛され、またも保全・再生される。まことに幸せな建物である。はたして、仮に神戸以外の地にこの建物が建てられていたならば、このように生きのびることが出来たであろうか。早晩、市民の熱のあがらぬ間に取り壊されていたやも知れぬ。あるいは、これを取り囲む建物群が、万一身勝手に、バラバラと造られていたならば、都市景観もヘチマもあったものでない。同じ整備の成果とも考えられる。はたまた、もし民間の所有であれば、たとえ保存が熱望されたとしても、それはかなわぬ相談で、例えばホコ先かわす為、古い壁面一部取り入れて、奇妙な現代建築に替ってしまったかも知れぬ。

生れ、素性すぐれていても残り続けるためには必然もあるが、運もある。

現地保存、改修が決定してからの作業は県営繕の手にゆだねられることになった。作業は〝限りなく明治35年に近づけよう〟との精神で進められた。明治の大修復、以前に遡のぼり、外観・内部意匠は建設時のものにしようとの方針であった。しかし、図面は戦災によって全て失い、記憶もない。手がかりは唯一、市民より集められた当時をうつす写真のみ。それでも外観の手がかりはいくつかあった。しかし、内部の手がかりは薄い。設計を担当した県営繕の門内秀裕課長補佐らは、まず資料あつめから始めた。例えば、手摺にもたれかかった当時の県職員の古ぼけた写真があった。そこから手摺・手摺子の詳細を押しはかった。明治の意匠に想いをはせた。あるいは、現存する山口半六の残した建築を訪ね提考し、明治の手がかりを把んでいった。さらには、明治、この建物が影響を及ぼしたであろうところの建物の意匠を知って、設計者の意図を思い浮べた。まるで犯人を追いつめる探偵のような方法で、当時の形をとらえていった。

次第に細部の意匠が、わずかながらも見えてきた。設計者、山口半六の粋さや工夫が随所につかめていった。同時に明治の技術の心が伝わるような想いの中にあった。こうして旧兵庫県庁舎は、内部の機能を変えて、兵庫県公館として、二度もその美麗、端正な姿をよみがえらせた。80年目のことであった。正面ファサードの屋根は、再びたおやかな曲線に、敷地を囲むフェンスも繊美な明治の粋に、窓サッシも当時の面影をもち、出入口のワクも微妙な翳をもつ繰形に、手すりも80年前の感触を伝え……素材は変っても意匠は明治に近づいていった。

しかし、改築・修復で困難をきわめたのは意匠の追求よりも、むしろ、現行法規制への



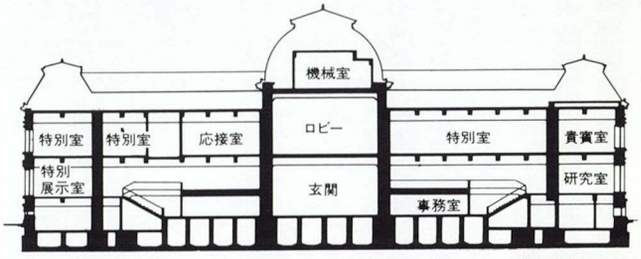
南側ファッサード



貴賓室



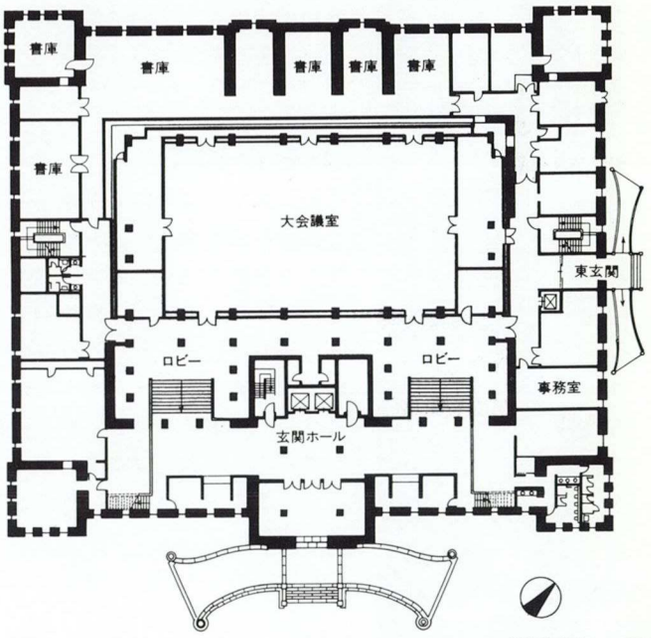
3階特別会議室




断面図1：800



玄関ホール




1階平面図1：800

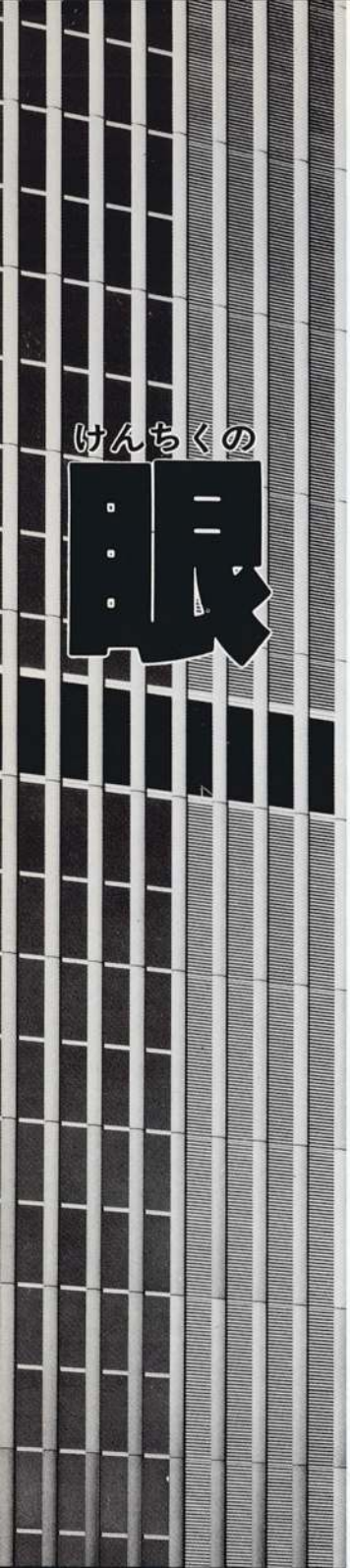
適合の工夫であったという。そしてもう一つ、形態をくづさずに設備をいかに組み入れるかの配慮であったという。確かに保存・再生の技術は難かしい。何しろ今はじまったばかりの、手さぐりの技術なのだから。

それにしても我々は、いまだ生き続けようとする建物を、効率や合理性という開発のささやきのもとに、何んと容易に潰してきたことか、その後に得られたものといえば、どこも皆同じ表層の、特色もなし、味もない、コクもなく深みもない、ただ合理性ばかりが超一流の、すぐにでも記憶のヒダからこぼれ落ちてしまうような街の景観である。古き建物は、たとえ内部を改修したとて、多少の不便さは残る。不満もでよう。しかしそれを補う何ものかの力が存在する。特に明治の気魄ああふれる建物は、人の合理や少しばかりの利便などを乗り越えた力がある。気迫にあふれた生命力である。機能は退化しても建物の周辺、内外で脈々と打ちつづける空間の生命力である。人の生命の長さには比べようもない、空間の力である。

今、大改修を終えた兵庫県公館の周辺の敷地に立って、深く深呼吸をすれば、建物の発散する一種のオーラとでも呼べるべき気配が、体の奥深く、沈澱していく想いにかられる。

建築の本質は建物自身にあるのではない。その周辺、内外を漂う空気の中に存在する。

（かとう　つとむ　京都工芸繊維大学・住環境学）



# けんちくの眼


嶋田勝次
神戸大学工学部建築学科助教授

生田喜一郎
大阪市都市整備局営繕部設計課長

土肥耕一
東畑建築事務所設計部長

狩野忠正
竹中工務店大阪本店
設計部副部長


7月号から12月号まで上記の4氏が担当

## タウンハウス

今年5月、神戸市住宅供給公社は、タウンハウス定着のための多年にわたる業績に対して、建築学会の業績賞を受賞された。当公社はこれまでもいろいろなこころみを実現してこられて敬服するところが多いが、このタウンハウスについていえば、とくに西神ニュータウンで都市住宅に対する種々の提案を具体化してきている。パティオ・サンルーム・スキップフロアから、和風型・コロニアル風、またコモングリーン・ボンエルフ・ペデストリアン等々の展開に、個の充実から群の集住の方向についてまで拡がっている。

タウンハウスとはそもそも町家であり、庭付き一戸建の庶民のささやかな思いが、都市空間の形式をどう支えて、あらたな住環境をどう豊かなものに定着して行けるかの大きな課題があるのは当然であり、これは古くて新しいテーマでもある。そのため戸建からいきなり中高層アパートだけではなく、低層連続建ての工夫により、これまでの古い長屋のもつ暖かい界隈性が、新しい町家の中でどう熟成するかであり、〝わたしの家－わたしたちの街－みんなの故郷〟にどう築き上げられるかの、息の長い共感コミュニティづくりをめざすことであろう。

（K・S）

## まちの緑

最近、都市の景観いわゆる「まちなみ」がきれいになったという言葉をよく聞く。たしかに建物のグレードがよくなったのは、もちろんのことであろうが、とくに緑化に対する配慮が「まちなみ」を一段と美しくしているのではなかろうか。先日もタクシーの運転手さんから「お客さん、市内の街路樹がふえて私等の眼をたのしませてくれますねん」という言葉を聞いた。早速調べてみると、市内の街路樹のみに限れば、20年前に比較して、高低木併せて約35倍の282万本余りになっているそうである。その間の樹木の成長を併せて考えれば、先の運転手さんの言葉もなるほどとうなずけた。

御堂筋のいちょうは、あまりにも有名であるが、市内の街路樹の樹種は多い順に並べると、とうかえで、いちょう、プラタナス、ポプラ、やなぎという順番であるが、上位3者の差は余りないそうである。また、都市の景観をよくするためにはどうしたらよいかというアンケート調査の回答のなかでは、「緑化促進」が一位を占めているのをみても市民の方々の関心が高いのがわかる。われわれ建築屋は、建物の外観については、設計上いろいろ論議をするが、今後は緑化を含めて考えていくようにしなければならないと思う。

（K・I）

## 手を止めて

市街化調整区域の開発基準を緩和し、民力活用で内需を拡大する……。ウサギ小屋からの脱出をめざし住宅を広くする。また土地信託方式を導入し、住宅政策を持ち家から借家重視に転換する……。迫りくる高齢化社会、保護――収容施設建設一点張りの政策が破綻しているのに、財政負担削減のために、老人保健法を梃に「中間施設」の建設を検討する……。

国の施策は目まぐるしく移り変り、目指す所が定かでない。状況の変化に応じての対応だといいたげだが、ゆきあたりばったりとしか思えない。

こうした世情を反映してか、土地があるので何か儲かる企画をとか、老人を喰いものにしたような企画がもち込まれる。ひたすら「なにをなすべきか」を追い続けることに慣れた思考を、一寸止めて、「なにをなさぬべきか」という発想で身辺の整理からはじめて、現状を問い直すことも肝心なようだ。自然の生態系を崩してしまった報いに懲りずに、人の心の中の自然まで崩して、とり返しがつかなくならぬうちに。

（K・D）

## ローコスト

ローコスト建築の呼称はあたかも建築が安物を売る店で購買される品物のような状況を想定する。ローコストには別の見方をすれば資源を節約しているようであり、質素精神から考えると、ハイコスト――贅沢、イメージからすると、ローコストは精神性の高いものを思ったりする。精神性を求めてのローコストではないが、ふと、自分の設計を振り返って見れば、即、これローコストの歴史である。

コストと面積の係数に眩惑されていた、この設計が安物でなく質素と考えてくるとローコスト建築もすてたものではなく、ものの成立情況を基本から考えると内容のあるものになるのではないか。コストと素材との間に反応する精神性を感じたりする。いつか、高価な材料を使用し、豊かな空間をと期待している。そんなに簡単にくるはずはないが、考え方によっては、予算が足りない時は自然精神性が宿り、予算があっても贅沢を表に出さない姿勢を保つことに精神性が現れるのであろう。

（T・K）

## ◀大阪国際見本市新会場「インテックス大阪」を見る

共催：日本建築協会・大阪府建築士会



大阪市制百周年記念事業の一環として大阪南港に建設がすすめられていた新国際見本市会場「愛称：インテックス大阪」が、この春五月に完成。すでに様々な展示会や見本市が開かれ活況を呈しています。

この新しい見本市会場は、甲子園球場の約3.3倍もの敷地をもち、7つの展示館とセンタービル、会場全体のシンボルともいえる屋根のある広場「インテックスプラザ」などで構成され、随所にニューメディアが導入された施設づくりがなされています。

とくに、近年の見本市会場には欠かせないコンベンション機能も充実されており、六ヵ国語の同時通訳が可能な国際会議ホールやテレビ会議室、また、4千人の規模の集会ができる会場などが備えられ、単なる物の展示だけでなく、文化・情報・技術等の総合的な交流の拠点としても期待されています。

今回は、(財)大阪国際経済振興センターのご厚意と大阪市都市整備局ならびに㈱東畑建築事務所各位のご協力により、とくに新会場の設計面を主体とした見学会をおこないます。

多数のご参加をお待ちいたします。

（この見本市会場の詳細については本誌7月号にて特集しています。ご参照下さい）

**日　　時**　8月21日(水)　集合14：00 → 解散16：30

**集合場所**　大阪国際見本市会場・正面玄関(メインゲート)前付近、目標会旗。

ただし、地下鉄四ツ橋線「住之江公園駅」からニュートラムで、「中ふ頭駅」下車、歩行者専用橋を渡り徒歩3～5分。

**定　　員**　100名（本会割当50名）

**参加会費**　会　員　500円
会員外　800円　} 当日受付にていただきます。

※当日の参考資料として本号特集欄とグラビア頁の抜き刷り(表紙付)を用意いたします。
ご希望の方には当日、実費にてお分けします。(1冊400円予定)

**申　　込**　8月12日(月)までに電話にて本会事業課（TEL 06-348-0633）へお申し込み下さい。必ず氏名・勤務先名・参加証発送先・郵便番号・連絡電話番号をお知らせ願います。定員超過の場合は抽せんにて決定の上参加証をお送りします。

### 〔大阪国際見本市新会場概要〕

| | |
|---|---|
| 所在地 | 大阪市住之江区南港北1－1－12 |
| 主要施設 | 展示館7館、屋外展示場、センタービル、インテックスプラザ、スカイプラザ、ゲート広場他 |
| 発注者 | 大阪市 |
| 設計・監理 | 大阪市都市整備局営繕部、㈱東畑建築事務所 |
| 施工 | ㈱大林組・㈱松村組共同企業体<br>鹿島建設㈱・㈱奥村組共同企業体 |
| 敷地面積 | 128,986㎡ |
| 建物延床面積 | 74,918㎡ |
| 展示面積 | 45,029㎡ |
| 工期 | 昭和58年12月 → 60年3月 |

## ◀都ホテル大阪新築工事見学会

共催：日本建築協会・大阪府建築士会



高津の宮の昔より現代に至るまで、大阪には由緒ある寺院や神社、史跡が数多く残されていますが、中でも、上町台地には高津神社・生国魂神社・愛染堂あるいは四天王寺・難波宮跡など、実に多くの名所・旧跡が存在しています。

この上町台地のほぼ中央部、近鉄上本町駅北側に隣接して、今まさに一つの新しいホテルが誕生しようとしています。

「都ホテル大阪」――伝統的な都ホテルの格式と気品を受け継いだこのホテルは、歴史ある街上町台地の新たなる核として、従来のホテルに求められる多種多様な機能はもとより、ニューメディアの時代にもふさわしい様々な情報システムも採り入れられています。

例えば、客室にCATVやターミナル情報システムなどを導入し、希望のチャンネルを選択することにより、交通情報、観光・タウン情報などが提供されるなど、その一例といえます。

また、ホテルには国内でも最大級の室内プール(25m・6コース)や、ヘルスクラブ、大中小合わせ20の宴会場があり、とくに大宴会場は六ヵ国語同時通訳装置を備え、国際会議も可能な設計となっています。

今はなき偉大な建築家・村野藤吾氏による壮麗なホテル「都ホテル大阪」、今回は近畿日本鉄道株式会社の特別のご厚意と村野・森建築事務所ならびに㈱大林組・大日本土木㈱共同企業体各位のご協力により、オープン前のご繁忙中ですが特に見学させていただくことになりました。多数のご参加をお待ちします。

**日　　時**　8月31日(土)　集合13：30 → 解散16：00

**集合場所**　近鉄「上本町駅」・1階コンコース横、都ホテル大阪・北西入口付近、目標会旗。

ただし、地下鉄谷町線・千日前線「谷町9丁目」駅下車、東へ徒歩5分。
または、近鉄・難波駅より2ツ目「上本町」駅下車すぐ。

**定　　員**　60名（本会割当　30名）

**参加会費**　800円(会員に限ります)当日受付にていただきます。

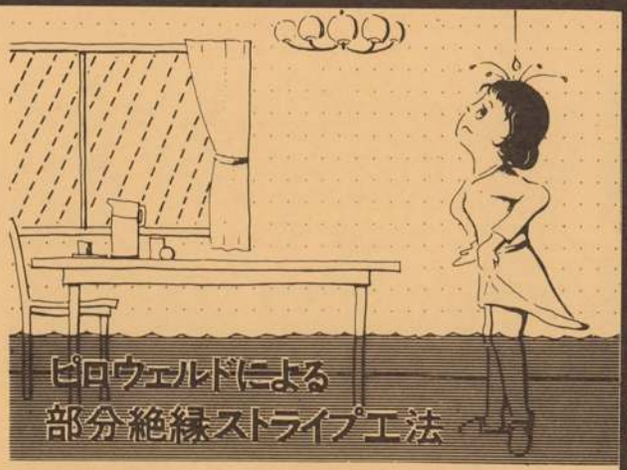
**申　　込**　往復はがき1名に1枚限りとし、氏名・勤務先名・所属部課名・連絡電話番号・返信用宛名・郵便番号を記入し、8月20日(火)までに建築協会事業課へ。申込多数の場合は抽せんにて決定し、参加証をお送りします。

### 建築概要

| | |
|---|---|
| 所在地 | 大阪市天王寺区上本町6－1－55 |
| 建築主 | 近畿日本鉄道株式会社 |
| 総合監理 | 近畿日本鉄道株式会社 |
| 設計監理 | 村野・森建築事務所 |
| 施工（建築） | ㈱大林組・大日本土木㈱共同企業体 |
| 面積 | 建築面積 9,700㎡、高層部(ホテル)45,000㎡、低層部(宴会場)12,400㎡、延床面積63,700㎡ |
| 構造・規模 | (ホテル棟)B2～4F SRC造、5～21F S造<br>(宴会場棟)2～5F S造<br>地下2階 地上21階 塔屋3階 |
| 高さ・深さ | 軒高SGL＋78.548m、最高高さSGL＋85.548m<br>掘削深さSGL－16.500m |
| 客室数 | 608室 |
| 工期 | 昭和58年4月 ～ 昭和60年9月15日 |

# 最大の敵。

貴重な資源"水"も建物にとって最大の
敵となることもあります。
日本アスは多年の経験と実績を生かして
完全防水に取り組むプロ集団です。




| 地区 | 会社名 | 所在地 | 電話 |
|---|---|---|---|
| 北海道 | クレミス工業株式会社 | 札幌市 | TEL011(882)1232代 |
| | 株式会社互建防水工業 | 帯広市 | TEL0155(25)5776代 |
| | 株式会社ソロ防水北海道 | 札幌市 | TEL011(751)1736代 |
| | トーフジ工業株式会社 | 札幌市 | TEL011(822)0331 |
| | 日本防水総業株式会社 | 札幌市 | TEL011(231)7511代 |
| | 日本防水総業㈱旭川出張所 | 旭川市 | TEL0166(47)1050 |
| | 日本防水総業㈱釧路出張所 | 釧路市 | TEL0154(23)2056 |
| | 日新建工㈱札幌出張所 | 札幌市 | TEL011(663)1525代 |
| | 株式会社防水センター | 札幌市 | TEL011(683)5616代 |
| | 大和工業㈱苫小牧出張所 | 苫小牧市 | TEL0144(34)3358 |
| | 大和防水工業株式会社 | 札幌市 | TEL011(641)1717 |
| 東北 | 開発株式会社 | 秋田市 | TEL0188(24)2233 |
| | 北原建材工業㈱仙台営業所 | 仙台市 | TEL0222(36)6768代 |
| | 協和建材工業㈱仙台支店 | 多賀城市 | TEL02236(6)1136 |
| | 日新建工㈱仙台支店 | 仙台市 | TEL0222(73)1921代 |
| | 日新建工㈱青森出張所 | 青森市 | TEL0177(41)1697 |
| | 日新建工㈱秋田出張所 | 秋田市 | TEL0188(68)5366 |
| | 日新建工㈱郡山出張所 | 郡山市 | TEL0249(23)1677 |
| | 日新建工㈱盛岡出張所 | 盛岡市 | TEL0196(41)7888代 |
| | 日新建工㈱山形出張所 | 山形市 | TEL0236(41)5891 |
| 関東 | 葵工業株式会社 | 江東区 | TEL03(632)3385代 |
| | 伊藤建材株式会社 | 台東区 | TEL03(842)1431代 |
| | 金岡工業株式会社 | 新宿区 | TEL03(363)4341代 |
| | 北原建材工業株式会社 | 調布市 | TEL03(307)1661代 |
| | 木下工業株式会社 | 墨田区 | TEL03(634)0821代 |
| | 協立工業株式会社 | 足立区 | TEL03(889)6235代 |
| | クリステル工業株式会社 | 中野区 | TEL03(372)2451代 |
| | 大東スレート株式会社 | 足立区 | TEL03(883)3131代 |
| | 株式会社東京シングル | 練馬区 | TEL03(994)3861代 |
| | 東京・瀝青株式会社 | 荒川区 | TEL03(803)3481代 |
| | 合資会社中西商金 | 板橋区 | TEL03(961)1924代 |
| | 日新建工株式会社 | 足立区 | TEL03(870)6231代 |
| | 日本綜合防水株式会社 | 渋谷区 | TEL03(403)0171 |
| | 野口工材株式会社 | 北区 | TEL03(903)4151-2 |
| | 鶴田工業株式会社 | 千代田区 | TEL03(263)4861代 |
| | 富士工材株式会社 | 江東区 | TEL03(634)0163代 |
| | 藤瀝青興業株式会社 | 中野区 | TEL03(367)1611 |
| | フタバ興業㈱東京営業所 | 港区 | TEL03(591)2491代 |
| | 古川株式会社 | 台東区 | TEL03(834)4151代 |
| | 北條瀝青工業株式会社 | 江東区 | TEL03(643)3963代 |
| | 大和工業株式会社 | 荒川区 | TEL03(802)4751代 |
| | 瀝青建材株式会社 | 千代田区 | TEL03(861)2706-8 |
| | 有限会社神守建材社 | 横須賀市 | TEL0468(22)4288 |
| | 金港瀝青株式会社 | 横浜市 | TEL045(421)6521-2 |
| | 不二防水工業株式会社 | 横浜市 | TEL045(231)4461 |
| | 北原建材工業㈱千葉営業所 | 千葉市 | TEL0472(32)0132 |
| | 日新建工㈱千葉出張所 | 千葉市 | TEL0472(52)0707代 |
| | 三和工業株式会社 | 市川市 | TEL0473(57)5153代 |
| | 糖信瀝青株式会社 | 船橋市 | TEL0474(38)4511 |
| | 石田建材工業株式会社 | 高崎市 | TEL0273(27)3302代 |
| | 石田建材工業㈱大宮支店 | 大宮市 | TEL0486(51)1251 |
| | 石田建材㈱小山出張所 | 小山市 | TEL0285(23)5011代 |
| | 瀝青建材㈱宇都宮出張所 | 宇都宮市 | TEL0286(22)9737 |
| | 株式会社奈良屋 | 水戸市 | TEL0292(41)5141代 |
| 信越 | 鹿住防水工業株式会社 | 上越市 | TEL0255(24)3402 |
| | 株式会社仙鎮 | 松本市 | TEL0263(58)3188代 |
| | 茂興業株式会社 | 新潟市 | TEL0252(28)0351 |
| 北陸 | 株式会社折橋政次郎商店 | 高岡市 | TEL0766(22)0999 |
| | ㈱折橋商店金沢営業所 | 金沢市 | TEL0762(47)4139 |
| | 一公工業株式会社 | 高岡市 | TEL0766(23)0391 |
| | 日精工業株式会社 | 金沢市 | TEL0762(40)1101代 |
| 北陸 | マルセ化建株式会社 | 金沢市 | TEL0762(42)5151 |
| | 石橋建材株式会社 | 福井市 | TEL0776(23)0775・0885 |
| 東海 | 協和建材工業株式会社 | 清水市 | TEL0543(45)2221 |
| | 三井工業株式会社 | 静岡市 | TEL0542(85)9151-2 |
| | 三信建材工業株式会社 | 豊橋市 | TEL0532(45)8211代 |
| | 合資会社清水商店沼津支店 | 沼津市 | TEL0559(21)9610 |
| | 伊藤防水工業有限会社 | 名古屋市 | TEL052(503)1172代 |
| | 大池建工株式会社 | 名古屋市 | TEL052(912)6181 |
| | 合資会社明光建材 | 名古屋市 | TEL052(524)1411 |
| | 重喜防水工業株式会社 | 名古屋市 | TEL052(991)0111代 |
| | 辰己防水工業有限会社 | 名古屋市 | TEL052(501)1401代 |
| | 中央建材工業株式会社 | 名古屋市 | TEL052(761)6181代 |
| | 東京建材工業株式会社 | 名古屋市 | TEL052(411)6621 |
| | 東海物産株式会社 | 名古屋市 | TEL052(721)2211代 |
| | 長登工業株式会社 | 名古屋市 | TEL052(751)8141 |
| | 日本建材鋼業株式会社 | 名古屋市 | TEL052(571)5541代 |
| | 宮崎建材株式会社 | 名古屋市 | TEL052(331)1531代 |
| | 名瀝工業株式会社 | 名古屋市 | TEL052(721)5381代 |
| | 株式会社岩昇 | 一宮市 | TEL0586(24)0505・1678 |
| | 株式会社名神防水 | 岐阜市 | TEL0582(71)7459 |
| | 吉田防水店 | 恵那市 | TEL05732(5)3297 |
| 近畿 | 株式会社神原商店 | 守口市 | TEL06(909)1433・(908)1282 |
| | 国際工事株式会社 | 大阪市 | TEL06(211)6385-6 |
| | 清水興業株式会社 | 大阪市 | TEL06(372)0250-3 |
| | 日新工材株式会社 | 大阪市 | TEL06(541)3785-6 |
| | 日新建工㈱大阪出張所 | 大阪市 | TEL06(326)3845-6 |
| | 日本綜合防水㈱大阪支店 | 大阪市 | TEL06(361)0471-5 |
| | ヒカリ工業株式会社 | 大阪市 | TEL06(395)1051代 |
| | フタバ興業株式会社 | 吹田市 | TEL06(385)2781代 |
| | 有限会社丸藤商店 | 大阪市 | TEL06(351)2150代 |
| | マルフジ工業株式会社 | 枚方市 | TEL0720(57)3293代 |
| | 久下商店 | 京都市 | TEL075(311)2044-5 |
| | 東洋建材株式会社 | 京都市 | TEL075(672)5351-5 |
| | 中村瀝青工業株式会社 | 神戸市 | TEL078(221)8011代 |
| | 棚田建材有限会社 | 神戸市 | TEL078(841)3551代 |
| | 有限会社ミサキ商会 | 和歌山市 | TEL0734(22)3922 |
| 中国 | 株式会社三洋技建 | 大竹市 | TEL08275(2)5155代 |
| | 三和防水工業株式会社 | 広島市 | TEL082(283)3366代 |
| | 豊永建材株式会社 | 広島市 | TEL082(264)1223 |
| | 大和工業㈱広島出張所 | 広島市 | TEL082(264)2761 |
| | 株式会社巴商会 | 宇部市 | TEL0836(21)0760 |
| | 和光工業株式会社 | 松江市 | TEL0852(37)1321 |
| 四国 | 大三工業株式会社 | 高松市 | TEL0878(51)6811代 |
| | 徳島大三工業株式会社 | 徳島市 | TEL0886(31)4161代 |
| | 株式会社マルマス河野商店 | 今治市 | TEL0898(32)5000代 |
| | ㈱マルマス河野商店松山支店 | 松山市 | TEL0899(22)2121 |
| | 株式会社山本商会 | 松山市 | TEL0899(31)6261代 |
| | 大三工業㈱高知支店 | 高知市 | TEL0888(45)4800代 |
| 北九州 | 安藤工事株式会社 | 福岡市 | TEL092(561)7012代 |
| | 加茂装備株式会社 | 福岡市 | TEL092(864)6051代 |
| | 草野工業株式会社 | 北九州市 | TEL093(922)7631代 |
| | 日建工材株式会社 | 福岡市 | TEL092(801)7822代 |
| | 株式会社工材社 | 北九州市 | TEL093(371)1468代 |
| | 株式会社三宮工材 | 大分市 | TEL0975(36)2326-7 |
| | 安藤工事株式会社 | 長崎県 | TEL09588(2)2450 |
| | 山崎工業株式会社 | 北九州市 | TEL093(941)5441 |
| 南九州 | 株式会社大二商会 | 宮崎市 | TEL0985(47)6155代 |
| | 日新興業株式会社 | 延岡市 | TEL0982(33)2455-9 |
| | 株式会社北原建材商会 | 鹿児島市 | TEL0992(23)9395代 |
| | 株式会社沖縄装美工業 | 那覇市 | TEL0988(87)3847 |

協力組合員

| | | | |
|---|---|---|---|
| 北海道 | エスアイ工業株式会社 | 稚内市 | TEL0162(33)6407 |
| | 株式会社晶興建設 | 砂川市 | TEL01255(4)1166代 |
| | 北海化学防水株式会社 | 札幌市 | TEL011(831)2885 |
| 関東 | 有限会社荻野防水工業所 | 八戸市 | TEL0178(22)8386・(43)7947 |
| | 株式会社建工 | 天童市 | TEL02365(5)4400 |
| | 大興工業株式会社 | 泉市 | TEL0222(52)4920代 |
| | 株式会社鐵屋本店 | 福島市 | TEL0245(22)6106代 |
| | 合資会社東日本制水 | いわき市 | TEL0246(26)5011代 |
| | 新建工株式会社 | 長岡市 | TEL0258(36)1248 |
| | 有限会社飯田産業 | 猿島郡 | TEL0280(98)1274代 |
| | 有限会社興和建業 | 水戸市 | TEL0292(43)3621 |
| | 有限会社鹿島建工 | 富津市 | TEL0439(87)0272代 |
| | 日瀝工業株式会社 | 甲府市 | TEL0552(32)5477 |
| | 有限会社児島防水工業 | 川崎市 | TEL044(244)8271代 |
| | 赤堀樹脂工事株式会社 | 市川市 | TEL0473(76)1185代 |
| | 勝見瀝青工業株式会社 | 板橋区 | TEL03(930)2350 |
| | 株式会社コムナ | 板橋区 | TEL03(972)0281 |
| 関東 | 株式会社大二商会 | 荒川区 | TEL03(803)2651-2 |
| | グロリー防水工業㈱ | 江戸川区 | TEL03(678)4512 |
| | 新防水株式会社 | 足立区 | TEL03(605)1855 |
| | 東洋シーラント株式会社 | 千代田区 | TEL03(252)6211代 |
| | マサル工業株式会社 | 江東区 | TEL03(643)5911代 |
| 中部 | 小野建材株式会社 | 岐阜市 | TEL0582(31)7158 |
| | 株式会社カネミ商会 | 福井市 | TEL0776(35)6868 |
| | 北陸瀝青工業株式会社 | 魚津市 | TEL0765(22)4523 |
| 関西 | 株式会社太陽エボックス | 大阪市 | TEL06(302)2492 |
| | 松村建工㈱滋賀支店 | 滋賀県 | TEL07494(6)1277 |
| | 有限会社和研防水工業 | 和歌山県 | TEL0739(43)1116代 |
| | 橋本防水工業有限会社 | 倉敷市 | TEL0864(48)7199 |
| | 株式会社岡本組 | 岡山市 | TEL0862(52)6006代 |
| | 株式会社大一防水工業 | 大阪府 | TEL0720(71)8951 |
| 九州 | 株式会社佐藤防水 | 鹿児島市 | TEL0992(54)2704 |
| | 船田工業株式会社 | 福岡市 | TEL092(566)0065代 |
| | 共進建工株式会社 | 福岡市 | TEL092(611)4131 |

■建設省東計第240号認可

## 日本アスファルト防水工業協同組合

| | | |
|---|---|---|
| 本部 | 東京都足立区千住東2－23－4 | ☎(870)5051－2 |
| 関東支部 | 東京都足立区千住東2－23－4 日新工業内 | ☎(882)2424(代表) |
| 中部支部 | 名古屋市千種区千種通り2-19(岐阜正ビル) 日新工業内 | ☎(741)6257(代表) |
| 関西支部 | 大阪市西区新町1－12－2 日新工業内 | ☎(533)3191(代表) |
| 九州支部 | 福岡市博多区博多駅前1－24－10 日新工業内 | ☎(451)1095(代表) |
| 北海道支部 | 札幌市中央区南3条西13-319(柴田ビル4F) 日新工業内 | ☎(281)6328(代表) |

製造元 日新工業株式会社

# 青年技術者のみなさまへ

## 「建築と社会」昭和60年11月号の「第32回青年技術者特集号」の応募について

日本建築協会誌「建築と社会」は毎年「青年建築家特集号」もしくは「青年技術者特集号」を企画し、すでに31回にわたって優秀な青年技術者を紹介してきました。

今回も、「青年技術者選衡委員会」を設けて、選衡の上掲載することにしております。

その選ぶ分野も、建築に携わる技術者層の多面化傾向を考慮して、設計だけに限らず、計画、構造、施工、設備およびその他広く建築に関連する分野から、優秀な青年技術者を選んでその不断の研究努力とすぐれた業績を「建築と社会」に掲載して顕彰することにしております。

ついては、下記応募規定を参照の上、ふるって応募されんことを希望します。

### 応募提出規定

1．応募される人は満35才までの青年技術者であって、本会会員に限ること。

2．原則として本会会員であるすいせん者を通じて応募のこと。すいせん者は被すいせん者（青年技術者）の勤務する組織の上司なり上長であること。すいせん者が学校教官である場合はこの限りでない。また本人が組織の代表者である場合は自せんとする。（すいせん用紙は事務局にありますので、ご請求ください）

3．応募者は、設計(住宅･インテリアを含む)、計画（都市計画など)、施工、構造、設備、その他の分野にあって、なしとげたすぐれた実績について、すいせんをうけ、下記の所要の資料を本会に期日までに提出すること。

4．提出された資料は「青年技術者選衡委員会」にかけて選衡する。

5．「青年技術者選衡委員会」において選衡されたものは「第32回青年技術者特集号」(昭和60年11月号）に記載するとともに、記念品を贈呈する。

**6．提出資料**

**(1) 略歴**

本人の氏名、生年月日、最終学歴、業歴、作品経歴など

**(2) 選衡資料**

A 資 料

(1) 建築設計の場合（住宅設計・インテリアを含む）
鮮明な写真、配置図および主要平面図、概要、設計要旨、その他設計内容を説明するに十分な資料

(ii) 計画の場合（都市・地域の計画など）
設計図、計画要旨、その他上に準じた資料

(iii) 施工、構造、設備の場合（それぞれの設計計画なども含む）
上に準じた資料

(iv) 上記以外の分野の場合（プロジェクト等の調査・企画・調整、コンサルティング、コーディネイト、プログラミング、部材・材料の開発、造園等、その他）
それぞれにふさわしい資料

B 資 料

上記A資料の各業績において、応募者本人が関与した程度、役割・立場等を明らかにし、A資料中、本人が特に貢献した部分、または力量が活かされたと思われる部分の詳細な説明、考え方および将来的展望などについて、400字詰原稿用紙8枚以内に平易簡明にまとめたもの（必要に応じ図・表を用いて差し支えない)。ただし応募者・本人の執筆に限る。

**(3) すいせんのことば**

原則として、すいせん者によるすいせんのことば(120字ていど)を添付のこと。自せんの場合は不要。

(注) 「青年技術者選衡委員会」において選衡し、採択されたものについては、後日、本人の写真、青年技術者としてのことば(青年技術者としての抱負、考え方、信念、建築観等々を､400字ていどで執筆）の提出をお願いすることにします。

**7．提出期限** 昭和60年9月2日(月) 厳守

**8．提 出 先** 日本建築協会「青年技術者選衡委員会」
大阪市北区梅田1-1-3-2100 大阪駅前第３ビル21階
〒530 電話 06－348－0635

**9．青年技術者選衡委員会（昭和60年度）**

委員長 井 上 滉（高松組取締役設計部長）
委 員 寺 本 敏 則（日建設計設計部長）
徳 岡 昌 克（徳岡昌克建築設計事務所）
森 内 盛一郎（住宅・都市整備公団関西支社副支社長）
溝 神 宏至朗（安井建築設計事務所取締役副所長）
金 多 潔（京都大学教授）
須 賀 好 富（近畿大学助教授）
池 山 壮一郎（竹中工務店設備部長）
荒 井 清（東畑建築事務所取締役設備部長）
浅 田 孝 夫（大林組建築工務部長）
藤 田 孝 吉（鹿島建設建築部次長）



入選賞牌　賞牌の原案は、サモトラケで発見された「ニケの像」をモチーフとしたものです。

主催　日本建築協会
昭和60年度・第31回

# 工高生デザインコンクール募集規定

設計課題

# 郷土資料館

**課題の主旨**

「郷土」という言葉から、人々は多くのことを連想する。中でも、生まれ育った土地のイメージが特に強い。

都会に出た若者のUターン、Jターン現象に見られる「郷土」の見直し。また、都会の真中でくり広げられる祭などにみられるコミュニティ意識の芽ばえなど。どちらも、生活を通して身近な郷土を振り返る良い機会である。

郷土意識と仲間意識の定着をはかり、郷土再発見と新たな発展のための「場」として、この課題は、多くの人々が自分たちのまちを見直すきっかけがつかめるような若者らしい提案を期待している。

**設計条件**

1．敷　地：在住地域または自分の郷里などで、2,000㎡程度の適当な敷地を想定する。形状その他は自由とする。

2．規　模：延べ面積900㎡以内。平家または2階建、構造は自由とする。

3．所要室：

| （室名） | （面積） |
|---|---|
| 常設展示室 | 400㎡程度 |
| 企画展示室 | |
| 郷土資料室 | |
| 郷土紹介コーナー | |
| 展示準備室 | 40㎡程度 |
| 収蔵庫 | 60㎡程度 |
| 荷解場 | 30㎡程度 |
| 集会室(多目的に利用) | 60㎡程度 |
| 学芸員室・事務室 | 30㎡程度 |
| 便所(男女別)・湯沸室 | 40㎡程度 |
| 空調機械室 | 40㎡程度 |

※その他、必要と思われる諸室は設けてもよい。

4．屋　外：屋外展示場(適宜)、自転車置場(20台程度)、駐車場(外来車10台程度、サービスヤード2台程度)を設け、その他、植栽計画を行う。

**所要図面**

1．配置図兼平面図：縮尺1：200、前面道路および建物周囲の状況を示し、方位を記入する。
2．立面図：縮尺1：200、2面以上。
3．断面図：縮尺1：200、1面(道路を含む)以上。
4．透視図：着色仕上げ。
5．設計説明：設計主旨および建築概要（構造・階数・面積表示など）を簡明に記入する。
6．その他：平面図、断面図には主要寸法を記入する。

**締切期日**

昭和60年9月20日㊎付の消印のあるものをもって締切る。

**入選作品の数および賞**

1．入選10案に賞状および賞牌を贈る。
2．入選案のうち、とくに優秀なものに最優秀賞を贈る。
3．応募者全員に参加賞を贈る。

**入選者発表**

審査の結果は、各学校並びに本人に通知するほか「建築と社会」誌12月号に発表し、入選作品は翌1月号に掲載する。

**応募心得**

1．図面は白色製図用紙A1判（594㎜×841㎜－多少の寸法不足は可）1枚とし、透視図のほかは必ず黒色鉛筆仕上げとすること。プリントやインキング仕上げは認めない。
なお、透視図は彩色用紙に描き、製図用紙にのりづけしてもよい。
2．図面には氏名、暗号などいかなる種類の目印をもつけてはいけない。ただし、氏名・学年・学校名および所在地を記入した紙片を封筒に入れ密封し、図面の裏面に貼りつけること。（共同作品の応募者名は代表者に丸印をつけること）。
3．応募案は学校を通じて提出すること。
4．応募案は希望者には返送する。但し、入選案は主催者にて保管する。
5．入選案の版権は本会に属する。

**送付先**

郵便番号　530 大阪市北区梅田1丁目1番3-2100 大阪駅前第3ビル21階
社団法人　日本建築協会　第31回　工高生デザインコンクール係
TEL．06—348—0633

**審査員**（50音順）

委員長　高口恭行／奈良女子大学家政学部住居学科助教授

委員
赤崎弘平／大阪市立大学工学部建築学科助手
大石義一／京都芸術短期大学建築デザインコース助教授
大泉研二／㈱日建設計大阪本社設計主管
奥俊信／大阪大学工学部建築工学科助手
加藤力／京都工芸繊維大学工芸学部住環境学科助教授
狩野忠正／㈱竹中工務店大阪本店設計部副部長
芝山昭／㈱藤木工務店大阪本店営業部設計担当次長
谷浩輔／㈱東畑建築事務所設計部設計課長
原田勲／大成建設㈱大阪支店建築部設計室課長
松林祐爾／㈱坂倉建築研究所大阪事務所
松山新／㈱安井建築設計事務所設計部専門部長
三谷幸司／㈱大林組本店建築設計第二部設計課長
宮崎八郎／宮崎建築設計事務所所長
森本正一／㈱浦辺建築事務所取締役



このコンクールは、工業高等学校建築科生徒の設計技能の向上奨励のため、昭和30年より毎年テーマを変えて開催しています。

## ◀昭和59年度決算報告

### 貸借対照表

昭和60年3月31日現在

(単位：円)

| 科目 | 金額 | 科目 | 金額 |
|---|---|---|---|
| (資産の部) | | (負債の部) | |
| **流動資産** | **33,031,404** | **流動負債** | **27,324,428** |
| 現金 | 44,310 | 未払金 | 8,115,700 |
| 普通預金 | 12,314,204 | 前受金 | 18,282,900 |
| 郵便振替 | 2,481,660 | その他 | 925,828 |
| 未収金 | 15,511,840 | **固定負債** | **62,530,103** |
| その他 | 2,679,390 | 長期借入金 | 31,800,000 |
| **固定資産** | **251,886,180** | 退職給与引当金 | 30,730,103 |
| 土地 | 59,800,000 | **基本金** | **263,401,881** |
| 建物 | 191,120,000 | 基本金 | 9,247,176 |
| 什器 | 966,180 | 基金 | 3,234,705 |
| **投資** | **74,283,113** | 会館基金 | 250,920,000 |
| 有価証券 | 16,880 | **剰余金** | **5,944,285** |
| 金銭信託 | 2,586,130 | 前期繰越剰余金 | 5,101,220 |
| 定期預金 | 1,000,000 | 当期剰余金 | 843,065 |
| 中期国債ファンド | 15,055,191 | | |
| 退職給与積立預金 | 18,874,912 | | |
| 借入金返済積立預金 | 36,750,000 | | |
| 合計 | 359,200,697 | 合計 | 359,200,697 |

有形固定資産の償却費累計額234,780円

### 財産目録

昭和60年3月31日現在

| (資産の部) | | |
|---|---|---|
| **流動資産** | | **33,031,404** |
| 1．現金、預金 | | |
| (1)現金 (手許有高) | **44,310** | |
| (2)普通預金 | **12,314,204** | |
| 三和銀行 瓦町支店 | 2,788,286 | |
| 大和銀行 北浜支店 | 1,709,192 | |
| 住友銀行 高麗橋支店 | 5,170,001 | |
| 中央信託銀行 梅田支店 | 2,646,725 | |
| (3)郵便振替(大阪1－39975) | **2,481,660** | |
| 2．未収金 | **15,511,840** | |
| 会誌収入 | 11,509,240 | |
| 集会収入 | 122,000 | |
| 講演講習会収入 | 30,000 | |
| 個人正会員会費収入 | 3,064,050 | |
| 地方会員会費収入 | 102,000 | |
| 団体正会員会費収入 | 580,000 | |
| 建築技術選書収入 | 64,550 | |
| 事業収入雑 | 40,000 | |
| 3．前払費用 | **577,390** | |
| 会誌発行費 | 506,900 | |
| 集金費 | 70,490 | |
| 4．仮払金(郵券代) | **2,102,000** | |
| **固定資産** | | **251,886,180** |
| (1)土地 | 大阪市北区梅田 | 59,800,000 |
| (2)建物 | 1－1－3－2100 | 191,120,000 |
| (3)什器 | 大阪駅前第3ビル21階 | 966,180 |
| **投資** | | **74,283,113** |
| (1)有価証券 | | 16,880 |
| (2)金銭信託(中央信託銀行 梅田支店) | | 2,586,130 |
| (3)定期預金(大和銀行 北浜支店) | | 1,000,000 |
| (4)中期国債ファンド(2口) | | 15,055,191 |
| 7,000,000 | | |
| 8,055,191 | | |
| (5)退職給与積立預金(定期) 住友銀行高麗橋支店 | | 18,874,912 |
| (6)借入金返済積立預金(定期) 三和銀行瓦町支店 | | 36,750,000 |
| 資産合計 | | 359,200,697 |

| (負債の部) | | |
|---|---|---|
| **流動負債** | | **27,324,428** |
| 1．未払金 | **8,115,700** | |
| (1)会誌発行費 | 7,340,460 | |
| (2)建築技術選書諸費 | 144,960 | |
| 〃 | 124,720 | |
| (3)印刷製本費 | 126,000 | |
| (4)助成金支出 | 379,560 | |
| 2．前受金 | **18,282,900** | |
| (1)個人正会員会費収入 | 5,384,600 | |
| (2)地方会員会費収入 | 678,300 | |
| (3)団体正会員会費収入 | 10,440,000 | |
| (4)会誌収入 | 1,580,000 | |
| (5)寄付金収入 | 200,000 | |
| 3．仮受金 | **925,828** | |
| 3月分給与税金 | 138,470 | |
| 〃 204条該当分 | 80,741 | |
| 建築クラブ会費 | 108,000 | |
| 本代 | 500 | |
| 新幹線切符代 | 396,900 | |
| 給料ほか預り | 201,217 | |
| **固定負債** | | **62,530,103** |
| 1．借入金 | 31,800,000 | |
| 2．退職給与引当金 | 30,730,103 | |
| 負債合計 | | 89,854,531 |
| 純財産 | | 269,346,166 |
| 負債及び純財産合計 | | 359,200,697 |

## ◀会員の受賞

このたび、下記会員諸氏は建築界に尽された功績により表彰を受けられましたので、ここに誌してその栄誉をお慶び申し上げます。

(敬称略)

記

**建設大臣表彰**

桑田 正造(桑田硝子社長)
富松 助六(富松建築設計事務所長)
原田孝太郎(原田セメント化工社長)
伴 一郎(西原衛生工業所大阪店社長)
久田 良吉(東洋建築設計事務所会長)
桝谷 博行(桝谷設計社長)
三谷 忠義(三谷設計社長)
森本 光男(森本組社長)

**兵庫県知事表彰**

長谷川哲之助(兵庫県建築士会会長・曽根組顧問)

## ◀通常総会決議報告

昭和60年6月26日開催の通常総会におきまして、下記議案がそれぞれ原案のとおり承認されましたので、ここに会告いたします。

記

昭和59年度 事業報告並びに決算報告 (本号掲載)
昭和60年度 事業計画並びに収支予算 (4月号会告済)

# 収　支　内　訳　表

昭和60年3月31日現在

収入の部

（単位：円）

| 大科目 | 中科目 | 予算額 | 決算額 | 増△減 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 事業収入 | | **57,040,000** | **64,523,056** | **7,483,056** | |
| | 会誌収入 | 46,000,000 | 53,543,065 | 7,543,065 | |
| | 契約約款売上収入 | 2,500,000 | 1,940,180 | △ 559,820 | |
| | 建築技術選書収入 | 2,800,000 | 3,077,662 | 277,662 | |
| | 集会収入 | 1,500,000 | 1,618,840 | 118,840 | |
| | 講演講習会収入 | 2,000,000 | 2,351,100 | 351,100 | |
| | 広報収入 | 1,000,000 | 0 | △ 1,000,000 | |
| | 雑入 | 1,240,000 | 1,992,209 | 752,209 | |
| 会費収入 | | **63,656,000** | **61,970,598** | **△ 1,685,402** | |
| | 個人正会員(本・支部) | 30,780,000 | 28,433,900 | △ 2,346,100 | |
| | 個人正会員(地方) | 2,040,000 | 1,915,600 | △ 124,400 | |
| | 団体正会員 | 30,800,000 | 31,587,498 | 787,498 | |
| | 準会員 | 36,000 | 33,600 | △ 2,400 | |
| 寄付金収入 | 寄付金収入 | **700,000** | **700,000** | **0** | |
| 積立預金取崩収入 | 借入金返済積立預金取崩収入 | **3,000,000** | **3,000,000** | **0** | |
| 雑収入 | 雑収入 | **2,000,000** | **4,912,198** | **2,912,198** | |
| 収入合計 | | **126,396,000** | **135,105,852** | **8,709,852** | |

支出の部

| 大科目 | 費目 | 予算額 | 決算額 | 増△減 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 管理費 | | **65,540,000** | **65,010,275** | **△ 529,725** | |
| | 給与・手当 | 42,200,000 | 42,163,625 | △ 36,375 | |
| | 退職金 | 1,000,000 | 0 | △ 1,000,000 | |
| | 退職給与引当金繰入額 | 3,000,000 | 4,751,651 | 1,751,651 | |
| | 福利・厚生費 | 4,700,000 | 4,255,936 | △ 444,064 | |
| | 会議費 | 2,000,000 | 1,847,645 | △ 152,355 | |
| | 旅費交通費 | 1,900,000 | 1,610,770 | △ 289,230 | |
| | 通信運搬費 | 1,200,000 | 1,109,910 | △ 90,090 | |
| | 集金費 | 1,700,000 | 1,303,600 | △ 396,400 | |
| | 消耗品費 | 360,000 | 245,921 | △ 114,079 | |
| | 修繕費 | 100,000 | 35,000 | △ 65,000 | |
| | 印刷製本費 | 360,000 | 372,900 | 12,900 | |
| | 光熱水料費 | 420,000 | 358,366 | △ 61,634 | |
| | 火災保険料 | 50,000 | 18,700 | △ 31,300 | |
| | 租税公課 | 200,000 | 99,400 | △ 100,600 | |
| | 清掃費 | 250,000 | 120,000 | △ 130,000 | |
| | 借入金利息 | 1,500,000 | 1,392,000 | △ 108,000 | |
| | 雑費 | 600,000 | 1,492,747 | 892,747 | |
| | 管理費 | 4,000,000 | 3,832,104 | △ 167,896 | |
| 事業費 | | **56,800,000** | **65,458,012** | **8,658,012** | |
| | 会誌発行費 | 44,000,000 | 51,533,923 | 7,533,923 | |
| | 契約約款費 | 1,500,000 | 1,247,370 | △ 252,630 | |
| | 建築技術選書諸費 | 2,100,000 | 2,676,244 | 576,244 | |
| | 集会費 | 2,300,000 | 2,691,721 | 391,721 | |
| | 講演講習会費 | 1,500,000 | 1,995,329 | 495,329 | |
| | 広報事業費 | 1,000,000 | 0 | △ 1,000,000 | |
| | 教育振興費 | 1,200,000 | 1,089,055 | △ 110,945 | |
| | 助成金支出 | 1,700,000 | 1,765,970 | 65,970 | |
| | 雑費 | 1,500,000 | 2,458,400 | 958,400 | |
| 基金繰入額 | 基金繰入額 | **700,000** | **700,000** | **0** | |
| 借入金返済支出 | 借入金返済支出 | **3,000,000** | **3,000,000** | **0** | |
| 減価償却費 | 減価償却費 | **0** | **94,500** | **94,500** | |
| 予備費 | 予備費 | **356,000** | **0** | **△ 356,000** | |
| 支出合計 | | **126,396,000** | **134,262,787** | **7,866,787** | |

差引剰余金　843,065

前期繰越剰余金　5,101,220

5,944,285……次期繰越剰余金

## 1．総　　会

**(イ) 通常総会**

6月20日　5時～5時半　於本会会議室

出席者　福田会長ほか16名

議事(1)昭和58年度事業報告承認の件

(2)昭和58年度決算報告承認の件

(3)昭和59年度事業計画承認の件

(4)昭和59年度収支予算承認の件

**(ロ) 通常総会**

2月27日　5時～5時20分　於本会会議室

出席者　佐野会長ほか23名

議事(1)監事1名選挙の件

(2)本部所属評議員19名選挙の件

(3)役員重任承認の件

## 2．評　議　員　会

**(イ) 定時評議員会**

6月20日　4時15分～4時55分　於本会会議室

出席者　荒木副議長ほか38名（委任状共）

議事(1)理事2名補選の件

(2)昭和58年度事業報告承認の件

(3)昭和58年度決算報告承認の件

**(ロ) 定時評議員会**

11月1日　4時～4時20分　於本会会議室

出席者　高橋議長ほか42名（委任状共）

議事(1)会長選任の件

(2)副会長1名補選の件

(3)昭和60年度評議員選出数決定の件

**(ハ) 定時評議員会**

3月27日　5時～5時40分　於本会会議室

出席者　西村副議長ほか38名

議事(1)評議員会議長、副議長互選の件

(2)副会長2名、理事21名選任の件

(3)役員重任承認の件

(4)昭和60年度事業計画承認の件

(5)昭和60年度収支予算承認の件

## 3．理　　事　　会

| | |
|---|---|
| (1)正副会長会 | 4回 |
| (2)定例理事会 | 6回 |
| (3)常任理事会 | 5回 |
| (4)編集理事会 | 1回 |
| (5)会勢理事会 | 1回 |
| (6)臨時理事会 | 1回 |

## 4．常　設　委　員　会

| | 委員会 | 幹事会・小委員会<br>分科会・打合会等 |
|---|---|---|
| (1)編集委員会 | 11回 | 100回 |
| | 副委員長・幹事会議 | 1回 |
| | 座談会7回・インタビュー | 10回 |
| (2)事業委員会 | 7回 | 45回 |
| (3)建材委員会 | 11回 | 5回 |
| (4)教育委員会 | 2回 | 8回 |
| (5)出版委員会 | 9回 | 8回 |

## 5．講　　習　　会

**建築工事実務講習会（神戸）**

9月11日　9時～17時　於神戸市立中小企業会館

科目・講師

●施工計画

㈱大林組本店建築工務部次長　金田　　宏氏

●仮設見積

㈱大林組本店建築工務部工務課長

安立　俊夫氏

●積算業務

㈱竹中工務店大阪本店見積課長

黒川征一郎氏

聴講者　59名

共催　(社)兵庫県建築士会

**建築工事実務講習会（大阪）**

11月13日　9時～17時　於建設交流館

科目・講師

●施工計画

㈱大林組本店建築工務部次長　金田　　宏氏

●仮設見積

㈱大林組本店建築工務部工務課長

安立　俊夫氏

●積算業務

㈱竹中工務店大阪本店見積課長

黒川征一郎氏

聴講者　68名

**建築工事実務講習会（広島）**

2月26日　9時～17時　於広島市、中特会館

科目・講師

●施工計画

㈱大林組広島支店工務部工務課長

古荘　昭憲氏

●仮設見積

㈱大林組本店建築工務部工務課長

安立　俊夫氏

●積算業務

㈱竹中工務店大阪本店見積課長

黒川征一郎氏

聴講者　114名

共催　(社)広島県建築士会

(社)広島県建設工業協会

## 6．建築技術選書講座

**「すまいの語録」**

12月11日　2時～4時　於大阪住宅展示場

講師　東京工業大学教授　茶谷正洋氏

聴講者　40名

共催　(財)大阪住宅センター

## 7．コ　ン　ク　ー　ル

**第30回工高生デザインコンクール**

設計課題　「街並みを考えた住宅」

応募数　18校・91点（募集締切　9月20日）

審査会　10月13日・表彰式　11月23日

審査委員長　小角　亨氏

(㈱日建設計大阪本社設計部長)

入選作　10点（内最優秀作1点）

## 8．会誌「建築と社会」(特集号)

4月号　建設産業とロボット開発

5月号　住環境と法制度

6月号　まちの活性化と商業空間

京都駅南口再開発ビル(アバンティ)

7月号　消防設備のポイント

8月号　みどりとそれをとりまく人々

9月号　高齢化社会と生活空間

10月号　床の構工法

11月号　第31回青年技術者

ディテールの思想

12月号　光応用システムと建築

1月号　大阪湾物語

2月号　東海の現在と近未来

3月号　自由様式への道・安井武雄

建築物の基礎を考える

## 9．出　　版

**創立60周年記念事業「建築技術選書」姉妹篇**

**〈プロのノウハウ〉シリーズ**

企画　日本建築協会

編集発行　学芸出版社

体裁　四六判2色刷イラスト入

定価　1,600～1,800円

●TQCから見た建設業

●建物の値打ちの高め方

●躯体工事監理のチェックポイント100

●パソコン会計術

## 10．若い会員の集い

**オーク・ヴィレッジの人びとを囲んで**

**……飛騨、高山の工芸家集団・その夢とロマン…**

6月18日　6時～9時15分　於本会ラウンジ

参加者　46名（スライド映写）

講　師　オーク・ヴィレッジ代表／稲本正氏・

佃正寿氏

**神戸・ポートアイランドを見る(第2回)**

**ポートピア'81、その後**

7月7日　1時半～5時半　於神戸

参加者　75名

●講演「ポートアイランド計画の経緯と進捗状況」

神戸市(児島雄次氏・田中直人氏・西村幸一氏)

●仮称「ワールド記念ホール」見学と説明

昭和設計(三宗司郎氏)・竹中工務店(山崎義広氏)

●「ワールドビル」一部見学と説明

竹中工務店（秦力氏・門川清行氏）

●「シャルレビル」一部見学と説明

竹中工務店（山本裕行氏・平井一嘉氏）

**都市住宅を考える（第9回）**

**「建築不自由」の現在……五十嵐敬喜氏にきく**

10月17日　6時半～9時

於大阪府立労働センター

参加者　53名

**「吉田保夫の世界」大阪展**

10月27日～11月2日　於本会ラウンジ

入場者　延べ約150名

**吉田保夫氏講演会「住いにおける空気……」**
10月27日　6時半～9時半　於本会ラウンジ
参加者　54名
**みどり学習会（第11回）**
**滋賀の秋……県立近代美術館・住友活機園・NEG大津工場を見る**
11月10日　9時～18時半（貸切バス）
講　師　伊藤邦衛氏
（株式会社伊藤造園設計事務所）
本城博一氏（滋賀県審議員・文化担当）
参加者　44名
※他に滋賀県立近代美術館から地元の建築設計家協会及び吉田造園の関係者約40名が参加した。

## 11. 見　学　会

**逸翁美術館、池田文庫の茶室と茶道具を見る**
6月9日　1時～5時　於池田市
参加者　54名
講　師　岡田孝男氏
（工学博士・帝塚山学院大学教授）
**竹中大工道具館を訪ねる**
6月20日　2時～4時　於神戸市
参加者　28名
説明者　嘉来国夫氏（竹中大工道具館副館長）
**大ビル・全日空ホテル（仮称）**
**堂島大阪ビルヂング新築工事の見学**
（大阪府建築士会・大阪建築設計監理協会・大阪建築士事務所協会との共催）
9月12日　1時半～4時　於大阪市北区堂島浜
参加者　34名（本会のみ）
建築概要
建　築　主　大阪建物株式会社
設計監理　㈱日建設計
（インテリア設計：日建設計、T.トムソン）
施　　工　㈱大林組・大成建設㈱・㈱鴻池組共同企業体
**大和路に新建築と建材工場を訪ねる**
**（天理市新庁舎、大和郡山城城郭復原工事の見学と東洋シヤッター、住江織物の奈良工場を見る）**
（大阪建築士事務所協会と共催）
9月22日　8時50分～18時
於奈良県天理市・大和郡山、磯城郡・生駒郡
参加者　51名
天理市新庁舎建築概要
建　築　主　天理市
基本設計　建設省近畿地方建設局営繕部
実施設計　㈱東畑建築事務所
工事監理　天理市市長公室庁舎建設事務所
㈱東畑建築事務所
施　　工　村本建設㈱
**大阪市庁舎新築工事（第2期）見学会（その1）**
（大阪府建築士会・大阪建築設計監理協会・大阪建築士事務所協会との共催）
9月27日　1時半～4時　於大阪市北区中之島
参加者　25名
建築概要（大阪市庁舎新築工事・第2期）
建　築　主　大阪市
設計監理　大阪市都市整備局市庁舎建設事務所、㈱日建設計
施工（建築）　㈱竹中工務店、㈱錢高組共同企業体
**第2回茶室見学会**
**錦秋の出雲路に名席・名勝とニチラスの本社工場を訪ねる**
10月19日・20日（1泊2日）全行程貸切バス利用
講　師　岡田孝男氏（工学博士・帝塚山学院大学教授）
参加者　19名
主な見学先　菅田庵・明々庵・古門堂・松江城小泉八雲旧居・八重垣神社・神魂神社・日本フェラス工業㈱本社工場
**〈ツイン21〉新築工事中を見る**
12月12日　1時～5時　於東区城見町
参加者　52名
建　築　主　松下興産株式会社
設計監理　株式会社日建設計
施　　工　A工区　鹿島建設株式会社・株式会社竹中工務店・株式会社熊谷組共同企業体
B工区　大成建設株式会社・株式会社奥村組・株式会社鴻池組清水建設株式会社共同企業体
C工区　西松建設株式会社
階　　数　地下1階、地上38階、塔屋1階
**吹田市文化会館（メイシアター）新築工事の見学**
2月23日　2時～4時　於吹田市文化会館
参加者　49名
吹田市文化会館の概要
所 在 地　吹田市泉町2－24－1
設計監理　吹田市教育委員会文化会館建設事務所・㈱東畑建築事務所
施　　工　竹中・前田・紙谷建設工事共同企業体

## 12. 午餐会・懇親会

**在阪建築8団体会長午餐会**
6月19日　0時～2時　於大阪ガスビル8階
出席者　各会正副会長、支部長、事務局併せて29名
3月11日　0時～2時　於大阪ガスビル
出席者　各会正副会長、支部長、事務局併せて31名
**建築関係団体合同忘年懇親会**
12月14日　於太閤園ダイヤモンドルーム
出席者　300名
**建築8団体合同新年交礼会**
1月4日　於大阪コクサイホテル
出席者　526名

## 13. 大阪府建築部長歓送迎会

5月2日　0時～1時半　於日本綿業倶楽部
今西前部長に対する謝恩送別と、米田新部長、大橋技監、岡村次長歓迎のため、友好8団体役員有志90名が参集してなごやかに歓談した。

## 14. 福田朝生氏追悼会

11月17日　2～3時　於大阪グランドホテル
福田朝生氏は、会長在任中の10月18日、病のため急逝されたので、本会役員及び会員、並びに友好団体代表など、故人を偲ぶ250名の方々が参列して、厳かに追悼会を行った。

## 15. 会　計　監　査

5月14日・15日の両日
昭和監査法人公認会計士松下五夫氏によって、昭和58年度の会計監査実施。
12月13日　11時～2時　於本会会議室
建設省住宅局建築指導課・根岸武、高橋徹両氏により、本会の業務及び財産状況についての定期検査を受けた。

## 16. 本会が入会している団体

大阪商工会議所
大阪市街地再開発促進協議会
関西経済連合会
建築行政協会大阪市支部
建設関係公益法人協議会（建設省所管の社団財団）
建築国際連絡協議会　5団体　事務局；学会
建築関係団体連絡会　80団体　〃　建築センター
建築業務基準委員会　16団体　〃　士会
建築防災関係法令研究連絡会
7団体　事務局；家協会
四会連合工事請負契約約款委員会
大阪府社会保険協会
大阪市東区納税協会
大阪市防火管理協会

## 17. 本会より役員、委員を送っている団体

| | |
|---|---|
| 大阪商工会議所 | 2号議員 |
| 大阪市街地再開発促進協議会 | 理　事 |
| 日本建築総合試験所 | 理　事 |
| 日本建築センター | 評議員 |
| 大阪建築防災センター | 理　事 |
| 大阪住宅センター | 理　事 |
| 建築業務基準委員会 | 委　員 |
| 建築防災関係法令研究連絡会 | 委　員 |

## 18. 建　築　ク　ラ　ブ

会員有志の組織する建築クラブでは毎月大阪グランドホテルにおいて講師を招き朝食会を行うほか、1月には新年宴会（晩餐）を開催して相互の親睦をはかっている。

## 19. ゴ　ル　フ　同　好　会

会員のゴルフ同好者をもって組織し、年間5回の定例競技会を開催して、ゴルフを通じて会員相互の親睦、研究を図っている。

# 暑中お見舞申し上げます

昭和60年盛夏　(50音順)

## 青山幸夫

株式会社 青山建築積算事務所 代表取締役
〒550 大阪市西区京町堀1-10-19江南ビル 電話06(443)0430
〒610-11 自宅・京都市西京区大原野上里勝山町14-6
電話075(331)8682

## 井上秋次

井上窯業株式会社 代表取締役
〒543 大阪市天王寺区生玉町11番28号 電話06(771)2825代
〒659 自宅・芦屋市川西町4番23号 電話0798(22)5930

## 礒岩武

大機建材工業株式会社 代表取締役
〒666 兵庫県川西市久代6丁目1番16号 電話0727(70)8563
〒665 自宅・宝塚市中山台2丁目18番9号
電話0797(88)3698

## 浅井泰

株式会社 笠谷工務店 専務取締役
〒659 芦屋市業平町4－1 電話0797(22)0703
〒659 自宅・芦屋市翠ヶ丘町13－5 電話0797(22)5291

## 飯田精次郎

共同設計株式会社 代表取締役
〒530 大阪市北区西天満5丁目10番14号 電話06(364)5836
〒560 自宅・豊中市本町2丁目2番24号 電話06(852)5775

## 市川繁雄

日本管工業株式会社 取締役社長
〒601 京都市南区西九条豊田町20 電話075(681)5101～6
〒606 自宅・京都市左京区下鴨芝本町37 電話075(781)0289

## 浅野真澄

株式会社 浅野建築設計事務所 代表取締役
〒543 大阪市天王寺区城南寺町5－35 電話06(768)0201代
〒572 自宅・寝屋川市成田西町4－21 電話0720(31)1750

## 生島道春

社団法人 日本建築積算協会関西支部 支部長
〒542 大阪市南区鰻谷中之町62番地 市川ビル2F
電話06(245)6645

## 市川宏

株式会社 東畑建築事務所 取締役社長
〒541 大阪市東区伏見町5－19 電話06(202)0391
〒658 自宅・神戸市東灘区住吉山手4丁目4－32
電話078(811)0216

## 淺沼茂夫

株式会社 淺沼組 取締役社長
〒543 大阪市天王寺区東高津町12番6号 電話06(768)5222
〒168 自宅・東京都杉並区下高井戸3丁目17番1号
電話03(302)1922


つくばセンタービル　6点

## 指宿真智雄

株式会社 建築デザイン1級建築士事務所 代表者
〒564 吹田市江坂町1丁目23番101号 大同生命ビル
電話06(386)1311代
〒606 京都市左京区下鴨北野々神町8－5 電話075(781)6573

## 淺沼誠夫

株式会社 淺沼組 取締役副社長
〒543 大阪市天王寺区東高津町12番6号 電話06(768)5222
〒630-02 自宅・奈良県生駒市東松ヶ丘7番30号
電話07437(4)5556

## 今井忠臣

イマキ建設工業株式会社 代表取締役
〒547 大阪市平野区加美北5丁目11番12号 電話06(792)4425
〒547 大阪市平野区平野北2－9－15 電話06(792)4404

## 代表取締役会長 浅海正雄
## 代表取締役社長 森川禮次郎

浅海電気株式会社
〒530 大阪市北区西天満3丁目7番4号 電話06(362)8701
〒665 自宅・宝塚市御殿山2丁目31番50—109号
電話0797(85)0745
〒565 自宅・豊中市新千里北町2丁目32番3号
電話06(831)2732

## 諫早信夫

フドウ建研株式会社 相談役
〒110 東京都台東区台東1－2－1 日本地所第二ビル
電話03(835)2661
〒541 大阪市東区平野町5－30 不動ビル 電話06(201)3737
〒157 東京都世田谷区南烏山2－18－4 電話03(300)3705

## 今西茂雄

株式会社 今西建築デザインルーム 代表取締役
〒550 大阪市西区南堀江1丁目22番17号電話06(541)3051～3

## 安部恒夫

安部建設株式会社 取締役社長
〒559 大阪市住之江区西住之江2丁目7番5号 電話06(678)3212～4
〒559 自宅・大阪市住之江区西住之江2丁目7番5号
電話06(671)7774

## 泉沢哲史

株式会社 泉沢建築設計事務所 代表取締役
〒530 大阪市北区神山町14番3号 木津信ビル
電話06(364)9071代

## 取締役会長 今村騰
## 取締役社長 石田一雄

中央電気工業株式会社
〒530 大阪市北区太融寺町3番24号
電話06(312)8881代表

# 暑中お見舞申し上げます

昭和60年盛夏　(50音順)

## 今村祐三郎

社団法人　大阪建設業協会　専務理事
事務局長

〒540 大阪市東区京橋3丁目70　電話06(941)4821

## 岩崎弘
専務取締役

## 寺西禮一
常務取締役所長

株式会社　教育施設研究所　大阪事務所

〒550 大阪市西区立売堀1丁目13番1号　電話 06(531)0913
大信ビル　電話 06(541)7301
〒630 自宅・奈良市法蓮立花町1046-2　電話0742(22)2217
〒661 自宅・尼崎市常吉字赤田9の5　電話 06(431)2101

## 上西圭治

株式会社　大気社　代表取締役会長

〒530 大阪市北区中之島3－2－18 住友中之島ビル7階
電話06(448)5851
〒659 自宅・兵庫県芦屋市浜町12—14　電話0797(22)5949

## 植野寿雄

株式会社　寿建築積算事務所　所長

〒542 大阪市南区東清水町48つるのすビル　電話06(244)1561
〒588 自宅・堺市大美野5－9　電話0722(37)1162

## 尾亀清四郎

株式会社　三晃空調　取締役会長

〒530 大阪市北区西天満3丁目13番20号　電話 06(363)1371
〒573 自宅・枚方市岡山手町15－4　電話0720(41)3427

## 多井幸男

多井建築研究所　所長

〒541 大阪市東区今橋1丁目1番地　1番館ビル
電話06(226)0008
〒657 自宅・神戸市灘区曽和町3丁目1—11
電話078(821)6133

## 大井弘治郎

株式会社 大井建築設計事務所 代表取締役

〒550 大阪市西区京町堀1丁目10－8　福岡ビル
電話06(444)4521～2
〒562 自宅・箕面市百楽荘4丁目4—11 電話0727(21)4113

## 大槻國秋

日本電設工業株式会社 大阪支店　常務取締役支店長

〒531 大阪市大淀区豊崎3丁目17—15　電話06(372)3531
〒658 神戸市東灘区西岡本6—5—23　電話078(411)1673

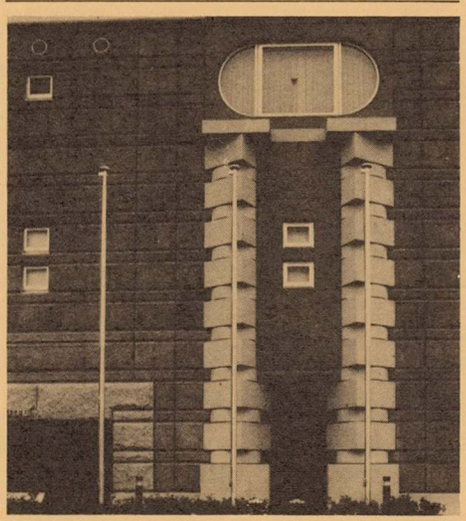
## 大西孝夫

株式会社　日建設計　常務取締役
大阪本社代表

〒541 大阪市東区横堀2丁目38番地　電話06(203)2361

## 岡橋作太郎

〒659 自宅・芦屋市春日町3－3　電話0797(22)4500



## 岡本行善

株式会社　昭和設計　代表取締役社長

〒550 大阪市西区新町1丁目5番7号　四ツ橋ビル
電話06(532)3421代
〒659 自宅・芦屋市岩園町35—7　電話0797(31)3201

## 奥村紘行

奥村重兵衛株式会社　取締役社長

〒530 大阪市北区西天満5丁目3番7号　電話06(312)4131代
〒620 自宅・西宮市南郷町14番34号　電話0798(71)0011

## 加藤忠三郎

株式会社　平田タイル　代表取締役会長

〒550 大阪市西区阿波座1丁目1番10号
電話06(532)1231代
〒601 自宅・京都市南区東九条北烏丸町24電話075(691)1334

## 数井利美

株式会社　西村建築事務所　取締役社長

〒652 神戸市兵庫区荒田町2丁目1-8 楠六パレスビル
電話078(521)0205～0207
〒654 自宅・神戸市須磨区白川台2丁目39—13
電話078(792)5862

## 亀井晃治

一級建築士事務所
株式会社 A.R.I.(あり)建築事務所　代表取締役

〒542 本社事務所・大阪市南区谷町7丁目3番4-203
新谷町第3ビル2F
電話06(768)1771代
〒631 自宅・奈良市中町1番地の479　電話0742(43)1226

## 亀田六夫

株式会社 増島製作所 大阪営業所　取締役
所長

〒530 大阪市北区西天満3丁目13番18号 島根ビル
電話06(364)1951
〒560 自宅・豊中市刀根山元町8—12　電話06(855)5356

## 鎌谷秀男

修成建設専門学校　理事長

〒555 大阪市西淀川区大和田5丁目19-30 電話06(474)1644
〒665 自宅・宝塚市千種3丁目8番23号 電話0797(72)1380

## 柄谷順一郎

株式会社　柄谷工務店　取締役社長

〒660 尼崎市玄番南之町4　電話 06(411)1451
〒663 自宅・西宮市甲子園浦風町9—14　電話0798(41)0700

## 川岸繁夫

株式会社　川岸窯業商店　代表取締役会長

〒550 大阪市西区西本町1丁目13—33　電話06(532)0461代
〒563 自宅・池田市天神1丁目10—10　電話 0727(61)8598

# 暑中お見舞申し上げます

昭和60年盛夏　（50音順）

## 川崎敬三

株式会社　近畿建設　取締役社長

〒550 大阪市西区江之子島1丁目2番2号 電話06(448)5601代
〒556 自宅・大阪市浪速区難波中3丁目9番3-407 電話06(632)7369

## 川瀬甲子雄

扶桑管工業株式会社　代表取締役

〒616 京都市右京区太秦和泉式部町12番地　電話075(861)1157
大阪支店 電話06(353)0222　東京支店 電話03(263)0501
〒565 自宅・吹田市津雲台6－7－2　電話06(834)1734

## 川出盛也

高砂熱学工業株式会社大阪支店　常務取締役 大阪支店長

〒530 大阪市北区芝田1丁目4番8号北阪急ビル
電話06(372)8411

## 河井覚弘

株式会社 河井建築事務所　取締役所長

〒631 奈良市登美ケ丘4丁目8－10
電話0742(45)4378・(43)7507
〒631 奈良市登美ケ丘4丁目8－11　電話0742(44)8100

## 河裾和夫

蛍光産業株式会社　代表取締役

〒531 大阪市大淀区本庄西3丁目9番20号
電話06(371)5146代

## 木下國男

内外パーキング施設株式会社　取締役社長

〒550 大阪市西区京町堀1丁目8番5号 明星ビル
電話06(441)0477代
〒665 自宅・宝塚市逆瀬台6丁目15番11号 電話0797(73)3228

## 汲川圭司

社団法人　全国鐵構工業連合会顧問
大阪鉄構建設業協同組合理事長
大阪鉄構建設業協同組合
〒543 大阪市天王寺区生玉前町1番21号 小山ビル　電話06(772)0182
連合会事務所
〒103 東京都中央区京橋2丁目10番2号　第2ぬり彦ビル9F
電話03(564)3711代

## 小北博一

株式会社 ジャス　代表取締役

〒565 大阪府吹田市古江台6丁目3番1号 健康の森
電話06(833)6611代
〒565 自宅・豊中市新千里北町1－1　C5－209
電話06(872)6461

## 小阪永一

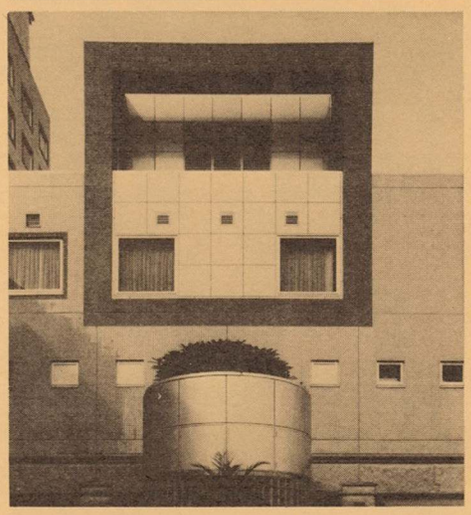
大信印刷株式会社　代表取締役

〒531 大阪市大淀区大淀中4丁目13－11　電話06(451)7631
〒553 大阪市福島区福島6丁目20－10　電話06(451)5346

## 小島勝巳

有限会社 小島勝巳建築事務所　代表取締役

〒541 大阪事務所・大阪市東区南本町4丁目41番地
イヨビル8階　電話06(252)8088代
〒103 東京事務所・東京都中央区日本橋本町4丁目14番地
山本ビル7階　電話03(661)0768代
〒166 自宅・東京都杉並区成田西1丁目16－17
電話03(315)5435



## 小西岬

取締役会長

## 橋本正章

取締役社長

株式会社　小西設計

〒550 大阪市西区立売堀1丁目12－16　電話06(532)4051

## 小林清

株式会社 新住宅社　代表取締役

〒530 大阪市北区中之島4丁目3番25号　電話06(443)6641代
ファックス06(443)6642
〒545 自宅・大阪市阿倍野区北畠3丁目1番7号
電話06(654)0584

## 小林四郎

取締役会長

## 代谷正元

取締役社長

住友電設株式会社

〒553 大阪市福島区福島7丁目22番8号 電話06(452)1151大代
〒662 自宅・西宮市西平町19－11　電話0798(74)6621
〒665 自宅・宝塚市仁川北3－13－20　電話0798(52)5971

## 小林得志

株式会社 小林得志建築事務所 代表取締役所長

〒530 大阪市北区堂島2-4-17 藤田ビル 電話06(341)5658代
〒662 自宅・西宮市丸橋町6－16 電話0798(66)2394

## 河内義就

取締役会長

## 河内國利

代表取締役

有限会社 河内義就設計事務所

〒730 広島市中区八丁堀6番7号 チュリス八丁堀503
電話082(228)2271

## 鴻池藤一

株式会社 鴻池組　代表取締役会長

〒541 大阪市東区北久宝寺町4丁目27番地
ダイヤルイン電話06(244)3500(受付台)
〒603 自宅・京都市北区平野鳥居前町86 電話075(461)1526

## 佐々木森一

株式会社 佐々木建築事務所　代表取締役

〒550 大阪市西区京町堀1－3－22　電話06(443)0675
〒617 京都府向日市上植野浄徳11－19　電話075(921)0728

## 佐藤康

大鉄工業株式会社　取締役社長

〒532 大阪市淀川区宮原4丁目4番44号
電話06(394)1281大代表
〒562 箕面市箕面6丁目9番36号　電話0727(22)3608

## 佐野正一

会長

株式会社 安井建築設計事務所　代表取締役社長

〒540 大阪市東区島町2丁目7番地　電話06(943)1371代
〒662 自宅・西宮市雲井町4の9　電話0798(72)1569

# 暑中お見舞申し上げます

昭和60年盛夏　　(50音順)

## 斉藤國義

株式会社 斉藤工業所 代表取締役
〒557 大阪市西成区岸里2丁目6番5号電話06(661)3325代
〒557 自宅・大阪市西成区岸里東1丁目21番3号
電話06(652)0208

## 須賀好富

近畿大学理工学部建築学科 助教授
〒577 東大阪市小若江3－4－1 電話06(721)2332
内線271
〒577 自宅・東大阪市小阪3－4－B911
電話06(789)8114

## 田村真二

株式会社 竹中工務店 常務取締役
〒541 大阪市東区本町4－27 電話06(252)1201
〒663 西宮市浜甲子園2丁目5－19 電話0798(41)4300

## 雑賀幸夫

株式会社 大阪雑賀建築事務所 代表取締役
〒543 大阪市天王寺区上本町8丁目3番23号
電話06(772)4426・4436
〒573 自宅・枚方市香里ケ丘7丁目11-16 電話0720(54)0004

## 菅谷節

大阪電気暖房株式会社 代表取締役社長
〒550 大阪市西区江戸堀1丁目9番25号 電話06(441)8231
〒158 自宅・東京都世田谷区等々力6丁目3番18号
電話03(703)1027

## 取締役社長 高橋慶夫
## 専務取締役 上田宏二

株式会社 高橋上田設計事務所
〒550 本社・大阪市西区新町1－4－21 大幸ビル
電話06(533)0971～3
〒110 東京支所・東京都台東区上野5－3－7
宮代ビル3F 電話03(831)6108

## 堺徳吾

西日本建設業保証株式会社 取締役社長
〒550 大阪市西区立売堀2丁目1番2号 電話06(543)2553

## 杉浦敏郎

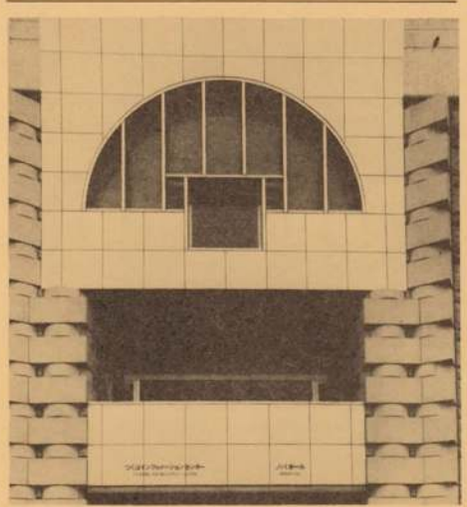
三機工業株式会社大阪支店 支店長
〒541 大阪市東区北浜2－22 電話06(202)3051代3071代
〒560 豊中市岡町南1－7－7 電話06(855)5995

## 橘泰治

東邦パーライト株式会社 取締役社長
〒540 大阪市東区森ノ宮中央2丁目7番15号 電話06(941)9445～9
〒590-01 自宅・堺市若松台3丁26番3号 電話0722(91)2267

## 志賀修一

フジタ工業株式会社 大阪支店 専務取締役 支店長
〒530 大阪市北区堂島2丁目1番16号 電話06(348)4510
〒567 自宅・大阪府茨木市下穂積4-11-39



## 立田清

有限会社 柳々堂 (建築専門書店)
〒550 大阪市西区京町堀1－12－3 電話06(443)0167～8
営業所：鴻池ビル 電話06(251)8233

## 四方靖郎

四方設計工務株式会社
一級建築士事務所 代表取締役社長
〒612 京都市伏見区深草関屋敷町32－2 電話075(642)9516
〒612 自宅・京都市伏見区深草関屋敷町32－2

## 立野一郎

株式会社 ユニオン 代表取締役社長
〒550 大阪市西区南堀江2丁目13番22号
電話06(532)3731代

名誉正会員

## 白石登喜男

株式会社 藤木工務店 常務理事
〒540 大阪市東区両替町1丁目13番地 電話06(944)1468
〒558 自宅・大阪市住吉区墨江1－7－39 電話06(671)3792

## 鈴木隆二

株式会社 鈴木隆二設計事務所 代表取締役
〒460 名古屋市中区松原1丁目17－6
電話052(321)1763・6720
〒463 自宅・名古屋市守山区小幡池下73 電話052(792)3505

名誉会長

## 塚本猛次

株式会社 日建設計 最高顧問
〒541 大阪市東区横堀2丁目38番地 電話06(203)2361
〒665 自宅・宝塚市清荒神2－6－27 電話0797(87)1940

## 城口庸平

株式会社 大阪城口研究所 取締役社長
〒530 大阪市北区角田町2番15号 電話06(372)7151代

## 田中優

株式会社 ユソニアン一級建築設計事務所 代表取締役
〒530 大阪市北区東天満2丁目1番26号 福山ビル
電話06(354)2781～4
〒536 大阪市城東区成育4丁目20番2号 電話06(931)8857

## 辻本豊

株式会社 ツジモトユタカ設計事務所 代表取締役
〒640 和歌山市東長町中の丁12－3電話0734(26)2030代
〒640 自宅・和歌山市東長町中の丁12-3電話0734(26)2030代

# 暑中お見舞申し上げます

昭和60年盛夏　（50音順）

## 津村芳仁

オリエンタルメタル製造株式会社　代表取締役社長
〒660 尼崎市昭和南通３丁目26番地　電話06(412)5131代
〒330 自宅・埼玉県大宮市高鼻町３丁目58番地
電話0486(41)0204

## 永井賢城

株式会社　久米建築事務所　取締役社長
〒106 東京都港区西麻布１丁目13番11号　電話03(403)0251大代
〒251 自宅・藤沢市鵠沼海岸２丁目８の26　電話0466(36)7706

名誉正会員

## 浜口幹三郎

株式会社　淺沼組　相談役
〒543 大阪市天王寺区東高津町12番６号　電話06(768)5222
〒631 自宅・奈良市二名町南登美ケ丘3336－７
電話0742(43)1091

## 傳馬正明

ムツミ産業株式会社　代表取締役
〒550 大阪市西区靭本町１丁目17番15号
電話06(441)0378大代
〒558 自宅・大阪市住吉区長居東３丁目14番22－515
電話06(699)5326

## 長澤孝行

日本住宅パネル工業協同組合大阪支所　支所長
〒530 大阪市北区西天満５丁目６番10号　富田町パークビル
電話06(313)3321
〒598 自宅・大阪府泉佐野市佐野台20-52　電話0724(63)1260

## 林唯夫

株式会社　昭和設計　代表取締役副社長
〒550 大阪市西区新町１丁目５番７号　四ツ橋ビル
電話06(532)3421
〒565 自宅・吹田市青山台３丁目41－11　電話06(872)3608

名誉会長・名誉正会員

## 東畑謙三

株式会社　東畑建築事務所　取締役会長
〒541 大阪市東区伏見町５－19　電話06(202)0391
〒658 自宅・神戸市東灘区住吉山手4-4-35　電話078(851)5043

## 野村文英

野村建設工業株式会社　取締役社長
〒541 大阪市東区高麗橋２丁目９番地　電話06(202)4791代

## 原精一

甲南建設工業株式会社　代表取締役
〒532 大阪市淀川区十三本町2丁目4番28号電話06(308)1551
〒662 自宅・西宮市名次町12番９号　電話0798(72)1504

## 得田益男

得田電気株式会社　取締役社長
〒601 京都市南区東九条河辺町21番地　電話075(661)2727
〒606 自宅・京都市左京区北白川東伊織町10番地の３
電話075(722)3231



代表取締役会長　原田重信
代表取締役社長　原田孝太郎
原田セメント化工株式会社
大統商事KK・泉州生コン工業KK
〒554 大阪市此花区西九条4丁目３－34 電話06(465)1212代
〒661 自宅・尼崎市塚口町３丁目41－８　電話06(421)4518

## 富家宏泰

株式会社　富家建築事務所　代表取締役
〒604 京都市中京区押小路通東洞院西入ル
電話075(231)6357代
〒603 自宅・京都市北区平野八丁柳町68－1－704号
電話075(463)0050

## 橋詰一雄

社団法人　日本建築協会京都支部　支部長
株式会社　橋詰工務店　取締役会長
〒604 京都市中京区押小路通柳馬場東入 建設会館分室
電話075(211)2857・2877
〒604 京都市中京区猪熊通三条上ル姉猪熊町326
電話075(801)2356代
〒604 自宅・京都市中京区猪熊通三条上ル姉猪熊町326
電話075(841)2803

## 伴一郎

株式会社　西原衛生工業所大阪店　代表取締役社長
〒531 大阪市大淀区中津六丁目８番４号電話06(458)3628代
〒563 自宅・池田市石橋３－11－14　電話0727(61)8652

## 内藤正克

株式会社　内藤建築設計事務所　代表取締役所長
〒675-13 兵庫県小野市上本町240 小野ビル　電話07946(2)4757代
〒675-13 自宅・兵庫県小野市久保木町1063　電話07946(2)4668

## 平城勧

株式会社　朝日工業社　大阪支社　常務取締役 大阪支社長
〒532 大阪市淀川区加島1丁目58番59号　電話06(302)2271－9
〒665 自宅・宝塚市中山桜台４－15－４　電話0797(89)3884

## 中原英雄

株式会社　創美設計　代表取締役
〒530 大阪市北区末広町３番21号　星和地所扇町ビル
電話06(312)3587代
〒565 吹田市桃山台４丁目３番１－808

## 橋本晃芳

株式会社　鴻池組　専務取締役
〒541 大阪市東区北久宝寺町4丁目27番地　電話06(244)3545
〒659 自宅・芦屋市精道町４－１　電話0797(31)6766

## 福永薫

株式会社　建設技術センター　取締役社長
〒532 大阪市淀川区西中島５丁目７番17－602号
電話06(304)1148代
〒542 自宅・大阪市南区南船場４丁目７－３
電話06(251)3102

# 暑中お見舞申し上げます

昭和60年盛夏　(50音順)

## 藤井　稔

阪神不動産株式会社　専務取締役

〒530 大阪市北区梅田2丁目2番25号　電話06(346)1173

## 藤木鐵三

株式会社　藤木工務店　取締役社長

〒540 大阪市東区両替町1丁目13番地　電話06(944)1468代

## 堀内史郎

第一工業株式会社大阪支店　常務取締役支店長

〒530 大阪市北区西天満3丁目6番14号　電話06(364)6661代

〒573 自宅・大阪府枚方市朝日丘町12-18電話0720(41)5396

## 前田敏男

財団法人　日本建築総合試験所　理事長

〒565 本所・大阪府吹田市藤白台5丁目8番1号
電話06(872)0391

〒531 大淀分室・大阪市大淀区長柄西2丁目1番18号
電話06(351)7217

〒592 堺分室・大阪府堺市浜寺石津町西2丁1番34号
電話0722(44)3912

〒612 京都分室・京都市伏見区中島前山町24番地の2
電話075(622)0713

〒675-01 加古川分室・加古川市別府町新野辺字畑下1311-3
電話0794(35)5811

## 前田平一郎

ゼネラル事務機株式会社　社長

〒550 大阪市西区靱本町3丁目2番7号　第1横井ビル
電話06(441)1462代

〒560 自宅・豊中市上野東1丁目16—21　電話06(849)5764

## 松尾一郎

菱和調温工業株式会社大阪支店　支店長

〒530 大阪市北区天満2丁目7番3号　電話06(352)4881

〒655 自宅・神戸市垂水区舞子台4—7—16
電話078(782)3039

## 松田恒彦

株式会社 ART建築設計事務所　代表取締役所長

〒530 大阪市北区東天満2丁目3—10 田中ビル
電話06(357)5351代

〒546 大阪市東住吉区西今川2丁8—7　電話06(702)6738

## 松村雄二

株式会社　松　村　組　取締役会長

〒530 大阪市北区天満2丁目1番3号　電話06(353)1131

## 松本重太郎

松本金物株式会社　取締役社長
大阪建築金物卸商協同組合　理事長

〒543 大阪市天王寺区四天王寺1丁目5番47号
電話06(774)2200
受付案内台

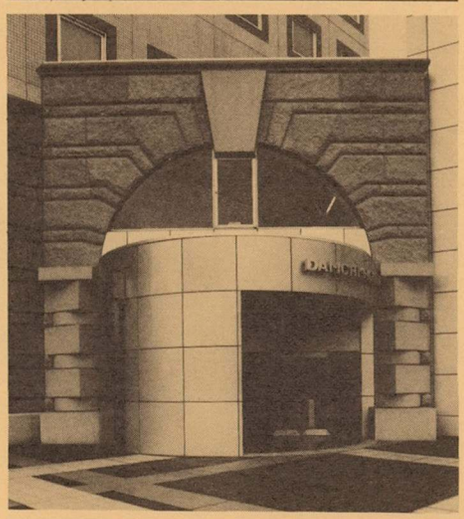
〒542 組合事務所・大阪市南区島之内1丁目22番20号
大和ビル本館5階602号室　電話06(245)3187

名誉正会員

## 松本与作

建築家　第一生命保険相互会社 顧問技師

〒145 自宅・東京都大田区田園調布3-17-3 電話03(721)4723



## 三品哲夫

財団法人 大阪市建築技術協会　理事長

〒530 大阪市北区梅田1丁目2番2-401号 大阪駅前第2ビル4階
電話06(347)9703

〒560 自宅・豊中市上野東1-10-45-205　電話06(848)9067

## 三富　和

東海興業株式会社 大阪支店　常務取締役 支店長

〒530 大阪市北区堂島浜2-2-8 東洋紡ビル　電話06(348)5611

## 三谷忠義

株式会社　三谷設計　代表取締役

〒694 島根県大田市久手町波根西777の1
電話08548(2)8121代

〒694 自宅・島根県大田市久手町波根西225の2
電話08548(5)8320

## 三輪泰司

株式会社　地域計画・建築研究所　代表取締役所長

〒600 京都市下京区四条通高倉西入ル立売西町82番地
大和銀行京都ビル　電話075(221)5132代

〒540 大阪市東区石町1丁目1番地 天満橋千代田ビル2号館
電話06(942)5732

〒460 名古屋市中区丸の内3丁目18番30号 ツボウチビル
電話052(962)1224

〒612 自宅・京都市伏見区桃山南大島町95—45
電話075(601)3962

## 薬袋公明

株式会社　日　建　設　計　取締役社長

〒541 大阪市東区横堀2丁目38番地　電話06(203)2361

## 水間義雄

株式会社　水　間　組　代表取締役社長

〒534 大阪市都島区東野田町1丁目1番4号
電話06(352)3121代

〒538 自宅・大阪市鶴見区今津南4-10-15 電話06(961)0785

名誉正会員
取締役会長 **道田泰治郎**
取締役社長 **道田泰平**

株式会社　道　田　工　務　店

〒660-01 川西市向陽台3丁目6番地の216
電話0727(93)3456代

〒660-01 自宅・川西市向陽台3丁目6番地の216
電話0727(93)3456代

## 宮脇和正

財団法人　大阪住宅センター　理事長

〒530 大阪市北区中之島3—2—18 住友中之島ビル12F
電話06(447)0615・0616

〒658 自宅・神戸市東灘区深江本町3—9—1—907
電話078(452)2738

## 村石全

浪速合板株式会社　代表取締役社長

〒556 大阪市浪速区幸町2丁目5番3号　電話06(568)3671

〒659 自宅・芦屋市岩園町25番15号　電話0797(34)0835

# 暑中お見舞申し上げます

昭和60年盛夏　（50音順）

## 村上二郎

サンエス石膏株式会社　代表取締役社長

〒530 大阪市北区堂島2丁目4番17号 藤田ビル本館
電話06(344)6526～9

〒565 自宅・吹田市千里山西3丁目7番5号　電話06(384)1002

## 村上秀夫

新日本製鐵株式会社　大阪営業所　担当部長

〒530 大阪市北区中之島3丁目2番4号 朝日新聞ビル12F
電話06(202)2201

〒666-01 自宅・兵庫県川西市清和台西1丁目6番23号
電話0727(99)0438

## 室谷山水

室谷商事株式会社　取締役会長

〒650 神戸市中央区北長狭通4丁目2—4 ツインズ元町ビル
電話078(331)0881

〒650 自宅・神戸市中央区山本通4丁目17—17
電話078(221)5050

## 両角保

浦安工業株式会社　専務取締役 大阪支店長

〒130 本社・東京都墨田区錦糸2丁目8—7 電話03(624)2441

〒530 大阪支店・大阪市北区天満2丁目3—5
電話06(351)7502代

## 森淳

三和電気土木工事株式会社　取締役社長

〒530 大阪市北区南森町1丁目4番19号　電話06(361)6451代

〒596 自宅・大阪府岸和田市別所町2丁目3番5号
電話0724(22)7710

## 八木喜美蔵

八木惣株式会社　代表取締役社長

〒593 堺市津久野町3丁28番10号　電話0722(62)1175

〒593 自宅・堺市津久野町3丁28番10号　電話0722(62)0722

## 八十島健二

株式会社　竹中工務店　取締役副社長

〒541 大阪市東区本町4－27　電話06(252)1201

〒663 自宅・西宮市甲子園二番町5－30 電話0798(41)0598

## 安井忠生

株式会社　安井建築設計室　代表取締役

〒550 大阪市西区靱本町1丁目9—18　電話06(448)2765～6

〒662 自宅・西宮市城山町6－17—305
電話0798(72)0865

## 簀本弦三

株式会社　笹川組　取締役社長

〒520 大津市打出浜13－15　電話0775(23)2314

〒520-21 自宅・大津市一里山5—9—11 電話0775(45)3966

## 山内恒男

株式会社 石本建築事務所　大阪支所長

〒541 大阪支所・大阪市東区南久太郎町4-34 池銀ビル
電話06(251)7507

〒102 本社・東京都千代田区九段南4-6-12 電話03(262)7161

## 山田保

株式会社 山田保建築設計事務所 代表取締役

〒733 広島市中区本川町2丁目6番11号第7ウエノヤビル2階
電話082(292)8211代

〒733 自宅・広島市西区己斐東2丁目12番27号
電話082(271)0690

## 山田恒治

株式会社　山田工務店　取締役社長

〒651 神戸市中央区雲井通4丁目1番3号
電話078(232)1800代

〒651-11 自宅・神戸市北区泉台4丁目9番12号
電話078(592)5902

名誉正会員

## 山田文次

山田工業株式会社相談役

〒550 大阪市西区京町堀1丁目6番8号 電話06(443)8161大代

〒665 自宅・宝塚市南口1丁目2番2号　電話0797(72)2511

## 山本永造

ヤマト電気エンジニアリング株式会社　取締役社長

〒530 大阪市北区西天満5丁目1番3号　電話06(364)3056代

〒562 自宅・箕面市桜ケ丘3丁目13—6　電話 0727(23)5176

## 山本一彦

株式会社 和光建築設計事務所 代表取締役

〒550 大阪市西区北堀江2丁目9番15号　電話06(531)4488

〒536 大阪市城東区森之宮1丁目4番204号
電話06(969)0788

## 山本貴士

朝陽電気株式会社　代表取締役

〒530 大阪市北区中之島3丁目2番4号　電話06(385)1361代
朝日ビルディング内

〒565 自宅・豊中市新千里東町2丁目5番 A1-404
電話06(871)0851

## 米倉豊夫

日本住宅パネル工業協同組合　理事長

〒113 東京都文京区本駒込6丁目15番7号
電話03(945)2311大代

## 和田眞一

株式会社　東和組　代表取締役

〒530 大阪市北区西天満4丁目5番14号　電話06(363)4051

〒659 自宅・芦屋市公光町3番8号　電話0797(22)3282

## 和中勝

株式会社　和中商店　取締役会長

〒531 大阪市大淀区豊崎5丁目8番11号　電話06(371)0731

〒150 東京都渋谷区桜丘町11－5　電話03(464)9723

〒453 名古屋市中村区黄金通3丁目34番地
電話052(481)7338

〒662 自宅・西宮市大畑町10－22　電話0798(67)7544

## 渡辺恵

東洋シヤッター株式会社　取締役会長

〒540 大阪市東区両替町1—12日生ビル　電話06(943)6571代

〒560 自宅・豊中市緑丘3丁目21番8号　電話 06(856)0983

## 渡部慶一

株式会社 松田平田坂本設計事務所　大阪事務所所長

〒530 大阪市北区堂島2－2－25　電話06(344)7821

〒530 自宅・大阪市北区中之島5－3—92
ルイシャトレ中之島622号　電話06(448)5645

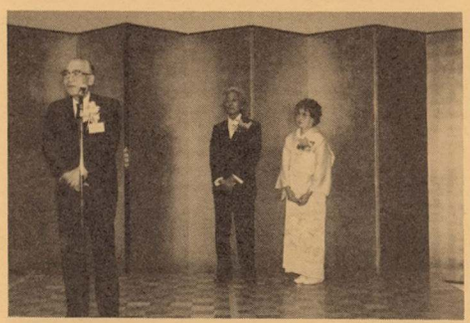
芸術院賞受賞

# 西澤文隆さんを祝う会

西澤文隆さんが、このたび、芸術院賞を受賞されることになりました。この受賞をおよろこびして、東京で6月14日にお祝いする会がもたれましたが、大阪でも発起人代表佐野正一氏（発起人：安藤忠雄、出江寛、岩本博行、太田隆信、上林博雄、澤良雄、妻木靖延、彦谷邦一、平田定男、松井昭光、水谷頴介、向井正也、山崎泰孝）が呼びかけ人となって、去る6月25日(火)、ホテルプラザ醍醐の間で、西澤夫妻をお招きして、盛大に行われました。

参加者には、西澤さんの人格の大きさも反映してか、会長とか長老級の人から若手青年建築家まで、それに、建築周辺の彫刻家、造園家などの芸術家たちも多数見受けられました。

出江寛氏の司会で会はすすめられましたが、芸術院会員でもある海老原一郎氏が、芸術院賞の説明をされました。「芸術院は第1部美術、第2部文芸、第3部音楽・演劇・舞踊と分かれている。芸術院賞は各部から1人の候補者をだして投票し、過半数をとらないともらえない。芸術院会員は、120名で、建築は第1部美術の部から選ばれる。美術の部の会員は51名で、西澤さんはその過半数をはるかにこえて受賞された。戦後の芸術院賞で





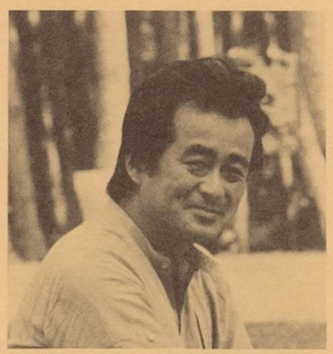
建築家が受賞されたのは、西澤さんを入れて18名。しかも西澤さんは住宅ではじめて受賞された」という意味のあいさつをされ、つづいて上村松篁氏による乾杯があり、なごやかに懇談に移りました。花束贈呈、阪田誠造坂倉建築研究所長（西澤澤さんの後をついだ）のあいさつ、最後に佐野正一氏のあいさつがあって会を終わりましたが、西澤さんは、答礼のなかで「住宅の設計もそうだが、長年の庭園などの実測で受賞させてもらったと受けとめている。これからは、いままでの実測の草稿を一冊の本にまとめていきたい」と抱負をのべられました。

西澤さん、おめでとうございます。　（M）

# 第10回吉田五十八賞決まる

受賞式は7月11日、東京会館エメラルドルームで行われた。

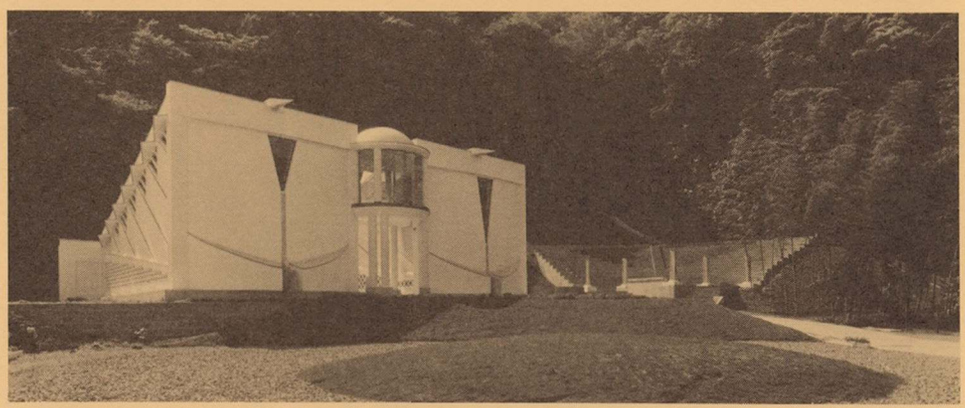
## ■建築の部　石山修武（いしやまおさむ）・伊豆の長八美術館（静岡県松崎町宮内301−1）



石山修武　1944年岡山県生まれ
ダムダン空間工作所設立、早稲田大学講師
代表作：幻庵、卵形ドーム、菅平の家ほか

白壁の斬新な形のこの美術館は、松崎町のナマコ壁の民家や社寺の並ぶ静かで美しい緑濃い山麓に建ち、その環境を乱すことなく、不思議に調和している。張りつめた雰囲気があり、ただ豪華なありふれたこの頃の近代建築と違って多くの情報を周囲に放射しているからであろう。「強い形態デザインは建築の生産を刺激する」と主張する作者は、明治初期の擬洋風建築（松本の開智学校等）を例にとって、その棟梁を中心として集まった諸職人達のエネルギーの結集を今日においてこの建物に意図し、成功している。

この建物が今日のポスト・モダニズムの作品の多くのように、単なる形態の面白さに堕することなく、建築の造り手の中に広く深い共感と情熱をまき起こして建てられたことは注目されるべきであろう。今後の建築が、その形態デザインと素材と職人の技倆との渾然一体になったところから新しい造られ方が発見できるとしたら、この作品はその地平を切り拓くものとして高く評価できる。

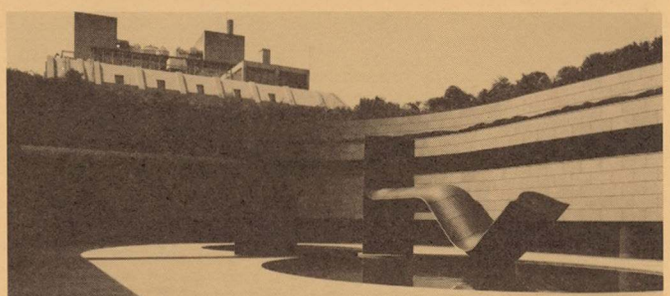


## ■建築関連美術の部

清水九兵衛（きよみずきゅうべえ）　1922年愛知生まれ

彫刻「朱龍」





「朱龍」は、彫刻と建築の見事なアンサンブルを示している。配置される空間の空間と建築の構造に対しての十分な考察のもとに制作されたこの作品は、雄大で簡潔な造型が鮮明な色彩とともに、大きな成果をあげている。なお、建築設計の面にもこの作品を観賞する上での行き届いた［illegible］

（大正海上火災本社中庭）

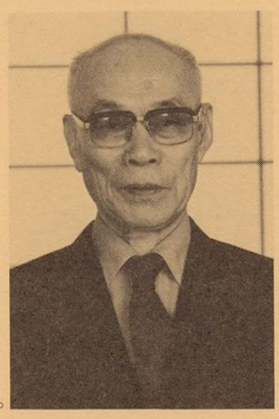
## ■特別賞―表現技術および漆技術による建築界への功績―

向井一太郎（むかいいちたろう）表具経師　1905年東京生まれ



その仕事の中心は、和風建築の内部構成に重要な関わりを持つ襖、障子であるが、和紙を応用した光天井なども手がけている。きびしく修業した伝統技術をもとにして、しかも今日の建築家の発想に柔軟に対応し、そのデザイン意図に的確に応えてきた功績は大変大きい。表具師組合会長として、後進の指導にも高い成果を残している。

大河原光之助（おおかわらみつのすけ）漆塗師　1907年東京生まれ

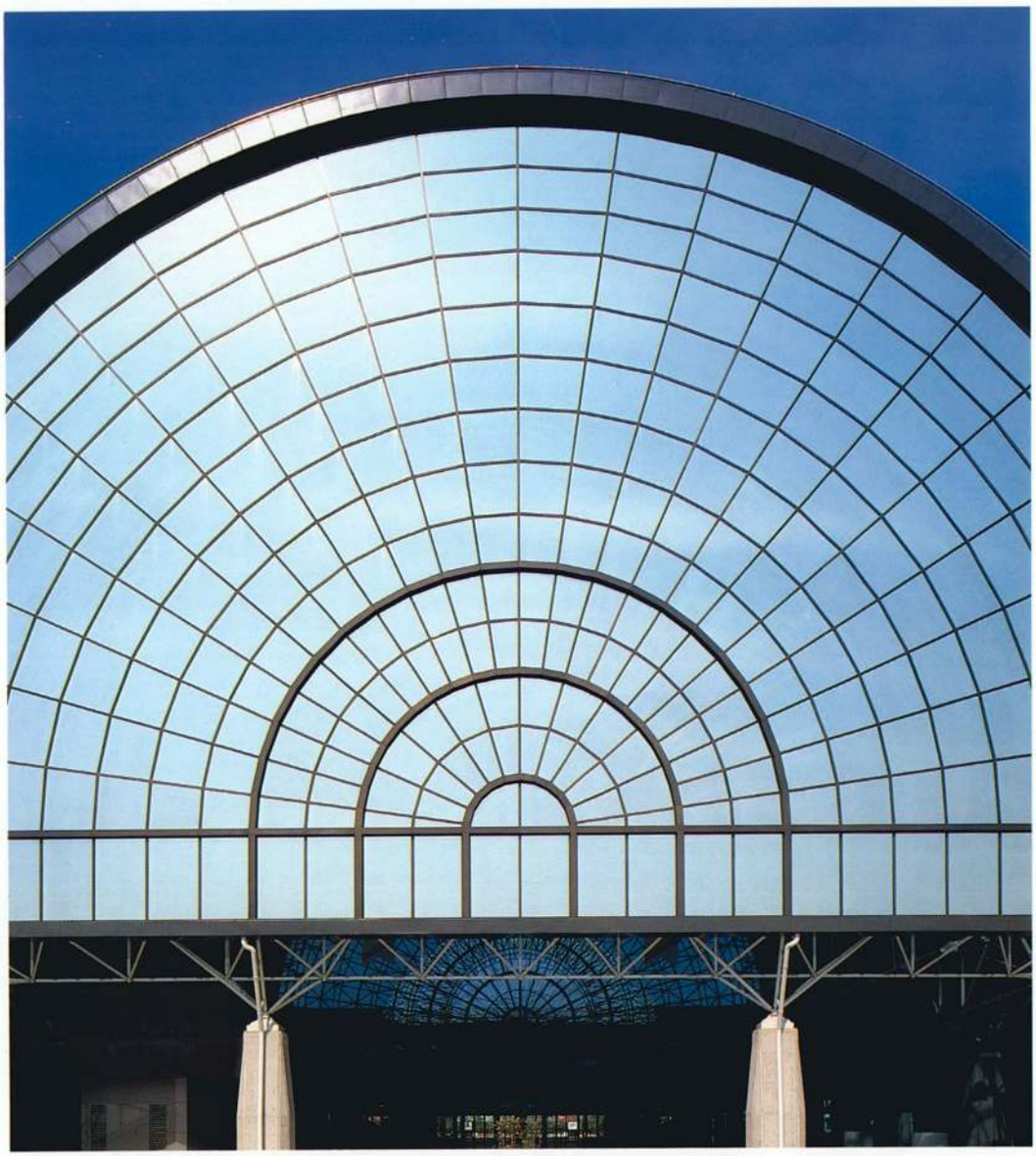


代々徳川家出入りの塗師であり、今日第一人者として、塗りと研磨を繰り返す漆塗りの工程上、角がダレやすい欠点を、下地の地の粉でキチッと角出しする技術を創案し、建築家に技倆が高く評価されている。同時に、現代では途絶えている箔檀塗・漆水衣等の手法を復原するなど地味な研究は、建築家を陰で支えるところが多い。

# 特集

# インテックス大阪

［大阪国際見本市新会場］

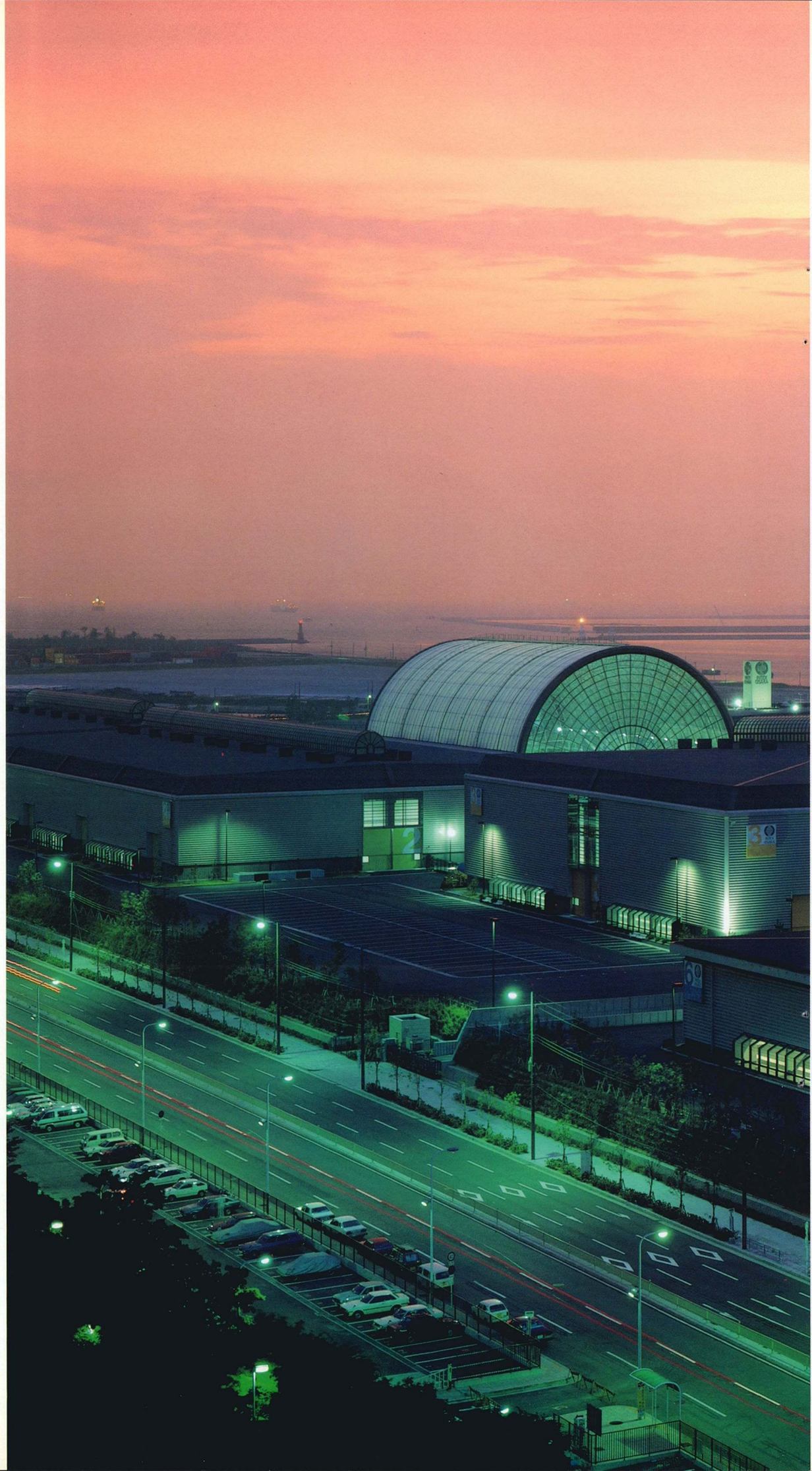


●作品作風　インテックス大阪
●本文・総論　大阪国際見本市新会場の建設
各論　1．建築計画
2．構造計画
3．設備計画
4．施工計画

# インテックス大阪

［大阪国際見本市新会場］

施　工　鹿島建設　奥村組　共同企業体
　　大林組　松村組　共同企業体
設計監理　東畑建築事務所
　　大阪市都市整備局



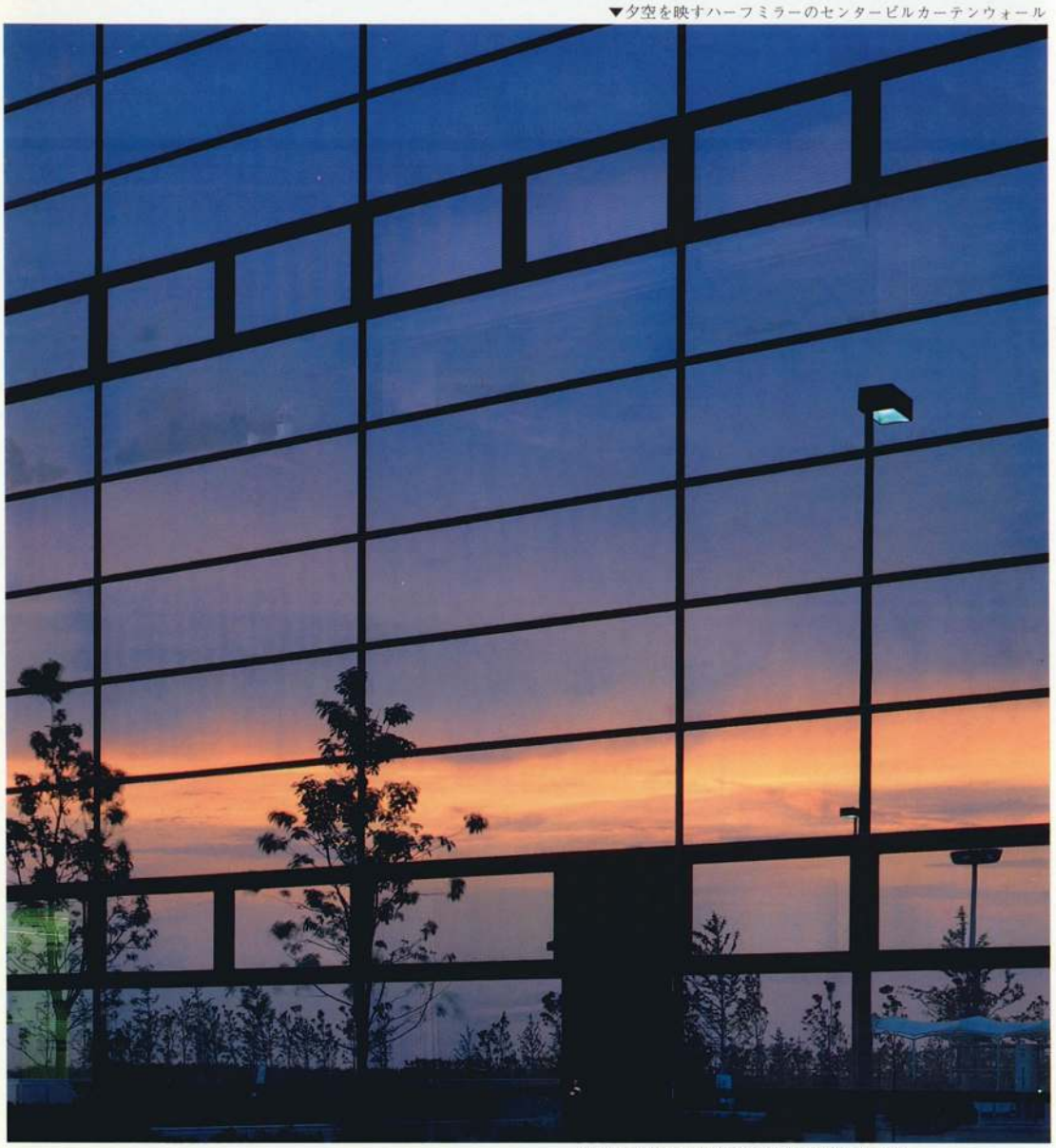
撮影　東出清彦


3
3
6
6
6



▲大屋根妻面とメインゲートのガラスヴォールト妻面夕景

▼夕空を映すハーフミラーのセンタービルカーテンウォール



前頁：夕焼けの大阪港を背景に東南よりみる
右上：バス停ロータリーよりメインゲートとセンタービルをみる
右下：ガラスヴォールトのメインゲートをみる










かって大阪港は、天下の台所「大坂」の海の玄関口として、多くの廻船が出入りしてその賑いを誇った。当時より水運の便にめぐまれていた中之島一帯には多数の蔵が建並び、その数120ヶ所を超えたともいわれる。当時目印山と呼ばれた天保山の西麓に設けられた高灯籠は、行き交う廻船のための灯台であった。大阪港はその後、川口の大規模新田開発、西方への埋立を経て、21世紀を目前にした今、かって松原が続いたであろう浜辺は広大な埋立地と化し、コンテナーふ頭と高層住宅がたち並ぶ。浪華八百八橋とうたわれた美しい水都大阪は、拡大と変遷を重ねて、今、未来への対応を模索しているといえよう。

この大阪港の地に、新しく国際見本市新会場が建設された。水平に広がる展示館群と、その中央に真白いヴォールト形状の大屋根をもつ施設である。13haに及ぶ広い敷地に、7つの展示館群とセンタービルを囲み状に配し、その中央に屋根のある広場〈インテックスプラザ〉と、空の見える広場〈スカイプラザ〉を設けて巨大な共有空間を形成したものである。↗

新会場は、その機能、構成、造形上いくつかの特徴をもつ。例えば、完全な歩車分離計画によって可能となった複数見本市の同時開催システム。高質で均質な展示空間の実現。国際会議場や飲食・サービス施設等、関連施設の充実…。そして、とりわけ会場の中心部分に形成された屋根のある広場空間は、景観、造形、施設利用上、最も大きな特徴をこの施設に与えているといえる。実面積5,000㎡に及ぶ真白いテフロンガラス布。射込む淡い光に照らし出される立体トラスの連続。その連続を繰返し写し出す外径42mのガラス妻面。そこから広がる空の見える広場のペイブメントと回廊のリズム。

この空間は、施設全体のための休憩・交通といったロビー的スペースとして利用されるとともに、建築群を物理的・精神的に結びつける〝きずな〟としても機能し、同時に、類似恒久施設にはかって無かったであろう巨大な遊び空間をつくりだしている。インテックスプラザは、様々な創造的イベントを可能にする空間である。非日常なスケールと形。ニュートラルで控え目な色調。ここは、一種の






舞台空間であると考えられる。

昨年の秋、ドナウ河畔（オーストリア・リンツ市）に於て開催された空・大地・水上のコンサート「アルス・エレクトロニカ'84」は、冨田勲氏により演出された新しい試みの大野外音楽会であったが、その規模と内容は、想像を絶する迫力で、美しく且つ魅力的なものであったといわれる。

新会場でも、また、このように創造的で魅力的なイベントが、今後一般見本市に加えて企画されるであろうし、そう期待される。例えば…インテックスプラザを覆う巨大なキャンバス一杯にレーザー光線で光の映像を描き出して、豊かなシンセサイザーの音色で6万㎡に及ぶヴォールト空間を満たし、流れ出る音色で会場全域をつつみ、樹間を満たして水面へと広がる……。この様な試みが可能であろうか。

（谷 淳之介/東畑建築事務所）



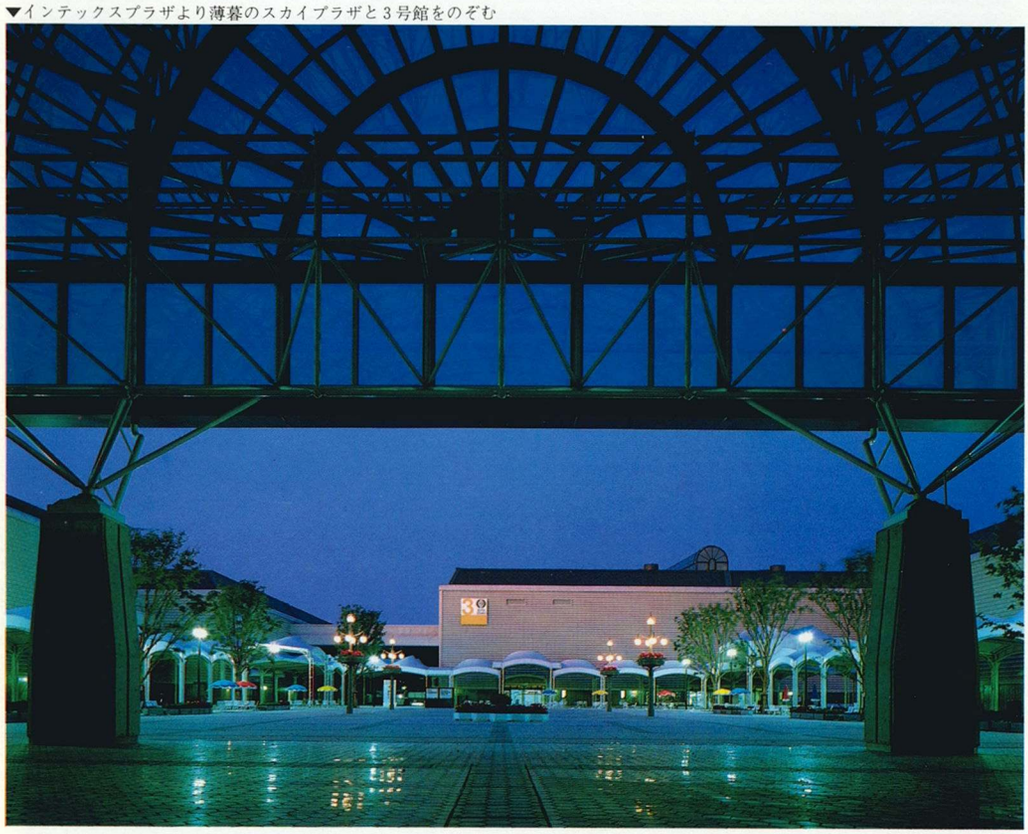

左：南港ポートタウンより南面をみる
右：3号館東面




▲2号館側よりスカイプラザをみる

インテックスプラザ▶

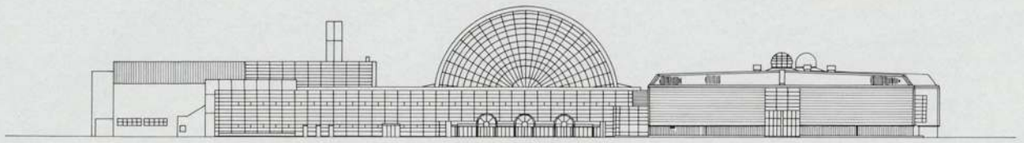
▼インテックスプラザより薄暮のスカイプラザと3号館をのぞむ



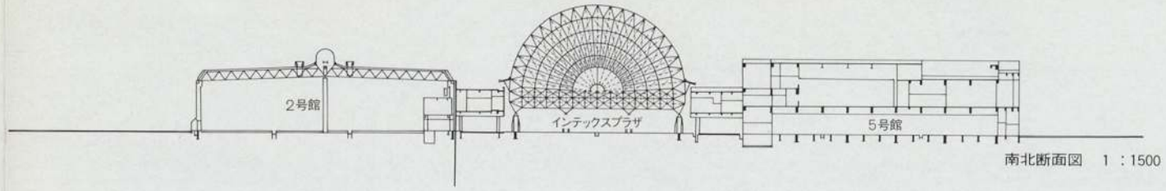

| | |
|---|---|
| 所在地 | 大阪市住之江区南港北1-1-12 |
| 敷地面積 | 128,986㎡ |
| 建築面積 | 66,909㎡ |
| 延床面積 | 74,918㎡ |
| 構造規模 | B1～3F、RC、SRC、S |
| 工期 | 昭和59年2月～昭和60年3月 |

| | |
|---|---|
| 電気 | 東海電気工事<br>関電興業 JV |
| 電気 | 近畿電気工事<br>中央電気工業 JV |
| 空調 | 大阪電気暖房<br>不二熱学工業 JV |
| 空調 | 川崎設備工業<br>ナミレイ JV |
| 衛生 | 丸紅設備<br>協和建設工業 JV |
| ガス | 大阪瓦斯 |
| 昇降機 | 三菱電機 |
| 電話 | 日本電気システム建設 |
| 映像 | 松下電器産業 |

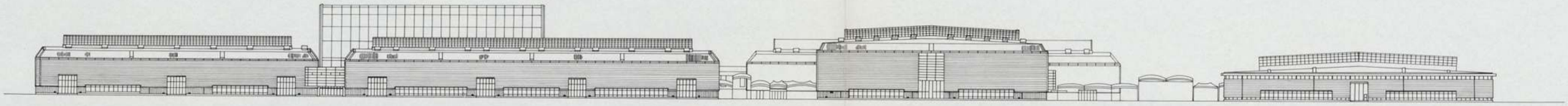

INTEX OSAKA
INTEX VISION
3 DIMENSION DISPLAY
12:02



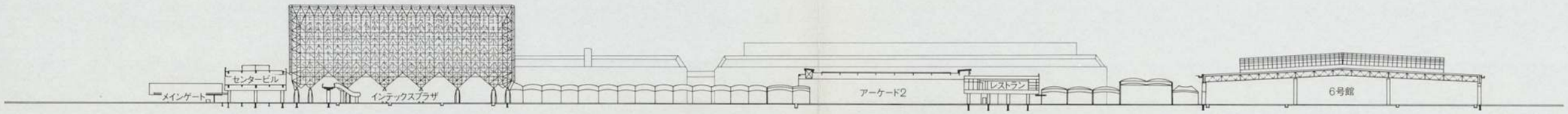
西面図　1：1500



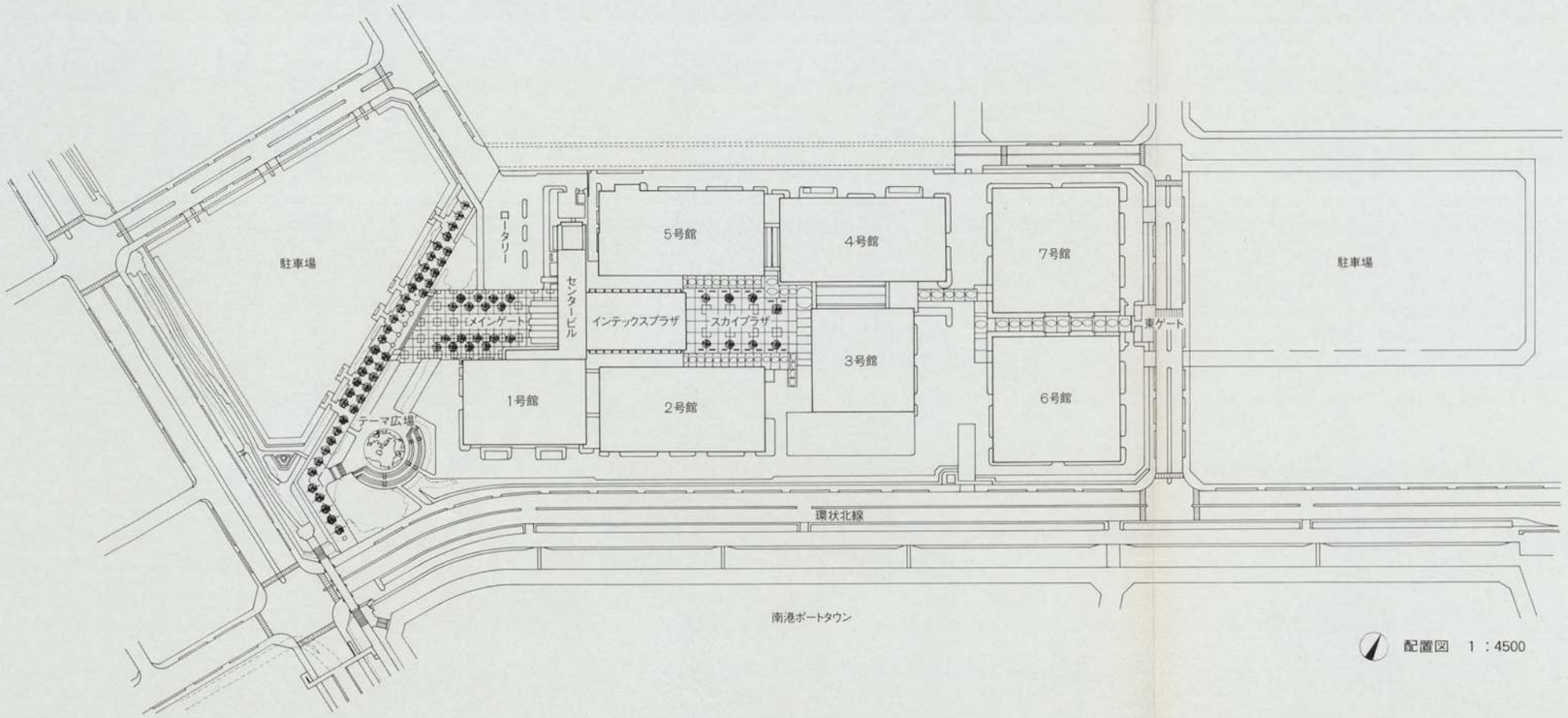

南北断面図　1：1500



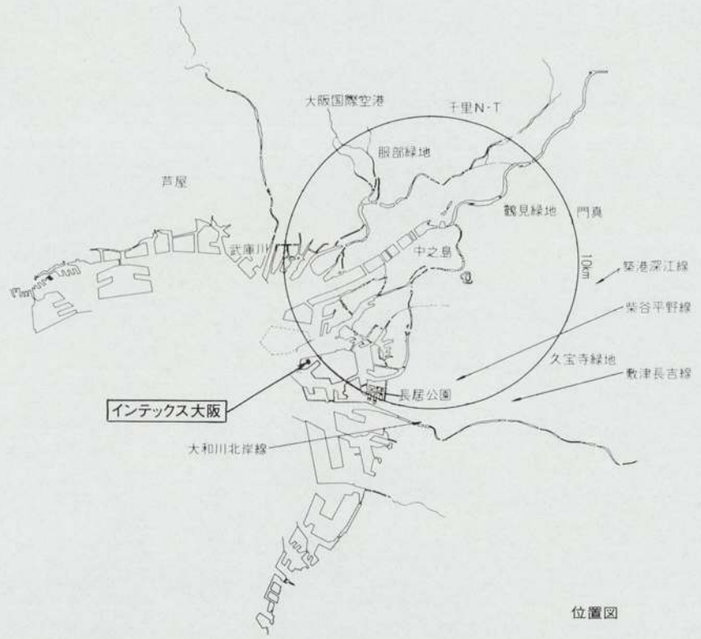
南面図　1：1500




東西断面図　1：1500




配置図　1：4500




位置図



インテックスプラザよりメインエントランスをみる



インテックスプラザブリッヂ周辺をみる


ハイデンハイン・ジャパン株式会社
HEIDENHAIN
株ホーセイ


JAPAX
MORI SEIKI

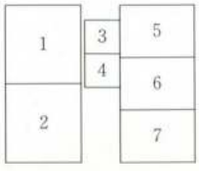











1．展示開催中の５号館
2．展示開催中の３号館
3．国際会議ホールロビー
4．インフォメーションロビー
5．国際会議ホール（５号館２階）
6．特別レストラン（５号館２階）
7．VIP ルーム（センタービル2階）






上：2号館南側よりみる
下：大阪湾より北西面をみる

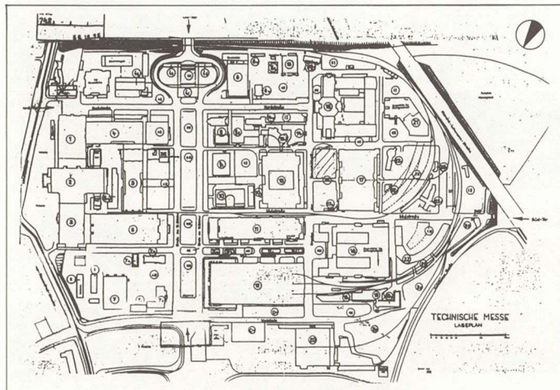
# 世界の見本市会場

## ——STUDY OF THE SAME SCALE——

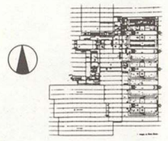
昭和57年の春、計画チームは西ドイツを中心として、7都市7施設に亘るヨーロッパの見本市会場の実地調査を行った。この同一スケールによる事例比較図は、その時に収集した資料をもとに作成したものである。図にみるように、中には敷地面積97万㎡、延べ床面積50万㎡にもおよぶハノーバーメッセのような事例も見られる。ただ、注意すべきは、これらの巨大施設には、その歴史的背景や専門展示館方式という特殊事情があり、かつ西欧における商取引の、見本市に対する依存度がわが国に比して格段に高いといった情勢によるものであり、新しい施設にとって大きいことは良いことだとは決していい得ないことである。むしろ世界の新しい見本市会場の傾向は、広い敷地面積を確保しながら、会場面積そのものは縮少化を計り、コンパクトに使い易くしてゆこうとする傾向にある。

この意味で新設された大阪の新会場——インテックス大阪——は、ハイレベルな展示空間と、高効率な使用を可能とする会場システム、さらに、巨大な多目的共有空間（屋根のある広場）をもつ施設として、今後の見本市会場の1つの典型を示していると考えられる。

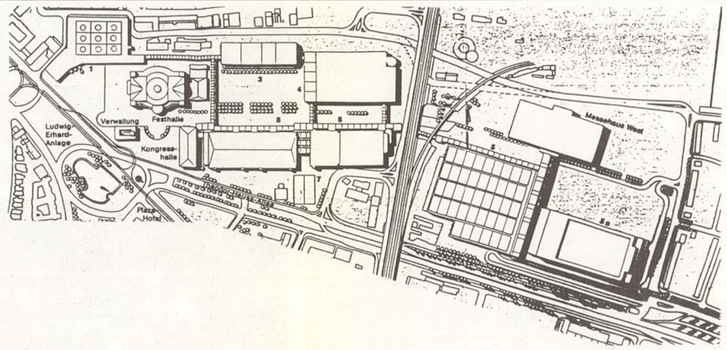
（東畑建築事務所）




ライプチッヒ



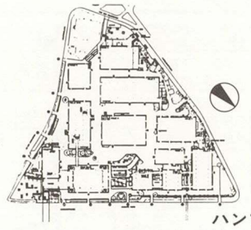
コペンハーゲン



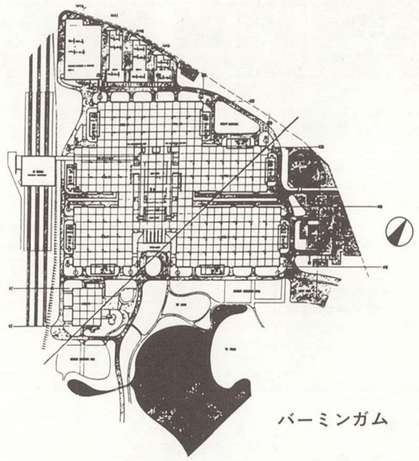

フランクフルト



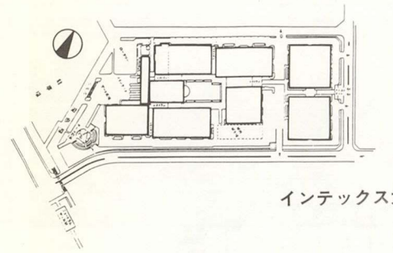

ハノーバー



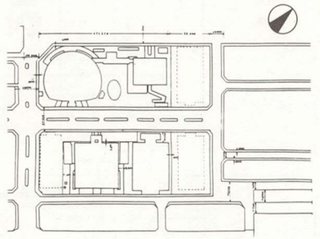
ハンブルグ



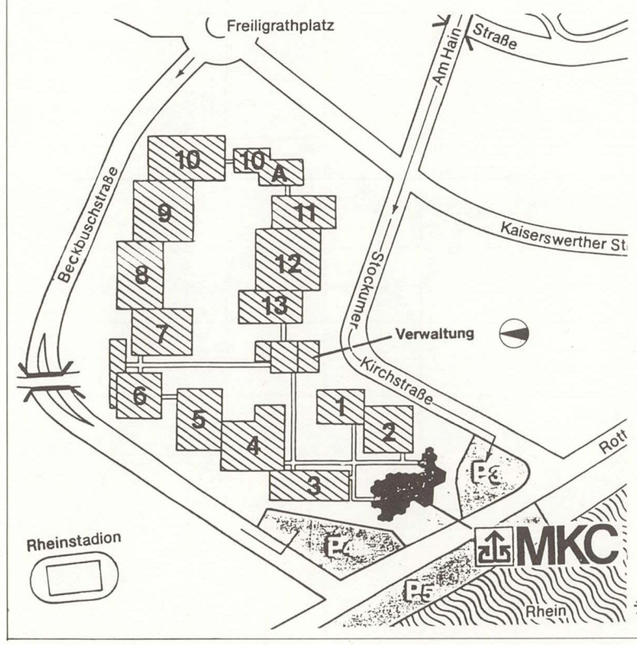
バーミンガム



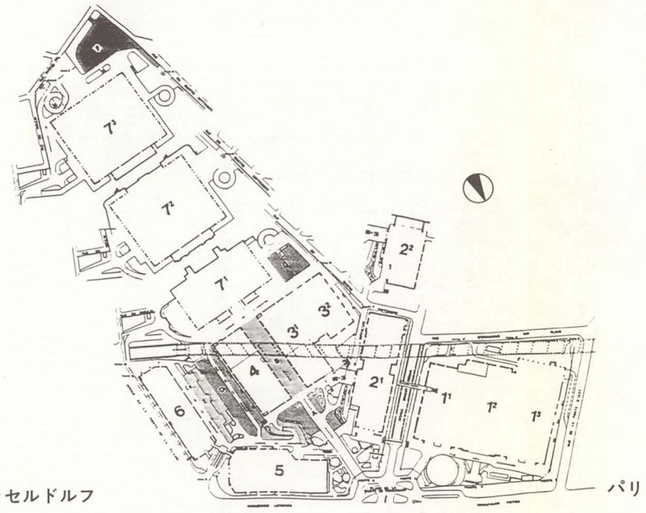
インテックス大阪



東京晴海



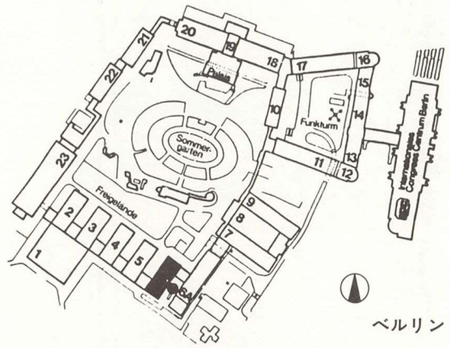

デュッセルドルフ



パリ



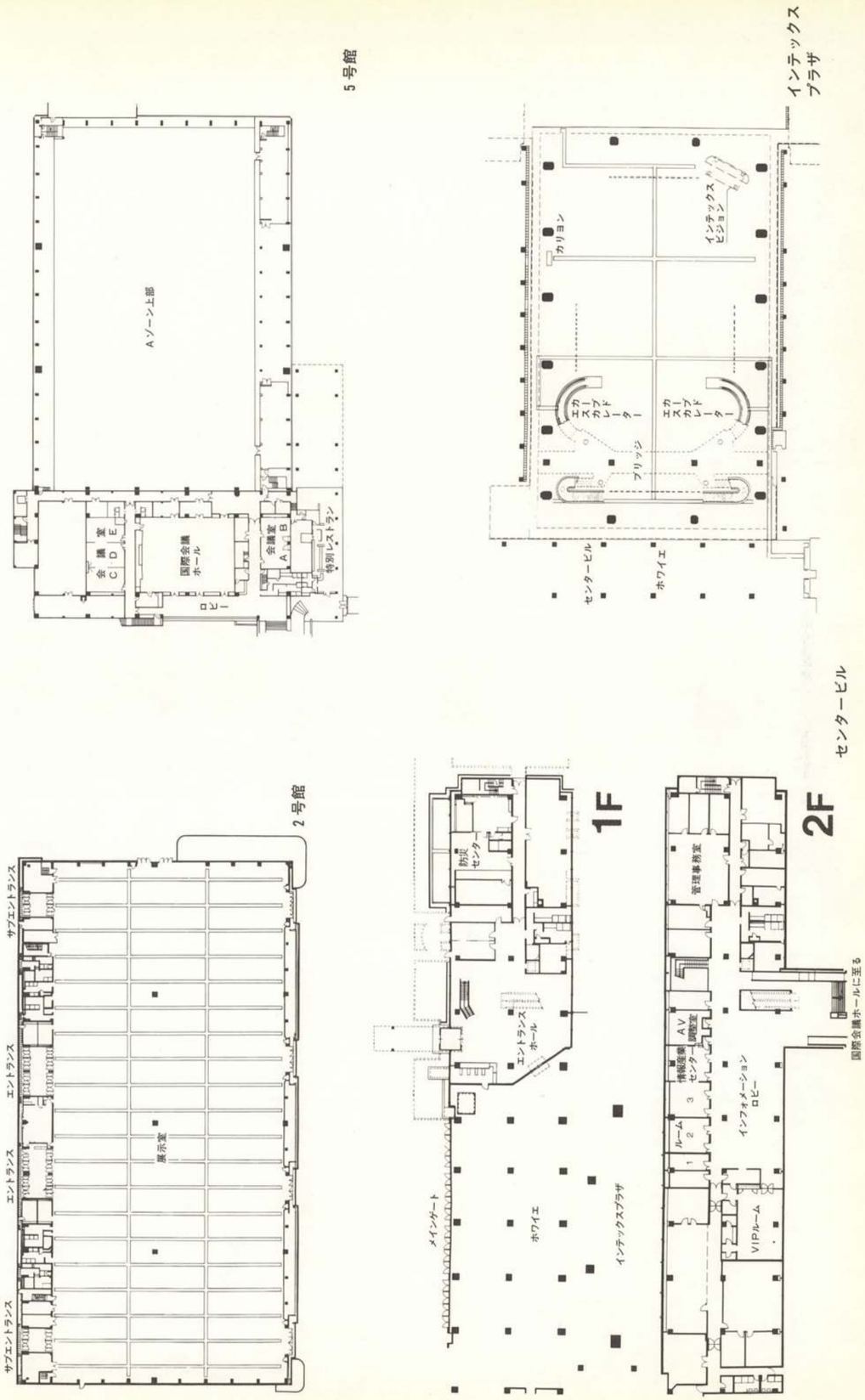
大阪港会場（旧）




ベルリン

100M 300M 500M 800M

## 大阪国際見本市新会場平面図（1：1200）




## インテックス大阪の表情

大阪国際見本市新会場風景——



全体工程表

| | 53 | 54 | 55 | 56 | 57 | 58 | 59 | 60 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ○建築主 大阪市経済局（主管局） | | 実態調査 | 調査報告書 | | | | | 60・5・10 竣工 オープン |
| ・大阪経済振興センター（運営） | | | | | | | 59・12・18 | |
| ○建築工事 | | | | | | | | |
| 膜構造 | | | | | | | 59・2・6 | 60・3・31 |
| 下部構造 | | | | | | | | |
| ・建築工事 | | | | | | | | |
| ○基本設計 | | | | 56・11 | 57・5 | | | |
| ○建築設計 | | | | | 57・11 | 58・4 | | |
| ○設備設計 | | | | | | | | |
| ○設備工事 | | | | | | | | |
| ・電気設備工事 | | | | | | | 59・2・6 | 60・3・31 |
| 昇降機 | | | | | | | | |
| 電話交換器 | | | | | | | | |
| 大型映像 | | | | | | | | |
| ・機械設備工事 | | | | | | | | |
| ・ガス設備工事 | | | | | | | | |

# 大阪国際見本市新会場の建設

山本　晃

大阪国際見本市新会場は、昭和60年５月10日、晴れやかに竣工式典が行なわれ、同５月15日より７日間にわたって、ジャパンメック85、ファクトリーメカトロニクス85の二つの見本市が、同会場のこけら落しとして開催された。

この新会場は、昭和53年から、その計画に着手し、このほど、完成したものであるが、以下に、その概要と背景についてふれてみたい。

大阪市は、昭和64年に市制100周年を迎えようとしているが、これを記念して数々の事業構想が打ち出されている。中でも、大阪臨海部において計画されている「テクノポート大阪計画」は、21世紀の国際文化情報都市、大阪を目指して、その規模、内容において最大のものであり、大阪21世紀計画との関連においても、極めて注目に値するものと言えよう。

この一大プロジェクトは、現時点より21世紀初頭までの長期にわたって取り組まれるものであり、現在、埋立ての進む北港地区を中心として、既に開発の進んだ南港地区の北部を含めて、700haにも及ぶ広範な地域を対象とした計画となっている。

その内容は、先端技術開発、国際交易、情報通信の三大機能を軸として、各種機能の集積した新らしい都市核の形成を図るものであり、地域を構成する三つの地区は順次開発を進めることとしている。

新会場が建設された南港北部地区は、この「テクノポート大阪」計画において、国際文化ゾーンをはじめ、国際交易、情報、技術開発、レクリエーションの各ゾーンが配され、全体計画の中で、先駆的に開発の進む地区と考えられるが、その中で当会場は、先導的な施設として実現されたこととなる。

したがって、当施設は、将来にわたり国際交易機能の基幹施設として、人、物、情報、文化の多面的な国際交流の拠点としての役割を担うものである。

これまで、昭和29年より、30年の長きにわたって多くの足跡を残してきた旧国際見本市港会場は、新会場にバトンタッチをして、記念見本市を最後に、その使命を終えようとしている。

旧港会場は、建物自体の老朽化とともに、阪神高速道路、東大阪線のルートが会場を横切ることとなり、これが建替え計画の発端であった。

大阪市では、昭和53年に新会場建設の検討が始められ、その後、広く内外の事例調査を行い、諸条件の分析検討を行なって、計画の基本的方向が定められた。

その後、昭和56年秋より、基本設計及び実施設計にとりかかり、昭和59年２月に着工、14カ月の工期をもって、この３月末に建物の竣工をみたわけである。

ここで、計画上のいくつかのポイントについてふれてみたい。

我国の大型見本市会場は、従来より東京と大阪の二施設に限られており、これらの施設も諸外国に比して、見劣りのする施設であったことは否めない。従って、新会場は、その内容において、世界のトップレベルを目指して計画された。

まず、新会場の配置についての考え方であるが、会場中央の広場、インテックスプラザ、スカイプラザを中心とし、その周囲に展示館を配置する囲み型として、各館を回廊で結ぶ、合理的な動線計画によって、複数の見本市が、同時開催可能となるように計画している。次に各建物についてであるが、展示館には、各種エネルギーを供給するための設備を集約した共同溝を設置するなど、展示空間のグレードアップを図るとともに、六カ国語の同時通訳ができる国際会議場や、飲食、サービス施設等の充実、さらに将来の情報化時代

に備えて、各種ニューメディアの導入を図った。

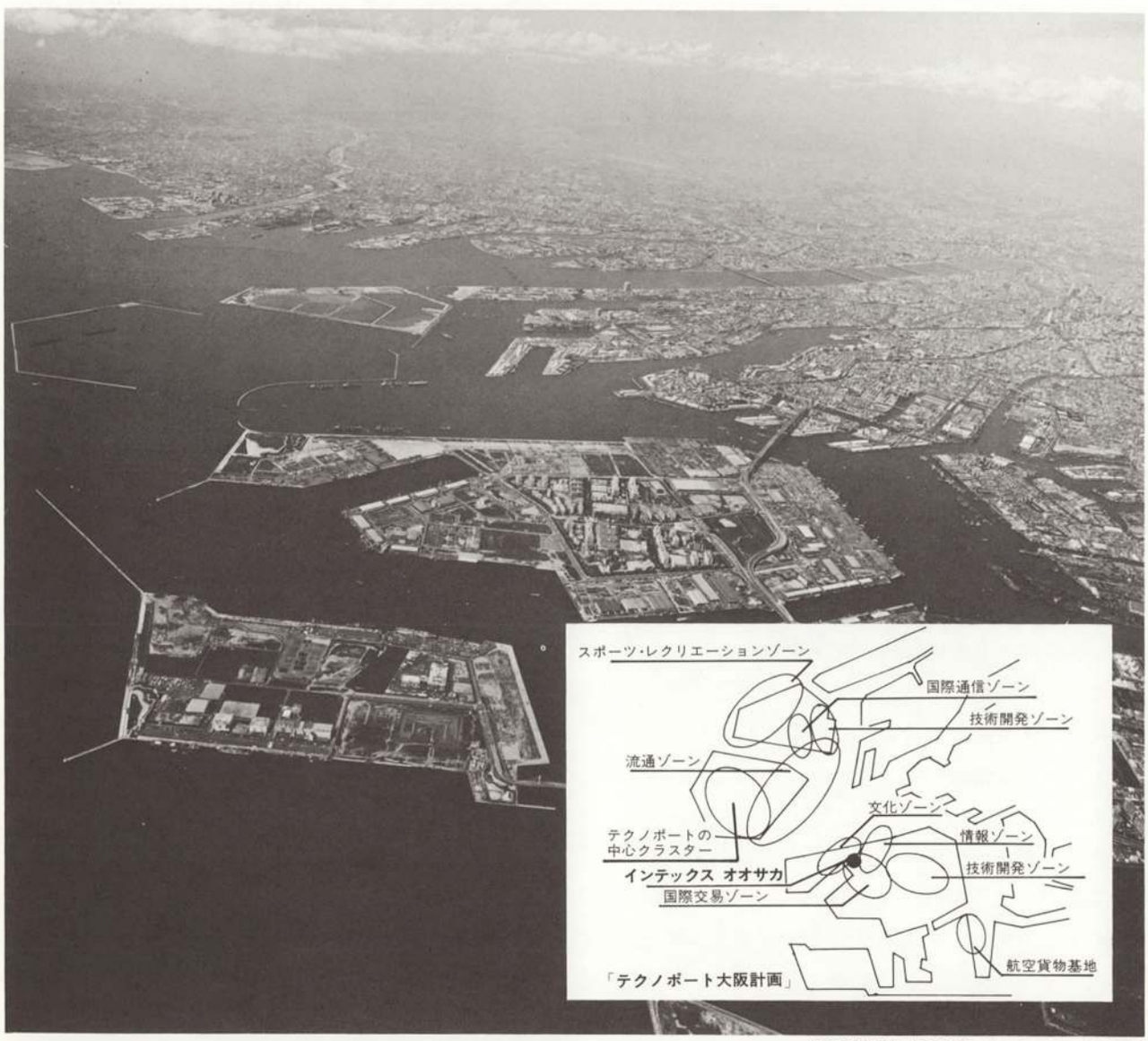
とりわけ、会場のシンボルである、インテックスプラザは、半透明の膜材で覆われた、ヴォールト状の立体架構の大空間とし、昇降用のカーブドエスカレーターを設置するなど、機能性に富んだ、水準の高い施設としたことが、特徴として挙げられる。

建物のデザインについては、シンプルな形と、ソフトで調和のとれた色彩によって、会場全体を構成することを基本としたが、これは、当会場で開催される様々な催物に対して、それらを引き立たせる役割を意識したためである。

しかし、当施設の顔となる会場正面のデザインについては、直線的に構成された、センタービルと大屋根の大ヴォールト及びメインゲートの屋根の三つの小ヴォールトが造り出す幾可学的な形と、これらの面には、空や緑を写して変化する、ハーフミラーガラス等を使用することによって、ダイナミックなアプローチ空間の形成を、図ったものである。

以上が、これまでの経過と計画の概要であるが、このような計画のもとに建設された新会場が、国内はもとより、国外から訪れる人々の目に、美しい風景、すばらしい建物として映ることを願うとともに、この会場が、今後、大阪における、人、物、情報、文化の国際交流の拠点として飛躍していくことを、切に願うものである。

（やまもと　あきら　大阪市都市整備局長）




**大阪国際見本市新会場**（インテックスオオサカ）

## 大阪国際見本市新会場

# 建築計画

**大阪市都市整備局**
**東畑建築事務所**

大規模総合見本市会場について新しい事例の見られないわが国の現況下で、その計画・設計・施工を行うことには幾多の困難が伴ったが、そのすべてのプロセスを通じて、施主である大阪市経済局のなみなみならぬ熱意と御努力と多くの御教示をいただき無事竣工を見ることができた。また工事にあたっては、各共同企業体および、その他工事業者一致協力のもとに、厳しいスケジュール下で最善を尽され、無事完工を果された。ここに深く感謝と敬意の念を表したい。

## 立地

敷地は、大阪市中心部より約10km圏にある南港ポートコンプレックスの北西部分に位置して、大阪テクノポート計画、国際文化ゾーン構想等、21世紀への夢を架ける商都大阪の海の玄関口にあり、また南港ポートタウンに北接して、青い海・白い雲・港・船・水平線といったイメージのある、はるかに六甲の山なみを眺望できる恵まれた環境にある。

敷地は東西に 500 m、南北に約 250 m という長方形で、東・西・北三方は当南港地区において最後に残された未利用地となっており、当敷地を含めてすべて埋立地である。また敷地南西には、南港の幹線街路である環状北線をはさんでニュートラムの終点中ふ頭駅があり、西方1.5km地点には野鳥公園が開設されている。

## 計画のテーマ

わが国における大型見本市会場は、現在大阪、東京の２施設に限られており、単体の見本市会場としてはいくつかの優れた事例が見られるが、大型国際見本市会場としての新しい施設は近年皆無であった。

新時代に対応した国際的な施設をとの関係各方面の強い要望もあって、主管局サイドではすでに、広く内外の事例を調査研究され基本構想を固めつつあったが、私ども設計チームとしても57年春、あらためて海外の新施設を調査して、さらに計画に慎重を期すこととした。

当会場の施設計画に関しては、昭和56年３月、大阪南港環境整備公社により「大阪国際見本市新会場建設に関する調査報告」として、その基礎的調査報告がまとめられていた。この報告書では、大阪市経済局の国際見本市施設運営に関する基本的方針をもとに、それを具体化する施設計画の基本方針が述べられ、いわゆる基調報告書として、その後の基本計画にあたっても、この基調報告を必要に応じて引用踏襲した。

新会場の計画・設計のテーマは、以上をふまえて、つぎの三点に集約できる。

1) 高質で均質な展示空間の実現と、複数見本市の同時開催可能な会場づくり。

2) 新時代に対応したソフト面重視の新しいタイプの会場、すなわち下支え施設の充実と、夢と遊びのある会場。

3) ダイナミックな国際交流の場にふさわしい造形、ユニークで美しい都市環境の形成。

## 規模

海外の見本市会場は、概して広大な敷地と床面積をもつものが多く、中には敷地面積が97万㎡、延床面積47万㎡という巨大な事例も見られる。

基本構想段階ですでに、当会場の規模は、ほぼ決定されていたが、基本設計に際して、果してこれで真に国際的に通用しうる会場となるのかという懸念はあった。

**施設概要**

**敷地面積 128,986㎡**

| | | 建物延床面積(㎡) | 建物構造 | 規模 | 天井高さ(m) |
|---|---|---|---|---|---|
| 1号館 | | 6,456 | 鉄骨造、一部鉄筋コンクリート造 | 地上１階 | 12 |
| 2号館 | | 7,965 | 鉄骨造、一部鉄筋コンクリート造 | 地上１階 | 12 |
| 3号館 | | 6,110 | 鉄骨造、一部鉄筋コンクリート造 | 地上１階 | 15 |
| 4号館 | | 7,942 | 鉄骨造、一部鉄筋コンクリート造 | 地上１階 | 12 |
| 5号館 | Aゾーン | 5,819 | 鉄骨造、一部鉄筋コンクリート造 | 地上１階 | 12 |
| | Bゾーン | 5,381 | 鉄骨鉄筋コンクリート造 | 地上３階 | 5 |
| | 計 | 11,200 | ―― | ―― | ―― |
| 6号館 | | 8,083 | 鉄骨造 | 地上１階 | 7 |
| 7号館 | | 8,083 | 鉄骨造 | 地上１階 | 7 |
| インテックスプラザ | | 2,987 | 鉄骨造(支柱は鉄筋コンクリート造) | ―― | 最頂部30 |
| センタービル | | 5,891 | 鉄筋コンクリート造 | 地下１階 地上２階 | ―― |
| アーケード・回廊、その他 | | 10,201 | ―― | ―― | ―― |
| 合計 | | 74,918 | ―― | ―― | ―― |

**展示面積及び最大小間数**

| | | 展示面積(㎡) | 最大小間数(小間３m×３m) |
|---|---|---|---|
| 1号館 | | 5,082 | 280 |
| 2号館 | | 6,729 | 380 |
| 3号館 | | 5,119 | 286 |
| 4号館 | | 6,729 | 380 |
| 5号館 | Aゾーン | 4,728 | 279 |
| | Bゾーン | 1,625 | 80 |
| | 計 | 6,353 | 359 |
| 6号館 | | 7,506 | 424 |
| 7号館 | | 7,506 | 424 |
| 屋外展示場 | | (2,900) | ―― |
| 合計 | | 45,029 | 2,533 |

基調報告での有効展示面積45,000㎡という数字は、大阪における過去の実績と将来予測より割り出されたもので、大型見本市の最大規模を想定したものである。

一方、近年、専門見本市は大型化の傾向をたどり、かつ同時開催による相乗効果が評価されて、その受入れを考えると、従来型配置の会場パターンでは施設全体規模が拡大せざるを得ない状況となる。また、ハノーバー（西ドイツ）見本市などに見られる専門館方式も施設規模拡大の一因であり、旧港会場３号館や各地に見られる重層タイプ（百貨店方式）の展示館も、その使用目的が限定されるため、規模拡大の一因となる。さらに、展示空間の単位設定、すなわち１展示館の規模設定そのものも施設全体の規模に影響を与える。極端な例として、１展示空間を45,000㎡もの大空間にしてしまうと、同時開催はおろか、中規模見本市にも使用不能となる。

以上の状況に対応させるため、当計画では、規模計画に関連して下記の方針を定めた。

1) 展示空間全域について、展示者のあらゆるニーズに対応しうる質を確保する。すなわち「高質で均質な展示空間」の実現。

2) 上記の展示空間の質の高さと、全域にいたる均質性を前提として、複数見本市の同時開催が容易にできる会場づくりの工夫。

3) 展示者の巾のある要求に対応できる展示館の最小規模と、その組合せによるバリエーションの設定。

① 1,600㎡……５号館Ａゾーン

② 5,000㎡……１、３および５号館Ａゾーン

③ 7,000㎡～ 7,500㎡…２、４、５（Ａ＋Ｂ）６、７号館

④以上の組合せ

5,000＋ 7,000＝12,000 ┐
5,000＋ 7,000＝12,000 ┘ 24,000 ┐
1,600＋ 5,000＝ 6,600 ┘ 30,000 ┐
7,500×２ ＝15,000 ┘ 45,000

4) 全体としては国際的規模の大型見本市が、開催可能な有効展示面積の確保。（45,000㎡）

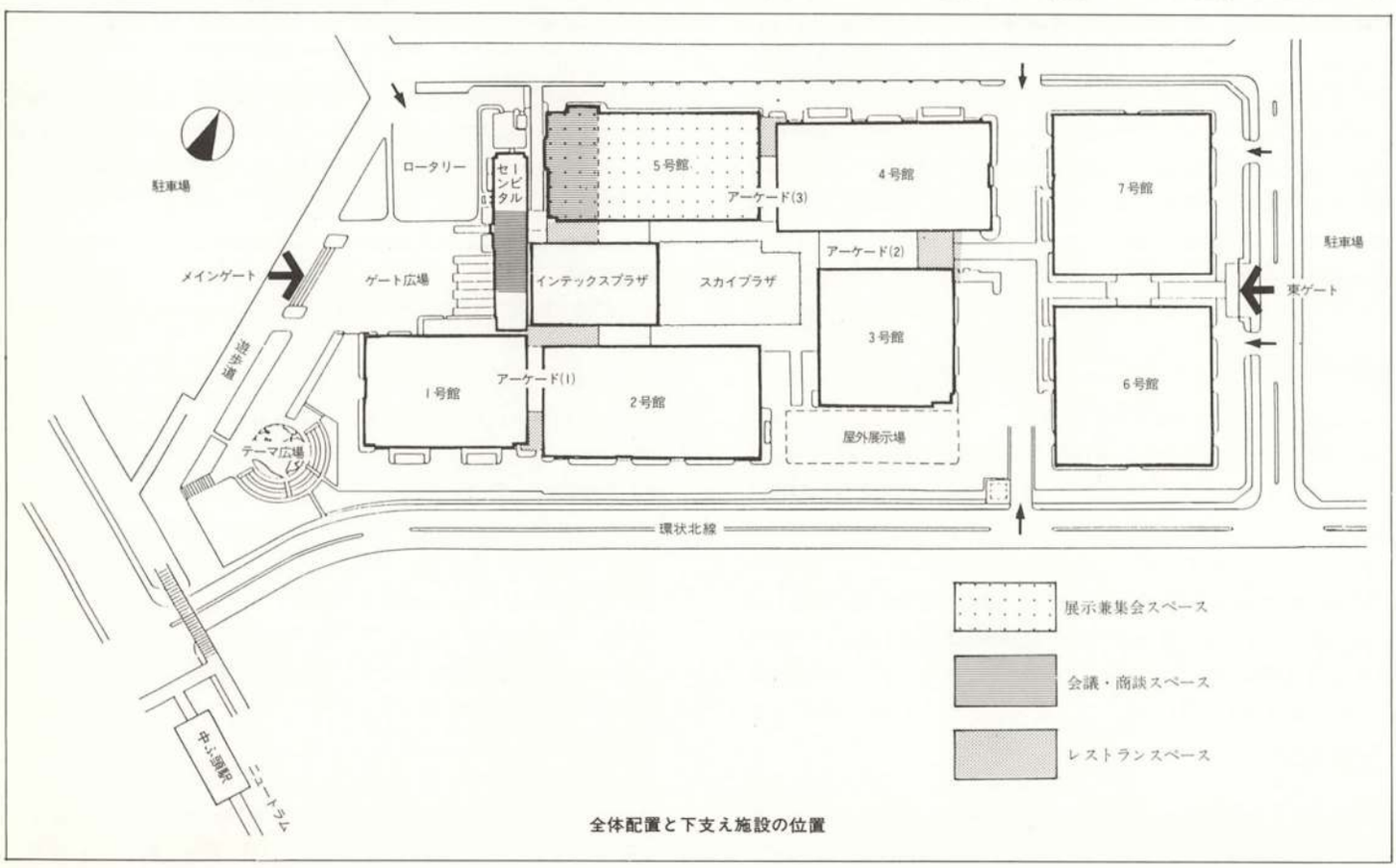
## 配置

本会場の配置は、７つの展示館群と管理センタービルを囲み状に配して、外周部を車に、内部広場側を人に開放することを基本とし、各展示館は、相互間にアーケードを設けて緩衝空間を形成し、単独使用も、また２～３館の一体的使用も可能である形とした。この基本的配置によって、歩行者と車は完全に分離され、さらに展示空間の規模も可変となり、いわゆる複数見本市の同時開催が可能となった。また、設備幹線、歩行者動線は短縮され、展示館付属諸室をサークル状に配置することにより、連絡・管理がスムーズに行なえるようになった。

会場のメインゲートは敷地の西方に定めたが、これは当会場へのメインのアクセスの一つである、ニュートラムの走る方向であることと、将来、テクノポート大阪計画による国際文化ゾーンの歩行者幹線がこの位置に設定されていたことによる。また敷地が東西に500ｍと長大であるため、敷地東方にサブ的ゲートを設けて、これを東ゲートとした。

会場への主たるアクセスは将来、地下鉄が延伸されるが、当面は、(1)市営および民営バス(2)ニュートラム(3)乗用車と設定されており、これに対応して東・西両ゲートに隣接させて、合計2400台の駐車場とバスターミナルが設けられている。

管理センターは、当会場の運営主体である(財)大阪国際経済振興センター（OSAKA INTERNATIONAL EXHIBITION CENTER —略称 INTEX OSAKA)をはじめとして、(社)大阪国際見本市委員会、インフォーメーションサービスゾーン、エネルギーセンター、コントロールセンター、防災センターによって構成される。同建物は、囲み配置の一部を構成する様南北に長く一直線に配置したが、




全体配置と下支え施設の位置

これは、メインアプローチを受けとめる、いわば「門」であり、メインゲートと一体的に構成して、1階部分を会場全体のホワイエ空間としてとらえている。

管理センターと展示館群を囲み状に配することによって、会場内歩行者動線は飛躍的に短縮されるが、通常の内部動線は展示館に沿ったラインに発生するため、このライン上に巾9mの回廊を設けてすべての展示館を連結することとした。この回廊は、雨天と夏の直射日光をさえぎる役割を果すが、また歩行者軸を明確にして、中央広場に空間的独立性を与えうることとなった。

一方、展示館は、その準備・撤去段階において、おびただしい数の一般車、大型車、クレーン車などが出入りして、サービスヤード、サービス道路は車で満たされるが、この囲み配置システムによって、開催中の見本市にまったく影響を与えずに、別見本市の準備・撤去が囲み配置の外周部分で可能となり、効率よく、安全に、スムーズに複数見本市を同時期開催できることとなった。

## 平面計画

当会場は、平土間単層展示館をその基本とした大規模施設で、平面方向の広がりが極めて大きく、かつ複数建物による群建築であるため、全平面を秩序づけるための手法が必要で、このため6m×6mの正方形グリッドを敷地全域にかけて平面計画の寸法的基準とした。一方、展示用標準小間割りを3m×3mと定めたが、上記のグリッドはこの小間寸法の倍数でもある。

一般展示館は、6mグリッドの5倍である30m×30mをその柱間の必要最小寸法として、その2倍の60mを館巾寸法とした。

各展示館には、エントランス、サブエントランス、主催者事務室、便所、電話室、電気室、分電盤室といった諸室が必要であるが、これら諸室の配置は、中庭側一列に、全体として環状になるように設定した。これは、後述する共同溝の上部にあたる位置で、会場全体の設備幹線ルートとも一致するが、人もエネルギーもサークル状に最短距離となって、解りやすく、経済的な配置となった。

2館以上の面積を必要とする見本市に対応させて、当計画では展示館連結システムを工夫したが、これは、図に示すように2館より全館までの連結が可能であるように、

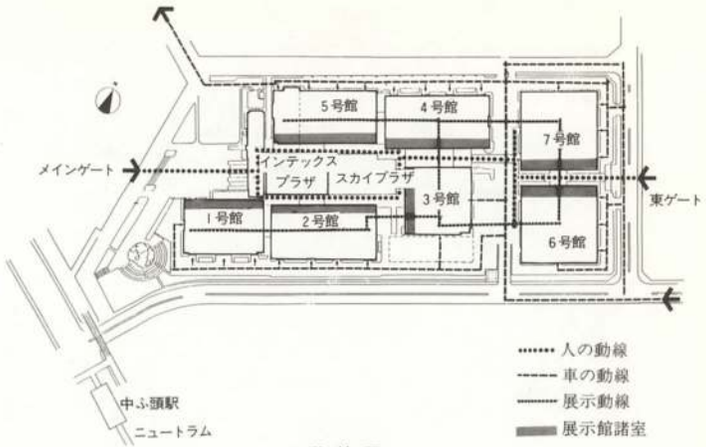
1) 6m×3枚＝18m巾のシャッター開口
2) 12m～18mのエントランス開口
3) 6m巾のシャッターおよびサブエントランス開口

の3種類の開口によって、各展示館相互をつなぐものである。このシステムは、回廊側に生ずる歩行者のサーキュレーションとは別に展示館内部に歩行者のサーキュレーションを発生させて、囲み配置の欠点である回廊に歩行者が集中するという状態を回避している。

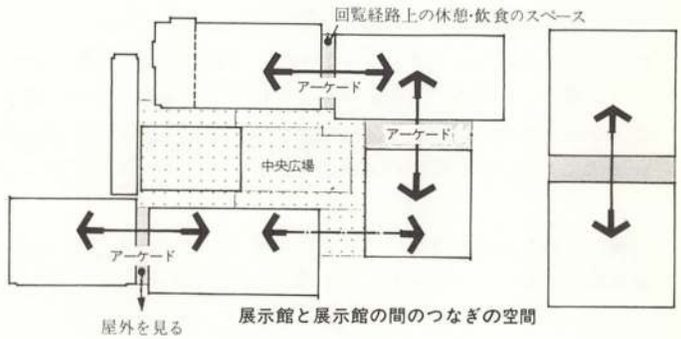
展示館相互間には、アーケードと呼ばれる巾10m高さ8mの空間を設けたが、これは囲み配置に明けられたいわばスリット空間であり、2階部分にレストラン、1階部分に喫茶・スナックと休憩スペースを設けている。ここは展示館相互のクッションとしての役割をもっており、展示動線上にあって休憩、食事、談話のできる場所であり、また中庭側から外周部へと至る重要な避難経路でもある。

## 展示空間

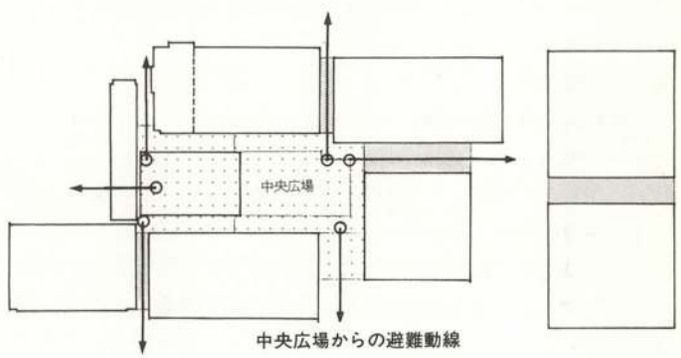
1)一般展示館



動線図



展示館と展示館の間のつなぎの空間



中央広場からの避難動線

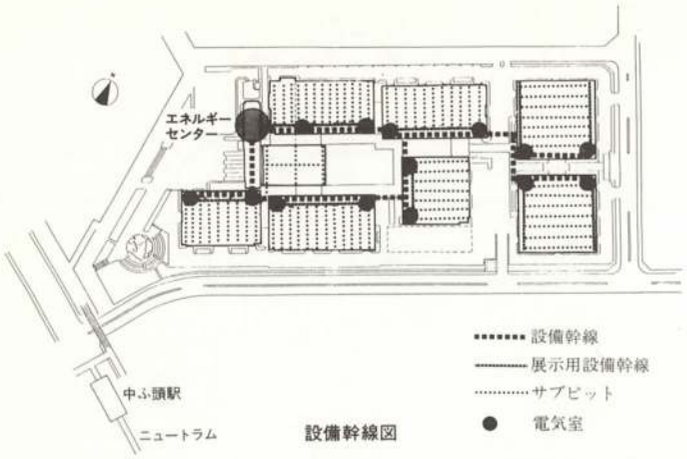
展示空間の理想像は〝いかなる空間をも仮設しうる広がりと装備をもつ均質空間〟であるといえる。また均質空間とは床、天井にいたる装備、寸法、室内環境、設備供給システムなど、すべてを満たしながら連続する空間と考えられる。

展示館規模については、前述のように概略5,000m²と7,000m²の2種類の空間単位を設定したが、これをつなぎのシステムによって12,000m²～30,000m²までの可変空間としている。展示空間の自由度を計るためには極力無柱空間であることが望ましいが、多数の事例調査に基き30m×30mグリッドの無柱空間を設定した。

空間高さについては、展示物寸法、クレーン車による吊込み、建込み解体作業などを考慮して、トラスト下12mを標準としたが、これは通常考えられる見本市についてはすべて対応しうる寸法である。

また、照明については、本来、展示の種類に応じて人工照明を行うことが基本となっており、自然採光は好まれない。したがってメンテナンスと、その他特殊用途を想定した採光のみを、上部のトップライトと壁面の採光ギャラリーにて確保することとした。このトップライトには採光コントロールのできる電動開閉式ルーバーが設置されている。

床は見本市会場においては、もっとも重要な部位とされており、あらゆる展示物を想定して計画される必要がある。大型車、クレーン車の走行や大型基礎の埋設等苛酷な条件が多い。計画では、これらの状況を踏まえて比較検討の結果、許容床荷重5Ton/m²を有する



設備幹線図

アスファルト舗装を採用した。

搬出入口については、歩行者エントランスとの関係、小間配置、搬出入動線などを考慮して30ｍグリッドに１ケ所を基準として配置した。その仕様については、特殊開閉装置による、非常口付パネル型昇降扉（全高６ｍ）を新しく考案した。

2)　５号館

前述した理想的展示空間は、本来オールシーズンに耐えられる空気調和設備を有するべきであろうが、これを全館に望むにはコスト上の限界がある。そこで当計画では、５号館を選定して、夏冬の利用にも耐えられかつ、多人数の集会など広く多目的に使用しうる冷暖房設備付無柱展示館とした。

3)　５号館Ｂゾーン

５号館は、面積約5,000㎡のＡゾーンと、約1,600㎡のＢゾーンとにスライディングウォールによって仕切ることができるように考えた。このＢゾーンは、天井高５ｍ、中央の柱間18ｍで、展示場としては、当会場内唯一の構造スラブ方式となっている。蛍光灯とダウンライト併用による明るい照明で、いわば百貨店スタイルの展示室となっており、精密機械や宝石類、小型の見本市をはじめとして、各種の集宴会、他のイベントのための準備室、控室など、その規模的、位置的特質によって多種多様な用途が考えられる空間である。

4)　３号館

より広く、より高い無柱空間があれば、大型ヨットなどの特殊展示、サーカスや相撲といった特殊イベント、その他スポーツなどにも使用できて、見本市会場の多目的性、複合用途性が強まり、魅力が増大して、使用効率も高まってくるであろう。このような主旨で、３号館には、平面寸法72ｍ×72ｍ、トラス下15ｍというスケール上の特質を与えた。ここには、屋外展示場と巾24ｍの広いアーケード、広いサービスヤードが隣接していて、上記の特殊用途を支える役割を果す。今後の利用が楽しみな館である。

5)　展示空間の供給処理システム

展示空間には、それを支える各種エネルギーの供給処理が、スムーズに、迅速に行われる必要がある。３ｍ×３ｍの標準小間割から割り出した６ｍピッチの床面ピット（サブピット巾500）と、これを直交方向につなぐ連絡ピットがそのルートとなる。このサブピットは、電気用と機械用とが交互に配されて、全空間を均質にカバーしている。サブピットは展示館付属諸室の位置で、その下部に設けられた設備共同溝（メインピット有効巾2.1ｍ×高さ2.1ｍ）につながるが、この共同溝には、照明、動力、電話、給水、ガス、圧縮空気など６種類の館ごとの幹線が走り、混雑する準備段階にもスムーズに作業ができるよう配慮されている。

排水についても、各機械用サブピットにて展示館外周部へと導かれてメイン管へといたる。各館メインピットへエネルギーを供給する会場全体としての幹線は、前述のように、囲み配置の内部サークルを利用して環状に設置されて、センタービル地下のエネルギーセンターへと接続されている。


展示館トップライト



展示館搬出入口



一般展示館内部


展示館採光ギャラリー

## 屋根のある広場（インテックスプラザ）

見本市会場はたんなる商取引の場ではなく、幅広く国際交流の場として機能しなければならないが、そのためには、機能性やデザイン性はもとより、夢と遊びをもった創造性のある空間づくりが必要となる。当会場では、囲み配置によって生み出された内部広場の半分に大屋根を架けて、残り半分を空の見える広場とし、両者のコンビネーションによって「巨大な遊びの空間」を形成した。この屋根

のある広場は、囲み配置の中央にあって通常は通行と休憩の用に供されるが、時には単独でイベント広場としても使用され、また5号館で開催される大パーティーのためのロビー、ラウンジ空間としても機能する。この「巨大な共有空間」の実現によって、会場はその一体感を強め、また、スケールと構成が非日常的であるために、人々に熱気を与えて、会場全体の盛り上り感を高める働きをする。

立体トラスによって架構したヴォールト形状の骨組上に、四フッ化エチレン樹脂コーティングガラス布を張りめぐらせたこの大屋根は、昨年、わが国初の恒久的骨組膜構造として大臣認定されたものである。屋根面より妻面にまで連続する立体トラスを通して、ガラス布を通過した淡い光が射込む巨大な半屋外空間、動にも静にも耐えうる存在感のある空間、日本的な光—障子のあかり—の味わいをもつ空間、そしてさまざまなイベントをいっぱいに描けるキャンバスとしての空間、そのような空間を意図してこのインテックスプラザは設計された。

## 下支え施設

本計画の3大テーマの1つである下支え施設の充実を計るべく、各施設の規模や性格を検討したが、商取引の場であると同時に、技術・デザイン情報の国際的な交流の場である見本市会場としては、海外の新しい事例に比べるとまだまだ面積面での充実度が少いように思われる。欧米とわが国とでは国情、流通機構、運営方式などの違いがあるので、いちがいに規模によって充実度の比較をすることはできないが、本計画ではそういった状況の中で、できるだけ効率よく機能するよう各施設の計画をすることを目標とした。各部計画にあたっては、効率ということを考えると、概ね、施設の集約化および相互のつながりの良さがポイントとなってくる。そこで各展示館に付属するものとしては、最低必要と思われるだけの飲食関連施設、主催者事務室や電話などのサービス関連施設、休憩スペースなどのみであるものとして、他のほとんどの部分は管理棟と5号館に集約し、

1)会議ゾーン（会議、集会関連施設）
2)レストランゾーン（飲食関連施設）
3)主催者ゾーン（主催者関連施設）
4)I・Fゾーン（インフォーメーションサービス関連施設）
5)管理ゾーン（管理関連施設）

の5つに大別し、それらの効率良い融合を計った。具体的には次の項目について簡単にふれてみたい。

**●国際会議場**　5号館Bゾーン2階　414㎡

主として、200～400人の規模の集会、会議に対応させるもので、多目的利用を考えて平土間としている。会議集会関連施設の中心をなすものであり、6ケ国語同時通訳設備、音響調光設備を備えた本格的な国際会議場である。

**●5号館A、Bゾーン**

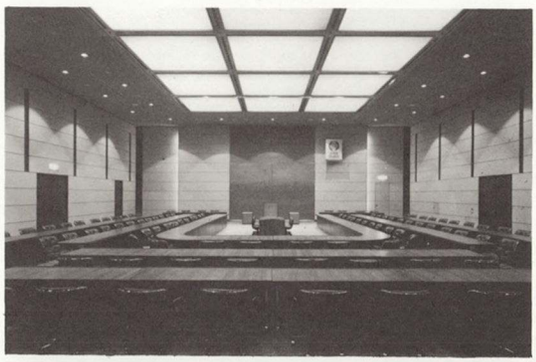
空気調和設備をもつ5号館A・Bゾーンを、集・宴会施設として使用できるよう、照明、音響などの装備を施して、Bゾーンについては500～1,000人程度、Aゾーンについては2,000～5,000人程度、最大7,000人までの集宴会に対応させるものとした。

**●特別レストラン**　5号館Bゾーン2階　80席

管理センターの共用ロビーに面して、屋根のある広場を見下す位置にあるこの施設は、重要なバイヤーや招待客、国際会議の出席者や関連者、主催者や出展者の役員、VIP、といった人々を利用の中心として考えたもので、その意図は、展示会場の雑音や一般入場者の混雑に妨げられることなく、商談や歓談を行える場所を用意しようとしたものである。とくに欧米には、飲食を通じてのコミュニケーションを非常に大切にする習慣があり、こういった国際性を当会場にももたせようという目的もあった。

**●仮設飲食施設**

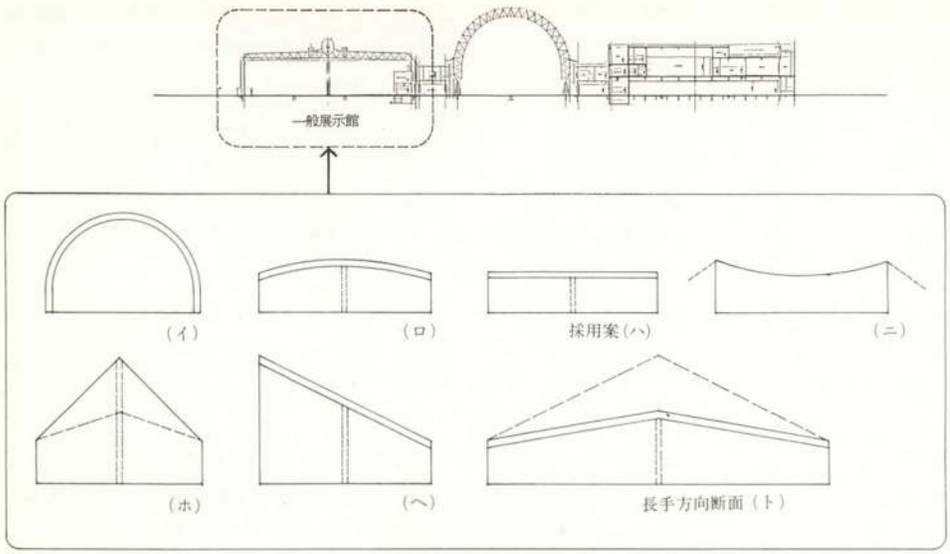
飲食施設をコミュニケーションの場として大切にしようとする習慣は、わが国にも次第に定着しようとしている。当会場では、恒久的な飲食施設として5店舗計684席を用意して内容面でも充実を計ったが、大型見本市への対応としては、必ずしも充分とはいいがたい。当会場のパブリックスペースは、アーケード、インテックスプラザ、スカイプラザなど、量質ともに充実しており、エネルギーの供給処理も可能であるため、展示館内部も含めて、仮設的に飲食施設を設けることが可能である。計画では、席数約600程度の仮設レストラン、カフェテラスを予定して、近い将来、年に数回開催されるであろう最大級見本市に対応させることとした。


国際会議場

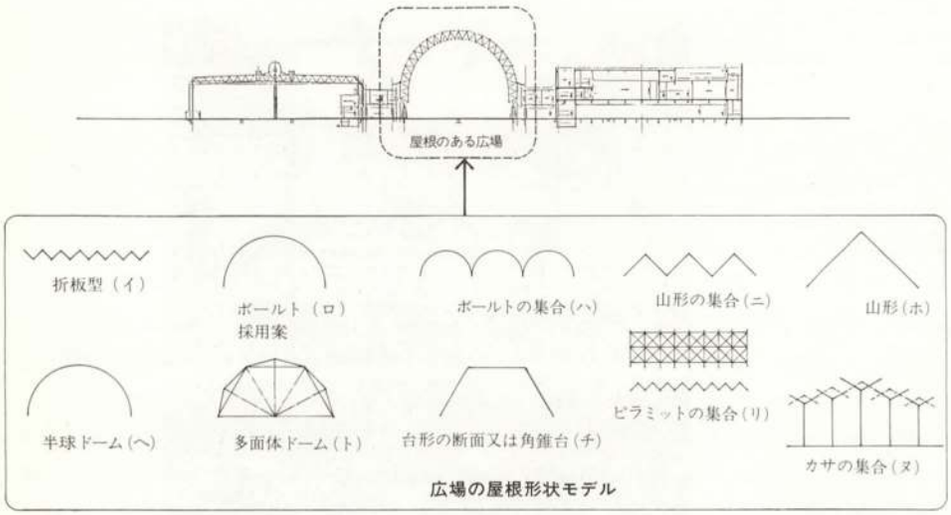

5号館Aゾーン


特別レストラン


センタービル
インフォメーション
ロビー




展示館の屋根形状モデル




広場の屋根形状モデル

## 断面計画

見本市会場の展示空間には、均質性と連続性とが求められる。また、展示館断面の基本形状を定めることは会場全体の造形の基本を定めることにつながるため、計画プロセス上きわめて重要なスタディとなる。本計画では、上図に示すようにいくつかの構造・形態上のプロトタイプについて、その断面を検討したが、(ロ)に示すもっとも均質で無性格な短形断面を採ることとした。これは、後述するように、一般展示館群の水平的な広がりを強調して、その中央に突出する展根のある広場との明確な対比を求めるためでもあった。

屋根のある広場の断面計画は、会場全体の造形と、広場のイベントスペースとしての盛り上り感を決定づけるものであり、とくに慎重に計画を進めた。計画では上図に示す各断面、さらに多くの断面について検討を行ったが、明快な無柱空間、会場の中心に盛り上り感を与える形、無性格な展示館群との対比、囲み配置にメインアプローチの方向性を与える形、構造的明快性、経済性に優れるなど多くの特性を生かせるもっとも望ましいものとして (ロ)のヴォールト案を採用した。また盛り上り感を表現できる展示館とのバランスのとれた高さは、GL+31mと判段した。ただし、ヴォールト形状については近年広場やアーケード空間などに数多く使われており、本計画では、従来の模倣に終ることなく新しい技術を背景とした新しい空間を創り出す努力をすることに留意した。

## 立面計画と外装

港と広大な敷地、新しい国際交流の場という用途により連想されたイメージは、水平にのびやかに広がる建築群とそこに突出した形をもつ、個性的な、存在感のある造形であった。

このイメージにあわせて展示館群は、極力高さを押えて（パラペット高GL+12m 300）その中央に高さ31mの大屋根を架けた。

展示館は、建物の軽量化を計るために採用したフッ素樹脂鋼板を折板加工して、水平方向にエンドレスに張りめぐらし、巨大な箱にそれがつくりだす陰影による表情をつけた。また、多数のサービス車による壁面損傷を避けるため、GL+2,500までコンクリート壁としたが、これを竪リブ着色仕上として壁面との対比を計った。また屋根にトップライト、壁面下部に採光用のガラス箱（採光ギャラリー）をつけて、巨大な箱の一隅をクリスタルな素材に置きかえた。同時に建物を少しづつずらし配置として、建築群に陰影と変化を与え、相互間のアーケード部分に、ガラスの箱（レストラン）を取付けて、ブロック間スリットとしての表情を強調した。

大屋根は広場内部のイメージから採用されたフッ素樹脂コーティングガラスクロスによる屋根材をそのまま外部にあらわしたものであるが、セルフクリーニング性能をもつ素材の白い色が展示館屋根との対比をきわだたせて、その形状を強調している。

メインアプローチの方向である西面は、この建物の中でもっとも特徴ある立面をもっている。直径42mの半円形の大屋根妻面と延長100mに延びる一直線のセンタービル、そしてその手前メインゲート上の3つの小型ヴォールト妻面、さらに5号館の斜めにカットされた壁面、これらがいづれも、ミラー効果を有するガラスのカーテンウォールで構成されていて、遠近感を現わしながら輝き空や緑をうつす。この景観は奥行90mのゲート広場と、そこに植えられた28本のイチョウの緑によって、さらに強調される。

白と黒、そしてハーフミラーガラスにうつる空と緑、さまざまな展示会のにぎわいを包み込むのびやかでダイナミックな景観が、今後開催されるであろう数多くの見本市を盛り上げて、その役割をしっかりと果してくれるであろうと願うものである。

（文責　東畑建築事務所　設計課長　谷　淳之介
〃　主任技師　松本　博俊）



展示館群と大屋根

## 大阪国際見本市新会場

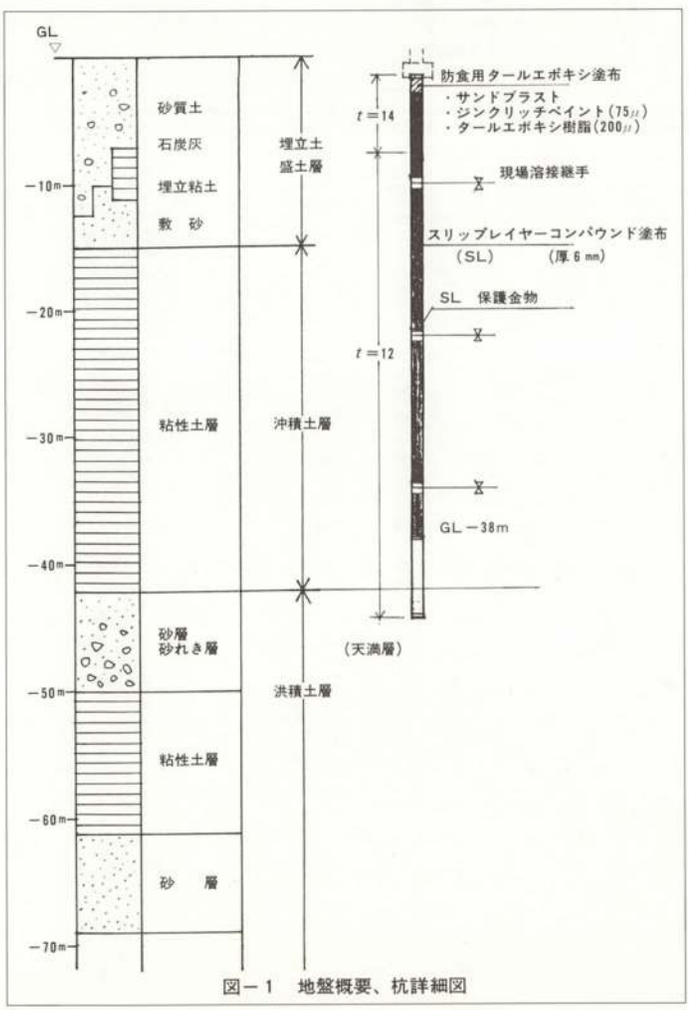
# 構造計画

大阪市都市整備局
東畑建築事務所

### 地盤概要

本敷地は、旧海岸線より約3.5㎞程度沖合の大阪湾を埋立てた「大阪南港」の北西の一画である。大阪南港は、昭和33年から埋立てが開始され、現在ほぼ埋立てが完了している。敷地内において、60m間隔に実施された土質調査における標準的な地盤の構成を、**図1**に示す。GL－15m付近までが、N値10前後の埋立土、GL－42m付近までが、沖積粘土層でN値も上部0～6、下部3～9と変化している。GL－42m以深が、砂層と粘性土層が互層となっている洪積土層である。上部の中砂を主体とした砂層はN値が60以上もあり、また、この層下部の砂礫層は、一般に天満砂礫層と呼ばれ、N値60以上を示す。砂層厚は、平均5～6m程度である。粘性土層は、N値が7～15で、ところにより20以上を示し、やや過圧密な粘土である。下部の砂層は、細中砂を主体とし、N値60以上を示している。

沖積土層の粘性土は、埋立て直後よりサンドドレーン工法にて、圧密を進行させている。また今回工事期間中には、ディープウェル工法による強制圧密も行なったが建物完成後も、ある程度の地盤沈下が予想されている。




図－1　地盤概要、杭詳細図

### 基礎構造

杭地業には、鋼管杭（ＪＩＳＡ5525、ＳＴＫ41－Ｋ）を採用し、杭先端支持層は、ＧＬ－42m付近の洪積砂礫層とした。沖積粘土層が圧密未完のため、杭には負の摩擦力が働く。この負の摩擦力の低減を計るため、杭周囲にはスリップレイヤーコンパウンド（ＳＬ）を塗布した。**（図1参照）** 杭打設は、南に隣接した集合住宅団地への影響を考慮して、無騒音、無振動工法である中堀り工法（ＴＮ工法、ＴＡＩＰ工法）による埋込み杭とし、杭先端は、セメントミルクによる根固めを行なった。また、杭の水平耐力検討時には、建物完成後の地盤沈下を考慮して、杭頭突出杭として設計した。

### 架構計画

展示空間を覆う屋根、壁の仕上材料に要求される性能として、遮音、断熱、美観、漏水、耐久性が挙げられるが、今回はそれらとともに構造体の経済性が要求された。それには、まず下部構造（基礎地業）への経済性とともに不同沈下への対応として、可能な限り建物の軽量化を計ることが必要であった。そのために、上部架構は鉄骨造とし、屋根葺材としては、軽量化および前記性能も考慮して、鋼板製長尺折版を採用した。鉄骨架構は、柱には、角形鋼管柱（耐火被覆コンクリート巻）を、梁には、軽量化、仕口部の簡素さ、および美観性を考慮して、鋼管平行弦トラスを採用した。

1、2、4号館は当初、中柱のない無柱空間として、60m×90m（2、4号館60m×120m）の立体トラス版を架ける案も検討されたが、中柱の存在が一般展示にはほとんど支障がないことにより、経済性、屋根トラスの施工性、工期、および他の展示館との互換性（施工上）を考慮して、屋根構造を1ユニット30m×30mの立体トラス版とし、30m毎に本柱を設け、屋根トラスと同一成の主トラスにて主架構を形成した。3号館については、展示利用目的の違いから無柱空間とする必要があり、スパン72mに十文字に主トラスを架け、屋根立体トラスは36m×36mとした。

柱をコンクリート巻することにより剛性を高めた主架構と、建物外周壁面に設けたブレース（ＣＴ鋼）とを、おもな耐風、耐震要素とした。屋根面の水平剛性確保には、斜交している立体トラス下弦材を利用した。主架構方向には、地中梁を設けず、柱脚は、杭による水平剛性および回転剛性を考慮の上、固定度を定めた。

建家内部にある諸室(事務室、便所、電気室、機械室)は、鉄筋コンクリート造を主体としており、鉄骨造建家とは、エキスパンションジョイントにて縁を切った。これは、鉄骨造建家の対称性を守り、非対称性に起因する屋根立体トラスの境界条件の乱れを防ぐ目的と、鉄骨造と鉄筋コンクリート造との剛性の違いによる地震時水平力の集中を避け、偏心応力の発生を防ぐ目的によるものである。

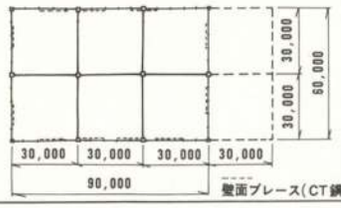
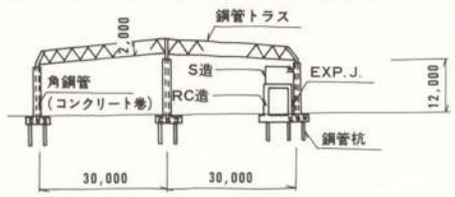
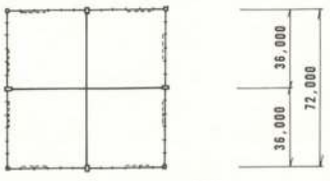
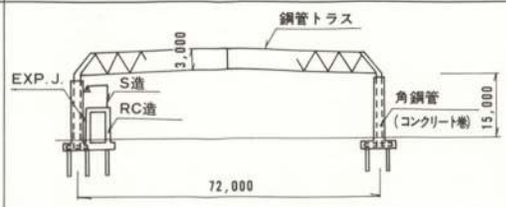
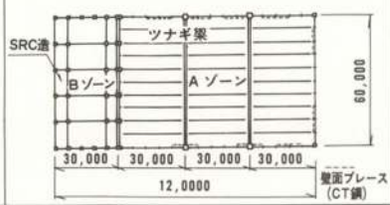
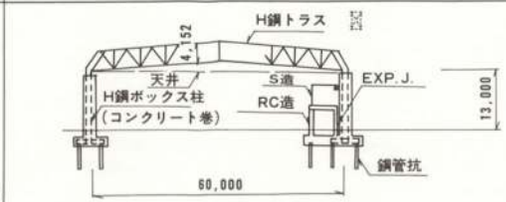
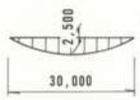
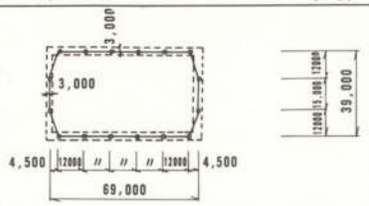
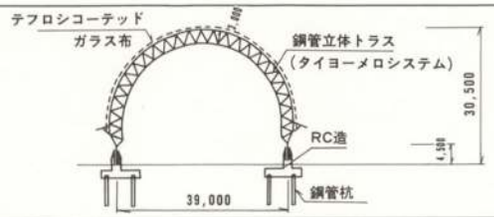
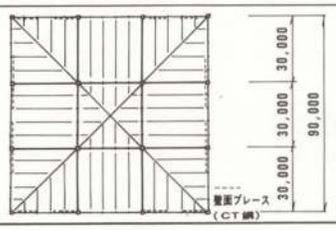
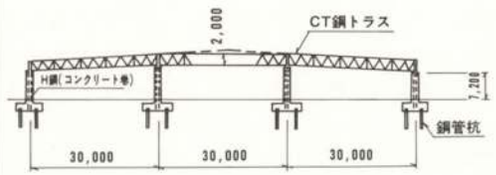
| 号館名 | 平面 | 断面および構造区分 | |
|---|---|---|---|
| 1号館<br>(2号館<br>4号館) |  |  | ◦屋根版は30m×30mを1ユニットとする鋼管立体トラス構造（D=2.0m）<br>◦屋根仕上材は長尺折版 |
| 3号館 |  |  | ◦屋根版は36m×36mを1ユニットとする鋼管立体トラス構造（D=2.0m）<br>◦屋根仕上材は長尺折版 |
| 5号館 |  |  | ◦屋根仕上材はALCパネル<br>◦屋根ツナギ梁スパン30m<br>  |
| 屋根のある広場<br>(インテックスプラザ) |  |  | ◦屋根仕上材はテフロンコーティッドガラス繊維布<br>◦骨組膜構造<br>◦妻面はカーテンウォール |
| 6号館<br>7号館 |  |  | ◦サブトラスはCT鋼トラス<br>◦屋根仕上材は長尺折版 |

表　各館架構概要

## 屋根立体トラス

30m×30m(1、2、4号館)及び36m×36m(3号館)を1ユニットとする重構面グリッドで構成する鋼管立体トラスを採用した。

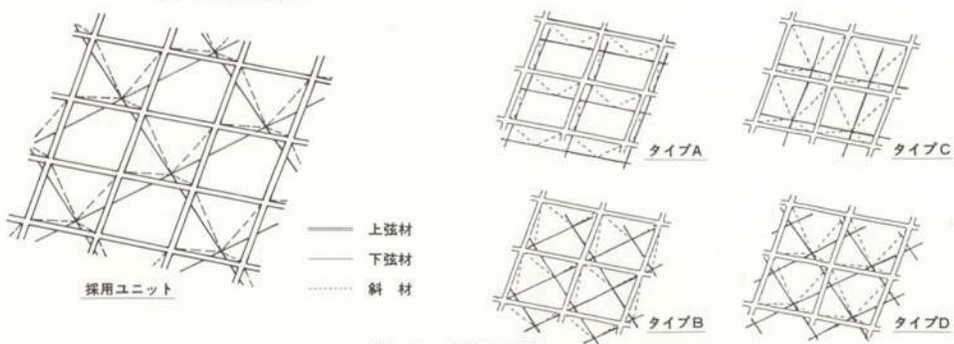
立体トラスの基本ユニットは、**図2**に示すように両面(上下弦面)とも、平行グリッドのタイプAおよびCと、片面平行グリッド、片面斜行グリッドのタイプB、Dがあるが、検討の結果、今回はタイプBを裏返したタイプを採用した。そのおもな理由としては、つぎのことが挙げられる。

(1)　圧縮側となる上弦面をグリッドの密な平行グリッド、引張側となる下弦面をグリッドの粗な斜交グリッドとすることにより、合理的である。

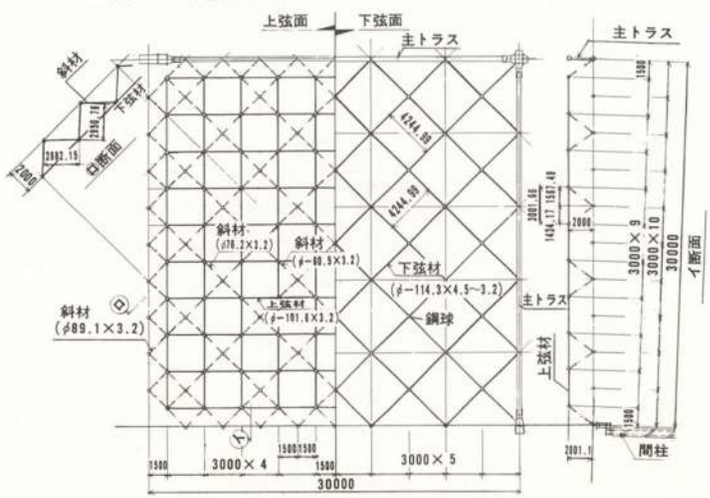
(2)　タイプCに比べて、下弦材交又部の節点球数が、半減され、部材数も減り、経済的である。

(3)　下から見上げた場合、上弦面との煩雑な重なりを避け、斜交した下弦材により意匠的な変化をもたせる。

立体トラス応力解析時における周辺境界条件は、連梁効果による応力の乱れ、および下弦材に圧縮力が働くことを避けるために、隣接ユニットとは上弦材を緊結しないこととした。また、下部構造が鉄骨造であり、四辺の支点条件がすべて異なるため、建物軒辺間柱上支点、




図－2　立体トラス




図－3　立体トラス伏図

主架構トラス梁上支点とも、下部鉄骨の変形を見込んだ、剛性評価を行ない、弾性支点として解析を行なった。また、トラス梁上の支点のバネ剛性の変化が、立体トラスの応力に大きく影響するため、さまざまな条件のもとで、安全であるように、検討を行なった。

## 3号館主トラス

主トラス接合部は、日本建築学会「鋼管構造設計施工指針・同解設」による許容耐力式に基づき、設計を行なった。このK型分岐接合部の耐力式は、径60φ～510φの主管を持つ接合部での実験結果に基づく実験式である。今回3号館主トラスにおいて、558.8φの主管と267.4φの支管の組合せがあり、設計段階での力学的性能を有していることを確認する目的として、実大供試体による試験を行なった。試験は、(財)日本建築総合試験所において実施された。試験結果の詳細は、同所機関誌「ＧＢＲＣ」No.38　1985.4に掲載されている。

主トラスは、長さ72mと長大スパンであるため、現場継手を設ける必要があり、弦材については、継手は現場突合せ溶接として、超音波探傷試験、放射線透過試験、浸透探傷試験により、溶接部の品質管理を行なった。

## 骨組膜構造

インテックスプラザには、屋根葺材として、テフロン樹脂コーテットガラス繊維布（厚0.8㎜、米国製、シャフィルII）を、9m×30mの大パネル方式で、鉄骨架構の表面に取付けた骨組膜構造を採用した。

膜構造取付ディテールを、**図5**に示すが、膜材料、設計外力など詳細については、本誌1985年1月号構造の頁を参考されたい。

骨組となる架構は、42m×72mの平面を覆う、ほぼ半円形アーチ状の重構面グリッドで構成される鋼管立体トラス架構とした。トラスグリッド3m×3m、トラスデプス3mであり、基本ユニットは、**図2**のタイプCである。鋼管トラスは、節点球径を可能な限り小さくしたいという意匠上の要求と、本プラザの施工工期と、建方精度を考慮して、現場組立ボルト接合のタイヨーメロシステム（TMトラス）を採用した。**(図－6)**

立体トラス架構は、鉄筋コンクリート造柱頭に設けられた鋼製支承により支持し、支承は鉛直荷重および水平荷重を、確実に下部柱に伝達する構造とした。柱は、上部鉄骨支承反力を受ける片持柱として設計し、柱脚曲げ応力は、桁行方向は基礎梁、張間方向および妻面は、杭による回転剛性により処理した。

(徳田裕英　東畑建築事務所構造課長
福森　享　〃　構造課技師)

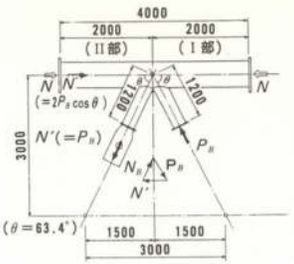
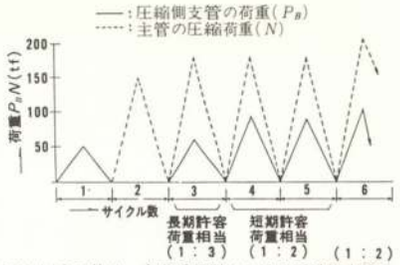



図4－1　加力概念図




(註)（ ）内の値は、各荷重段階における圧縮側支管の荷重($P_B$)と主管の圧縮荷重($N$)との比を示す。

図4－2　載荷経路

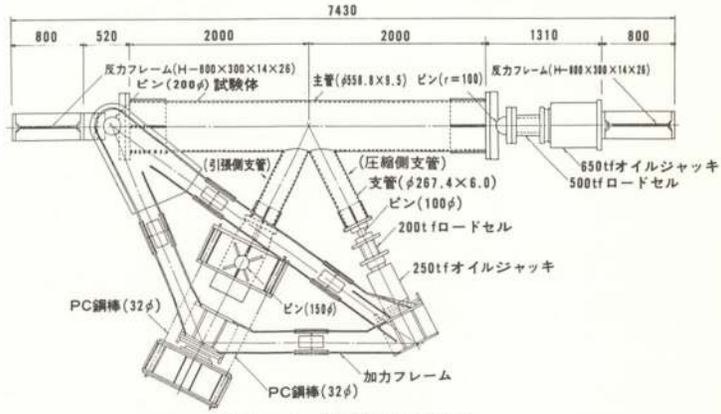
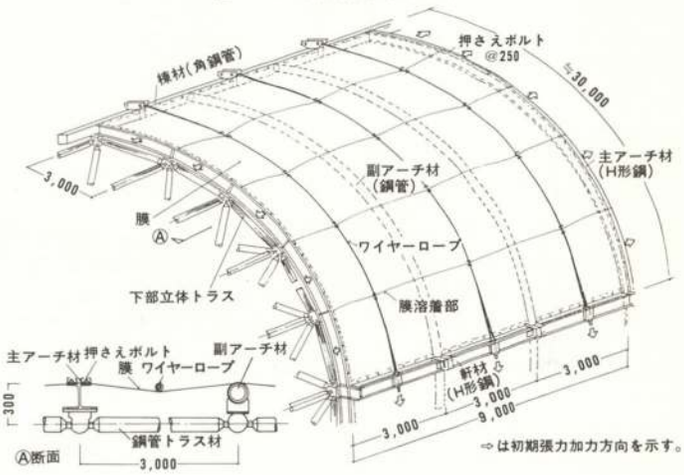
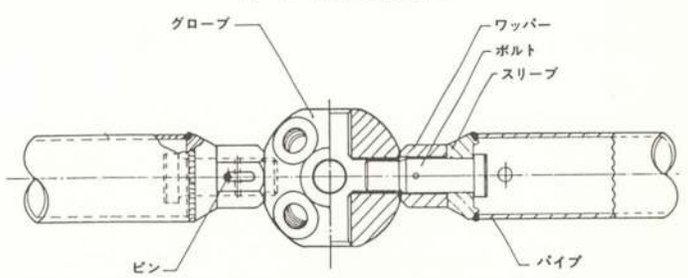



図4－3　載荷装置(平面図)




図－5　膜材の緊結方法




図－6　TMトラス仕口詳細図



写真1　インテックスプラザトラス架構



写真2　架構中の全景

## 大阪国際見本市新会場

# 設備計画

大阪市都市整備局
東畑建築事務所

**設備機器リスト(1)**

**●電気設備**

| | |
|---|---|
| 受変電 | 受電 3φ3W22kV 3回線スポットネットワーク |
| 特高変圧器 | 22kV/6.6kV 4000kVA×3台 モールド型 |
| 高圧配電盤 | 7.2kV600A VCB. 12.5kA×18台 閉鎖型 |
| コンデンサー盤 | SC300kVA+SR18kVA×6台 SC100kVA+SR6kVA×6台 VS+PE 組込キュービクル型 |
| 所内変圧器 | 22kV/210V−105V 100kVA×1台 モールド型(A−A) |
| 高圧電気室 | 16ケ所 |
| 非常用発電機 | ディーゼル機関 水冷竪型単動単サイクル、900PS、1800rpm |
| 発電機 | 3φ3W6600V750kVA ブランレス |
| 直流電源装置 | AH−E 200AH×2基 AH−E 120AH×3基<br>AH−E 150AH×2基 HS−E 150AH×2基 |
| 中央監視 | 受変電、防災（CRT+グラフィック）<br>動力、電灯、各種計量、計測（CRT）<br>昇降機運転表示（グラフィック）<br>日報作成装置、運転操作記録装置<br>自動無効電力制御機能<br>CVCF電源装置（10kVA） |
| 国際会議室 | 6ケ国語同時通訳装置、音響装置、調光装置<br>35mm/16mm兼用型映写機2台、スライドプロジェクター・OHP |
| ITV監視 | 屋内カメラ×16台 屋外カメラ×10台<br>監視モニター 展示室用 8基 全館用 2基 |
| 防災設備 | 自動火災報知、ガスもれ警報、防排煙制御<br>非常放送、非常電話、誘導灯消灯制御 |
| その他 | 電話引込〔メタル…2300回線、光…10芯〕 構内電話交換(内400回線デジタル式) テレビ・ラジオ共聴、電気時計、各館単独放送、音響装置(5号館Aゾーン)、調光装置(5号館Aゾーン)<br>移動型調光装置、テレビ会議設備 |

**●昇降機設備**

| | |
|---|---|
| エレベーター | 乗用11人乗750kg 3基(油圧式) センタービル、レストラン(2)、(4)<br>人荷用20人乗1350kg 1基(ロープ式) 5号館Bゾーン用 |
| エスカレーター(直線) | 800型30m/min 2基 センタービル |
| 円形エスカレーター | 1200型25m/min 2基 インテックスプラザ |
| ダムウェータ | 200kg20m/min 2基 レストラン(1)、(3) |

**●映像装置**

| | |
|---|---|
| 大型映像表示設備 | 表示部 液晶式カラー表示盤(3.2×4.3m 13.8m² 約215インチ)<br>制御架、スピーカー、空調パッケージ |
| センター設備部 | 映像・音声調整卓、モニター装置、文字発生装置 カラーテレビカメラ、VDR卓(静止画・動画、VHP、レザー) VTR架3/4"、1/2")、BGM、カセットデッキ、ポータブルVTR |
| その他 | 監視用カラーテレビカメラ、エアーモニターマイク、補助スピーカー、インターホン |

**●産業情報案内設備**

| | |
|---|---|
| センター部 | 光ディスクプレーヤ(静止・動画兼用型)10台 光ディスク収納架(約1,100枚)、光ディスクコントローラー パーソナルコンピュータ、CRT、カラーモニターTV |
| 端末部 | 5ブース(パーソナルコンピュータ、CRT、カラーモニターTV) |
| 画像案内設備 | 3基(可搬型) (パーソナルコンピューター、光ディスクプレーヤー、カラーモニターTV、簡易キーボード) |

## 電気設備計画

当会場は129,000㎡の敷地に7棟の恒久展示館をもち、従来の展示会場にない会場施設を有している。先端技術などを導入し、ニューメディア最新機器類などの展示に対応できる施設および設備内容を備え、将来の変化に十分対応できるようなフレキシビリティをもった設備計画を理念として電気設備計画を行った。

## 電気設備

### 1．受電設備

当会場の受電設備容量は、旧港会場の実績および、最近の傾向を考慮し、最大10,000KWとし、電力の安定供給を計り、信頼性の高い、22kV3回線スポットネットワーク方式とした。また、設備の不燃化および、軽量小型化の面より、変圧器は、モールド型（F種）とし、コンデンサー群は別区画の専用室に設置した。

力率改善策については、展示会の種類、規模などで負荷の変動が大きいため、軽負荷時、重負荷時の2段切替可能な自動無効電力制御が行なえるよう、SC100kVA×6台と、SC300kVA×6台の2群を設置した。

### 2．高圧配電設備

1回線の、供給容量を最大3000kVAとし、展示館には、各館2ケ所、計16ケ所の高圧電気室を設置した。

○管理棟系統
○プラザ系統
○1号館系統〔電気室(1)、(2)〕
○2号館系統〔電気室(1)、(2)〕
○3号館系統〔電気室(1)、(2)〕
○4号館系統〔電気室(1)、(2)〕
○5号館系統〔電気室(1)〕
○5号館系統〔電気室(2)〕
○6号館系統〔電気室(1)、(2)〕
○7号館系統〔電気室(1)、(2)〕
○予備系統No.1
○予備系統No.2
○コンデンサー系統No.1
○コンデンサー系統No.2



特高電気室

### 3．中央監視設備

広い会場に分散設置された設備機器の効率的な運用と継持管理ができるシステムとしCPUを導入し、CRT、グラフィックパネルにより、約3,000点の集中監視、計測、制御を行っている。おもな機能は、下記の通りである。

○受変電・発電機の監視、制御、計測

○デマンド監視
○自動無効電力制御（軽、重負荷時切替可能）
○発電機の負荷制御、停復電制御
○空調動力、照明のスケジュール発停・監視
○計測値の上下限監視および傾向測定
○各機器の運転、故障時の印字記録
○各計測値の日報作成

## 国際会議場設備

国際見本市会場の必要不可欠な施設のひとつに、欧米諸国では、国際会議場があげられるほど重要な役割をもつ会議場を有機的に、効率良く使用できる様に国連会議公用語が使用できる６ケ国語同時通訳装置を備え、また、一般会議やレセプション、パーティなどが行なえる多目的な機能をもつ会議設備を備えた。主要機器は下記の通りである。

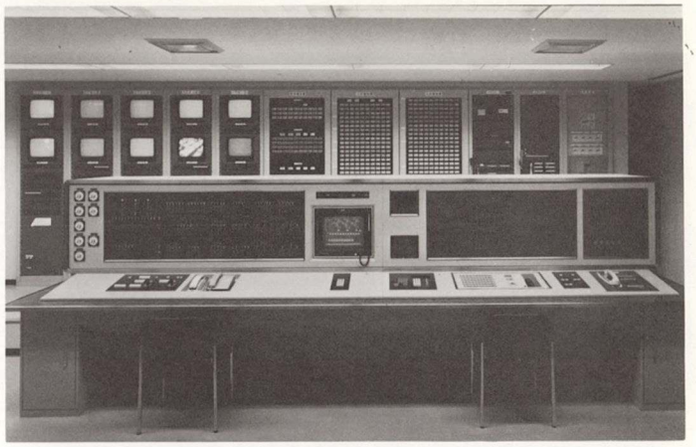
○議長用マイクロホン　３台（議長、副議長、事務局長用）
○会議者マイクロホン　40台
○通訳者操作器　６台（６ケ国語用）
○誘導無線送信器　１架（　〃　）
○誘導無線受信器　300台（　〃　）
○有線受話器　５台（６ケ国語用・プレスルーム）
○カセットテープレコーダー　８台(６ケ国語用・録音記録用)
○発言要求表盤　１台
○調整卓　１基

## 映像装置設備

当会場に入場される人々に、映像（動画、静止画）文字、図形および音声などによる各種の情報サービスを行うために三種類の情報案内設備を設けている。

### (1) 大型映像表示設備

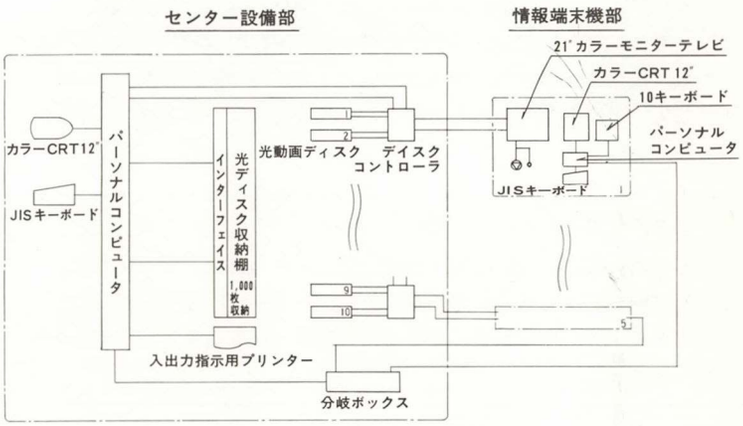
屋根のある広場（インテックスプラザ）に大型表示装置（カラー液晶表示）を設け、広報サービス（行事、催事案内、企業紹介、案内など）および、イベント案内などに使用する。(図－１)



防災センター

### (2) 産業情報案内設備

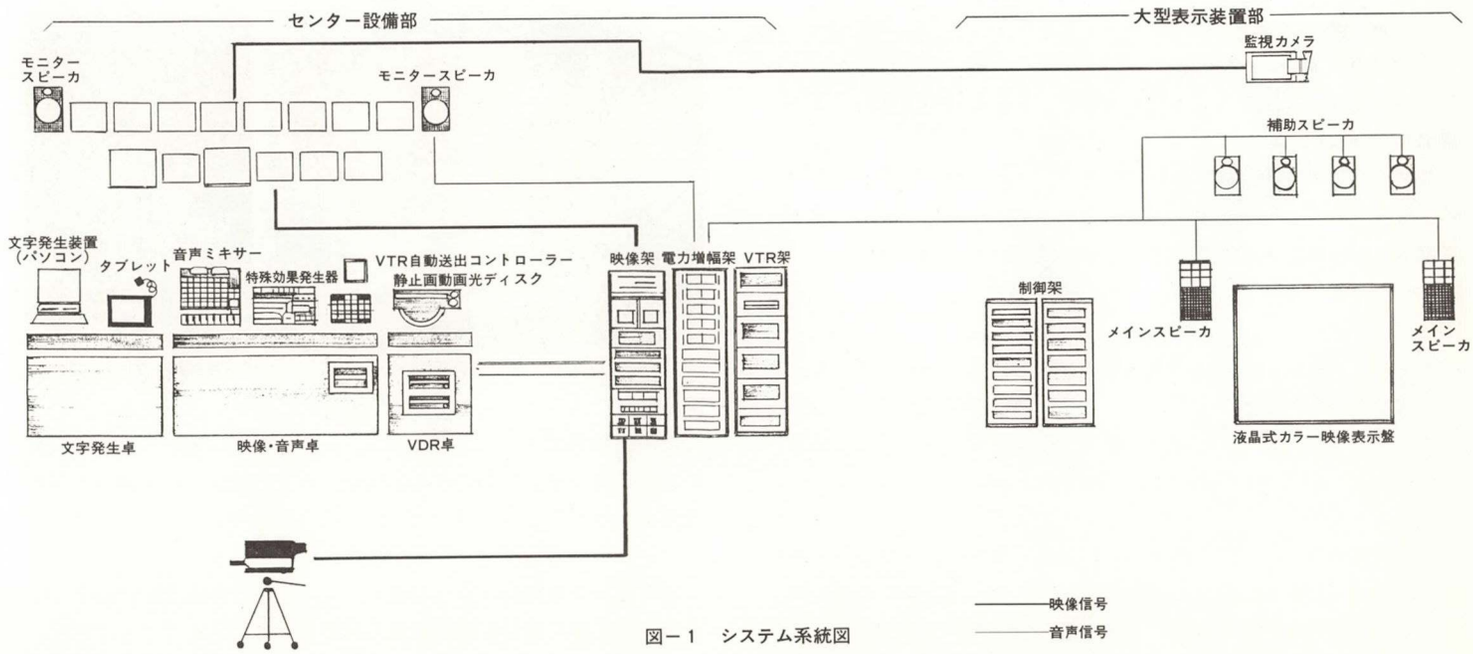
本システムは、光ディスク約1,100枚に収録された､種々の動画による産業情報を利用者が視聴ブース内端末器を操作することにより、いろいろな検索方法で必要な情報を視聴できるシステムで管理棟( センタービル）２階インホーメーションロビーに面した一画に設置した。(図－２)



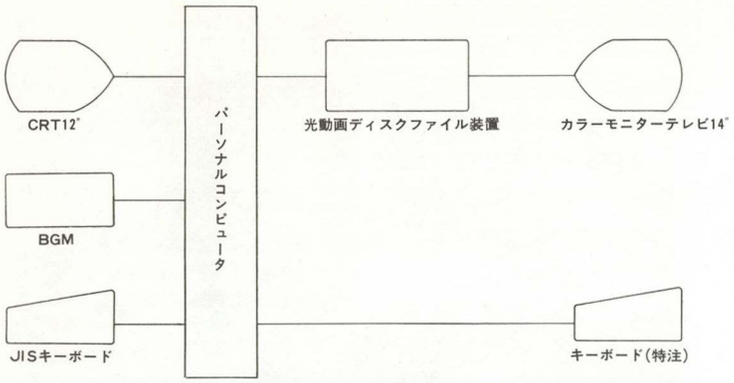

図－２　システム系統図

### (3) 画像案内設備

本システムは会場を訪れる人々に、会場案内、交通案内、ホテル案内、観光案内などの各種情報を光ディスクファイル装置に記録された、静止画によって提供するシステムで、利用者は自分が希望する項目番号を選択するだけで、必要な情報をえられる装置をメイン




図－１　システム系統図




**図－3　システム系統図**

ゲートを入ったホワイエ部分に3台設置しているが、会場の運用のしかたで、設置場所が移動できるように配慮した。**(図－3)**

(文責　東畑建築事務所電気設備主任技師　尾山　治)

## 機械設備計画

展示場の設備についての論文、解説書の類はきわめて少なく、計画を立てるに当り幾多の運営実例を細かく調査し、その実態と改善点を見い出すべく資料集収を重ねた。国内事例のそれらは設備面でやや立遅れが見られ多目的な展示内容への対応が難しいのではないかと見受けられた。一方、海外事例にあっては設備施設は充実し、長い歴史の中で適確に追求された内容が数多く見聞され、今回の計画に参考となった。

展示物に対する諸供給源は、量および質が優れていることにより、より効果的な見本市が催されるものと信じ、従前の傾向を踏え将来的見方による思いきった内容を計画した。今回の計画で展示施設における設備の担う比重の大きさを痛感し、今後、ますます多用途に発展する見本市の運営形態と計画した設備のハード面を注目していきたいと考えている。

## 空気調和設備

本施設の用途上、年間を通じて快適な展示会が開催できるようとくに5号館には空調設備を完備した。これにより、展示会に限らず、集会・レセプション・パーティなど多目的な使用にも対応できるよう配慮した。

**(1)　熱源設備**

施設規模が大きく、熱源容量も膨大となるため、ランニングコスト・無公害性・管理面の簡素化を考慮し、主たる熱源は都市ガスを利用し冷温水機とした。

5号館は、多目的に使用されることや、中間期のことを考慮して、熱源機2台に分割した。また、常時使用があると予想される管理事務室等は単独運転が可能なように電気方式とした。

**(2)　空調方式**

(2)－1　管理棟

インフォメーションロビー系統等の共用系統を、単一ダクト方式（一部ファンコイルユニット併用）とし、管理事務室等は空冷ヒートポンプパッケージ方式とした。また、役員室等には、ＶＡＶ装置を設け、よりグレードの高い温度調整を行えるようにした。

(2)－2　5号館

国際会議室は単一ダクト方式、その他の会議室は、空冷ヒートポンプパッケージ方式とした。展示室Ａゾーンは、大空間であるため、両サイドよりノズルにて吹出し、中央附近までの到達を確保し、暖房時には、高速ノズルを併用し、居住域に温風を誘引するよう計画した。展示室のゾーニングは、収容人員・室内環境にあわせて、最適台数の空調機を運転できるように、12台に分割し、高速ノズル用送風機も6台に分割した。

(2)－3　中間期の冷房

管理棟・5号館の空調機系統はいずれも、空調機送風量全量の給排気を行ない、外気冷房の有効利用による省エネ化を図っている。

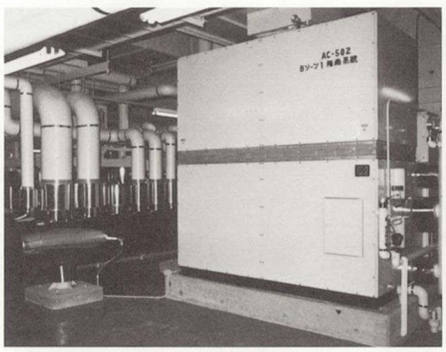
**設備機器リスト(2)**

**空気調和設備**

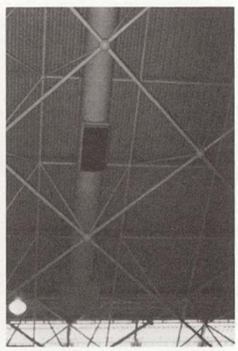
| | | | |
|---|---|---|---|
| 吸収式冷温水機 | ガス直焚二重効用形(中圧ガス用)管理棟系統 | 120USRt | 1台 |
| | 5号館系統 | 280USRt | 1台 |
| | | 550USRt | 1台 |
| 冷却塔 | 角型低騒音クロスフロー型 | 120USRt | 1台 |
| | | 280USRt | 1台 |
| | | 550USRt | 1台 |
| | 角型低騒音カウンターフロー型 | 20USRt | 2台 |
| 空調設備ポンプ類 | 冷温水ポンプ | | 15台 |
| | 冷却水ポンプ | | 5台 |
| エアージェットファン | ターボファン | 4600CMH×170mmAq | 4台 |
| | | 3600CMH×170mmAq | 2台 |
| 排煙ファン | 管理棟地下系統 シロッコファン | 9040CMH×60mmAq | 1台 |
| | 5号館国際会議室系統 軸流ファン | 28600CMH×40mmAq | 1台 |
| | 5号館 2階系統 リミットロードファン | 23000CMH×100mmAq | 1台 |
| 空気調和機 | 1．管理棟 エトランス系統 | 2200CMH×85mmAq | 1台 |
| | インフォメーションロビー系統 | 36000CMH×110mmAq | 1台 |
| | インフォメーション系統 | 5800CMH×95mmAq | 1台 |
| | 2．5号館 | | |
| | 国際会議室ロビー系統 | 22500CMH×100mmAq | 1台 |
| | 国際会議室 | 33000CMH×105mmAq | 1台 |
| | 通訳ブース系統 | 5340CMH×105mmAq | 1台 |
| | 特別レストラン系統 | 23400CMH×85mmAq | 1台 |
| | Ａゾーン系統 | 1600CMH×100mmAq | 2台 |
| | | 24000CMH×100mmAq | 8台 |
| | | 32000CMH×100mmAq | 2台 |
| | Ｂゾーン系統 | 23040CMH×90mmAq | 2台 |
| パッケージ型空調機 | 電気室系統20USRt | 10800CMH×20mmAq | 2台 |
| | その他 | | 13台 |
| ルーフファン | 1～7号館 | | 124台 |

**衛生設備**

| | | | |
|---|---|---|---|
| 受水槽 | ＦＲＰ複合板製 50m³×2基 | | |
| 高置水槽 | ＦＲＰ複合板製 10m³×1基 | | |
| 加圧給水装置 | 周波数変換回転数制御による推定末端圧一定制御 | | |
| | 大水量ポンプ | 1250ℓ/min | 5台 |
| | 小水量ポンプ | 360ℓ/min | 2台 |
| 揚水ポンプ | 620ℓ/min×43m | | 2台 |
| 真空式温水機 | 63000kcaℓ/H | | 1台 |
| 貯湯槽 | SUS 304製 750ℓ | | 1基 |
| ポンプ類 | 屋外消火栓ポンプ(屋内消火栓兼用) | 2750ℓ/min×57m | 1台 |
| | スプリンクラーポンプ | 1800ℓ/min×65m | 1台 |
| | その他 | | 9台 |



**5号館空調機器**



**一般展示館ルーフファン強制換気**

(2)－4　展示館の換気設備

すべての展示館にルーフファンを設け、展示会の開催中の除塵および排熱を考えた。外気の取り入れは、建物外壁下部に吸込口（建築工事）を設け、極力居住域を通過させる自然流入方式で、第3種換気方式とした。本敷地は、年間を通じて西風が強いため、ルーフファンの防雨対策として特製の防風カバー（建築工事）を設けた。

## 衛生設備

**(1)　給水引込み**

本敷地南側公道の市設配水本管より200φを引込み、受水槽を経て、各系統へ給水する。

**(2)　給水方式**

(2)－1　重力給水方式

管理棟および5号館の一部の重層建物は、重力給水方式とした。

(2)－2　加圧給水方式

広大な敷地に、建ち並ぶ展示館は、給水範囲が多岐にわたり、圧力確保を確実にするため、加圧給水方式とした。展示館は、常時全館開催されているとは限らないため、電動弁により系統分割をし、送水ゾーニングを行っている。また、展示物への給水圧力調整のため減圧弁装置を設けた。（加圧給水装置については本号設備のページを参照）

**(3)　圧縮空気配管設備**

近年は、圧縮空気を動力源とする、産業ロボットなどの展示が数多く催される。本施設は多用途のため空気圧縮機の能力の決定は困難であり、各展示館への主配管および取り出し用のバルブを本工事に含んだ。配管方法は、1～5号館を主管で環状に結び、展示館ごとに分岐し、館のメインピットに横引主管を設け、サブピットごとに弁の取り出しを行う。6・7号館は、各館単独に配管を設けた。

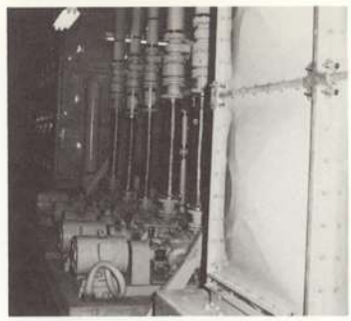
**(4)　消火設備**

国内においてこのような規模の見本市会場の前例が少なく、基本設計の段階より消防当局と慎重な協議を重ね、下記の消火設備を設置している。

・屋外消火栓設備
・屋内消火栓設備
・スプリンクラー設備
・連結送水管設備
・防火用水設備

**(5)　ガス設備**

ガス種は、13A(11000kcal/Nm³)でおもな用途として、空調熱源用（中圧ガス）、展示用・レストラン厨房用(低圧ガス)である。敷地全域が埋立地ということもあり、ガス供給者と地盤沈下対策は入念に協議を行い、極力埋設配管をさけた。各展示館へガス供給する配管方法は、圧縮空気配管設備の供給と同一方法を用いた。



エネルギーセンター加圧給水装置

（文責　東畑建築事務所機械設備課長　西山賢次
〃　機械設備技師　吉田信夫）

## 展示用供給設備

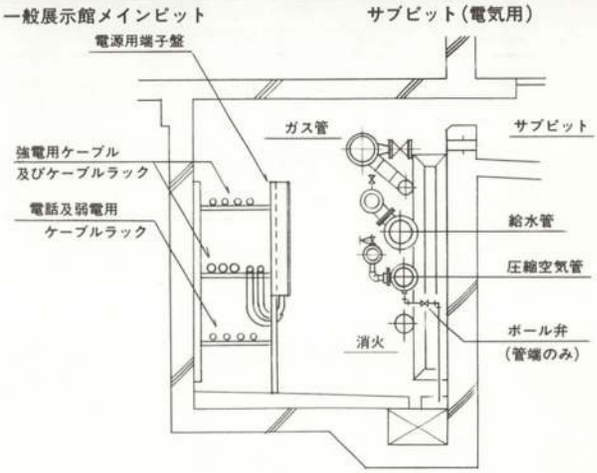
建築計画の項で説明のあった展示館のメインピットについて、その断面説明図を示し、併せて各館の展示用供給設備の概要を別表に示す。これらはメインピット内の各取出口よりサブピット内を配管・配線し、各展示ブースへ供給する。とくに、電源および電話についてはサブピット内にも配線ならびに端子盤を設けることにより、準備・撤去期間の短縮化・展示費用の軽減を計っている。　**(図－4)**



一般展示館メインピット



サブピット(電気用)




図－4　メインピット断面図

表　展示用供給設備

| | | 展示用電力 | | 給水設備 | | 排水設備 | ガス設備 | | 圧縮空気設備 | | 電話(局線) | 電話(光ケーブル) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1号館 | | 三相600kVA | 単相600kVA | 7カ所 | 1カ所当り φ25㎜×5口 | 有 | 7カ所 | 1カ所当り φ80㎜＋φ50㎜ | 7カ所 | 1カ所当り φ20㎜×5口 | 200回線 | 10 |
| 2号館 | | 1000 | 600 | 10カ所 | | 有 | 10カ所 | | 10カ所 | | 300 | 10 |
| 3号館 | | 800 | 600 | 6カ所 | | 有 | 6カ所 | | 6カ所 | | 200 | |
| 4号館 | | 1000 | 600 | 10カ所 | | 有 | 10カ所 | | 10カ所 | | 300 | |
| 5号館 | Aゾーン | 600 | 600 | 7カ所 | | 有 | 7カ所 | | 7カ所 | | 200 | |
| | Bゾーン | 200 | 200 | 2カ所 | | 有 | 2カ所 | | 2カ所 | | 100 | 10 |
| | 計 | (800) | (800) | (9カ所) | | —— | (9カ所) | | (9カ所) | | (300) | (10) |
| 6号館 | | 1000 | 800 | 6カ所 | 1カ所当り φ25㎜×5口 | 有 | 3カ所 | 1カ所当り φ50㎜ | 6カ所 | 1カ所当り φ20㎜×5口 | 300 | |
| 7号館 | | 1000 | 800 | 6カ所 | | 有 | 3カ所 | | 6カ所 | | 300 | |
| 屋外展示場 | | 3号館より引込 | | 3号館より引込 | | —— | —— | | —— | | —— | 5 |
| インテックスプラザ | | 200 | 200 | 1カ所 | φ40㎜ | 有 | —— | | —— | | 100 | |
| 合計 | | 5800 | 4400 | 54カ所 | | —— | 48カ所 | | 54カ所 | | 2000回線 | 10芯 |

## 大阪国際見本市新会場

# 施工計画その１

大林組・松村組共同企業体

大阪国際見本市新会場の建設は、管理棟、７つの巨大展示館、屋根のある広場の建物群、レストラン、アーケード、ピロティ、回廊などの付属施設および、約 130,000㎡の広大な敷地全体の屋外外構工事からなり、これの完成に与えられた工期は、14ケ月という短いものであった。

このうち、その１工事では、１号～４号および６号、７号の展示館を除くすべての建築工事を担当したが、施工上特筆すべき工事として、約 5,000㎡の無柱空間を有する５号館Ａゾーンの主トラス(スパン60ｍ、梁成 4.4ｍで４Ｈ型鋼の組立トラス、重量52.4トン）の建方計画、ＳＲＣ造５号館Ｂゾーンの鉄骨ホールイン工法、埋立地で月間約30㎜の地盤沈下が進行中の敷地での管理棟地下工事の施工、およびわが国初の恒久的骨組み膜構造として大臣認定された建物であり、インテックス大阪のシンボルともなっている屋根のある広場工事が挙げられるが、ここでは、屋根のある広場の施工について述べてみたい。

### 構造上の特色

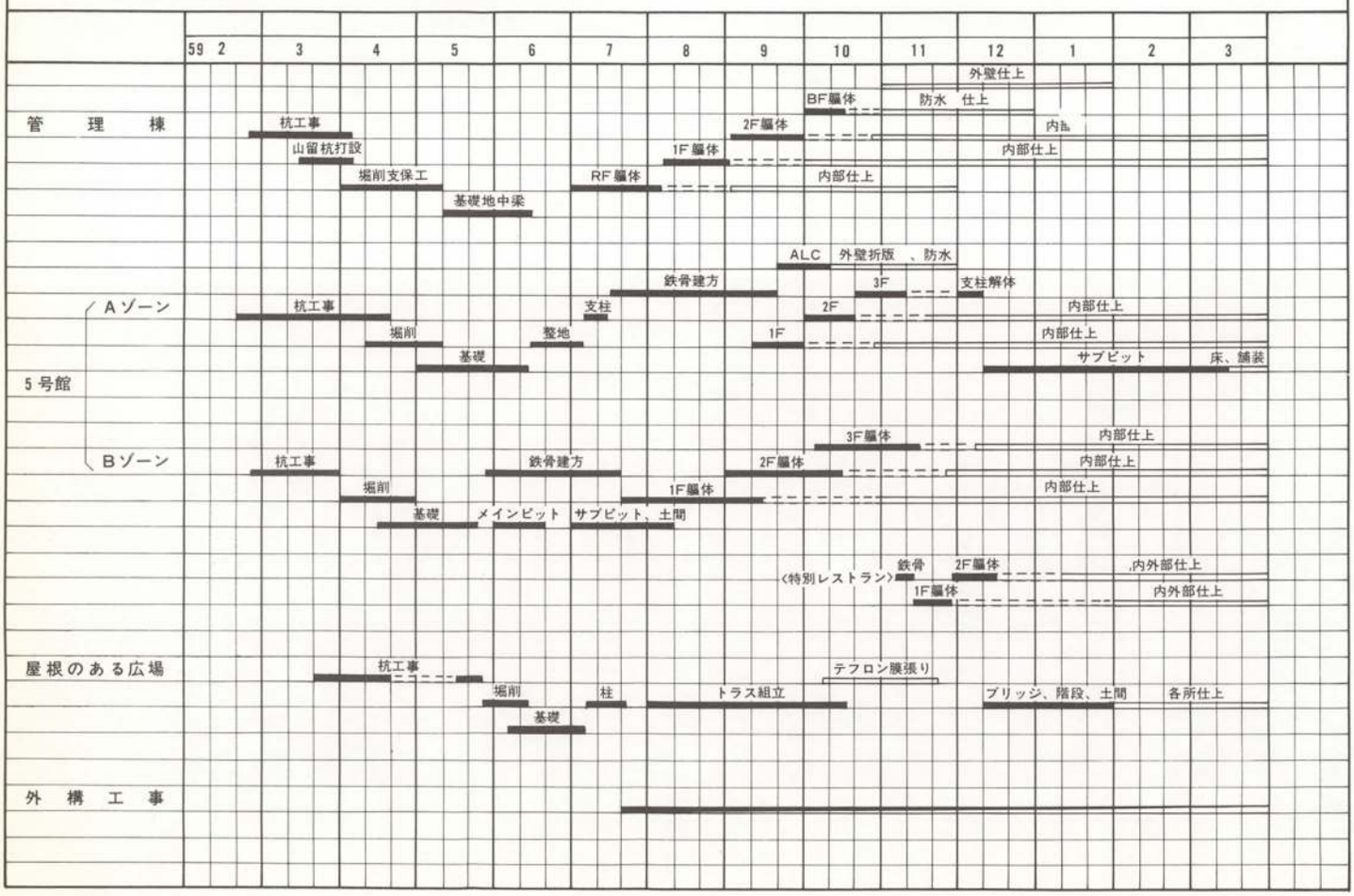
屋根のある広場は、スパン42ｍ桁行72ｍの空間を、最高高さ30.5ｍの半円筒型の立体トラスに取りつけたキャンバスでおおう構造となっている。立体トラスは、成が３ｍ、節点数は約 1,700個、上下弦材、斜材を合わせた部材数は約 6,600本に達しており、メローシステムという特殊構法で構成されている。

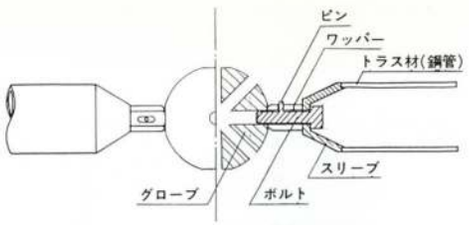
メローシステムは、第２次大戦中ドイツのメンゲリンク・ハウゼンによって開発されたプレファブ立体トラスシステムであるが、**図－１**に示すように節点のグローブのねじ孔にボルト先端を差し込み、ワッパーを回転させることによってグローブとトラスパイプを接合するものである。日本万国博覧会の西ドイツ館、香港館、日本政府３号館に使用されて以来、各所の大スパン架構に用いられている。

### トラス施工法の検討

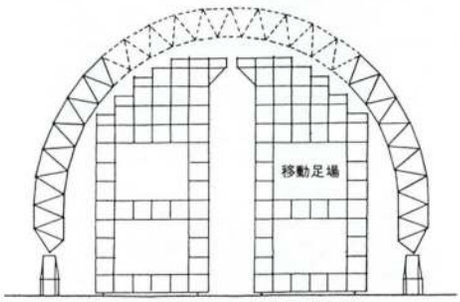
屋根のある広場は、北側が５号館、南側が２号館、西側が、管理棟に囲まれた、インテックス大阪の中心施設である。とくに、本建家と２号館、５号館との間には、レストラン棟が接しており、屋根のある広場の立体トラスの組立、キャンバス施工の目途がつかなければ着工できない配置となっているため、本建家の工程の成否は、会場全体の完成を左右するといっても過言でない。したがって、大

大阪国際見本市新会場建設工事(その１)実施工程表

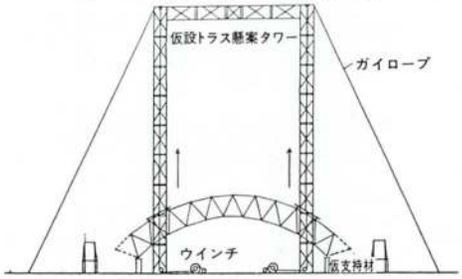





図－1　メローシステム接合部詳細



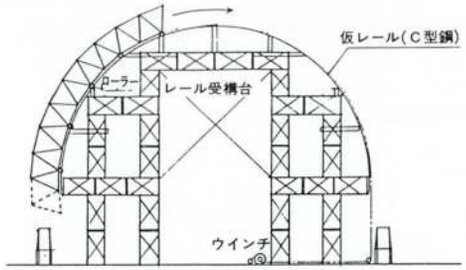

図－2　分割ブロック現場接合工法



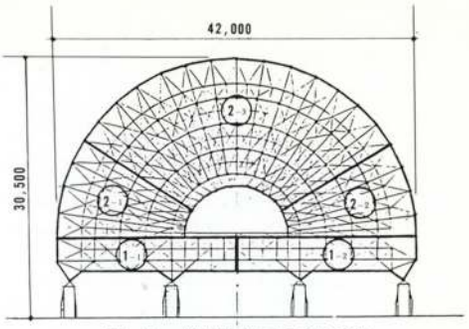

図－3　仮設タワーによるリフトアップ工法



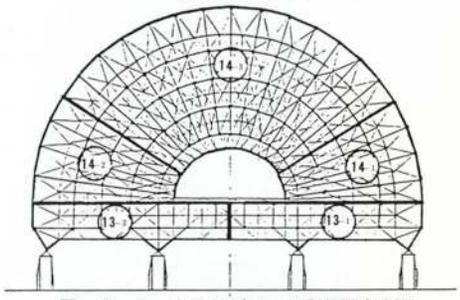

図－4　片ヒンジジャッキアップ工法



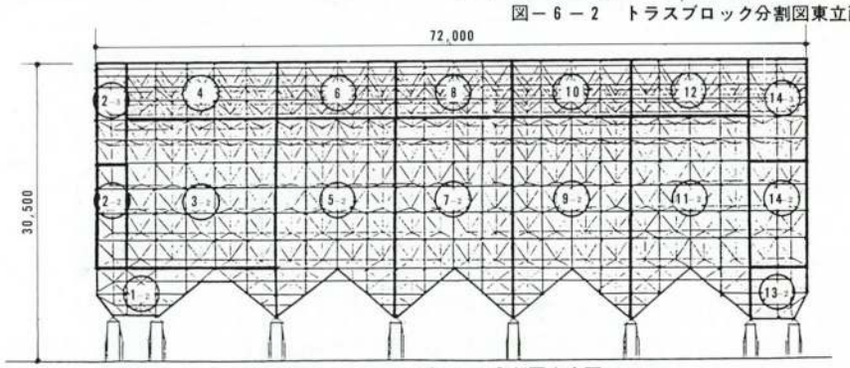

図－6－1　トラスブロック分割図西立面




図－5　円周方向スライド工法



図－6－2　トラスブロック分割図東立面




図－6－3　トラスブロック分割図南立面

林組・松村組共同企業体は、施工業者の太陽工業をふくめて技術委員会を設置して、精力的に検討作業を進めた。59年２月～60年３月の14ケ月の全工期の内、トラス、キャンバスの工期は、８月～11月の４ケ月と短かく、合理的に、安全に作業を進めるかが、ポイントであり、トラスの施工法としてつぎの４つの工法が、提案された。

(1)全体を揚重可能なブロックに分割し、トラス下移動足場、トラス内足場を利用して、ブロック同士を現場接合しながら全体を構成する工法。**(図－２)**

(2)トラス全荷重を懸垂できる仮設タワーを設け、トラス天頂部より組立て、順次地上作業で下部を継ぎ足しながらリフトアップしていく工法。**(図－３)**

(3)片側の柱脚を１方向ヒンジとし、その柱脚部分より組立て、円周方向に継ぎ足し、ジャッキアップを繰り返して全体を構成する工法。**(図－４)**

(4)トラス内半径に沿ったガイドレール付の仮設構台を設け、一端よりトラスを組んでは、レールに沿ってウィンチで引上げるという作業を繰り返してトラスを構成する工法。**(図－５)**

(2)、(3)、(4)案は、「高所作業をなくする」、「膜体取付けの同時施工を考えて、トータルの仮設の省力化を図る」を主眼とした施工法であるが、新たに実験、研究、設計変更を要するものであり、計画期間が短かいのでリスクが大きい。またキャンバスの素材が、アメリカからの輸入品で、縫製期間を考えるとキャンバスの同時施工が難しくて、仮設の省力化というメリットが薄れるなどの主として時間的制約によって、具体的な工法検討にはいたらなかった。したがって、なにがしかの高所作業は避けられないが、その安全作業標準を十分に検討し、実行に移すならば、(1)の工法は、いわば在来工法の発展型と考えられるので、弋工の戸惑いも少なく、工程の把握も比較的容易であることから、分割ブロック現場接合工法を採用した。

## トラス建方

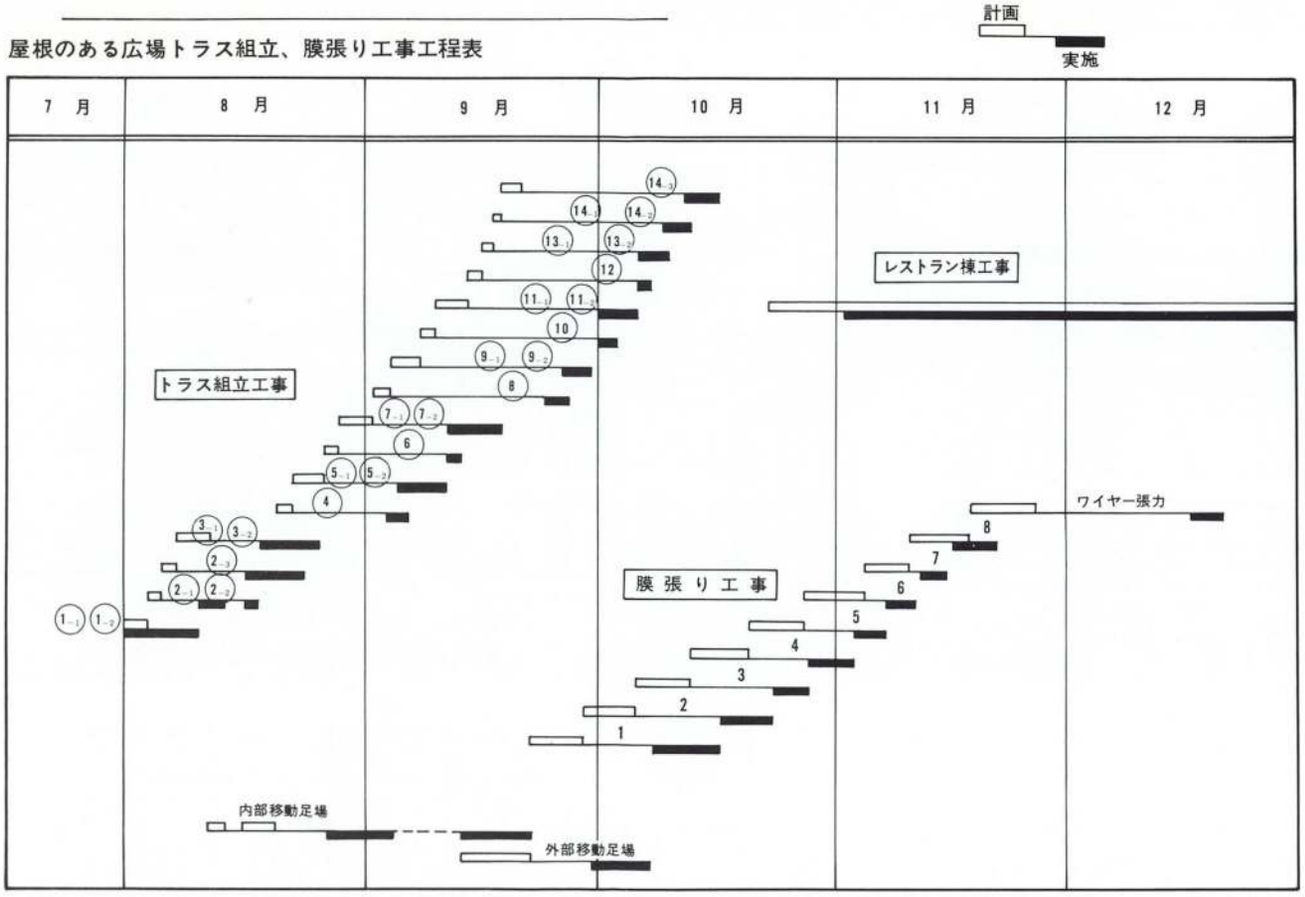
トラス外面の面積は、6000m²におよぶが、**図－６**に示すように、揚重可能な25のブロックに分割した。トラス部材は、工場で仕上塗装まで完了し現場で、予定のブロックに地組し、寸法を確認しながら本締めまで行った後クレーン作業で所定の位置にセットした。ブロックとブロックの接合部では、先行ブロックの取合グローブ付近に足場を設け、後続ブロックの取合グローブに仮付けしたトラス材を引き込み、先行グローブにねじ込んで接続し、本接合した。

**図－２**に示すように天頂部のトラスは、内部移動足場を使用してのバラ組立てとなる。まず移動足場上で、下弦材を網状に接合する。つぎに上弦材の一つのグローブから出る４本の斜材と既に取付済の上弦材のグローブと取り合う２方向の上弦材の計６本のパイプを取りつけたユニットを地上で作っておき、これをクレーンで吊上げて、端から順に取りつける。移動足場上での作業は、地上での作業と大差なく、これにより危険作業は、大巾に削減された。

## 建方工程

基本工程によれば、トラスの組立予定期間は、８月１日～９月20日であったが、工程表に示すように、実際は、８月１日～10月16日を要した。

屋根のある広場トラス組立、膜張り工事工程表




地組範囲、順序、接合方法などあらゆる方面から検討して、計画書、作業手順書を作成したのであるが、作業員にとって、大半の作業が、初体験の形状およびスケールであること、一挙手一投足までの細部の問題点に、未解決事項があったこと、初期のブロックが妻面トラスで、最も複雑な形状であったことなどを要因とする主として安全作業面での問題点が生じたため、「ゼロ災害」を至上目標とする企業体作業所は、母店の安全監督部のメンバーを加えた「特別安全打合せ会議」を毎週開催することにした。週間工程、作業の分析、重機の配置、予測される災害、危険作業の対策について検討し、それを職長から各作業員まで徹底した結果、懸念された災害の発生は、皆無であった。

トラス建方工期が当初計画より１ケ月近くも延びたことにより、トラス建方とキャンバス工事、キャンバス工事とレストラン棟工事の並行作業を考えざるをえなくなったが、「特別安全打合せ会議」によって以後の輻輳した工程を安全に進めることができた。

## 建方精度

トラス部材は、パイプの切断、溶接、グローブの寸法加工、ネジ切りまでコンピューターにより管理された、長さ方向で±0.2㎜、角度±１°以内という高い精度で製作されているので、現場での組立精度の目標は、桁行方向（24スパン）で±10㎜と設定した。

また支点グローブは、高さ４ｍの打放し独立柱頂部にセットされるため、通常のアンカーセットでは、対応する精度の確保が困難と考え、「アンカーホール工法」を採用し、柱コンクリート打設後アンカーボルトを調整しグラウトにより固定した。トラス組立完了時点で実測した結果によれば、トラス組立精度は、桁行方向で９㎜、妻面の垂直精度７㎜と、目標数値を確保することができた。

## 膜張り工事の検討

トラスと膜の接合は、トラスの外周のグローブに円周方向の下地鉄骨を取り付け、それに膜を接合する方法となっている。下地鉄骨は、主アーチと副アーチの２種類からなるが、主アーチはＨ 175×175×75/11を８ｍピッチに、副アーチは$\phi$165.2×4.5 を主アーチ部以外に３ｍピッチに、配されている。

膜の素材は、ガラス繊維布をテフロンコーティングしたもの(t＝0.8㎜)であるが、一枚の大きさは、桁方向を８等分、半円周を２等分した巾９ｍ、長さ30ｍの 270 ㎡にもおよぶ、大きなものである。これを主アーチ、副アーチに取つけ、各アーチの中間部分を膜上か

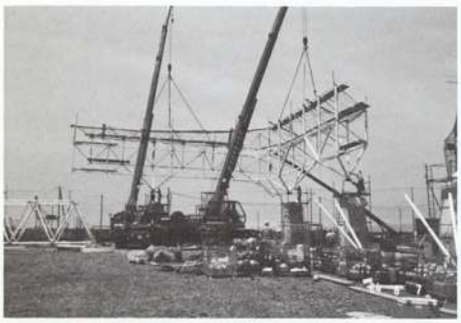

写真－１　トラスブロック吊上げ


写真２　トラス３－１ブロック吊上げ


写真３　トラス４ブロック吊上げ

ら押えワイヤーで締付けて、フラッタリングを抑止する構造である。

膜と下地鉄骨の取付詳細を**図－7**に示すが、主アーチに打ってある 250ピッチのスタッドボルトに膜端の孔を嵌合して押え金物で締めつけると、膜にシワがよらない様に張力が導入される設計となっており、その作業や**図－7**の水仕舞の作業も膜の上から行なわねばならない。また膜素材の性質として、折畳んでしまうと折目の部分が弱くなるという欠点があるため、長さ30ｍの膜体は、ロール状にして持込み巻き戻しながら取付けなければならない。さらに１枚の膜を張り終えるためには５～６日の日数を要するため、ロールを安全に預けておく設備が必要である。

以上の諸条件を満たし、安全に膜張り作業ができるように、膜本両端の固定位置付近に２ｍ角のボックス型断面を持つ外部移動式アーチ足場を計画した。この外部移動足場は、Ｌ－150×150×12を主材とし、両端地盤面とトラス頂部に敷設したレール上を、下部４ケ所、頂部２ケ所の車輪で走行する型式としたが、総重量は、60ｔにも達した。この足場の細部構造組立方法、及びこれを使っての膜張り作業手順に関しては、前述の「技術委員会」と「特別安全打合せ会」の合同検討会を重ねて、万全を期した。

一方、膜と副アーチの接合は、膜下作業となるが、トラスの成が３ｍもあるため、トラス内に単管足場を組み全面安全ネット張りの作業床を設けて、かがり布の引張、ラッキングを行うようにした。また、この作業は、トラス、グローブの塗装補修にも利用できるようにした。

## 膜体および納まりに関する諸実験

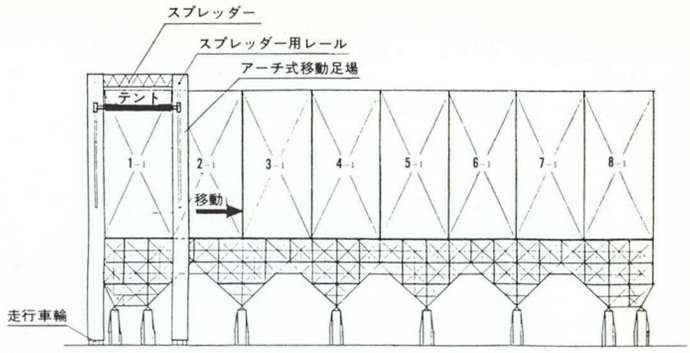
本工事は、わが国初の本格的な恒久的骨組膜構造として認定を受けた建物であり、膜材料の性能に関する諸試験はもとより、種々の実物実験を通して、設計の確認、変更および施工法の検討を行った。

主な項目を挙げれば、支持・取付金物の張力破壊試験、静水圧実験、ワイヤーロープおよび支持部強度試験、かがり布溶着部強度試験およびラッキング部強度試験、動風圧実験がある。中でも日本建築総合試験所に於いて、８月３日に行った動風圧実験は、各実験の総まとめであり静圧で＋250kg/m²～－450kg/m²、脈動圧で＋175kg/m²～－275kg/m²の載荷試験を行ない、膜の変位、水密性、強度を確認し、膜押え部に若干の修正を加えて各部の詳細が最終決定された。

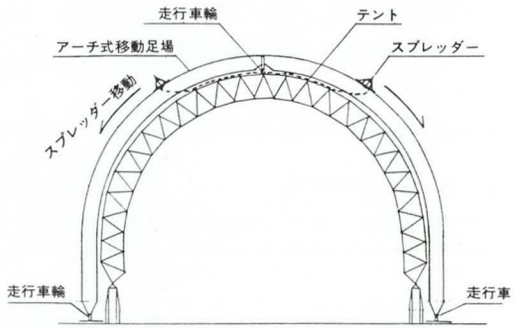
## 膜張り工程

２、でも述べたように、隣接するレストラン棟工事が残っていること、およびトラス組立が基本工程から大きく遅れていることから、トラスの６ブロックの組立完了時より膜張り工事の準備に入った。

内部移動足場の増設、トラス内棚足場の架設、主アーチ、副アーチの取付け後、９月29日より外部移動足場の組立を開始し、10月７日に完成、試運転を行った。




図－７－１　膜張り工区および状況図南立面




図－７－２　膜張り工区および状況図断面

膜の取付手順を簡単に述べると、スプレッダー（膜ロール懸架治具）から巻戻した膜体をベースゴム、膜シールゴムに挟んで、まず棟部分を押え金物（Ｃ－60×30×2.3）で固定する。続いて、両端部を同時に斜下方に張力をかけながら上部より順に、棟部と同様に主アーチに固定してゆき、最後に裾部分を固定する。両端部の引張と並行して膜裏面では、かがり布部分を裾方向に向って引張り、膜の局部的な伸びを防止する。この部分の緊張は、裾部分の固定後かがり布を副アーチにポリエステルロープでラッキングまで解除しない。

これらの作業が終了後、押え金物の締付ナットのトルクを全数再確認の後、ガスケットを膜シールゴムに嵌め込み、ジッパーをセットして膜の１ブロックの取付けを終える。移動足場を次ブロックへ移動する際、押えワイヤーをセットし、１サイクルが終了する。

当初１サイクル６日間で考えていた工程は、実施においては、１、２、３ブロックは、８日間、６日間、５日間と除々に短縮され、５ブロック以後は、3.5～４日で完了することができた。

４ブロックの膜体、ワイヤー取付完了時点（11月２日）で、レストラン棟工事に着手したが、基本工程からの遅延は、トラス完了時点での26日間から、10日間に短縮することができ、好天にも専まれ、レストラン躯体工事の目途のついた12月20日には、押えワイヤーの緊張を実施して、膜張り工事を完成した。

（文責　村上英憲　大阪国際見本市新会場建設工事
大林組・松村組共同企業体工事事務所所長
南　達成　同上副所長）

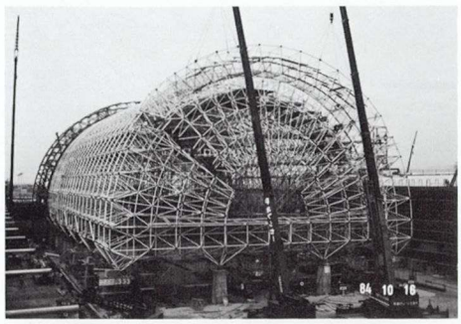



写真４　トラス14－３ブロック吊上げ

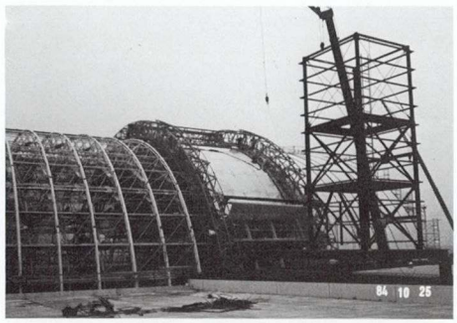



写真５　膜体取付作業

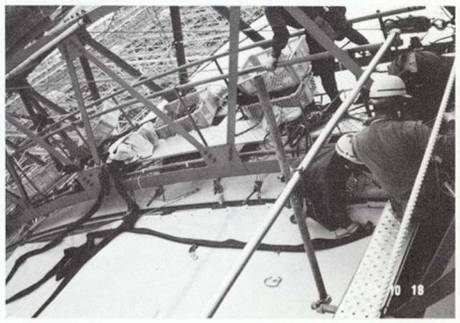



写真６　膜体固定作業

## 大阪国際見本市新会場

# 施工計画その２

**鹿島建設・奥村組共同企業体**

建設工事（その２）は展示館の１～４、６、７号館の６棟と、レストラン・アーケード(1)、(2)の２棟の建築工事を担当した。

### 杭工事

この工事の敷地は、工事中もディープウェル揚水による強制圧密沈下促進中の埋立地であり、スパイラル鋼管杭、ＰＨＣ杭共、スリップレイヤーコンパウンド塗装を施している。杭工事の概要はつぎの通りである。

ＰＨＣ杭、500φ　$L$=43～46m　　164本

ＳＰ杭、500～700φ　$L$=41.5～46.5m　452本

いずれも４本継ぎ

施行は中掘先端根固め工法で行った。表土から20mまでは礫（埋立土のコンクリート塊など）が多く、中掘圧入にそうとうの時間を要し、杭継手の溶接時間も含めて時間の経過とともに杭の圧入に対してフリクションが増大した。また、20m以深の土質がきわめて粘性の高いシルト質粘土で、スクリューの先端（ヘッド）で掘り起こした土をスパイラル羽根に乗せる送上効果が利かないために排土ができず、スクリューヘッドが空掘りの状態で、時間の経過とともに、粘性の高い土質により杭の外周摩擦力が大きくなり、圧入が困難となる場合が多く、施工能率があがらなかった。

そこで、杭打機に引抜き装置を取付けて、圧入が停止したとき、いったん上部へ杭を引き抜いてフリクションを切り、再び掘進圧入をする等工夫改善するとともに、杭打機を増やして、計画工程内に施工した。施工実績はつぎの通りであった。

700φ　（予定）　２本／台・日　（実績）　1.5本／台・日

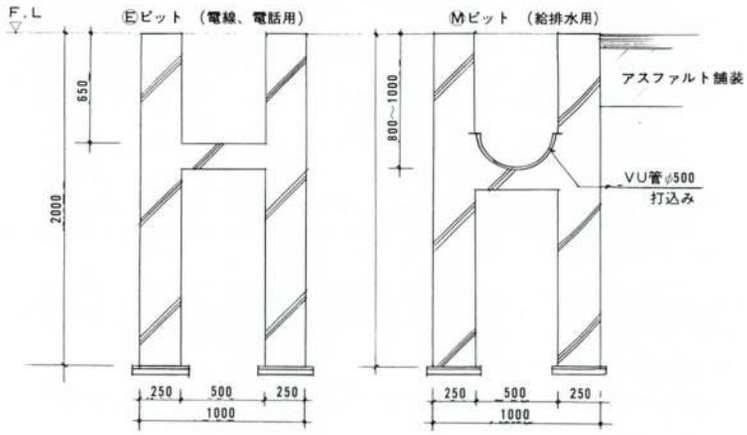
500φ　（予定）　2.5本／台・日　（実績）　2.0本／台・日

### 基礎工事

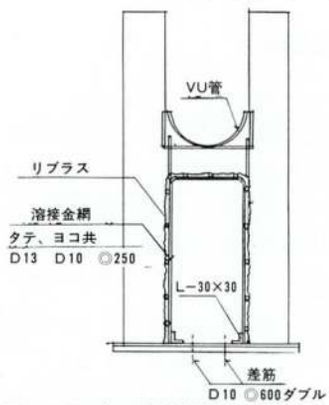
建物は地上階のみであるが、１～４号展示館には地下構造物として底盤深さＦＬ－3.1mの設備用メインピットをはじめとして、底盤深さの種々異なる基礎、地中梁、溝、会所等が、地盤沈下に伴う不等沈下を防ぐため、杭支持の建物基礎と一体となっている。

施工にあたっては、品質および工程上からできるだけコンクリートの水平打継ぎ固所を少なくし一体に施工することが望ましかった。そこで、埋殺し捨型枠としてコンクリートブロックを随所に使用して、施工サイクル（捨コン→鉄筋→型枠→コンクリート→養生→埋戻し）の繰返しを少なくし、品質向上と、工程短縮に成果をあげた。

また、展示館の床には、サブピットが６m間隔に設けられている。１～４号館はＨ形断面で、それ自体梁となった溝が、延長約4,200m。(図－１)６・７号館は凵型断面で延長約3,080mと、総延長約7,280mにおよんでいる。このサブピットを、いつ、どのような方法で施工するかをＶＥ検討し、試験施工も行って施工方針を決定した。施工時期は展示館の内装および設備工事を先行しその完了部分から順次着工した。Ｈ形断面壁梁形ピットの施工については、下部内面の型枠に溶接金網を骨としてリブラスを張ることとした。殺し捨型枠としてラス型枠を使用することにより、Ｈ型梁を一体に施工し、構造、品質、工程ともに好結果を得た。(図－２)




図－１サブピット形状（１～４号館）




施工順序

①掘削、敷砂利、捨コンクリート打設する。捨コン打設の際、差筋を行う。

②墨出し後に山形綱（Ｌ－30×30）をレール状に固定する（差筋から溶接）

③かご状の溶接金網を据付する。（山形綱から溶接）

④リブラスを溶接金網の周囲に張る。

⑤梁、床版の鉄筋組立を行う。

⑥Ｍピットの場合ＶＵ管を溶接金網から固定し据付ける。

⑦外面の型枠を組立して、コンクリート打設する。

図－２殺し（ラス）型枠詳細

### 鉄骨工事

１～４号館の屋根鉄骨は、鋼管・鋼球溶接ジョイントの立体トラスである。１、２、４号館は１ユニットが30m×30m、３号館は36m×36mのトラスで構成されている。

立体トラスの組立ては、構造上、無負荷の状態で組立てる必要があり、高所で組立てるにはステージを設けなければならず、その架払いにそうとうの工程を要すると共に、高所作業の危険性、作業能率の悪さなどを考慮して、地上で１ユニット毎組立てて上架することにした。

上架の方法は、１ユニットの重量、各号館の立地条件、上架高さなど、各種条件から検討した結果、１・２号館は150$t$クレーンによる上架、３・４号館はウインチによるリフトアップ工法で上架することにした。その中でも、３号館は建物の大きさ72m×72m、内部無柱の正方形の建物で、屋根鉄骨は主トラスを十文字型に架設後、４ユニットの立体トラスを真下で組立ててリフトアップした。そこで、リフトアップ工法について説明する。

## リフトアップ工法

地組が完了した立体トラスを４本の受梁で支え、その受梁をワイヤーロープで吊上げる。動力としては電動ウインチを使用し、リフトアップの吊点は８点である。

**(1)反力支持装置**

４号館は、立体トラスの吊点の位置から、本体鉄骨主トラスと、外周の鉄骨柱に反力支持用の吊揚梁を設置した。**(図－３)**３号館は、吊点の位置から吊揚梁の架設は難しく、鳥居型建枠をダブルに組立てた支柱を16本建ててその上に吊揚梁を設置した。**(図－４)**

**(2)立体トラス吊荷重**

各１ユニットの吊荷重は**表－１**に示すが、各ウインチに作用する応力は、ワイヤーを６本掛けとしているため、荷重不均等などの時を考慮して、つねに１$t$以下になるように計画した。

**(3)上昇装置**

下弦球の下に受梁を設け、立体トラスと受梁をUボルトで固定した。ウインチ（１$t$吊）は、４号館は吊揚梁上に、３号館は支柱の脚部に設置して、受梁をワイヤーで吊上げることにより、立体トラスをリフトアップさせた。リフトアップ高さの確認はピアノ線を使用して母屋天端高さで確認した。**(図－５)**

**(4)主トラス仮支柱**

３号館館では、立体トラスによる主トラスのたわみを防止するために、建家中央の主トラス交点に支柱（$\phi$267.4×6.6×４本のラチス柱）を設置した。４号館では、吊揚梁を主トラスに架設するため、主トラス中央に仮支柱を設置した。

**(5)上昇時の高低差管理**

吊揚げ用ウインチは、３号館では16台、４号館では８台を使用したが、その操作は８台のウインチを１つのボタンで同時巻取りできるとともに、調整の際は単独のボタンでおのおののウインチを運転できる操作盤で行った。上昇中の高低差は、受梁の吊点下から吊下げた巻尺により、約１ｍ上昇ごとにレベル測定し、高低差を５㎜以内するよう調整しながら吊上げた。

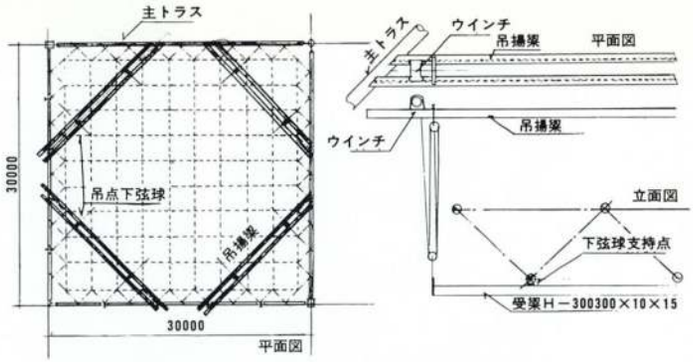
**(6)立体トラスの定着**

立体トラスと主トラスおよび軸組との定着はヒッパラーおよびチェーンブロックなどで定着を行った。

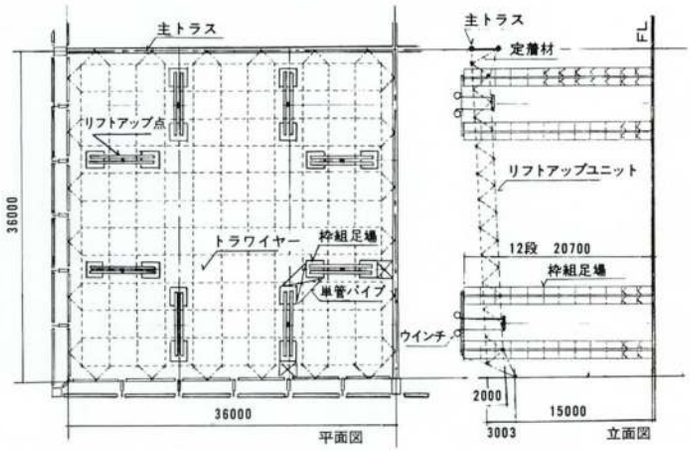
**(7)安全設備**

ワイヤーの切断による落下対策として、それぞれの吊点に、キノークリップを付けて万一の場合に備えた。また、突風などによる横揺れはトラス四隅に控えワイヤーを張って防止した。

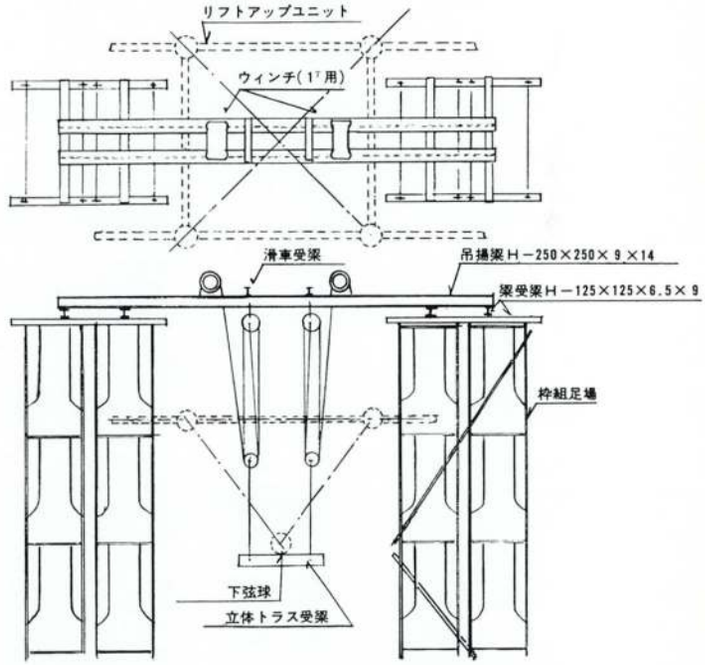
（文責　永吉晋一　大阪国際見本市新会場建設工事鹿島建設奥村組共同企業体工事事務所所長）




図－３　４号館リフトアップ装置



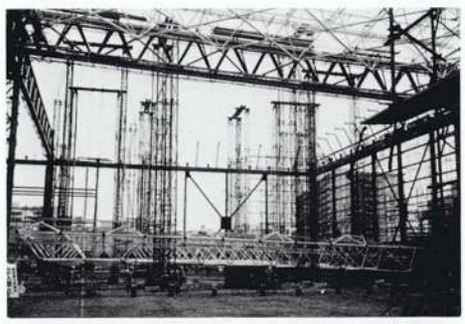

図－４　３号館リフトアップ装置



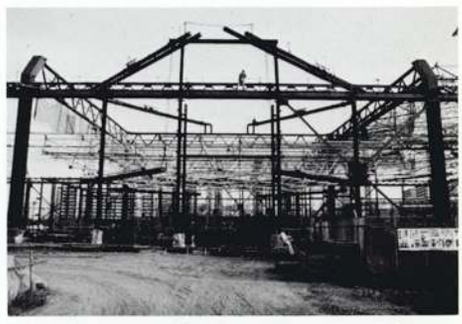

図－５　３号館リフトアップ装置詳細図

| | ３号館 | ４号館 |
|---|---|---|
| １ユニット自重 | 34.5 | 19.8 |
| 偏心及び衝撃荷重(100%) | 34.5 | 19.8 |
| 水平荷重　（20%） | 6.9 | 4.0 |
| 計 | 75.9 | 43.6 |

表－１　立体トラス吊荷重　単位：$t$



写真－１　３号館立体トラスリフトアップ直前



写真－２　４号館立体トラスリフトアップ中




# 大阪国際見本市新会場特集

## 関連広告目次


太陽工業……表２対向
京阪テント……目次対向
川鉄鋼板…… 2
東陶機器…… 3
ＩＮＡＸ……95
因幡電機……96
太陽セメント工業……97
富士通……98
愛　知……99
岩崎電気……99
オペレーター建機…… 100
小俣シャッター工業…… 100
大島応用化学工業…… 101
奥村重兵衛…… 101
川島織物…… 102
久保田鉄工…… 102
空研工業…… 103
神戸材料…… 103
三和シャッター工業…… 104
住江織物…… 104
タナハシ…… 105
ダイキン工業…… 105
大　丸…… 106
天童木工…… 106
東亜特殊電機…… 107
東芝電材…… 107
日新電機…… 108
日鐵カーテンオール…… 108
日本バイリーン…… 109
日本ビクター…… 109
日本フレクト…… 110
日本無線…… 110
フジヤ…… 111
不二サッシ…… 111
松阪屋…… 112
松下電工…… 112
三菱樹脂…… 113
三菱電機…… 113
ヤンマーディーゼル…… 114
山武ハネウェル…… 114

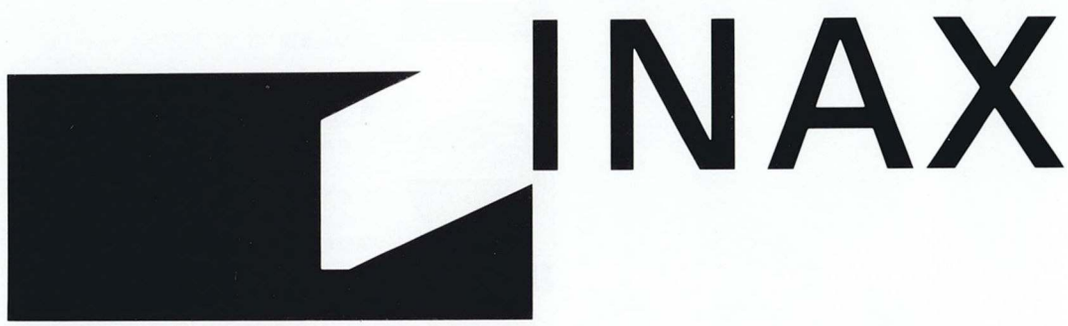
ina の伊奈製陶株式会社は、株式会社INAXに
社名ならびにシンボルを変更いたしました。

“X”のひと文字を加えて、INAXは大きく飛躍します。

INAXは、ina＋X。60年の歴史をもつこれまでのinaに、未知数Xを加えて、新しい価値創造ができる企業を目指します。Xはたったひとつの文字ですが、このひと文字にいくつもの決意がこめられています。INAXが世に送り出すすべての商品が、都市空間で、あるいは生活空間で美しく機能し、文化的完成度の高い環境美を提供するこ



ともひとつ。たえず最新の情報と知識を吸収し、先進的開発力をもつこともひとつ。ユーザーの方々の価値感を重視し、時代の要求に真摯に応えながら、未知の可能性を発信し続けることもひとつです。これらは、いわば来るべき21世紀へ向けるINAXの「あるべき姿」。まだはっきりとしたカタチにはなっていないその姿を模索しながら、「日本のINAX」から「世界のINAX」へ羽ばたきたいと考えています。



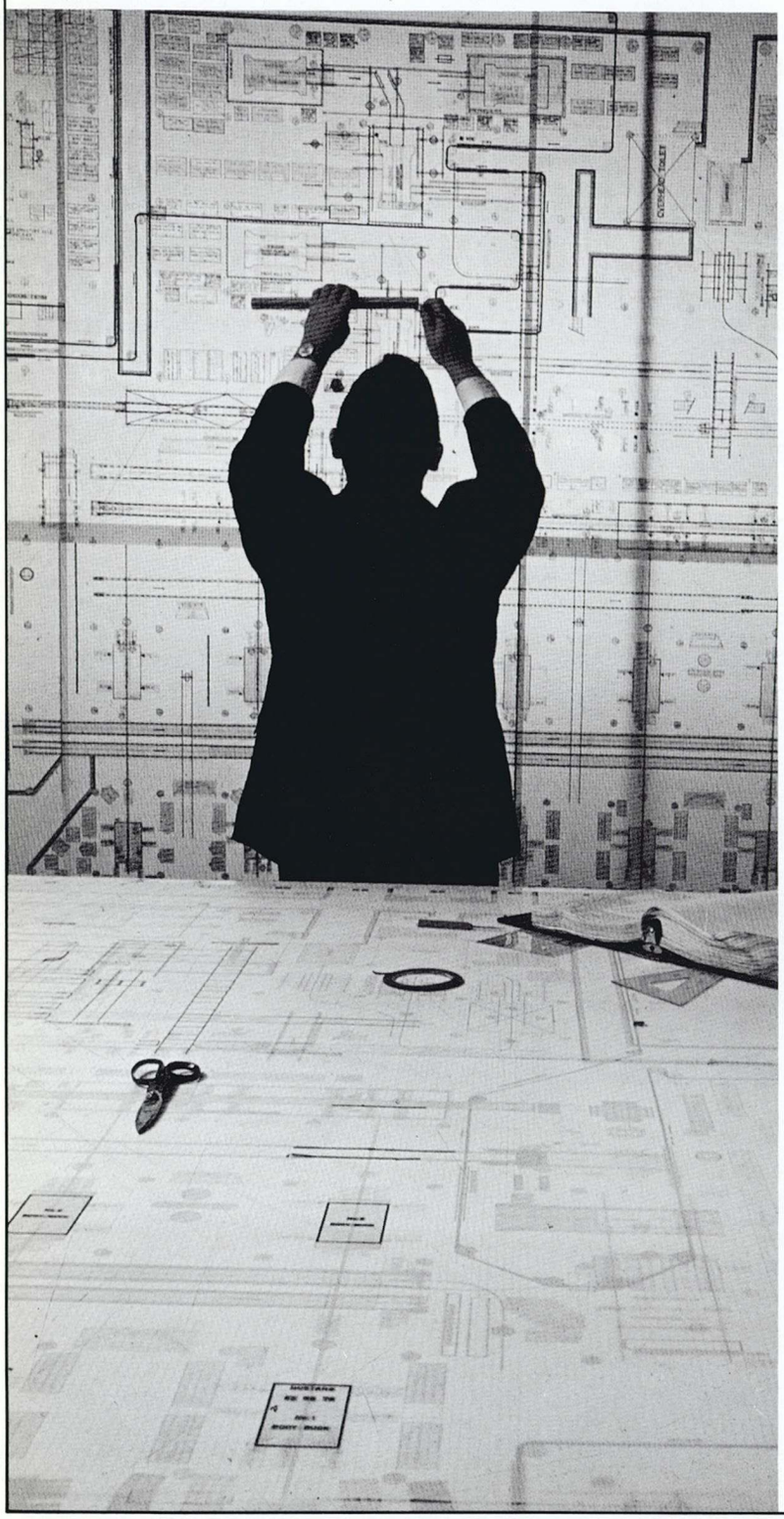

株式会社 INAX　　本社　〒479 愛知県常滑市鯉江本町 TEL.〈05693〉5-2700㈹

●全国ショールーム 札幌／(011)241-1225 山形／(0236)81-8161 仙台／(0222)65-1710 大宮／(0486)67-4848 東京／(03)562-1710 松本／(0263)36-7410 静岡／(0542)51-1701 名古屋／(052)971-2714
新潟／(0252)28-1701 金沢／(0762)62-1701 京都／(075)231-1716 大阪／(06)532-4001 松山／(0899)21-8164 高松／(0878)21-1782 松江／(0852)23-3503 広島／(082)227-1701 福岡／(092)471-1700

Today the vision
continues as
Inaba Denki
fosters this successful
partnership of science
and business to supply
human's growing need for
Quality Electric
products.

# 因幡電機製作所の配電盤は

## 厳しい品質管理のもとに
## 製造されます!




電機事業部　〒550 大阪市西区立売堀上通１－１
（大阪トヨタビル６F）
TEL (06)532－2301㈹

羽曳野工場　〒583 羽曳野市西浦９７６
TEL(0729)57－3541㈹

東京工場　〒189 東村山市久米川町1丁目58－２
TEL(0423)94－8265

照明事業部　〒582 柏原市円明町１０００－９９
TEL(0729)77－8801㈹


**因幡電機グループ**

**因幡電機産業株式会社**
大阪市西区立売堀３－１－１　TEL(06)533-0161㈹

**因幡産業機器株式会社**
大阪市西区本田１－４－６　TEL(06)582-5317㈹

**因幡電設資材株式会社**
大阪市北区同心２－13－21　TEL(06)353-6351㈹

**近畿因幡電材株式会社**
大阪市西区南堀江４－10－９　TEL(06)531-7856㈹

**大阪因幡電機株式会社**
大阪市西区立売堀５－８－15　TEL(06)532-2601㈹

**東京因幡電機株式会社**
東京都港区六本木５－18－17　TEL(03)586-3911㈹

**因幡電工株式会社**
東大阪市高井田本通４－16　TEL(06)783-5061㈹

# 21世紀への挑戦

## 煌めきの創造素材…インターロッキングブロック




チチブインターロッキングブロック製造・販売・施工

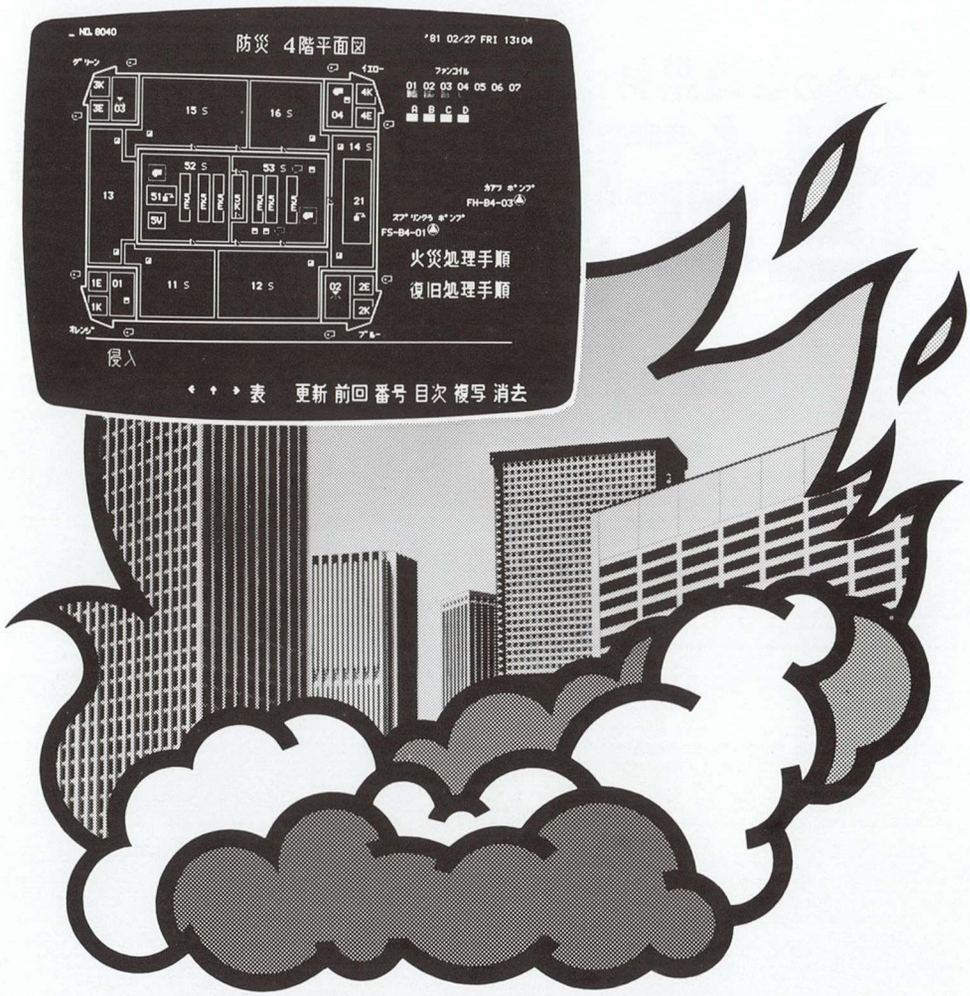
## 太陽セメント工業株式会社

wellstone BLOCK

| | | | |
|---|---|---|---|
| 本　　社 | 〒553大阪市福島区吉野４丁目22-9 | ☎ 06(464)2201㈹ | FAX. (06)465-0870 |
| ＩＬＢ工場 | 〒592高石市高砂３丁目39－１ | ☎0722(68)0055㈹ | FAX.(0722)68-1327 |
| 泉北工場 | 〒592高石市高砂３丁目12番２号 | ☎0722(68)0055㈹ | FAX.(0722)68-1327 |
| 高槻工場 | 〒569高槻市唐崎南２丁目285番１号 | ☎0726(77)1821㈹ | FAX.(0726)77-1825 |
| 滋賀営業所 | 〒524滋賀県守山市浮気町219番1号 | ☎0775(83)5811㈹ | FAX.(0775)82-1178 |

富士通はシステムだからニーズにあわせて最適管理

# 電力、空調から防災、防犯まで。トータルな管理で〝もしも〟の時に備えます。




コンピュータと通信の総合技術力と豊富なノウハウを駆使し、それぞれのビルの規模、構造、用途など、さまざまな条件にあわせ、きめ細かな独自の管理ができる〈FACOM BILCAN〉。電力、空調から防災、防犯までを一括集中管理。省エネ・省力化はもちろん、そのビルのもつ機能を最大限に発揮させ、より効率の高いトータルなビル管理を実現します。

たとえば、緊急を要する火災発生時。空調停止、防災マン呼出し、停電対策、非常放送、発電機起動などの複雑な一連の処理が、発生現場の早期発見ができる平面図表示や、手順の確認ができるガイダンス表示などで、誤りなく迅速に処理できます。

ビル内の生活環境をより快適・安全に維持する富士通の〈FACOM BILCAN〉は、規模に応じてシリーズも充実。信頼できるビル・オートメーションシステムとして、このたびの大阪国際見本市新会場をはじめ、すでに多くのビルで採用いただいております。



写真は当社標準システムです

BILCAN=*Building Conditioning Automation*

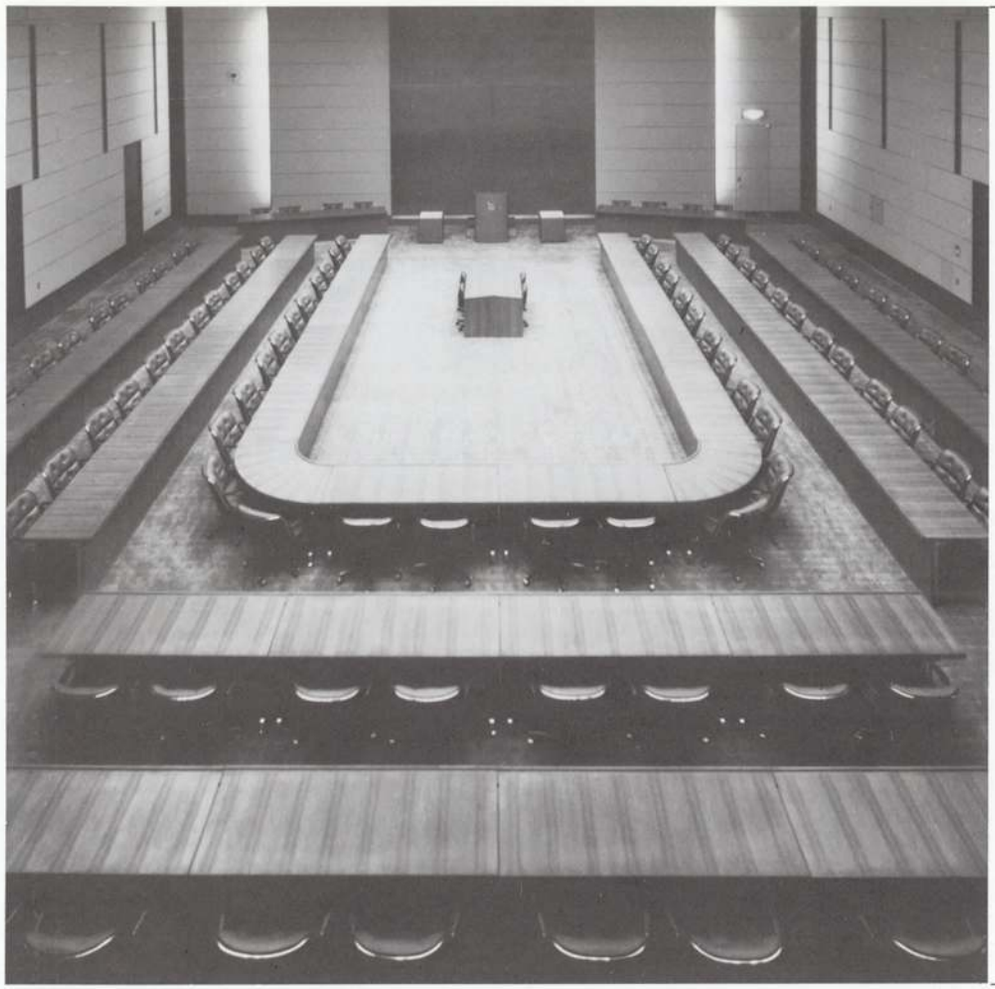
# FACOM BILCAN

## 富士通ビル管理システム

規模に合わせて5タイプ。FACOM BILCAN 5000/2000/1000/500/200

富士通

富士通株式会社 応用機営業部 〒100 東京都千代田区丸の内1-6-1 ☎(03)216-3211 大阪支店 〒530 大阪市北区堂島1-5-17 ☎(06)344-1101



## 感動が生まれる、

ヒューマンな環境を考え、
理想のスペースをつくります。



●アイチの会議テーブルシステム

パブリックスペースの専門家具

**アイチのイス**

**愛知株式会社**

大阪支店・ショールーム
吹田市広芝町10(太陽生命江坂ビル8F)
☎(06)380-0601代
本社＝名古屋市東区筒井3丁目27-25
☎(052)937-5931代

# 消すのは、

光の総合メーカー
**EYE 岩崎電氣**
本社／〒105東京都港区芝3-12-4☎03(452)5351(大代)
カタログ進呈――――紙誌名記入のうえ広報室伝室まで

省電力制御システム **アイ マクルス**

MACLS-804T



みなさんのオフィスや工場に、いま一体いくつぐらいのスイッチがあるでしょうか。照明に、空調、給排水や動力など、おそらく相当数のスイッチが氾濫しているはず。それを毎日つけたり、消したり、切換えたり。すべてみなさんの大切な時間と労力に頼っています。そこで岩崎電気の〈アイ マクルス〉。簡単なプログラムとキーボード操作で、照明や動力の管理を一括制御でき、しかもそのON・OFF状況もひと目で集中監視できる、かしこい省電力制御システム。これ1台で、労働環境はもっと効率的に、もっと快適になるでしょう。




高天井用電動昇降装置 **アイ メンテリフター**(オートタイプ)



UDM21103
UDM21101



とかくめんどうなことは、後回しにするのが、人のつね。照明器具のメンテナンスも、そうした仕事のひとつでしょう。たかがランプ交換や器具清掃といっても、工場や体育館ともなれば、それは大仕事。足場を組んだり、クレーンを用意したり、そのうえ作業そのものも危険がいっぱい。そこで岩崎電気の〈アイ メンテリフター・オートタイプ〉。スイッチひとつで、1灯から多灯まで照明器具の昇降ができる、高天井用電動昇降装置。これなら大がかりな準備もなく、メンテナンスワークに関わる経費や労力を大幅に軽減できます。

# 交換・清掃は、






電動オペレーター

防災認定品

- BCJ-防災-110号
  電動手動併用自然排煙装置
- BCJ-防災-120号
  手動(一回転ハンドル)自然排煙装置
- BCJ-防災-121号
  手動自然排煙装置(ワンタッチ開放式)

あらゆる窓に対応する
高窓開閉装置

可燃ガスを早期に排出し、フラッシュオーバーといわれる爆発的な火災の広がりを未然に防ぐ排煙設備は、時代の脚光を浴びる商品として注目されています。また、採光・換気など、両機能を兼ねた当社のキャブレックスウインドウ・コントロールは高く評価されています。

| | | | |
|---|---|---|---|
| ■工場、体育館、倉庫用新製品 | SL-20 シリーズ | ■外倒し・内倒しワンタッチ開放 | オイレス、ラッチステイ |
| ■ヨーロッパスタイルの温室天窓、工場用新製品 | SL-30 シリーズ | ■突出し、横軸回転、すべり出し窓など(埋込可) | SL-300 シリーズ |
| ■片引き、引違い窓の多連窓開閉（工場・倉庫） | SL-50 シリーズ | ■突出し、すべり出し、外倒し窓などに広範囲に | SL-350 ビルドイン内蔵型 |
| ■外倒し窓・内倒し窓の開閉・ワンタッチ開放 | SL-80 シリーズ | ■片引き、引違い窓専用（埋込可） | SL-500 シリーズ |
| ■外倒し窓・内倒し窓の開閉 | SL-250 シリーズ | ■片引き、引違い窓専用 | SL-550 (隠蔽式) シリーズ |
| | | ■可動ガラリ、可動ルーバー専用(埋込可) | SL-600 シリーズ |

OILES オペレーター建機株式会社

本　社　大阪市東区船越町1—22(アズタビル6F)　〒540
TEL　(06) 944—1851 (代表)
FAX　(06) 944—1854

関西 SP　(0798) 36—7851
四国 SP　(0878) 21—9118

# 小俣式 防火シャッター

防煙・防火は KOMATA で…… OK!

シャッター全般・防煙垂壁
（ロール式YH型）
電動式引上げ大扉

小俣シャッター工業株式会社大阪支店

大阪支店　大阪市北区天神橋2丁目5番3号　第5新興ビル　電話大阪 06 (353) 7377(代)

本　社　東京都北区田端町1138　電話東京 03 (893) 5211(代)

支店・営業所　札幌、仙台、千葉、横浜、名古屋、広島、松江

# 耐酸被覆金属板のパイオニア



大阪国際見本市会場3号館4号館屋根材にご採用

**ケミカラー®オーシマメタル**
(C.O.M.)

**ケミカラー®オーシマメタル** (O.R.P.M.)
**ケミカラー®オーシマメタル** SUS-S

■用途
屋根，壁，谷樋，通風器，強力ファン付通風器，
連続式通風器装置，公害用ダクト，

大島応用化学工業株式会社
本　社　〒535 大阪市旭区太子橋1-15-22　☎06-954-6521

東京支店　〒105 東京都港区虎の門1-1-12　TEL03-580-6061
名古屋支店　〒460 名古屋市中区大須4-1-71　TEL052-241-8588
新居浜支店　〒792 愛媛県新居浜市多喜浜650-2　TEL0897-46-2300
愛媛工場　〒792 愛媛県新居浜市多喜浜650-2　TEL0897-46-2300
営業所　四日市・岡山・宇部・神岡

未来に向けて
建築空間との対話を
考える

空間を追究する技術
Okuju®
奥村重兵衛株式会社
本社　〒530 大阪市北区西天満5丁目3番7号　☎(06)312-4131㈹
東京(03)437-3361 名古屋(052)522-5436 九州(092)291-0459
仙台(0222)65-6568 沖縄(0988)53-6850 横浜(045)662-5403
宮崎(0985)22-7311


玄関庇金属パネル工事

# 設計構想をいかす。

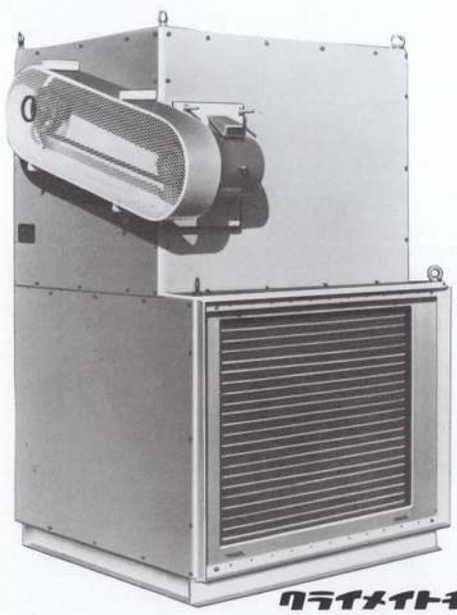
## 感性が光るカワシマ オリモノ インテリアファブリックス

つぎつぎと生み出される新しい建築、インテリア空間。ホテル、店舗、住宅等々、それらのどのスペースにも現代の進んだ技術と感性が生かされ、独創的で個性的な空間は、私達を深く引き込む魅力に溢れています。
インテリア空間を形創るさまざまな素材の中で人間の歴史と共に永い文化の背景を持つ布地こそは、それ自体が持っている繊細な、優美さによって永久に愛される素材といえます。その繊細で多様なテクスチャー、色、柄。川島織物はアーキテクチャー、インテリアデザイナーの優れた感性と構想に十分お応えするオリジナリティ溢れる織物創作を得意とし、有名建築に数多くの実績を誇っております。

川島織物
kwm

株式会社川島織物
東京営業本部☎(03)580-4511(代)　大阪営業本部☎(06)347-0451(代)

クボタトレーン
あらゆる空調機器



クライメイトチェンジャ

四季折々の味覚を堪能させる「旬」の食べ物。でも毎日食べる空気は常においしくありたいものです。
〈クライメイトチェンジャ〉はビル空調システムの中心となる高性能エアハン。
アメリカで高い信頼性をもつトレーン社とクボタが完成した、あらゆる空調システムに対応するコンパクト・タイプです。
低いランニングコスト、高い省エネ効果。
スペック通りの高性能で、オフィスに新鮮な空気をお届けします。

空気はいつも「旬」がいい。

技術で応えるたしかな未来

久保田鉄工株式会社

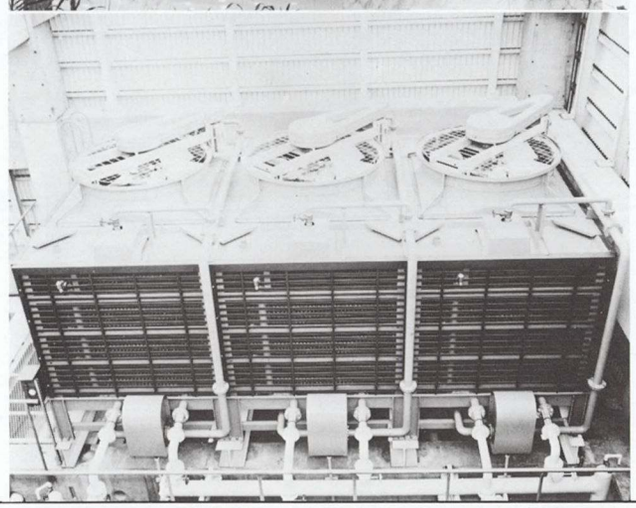
空調事業部

本　社・大阪市浪速区敷津東1丁目2番47号　☎06(648)3174 〒556-91
東京本社・東京都中央区日本橋室町3丁目3番2号　☎03(245)3762 〒103
東北支店・仙台市本町2丁目15番11号　☎0222(67)9007 〒980
中部支店・名古屋市中村区名駅3丁目22番8号　☎052(564)5081 〒450
中国支店・広島市中区基町5番44号　☎082(225)5543 〒730
九州支店・福岡市博多区博多駅前3丁目2番8号　☎092(473)2551 〒812

# 空研の強力コンビ

## クーリングタワー＋吹出口





■密閉式クーリングタワーの特長

1
省エネ./軽量./容易なメンテ./

2
冷却水保護で需要急増./

3
オリジナルな冷却方式で脚光./

アルミを生かして19年。

冷却塔をつくって34年

KUKEN

**空研工業株式会社**

取締役社長　楢木　博

●本社・福岡支店
福岡市中央区大濠公園2番39号　☎(092)741-5031㈹
FAX(092)741-5030　〒810

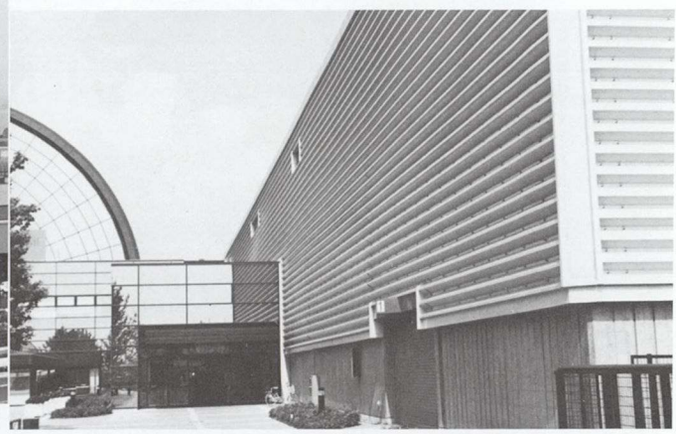
●大阪支店
大阪市淀川区西中島3丁目9番12号(大阪空研ビル)
☎(06)302-5541　〒532

●広島支店
広島市南区宇品西1丁目3番31号　☎(082)254-1515
〒734

超耐久性
フッ素樹脂焼付塗装　**ケミフロン®**

## ――過酷環境下の南港にフッ素ゾーン誕生――





インテックス・オオサカ①②④⑤号館とレストランアーケードにケミフロンが採用されています。
南港ニュートラム8駅、ショッピングセンターと共にケミフロンゾーンの誕生です。

営業品目

| | |
|---|---|
| ●ケミフロンポストコート | 建築用外装フッ素焼付 |
| ●ケミフロン | サイディング、ルーフ材他 |
| ●ケミフロン | 工業用、ライニング、コーティング |
| ●樹脂ライニング | エポキシ他 |
| ●大洋製鋼㈱代理店 | サンフロン、ウォールパネル他 |

**神戸材料株式会社**
**ケミー・コート工業株式會社**

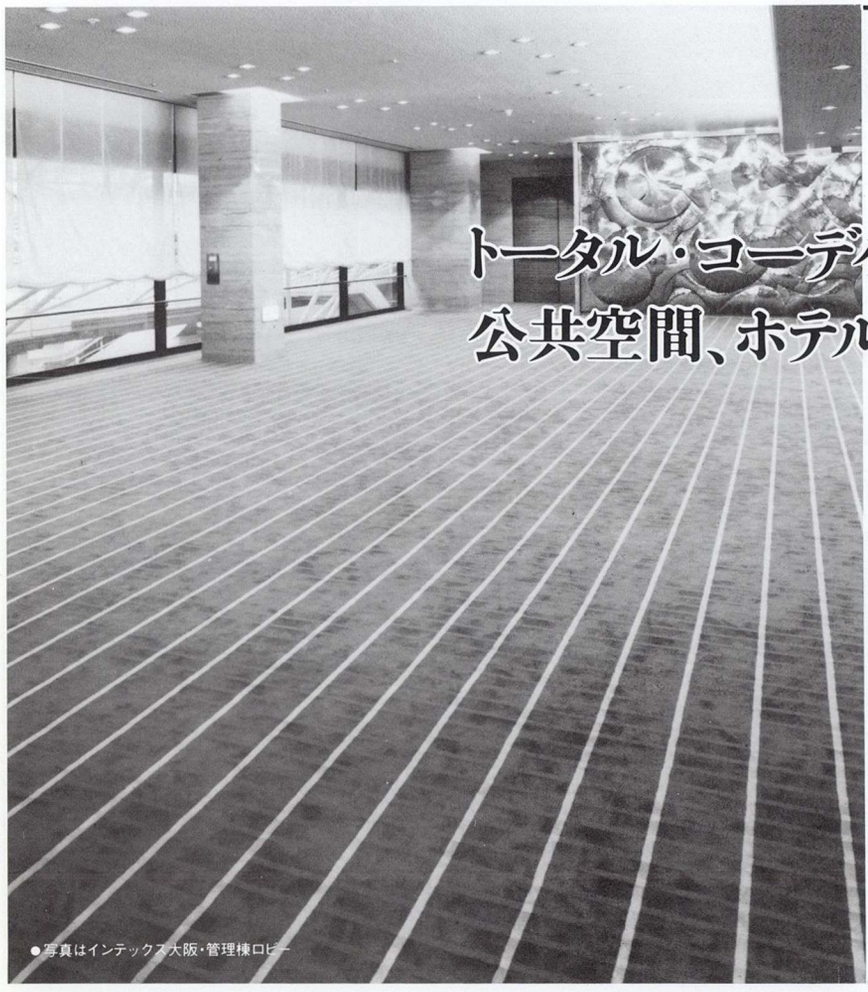
本社/神戸市中央区熊内町2-1-37　☎(078)222-2251㈹　〒651　工場　☎(07954)6-1515㈹

三和のアルミパーティション
AP-1シリーズ
●機能的で、すっきりした美しい外観を実現。
●使用条件や用途に合わせて自由に選択できる、豊富なバリエーション。
●組み立てや解体・移設が簡単なシンプル設計。
●多様なオプションにより、黒板やコンセント・スイッチの取り付けも可能。
●確かな技術と万全のアフターサービス。
●パーティションと共通仕様の各種ドアを連結可能。

耐久性に優れた確かな品質で、清潔な環境づくり。
三和のトイレブース
体育館や講堂・会議室などの広い空間を、臨機応変に仕切る。
三和のスライディングドア

「仕切る」から
「生かす」へ。
空間を仕切るだけのスペースづくりから、
空間をムダなく、しかも機能的に生かしたスペースづくりへ——
三和シャッターの提案です。

三和シャッター
三和シャッター工業株式会社
本社　〒160 東京都新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル44階
☎03(346)3011(代表)



●写真はインテックス大阪・管理棟ロビー

トータル・コーディネーション・インテリア。
公共空間、ホテルにも、信頼のスミノエ。

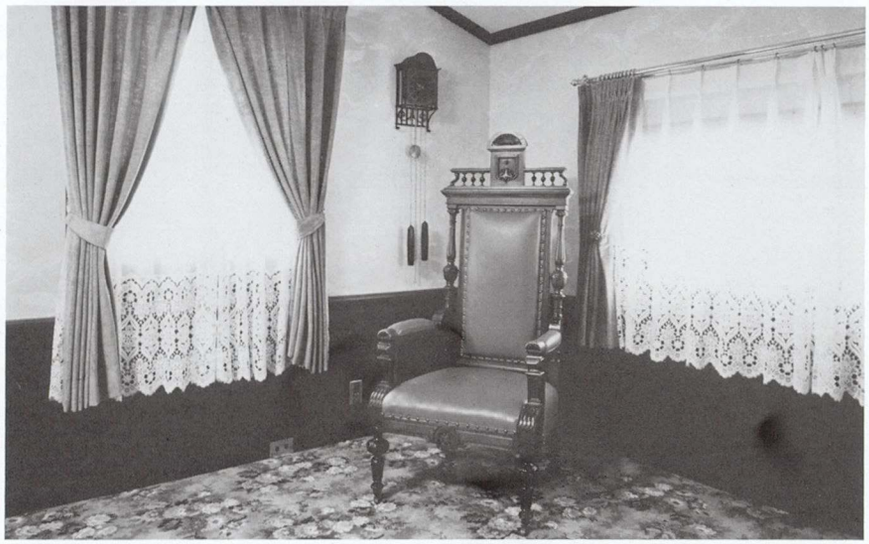
さまざまなライフスタイルに対応する幅広い商品群。
時代のニーズを適確にとらえたフレッシュな感性。
My Quality Lifeをテーマに、
スミノエは、ゆたかなインテリアライフづくりをめざします。

スミノエ
カーテン・カーペット・壁装・美術織物
ゆたかなインテリアライフをお届けする信頼のブランド
住江織物株式会社

本社・大阪支店●大阪市南区南船場3-11-20 TEL.06(251)0081
東京支店●東京都港区三田3-13-16 第43森ビル8F TEL.03(456)3011
営業所●札幌/仙台/静岡/新潟/金沢/名古屋/岡山/広島/福岡
連絡所●盛岡/大宮/千葉/横浜/京都/神戸/松山

# ヨーロッパのインテリアテキスタイル

## 建築空間に貢献するタナハシのコレクション



—ヨーロッパテキスタイル・家具・室内装飾・設計・施工—

TANAHASHI CO.,LTD

インテリア
株式会社 タナハシ

●本　社
〒541 大阪市東区横堀4丁目12本町OSビル
☎(06)261-2661㈹　FAX(06)261-2680
●ショールーム/本社ビル2F
●名古屋営業所
〒460 名古屋市中区東桜2丁目-24大美ビル
☎(052)931-0723　FAX(052)931-0726

# 栄冠も実績です。

DAIKIN

先駆のマルチ技術で、省エネ空調の時代をとらえたビル用マルチ。

**59年度　日本冷凍協会賞〈技術賞〉受賞**

**58年度「優秀省エネルギー機器」　日本機械工業連合会会長賞受賞**



室内ユニット　天井埋込カセット形FBYD63A1(2.5HP相当)

**中小規模建物(200～1500m²)の**
**省エネルギー空調として、積み上げた実績が認められました。**

独自の冷媒制御方式で熱搬送動力を不要にし、必要なとき必要な部屋だけを個別空調したいというニーズに、的確に応える省エネルギー空調システムです。

- 年間維持費を約20～45%も節減。(20USRT相当比)
- 工事節減と省スペース化を実現。
- 室外ユニット4機種、室内ユニット4タイプ。8バリエーションと豊富。
- 集中制御盤など便利さを高める別売品も充実。



〈室外ユニット〉
RSCY10C(10HP相当)

ダイキン
空冷ヒートポンプVRVエアコン
ビル用マルチ

ダイキン工業株式会社　空調営業本部
本　社　大阪市北区梅田1丁目12番39号　新阪急ビル
郵便番号 530　電話 大阪 (06)346－1201(大代表)

# ENVIRONMENTS FOR PEOPLE

家具・造作・建材
船舶・航空機内装
建築 ・ 商業施設
特殊建造物 等の
設計 施工

DAIMARU
大丸・装工事業部
大阪・東京・名古屋・京都・神戸
福岡・仙台・広島・シンガポール
☎ (06)252−0641 (03)271−3626

Tendo

家具——ひとつ、ひとつの個性。



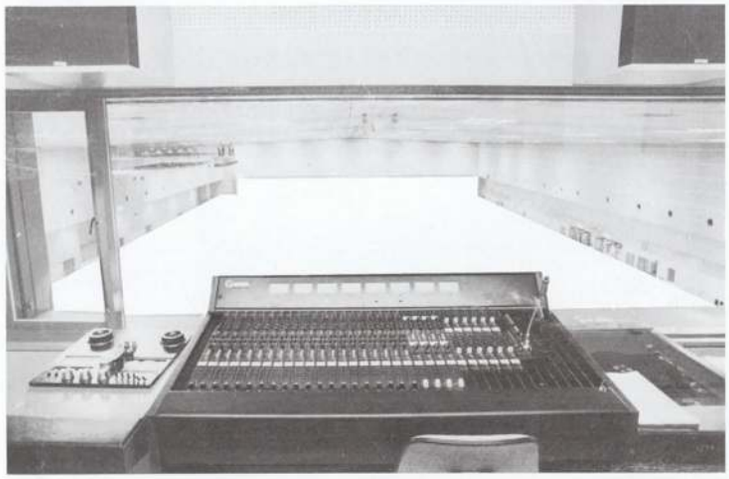
明日の室内を創る
天童木工

大阪支店・ショールーム
大阪市西区南堀江2-13-28 〒550
電話：06-531-4131(代表)

本社・東北 東京 札幌 広島 福岡

# 新しい音像世界への幕あけ

プロフェッショナルサウンドシステム



## 心に迫る音

体育館、公会堂、
コンサートホール、ライブハウス…
音、そのものの精度が要求されるとき。
忠実に再現する技術、
そして用途に応じた音響設計。

TOA
東亞特殊電機株式会社

本社　〒652 神戸市兵庫区下沢通5丁目1番8号　TEL(078)576-0226㈹

●大阪電販営業所
〒530 大阪市北区与力町1番5号(与力町パークビル3F)　TEL (06) 358-1141㈹
●東京電販営業所
〒113 東京都文京区本郷3丁目43番3号　TEL (03) 814-6211㈹
●名古屋電販営業所
〒461 名古屋市東区白壁2丁目1番30号(堀田第1ビル3F)　TEL (052)962-5721㈹

TOSHIBA
あかるい明日を技術でひらく



事務所　体育館

メッスル
MESL-B

簡単な操作で、用途・規模に合わせ最適な照明
コントロールシステムがお選びいただけます。

集中自動管理による
省電力・省力化
快適な照明環境

■事務所では

蛍光灯電子安定器と組み合わせ明るさを20～100%の間で自由に連続調光できます。カードによるプログラム入力に加え、光センサ、壁スイッチなど使い勝手も大幅に向上しました。快適な事務所環境をお約束します。

■体育館では

HID照明器具と組み合わせ、競技内容、用途に合わせて最適な照明パターンをスイッチ1つで選択できます。施設の管理運用の省力化と省エネ化を実現できます。



主操作盤 400L-60

●お問い合わせは…
近畿支店 特機担当　〒541 大阪市東区本町4-29(東芝大阪ビル) TEL (06)244-2880

東芝電材株式会社

# 設備と管理を光で結ぶ。

## 日新/ビルメイト　1100R



コンピュータ応用システムのトータルコンダクター日新電機は、電力・水処理・道路・広域施設・工場、それにビルなど、さまざまな分野の監視制御装置に実績とシリーズを誇っています。
ビルメイトはこうしたノウハウを集約。ビルの諸設備を一括して管理するシステムです。

**日新/ビル管理システム**
**BUILMATE®**

人と技術の未来をひらく
**日新電機**

本社・工場　〒615 京都市右京区梅津高畝町47
☎ (075)861-3151(大代表)
営業本部　☎ (03)503-3251～6(代表)
中部支社　☎ (052)561-5511(代　表)
西部営業本部　☎ (06)344-7321～6(代表)

# 空間発想に、バレルボールト。




人と空間と自然をテーマにした
曲線のフォルムが、建築デザインを、
ひときわ大胆にしました。

発売以来、すでに7年を経過して、日本の各地でさまざまな、数多くの美しいシルエットを見せています。

●只今、最新の施工例集をご希望の方にお送りしています。

**㈱日鐵サッシ販売株式会社**
**㈱日鐵カーテンオール株式会社**

本　社　東京都千代田区神田錦町1－8　☎03－295－4511
大阪支店　大阪市北区西天満5丁目1－9　☎06－364－1171

## 準超高性能 エアフィルタ

# フィロ・フェクト®

### 静電気力による優れた捕集機構

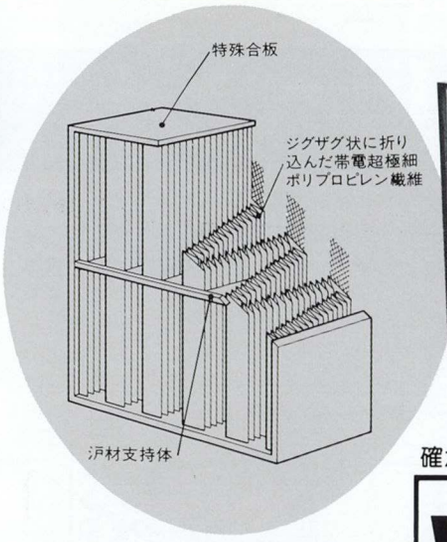
〝フィロ・フェクト〟は、超極細繊維層によるメカニカル沪過とそれらの繊維が帯電していることによる強力な静電気力とのコンビネーションにより、大気中のエアロゾル粒子を効果的に捕集します。静電気力は持続性にすぐれ、メカニカル沪過だけでは捕集が困難とされている粒子径1μm以下の微粒子の沪過に非常に高い安定した捕集効率を示します。

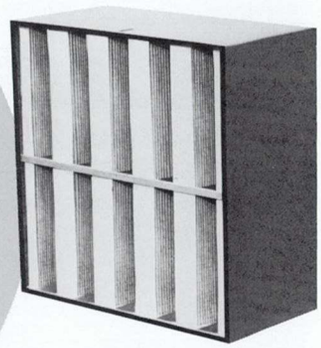
### 沪材は二重構造＋ダブルジグザグ機構

〝フィロ・フェクト〟の沪材は、帯電超極細繊維層を不織布で裏打ちした、成形性のある二重構造になっています。沪過面積を増やすために、ダブルジグザグ形状に折り込み、低圧損と長寿命の省エネ設計を可能にしています。圧力損失は、従来の同一効率のエアフィルタの⅔、また寿命は1.3～1.5倍と長くなっています。

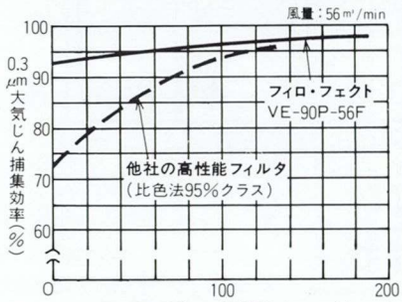
### 高湿度下でも安定した性能

超極細繊維層の電荷は、繊維の表面だけでなく、内部まで埋め込まれた永久帯電になっています。また、ポリプロピレン繊維からなっているため、撥水性と絶縁性に優れ、高湿度環境下での使用にも安定した性能を示します。



■ダスト負荷による捕集効率




確かな技術で業界をリードする

vilene®

**日本バイリーン株式会社**

本社/東京都千代田区外神田2-16-2 第2ディックビル

営業部門 空調資材担当
- 東　京☎ 03-258-3371(代表)
- 大　阪☎ 06-252-6464(代表)
- 名古屋☎052-203-1461(代表)

0285



Victor | JVC

**日本ビクター株式会社**

※JVCは、日本ビクターの海外ブランドです。

# AVCS

日本で、そして世界で、AV文化(音声映像)を
リードし、さらに高度システム化へと躍進.!!

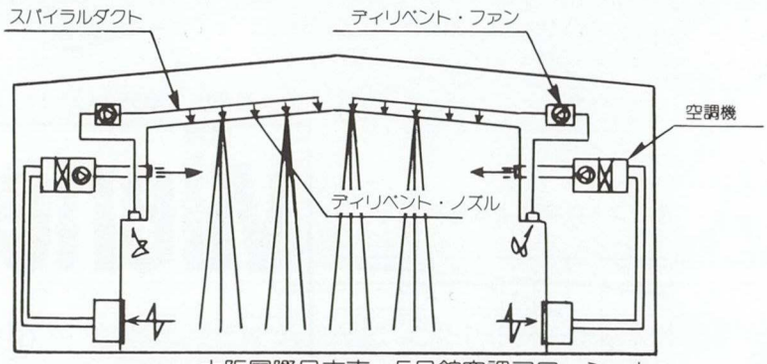
## ビクターAVシステムセールスネットワーク（お気軽にご相談下さい。）

- ●東京情報システム営業部
  (〒107) 東京都港区赤坂1-5-11(新虎ノ門ビル)☎(03) 584-1201
- ●大阪情報システム営業部
  (〒543) 大阪市天王寺区小橋町10番16号 ……☎(06) 768-5336
- ●北海道視聴覚システム営業部
  (〒060) 札幌市中央区北三条西1-1-7……☎(011)221-5651
- ●東北視聴覚システム営業部
  (〒980) 仙台市本町1-11-12……☎(0222)62-8026
- ●関東視聴覚システム営業部
  (〒113) 東京都文京区本郷3-14-7 ……☎(03) 815-2171
- ●東京視聴覚システム営業部
  (〒113) 東京都文京区本郷3-14-7 ……☎(03) 815-4431
- ●神奈川視聴覚システム営業部
  (〒231) 横浜市中区翁町1-3-1……☎(045)662-5681
- ●中部視聴覚システム営業部
  (〒465) 名古屋市名東社台3-9……☎(052)772-8161
- ●近畿視聴覚システム営業部
  (〒543) 大阪市天王寺区小橋町10番16号 ……☎(06) 768-5356
- ●中四国視聴覚システム営業部
  (〒730) 広島市中区東平塚町3番26号……☎(082)243-3321
- ●九州視聴覚システム営業部
  (〒812) 福岡市博多区博多駅前4-16-1 ……☎(092)411-9866
- ●山陰ビクター販売株式会社
  (〒693) 出雲市今市町854……☎(0853)21-4611
- ●沖縄ビクター販売株式会社
  (〒901-22) 沖縄県宜野湾市真志喜643 ……☎(09889)7-4513

## 大空間用空調システム

# ディリベント システム

ディリベント・システムはノズルから吐出する高速ジェット気流のエネルギーを利用して天井部の高湿空気を床面へ誘引搬送し室内空気の循環回数を高め、立上り時間の短縮等大空間の暖房改善に寄与する画期的システムです。



大阪国際見本市　5号館空調フローシート

〔特　　長〕
1. 室内上下の温度差がなくなります。
2. 暖房立上り時間が短縮されます。
3. ダクトレスで空調が行えます。
4. 施工が容易で設備も安価になります。
5. ランニングコストが大巾に低減できます。
6. 既設建築物にも簡単に適用できます。

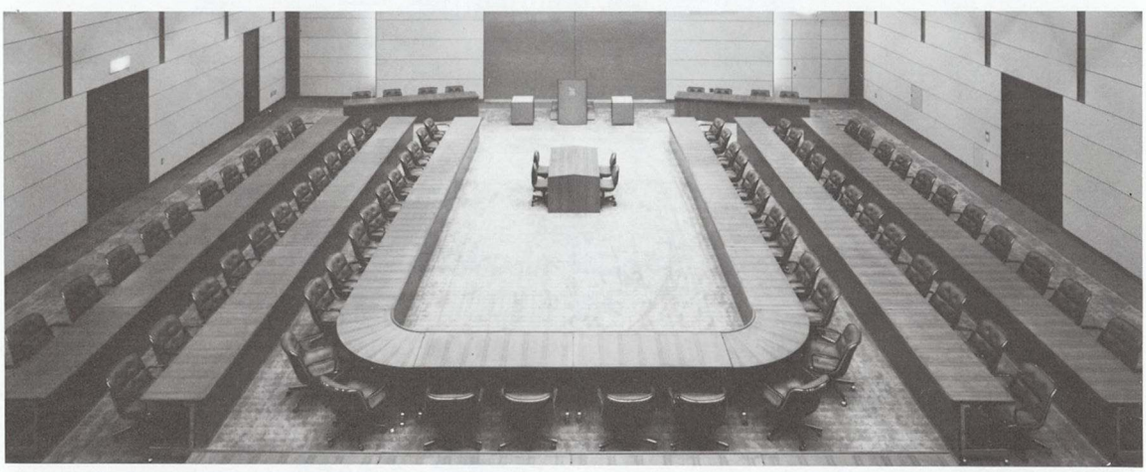
〔その他の用途〕
1. 工場・倉庫
2. 温水プール
3. 地下駐車場
4. 文化ホール・体育館
5. 空調機械室

Fläkt
日本フレクト株式会社

本　　社　〒101 東京都千代田区神田駿河台4-2　お茶の水ビル
☎03（255）0095㈹　テレックス 222-6715 FLAKTT J
大阪支店　〒530 大阪市北区芝田1-4-8 北阪急ビル　☎06(374)1355㈹
名古屋支店　〒460 名古屋市中区錦2-2-13 センタービル　☎052(211)6230

# 六ヶ国語同時通訳放送装置

## 最高のホール効果を演出する音響システム



JRC 日本無線株式會社

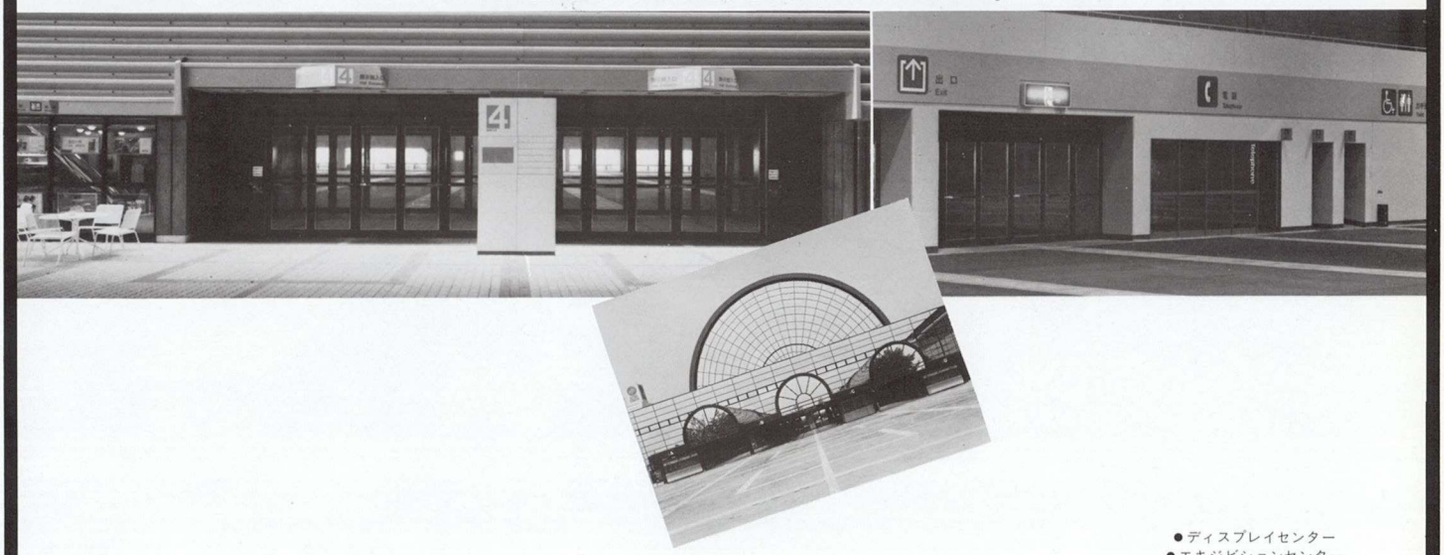
●本社事務所
〒107　東京都港区赤坂2丁目17番22号　赤坂ツインタワー本館　(03)584-2411(大代表)

●大阪支店
〒530　大阪市北区堂島浜1丁目4番28号　(06)344-1631(大代表)

●三鷹製作所
〒181　東京都三鷹市下連雀5丁目1番1号　(0422)44-9111(大代表)

# 導 SIGN 具 AID MEDIA 革 TECHNOLOGY 命

いま、サインは 機能を追求し、情報をシンプルに伝え建築の中に確かな主張を持ちはじめた。心を満たす感覚融合。ふれあいを生む視覚融合。
魅力ある空間はすべての要素が意味を持って融合している。



●ディスプレイセンター
●エキジビションセンター
●ストア・プランニングセンター
●パブリックコミュニケーションセンター

大　阪　店　〒550 大阪市西区南堀江3－16－9　☎(06) 538-2461
心斎橋営業所　〒542 大阪市南区南船場3-12-9心斎橋プラザビル東館4F　☎(06) 251-7311
ＯＭＭ営業所　〒540 大阪市東区京橋1-7(ＯＭＭ・Ｂ4)私書箱44号　☎(06) 943-3000
梅田営業所　〒530 大阪市北区梅田2－1－24(新桜橋ビル4Ｆ)　☎(06) 345-2451
本町営業所　〒541 大阪市東区南本町4－47(イトウビル2Ｆ)　☎(06) 252-0071

ＯＴＣ営業所　〒562 箕面市船場東2－6－5(ＯＴＣ3号館2Ｆ)　☎(0727)28-3636
和歌山営業所　〒640 和歌山市西汀丁1-2(和歌山県経済センター3F6号)　☎(0734)23-5110
本　　社　〒604 京都市中京区東堀川通丸太町下ル7－1　☎(075)211-7271

HEART TO SPACE
FUJIYA
株式会社フジヤ

札幌・盛岡・仙台・東京・横浜・新潟・金沢・名古屋・京都・和歌山・神戸・徳島・広島・北九州・福岡






## 風雨をシャットアウトする「等気圧理論」

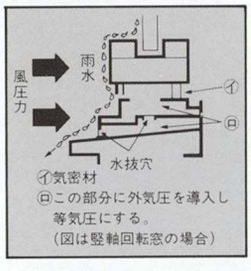
超高層ビルでは、雨は上から降るとは限りません。ビル風という独特な風にあおられるなどして、横からも、時には下からも激しく降ります。それらをシャットアウトするのが、サッシという傘なのです。

厳しい条件下のビルではたいへん高い水密性能が要求されます。不二サッシは、その高い水密性能を得るため、カーテンウォールやサッシに「等気圧理論」を応用しています。

雨と風とが同時に作用すると、室内と室外では圧力差が生じます。その時、すき間の一方の側に水があると、たとえ小さなすき間であっても、水は圧力の高い方から低い方、つまり室外から室内に侵入してしまうのです。これを最も効果的に解決するには、すきまの両側の気圧差がなくなるような構造にすればいいわけです。これが「等気圧理論」です。

「等気圧理論」の応用など、超高層ビルでつちかった不二サッシの技術は、マンション用サッシをはじめ住宅用のサッシにも確実にフィードバックされています。超高層ビルと同じサッシの傘が様々な建物を風雨から守っているのです。

●等気圧構造




サッシの歴史は不二サッシの歴史

不二サッシ

〒103 東京都中央区日本橋室町1-3
（日本橋大栄ビル）
TEL (03)279-1611(大代表)



インテックス大阪 2階メインホール　家具工事松坂屋

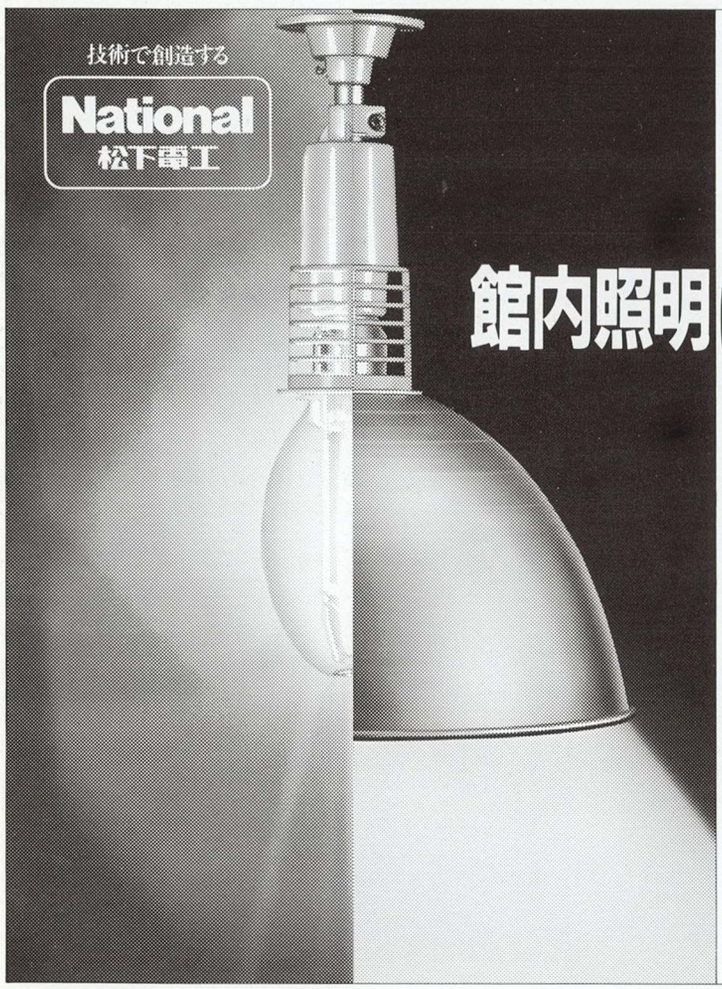
店舗・商業施設・家具・造作
装飾・企画・設計・施工

松坂屋　大阪店 6階・家具装飾

〒540 大阪市東区京橋2丁目35番地
電 話(06)943-1111(代表)　(06)941-6141(直通)

技術で創造する
National
松下電工

館内照明はナショナルのHIDです。



松下電工は会場の各建物に大量のHID(マルチハロゲン)照明を納入させていただきました。82%という高い器具効率や、出展商品をあざやかに見せる演色性のよさが、ご採用にあたって大きなポイントになっています。さらに、ランプ位置を上下させるだけで広照型にも狭照型にも配光を変えられることも、特長のひとつです。



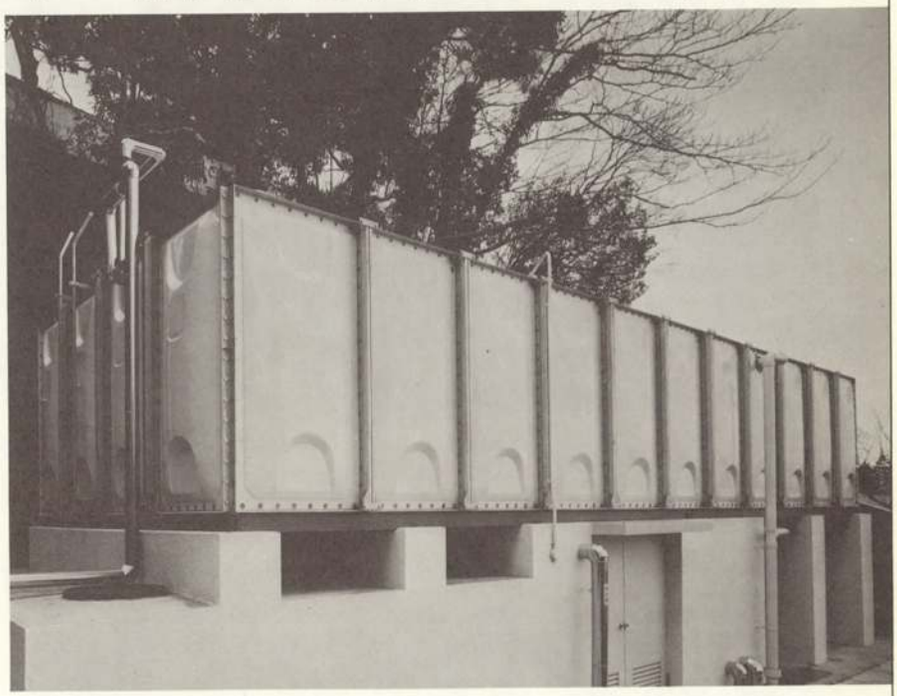

ナショナル高天井用照明器具
MNフルボリックシリーズ

●お問い合わせは、松下電工・電材事業本部マーケティング部HID係 ☎06(908)1131(〒571)大阪府門真市門真1048

三菱樹脂

# 実績と技術で高い信頼を得ています。

ヒシタンクが
耐震性・衛生性を
さらに向上！



三菱樹脂株式会社

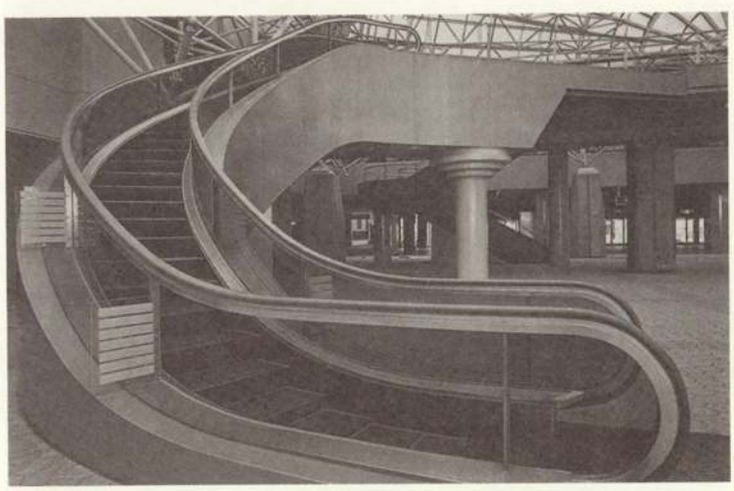
●本社：〒100 東京都千代田区丸の内2-5-2 三菱ビル03(283)4072(直) ●大阪支店：〒541 大阪市東区伏見町5-1 大阪明治生命館06(208)4758(直)
●支店：東京03(283)4320(直) 名古屋052(563)2112(代) 福岡092(281)3881(代) 仙台0222(61)2331(代) 横浜045(201)9251(代) 広島082(248)5881(代)
北陸07496(4)1701(代) 四国0878(71)2911(代) 札幌011(241)2571(代) ●営業所／全国26か所

技術がつくる高度なふれあい SOCIO-TECH

MITSUBISHI

# SPIRAL ESCALATOR
# 三菱 スパイラル エスカレーター

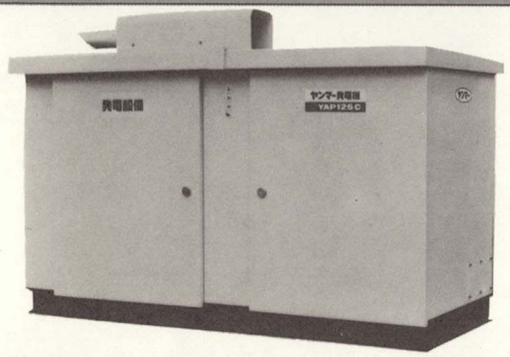
美しい曲線を愛し、芸術にまで
高めてきた日本人。
三菱電機では未来へ向けて
夢のある関係を創り出しました。



三菱電機株式会社 関西支社 大阪市北区堂島2丁目2番2号 ☎(06)347-2315

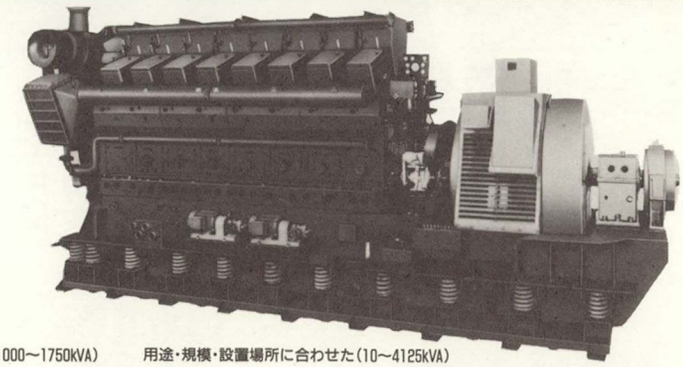
# 「まさか」の備えでなく、「たしか」な備えです。

非常用・防災用ディーゼル発電装置




量産・即納体制が整ったキュービクルタイプ **YAPC** シリーズ（10～1500kVA）並列運転（1000～1750kVA）

大形ディーゼル発電装置



用途・規模・設置場所に合わせた（10～4125kVA）



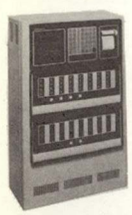
ヤンマー防災用発電装置は、災害を未然に防止する確かな備えとして、その技術力・信頼性が、高い評価を得ています。ヤンマーでは、用途・規模・設置場所に応じて、キュービクルタイプ、大形ディーゼル発電装置、ガスタービン発電装置など、豊富な機種を取揃え、設計から、据付けまで、責任をもってお手伝いいたします。

※カタログご希望の方は、本社・直伝部〈建築と社会〉まで。

**ヤンマー 防災用 発電装置**

**ヤンマーディーゼル株式会社** 〈本社〉大阪市北区茶屋町1番32号 〒530 TEL.(06)372－1111(代)
〈支社〉東京 〈支店〉札幌・仙台・名古屋・大阪・高松・広島・福岡

# 環境管理と設備管理のエース



小規模の建物・工場管理に
セービック
**SAVIC EC**




建物・工場の環境造りと省エネルギー、そして省力化。お客様にご満足いただけるシステムを作り上げるために、私たちは長年蓄積してきた数多くのノウハウを生かし、先進技術を追求しております。山武ハネウエルは、センサからコントローラ、総合管理システム、省エネルギー制御まで、トータルでお届けいたします。



中規模の建物・工場管理に
セービック
**SAVIC 800**



大規模、広域建物・工場管理に
セービック
**SAVIC 2000**

**Savemation** ——— Saving by Automation
**山武ハネウエル**

空調制御事業部 〒150東京都渋谷区渋谷2-12-19 ☎(03)486-2321・2344

| | | |
|---|---|---|
| 北海道☎(011)231-5374 | 横　浜☎(045)312-6011 | 高　松☎(0878)51-6600 |
| 東　北☎(0222)64-1331 | 静　岡☎(0542)54-0191 | 広　島☎(082)248-1291 |
| 新　潟☎(0252)25-2115 | 名古屋☎(052)582-1253 | 福　岡☎(092)771-8231 |
| 茨　城☎(0292)25-3911 | 金　沢☎(0762)63-8167 | |
| 高　崎☎(0273)63-3911 | 大　阪☎(06) 376-0355 | |

●詳しくは、カタログをご請求ください。

構造の頁

# 131 二層系地盤における杭の水平剛性の評価法

観音延平／野村外喜夫

地震時、建築物を支える杭には、鉛直力(軸力)のみならず水平力（せん断力）と曲げモーメントが作用する。杭基礎を設計するためには、これらの応力を正しく把握する必要がある。

「地震力に対する建築物の基礎の設計指針」[1]には、周辺地盤の水平方向地盤反力係数($k_h$)が深さ方向に一定とした場合の、長い杭の杭頭に作用した水平力によって生じる杭体の曲げモーメント・変位等の算定式が示されている。しかし、杭の長さが短いときや杭周辺地盤の$k_h$が一定と見なし得ないときには、これらの算定式を直接適用すると正しい結果が得られぬことも考えられる。

ここでは、$k_h$が深さ方向に一定ではない場合の一例として二層系地盤を取り上げ、そこにおける杭頭の回転が完全に拘束された長い杭の変位・応力の算定式とその利用法を紹介する。

## 1．二層系地盤における杭基礎

### 1－1　杭頭の水平変位と曲げモーメント

**図1**に示すような二層系地盤における、杭頭の回転が拘束された長い杭の杭頭水平変位$y_0$および杭頭曲げモーメント$M_0$は次式で表される。

$$y_0=\frac{Q}{4EI\beta^3}\times\phi_y \qquad (1)$$

$$M_0=\frac{Q}{2\beta}\times\phi_m \qquad (2)$$

ここで

$$\phi_y=\frac{2(1-n^4)+2na+2n^3\bar{a}+(1+n^4)b+2n^2\bar{b}}{(1+n^4)a+2n^2\bar{a}+2n^3b+2n\bar{b}}$$

$$\phi_m=\frac{2n^3a+2n\bar{a}+2n^2b+(1+n^4)\bar{b}}{(1+n^4)a+2n^2\bar{a}+2n^3b+2n\bar{b}}$$

$$a=\sinh(2\beta\ell)+\sin(2\beta\ell)$$

$$\bar{a}=\sinh(2\beta\ell)-\sin(2\beta\ell)$$

$$b=\cosh(2\beta\ell)+\cos(2\beta\ell)$$

$$\bar{b}=\cosh(2\beta\ell)-\cos(2\beta\ell)$$

$$\beta=\sqrt[4]{\frac{k_h\cdot B}{4EI}} \qquad n^4=m$$

$Q$：杭頭に作用する水平力
$B$，$EI$：杭径および杭の曲げ剛性
$k_h$：上層地盤の水平方向地盤反力係数
$m$：$k_h$に対する下層地盤の水平方向地盤反力係数の比　（図1参照）
$\ell$：上層地盤の厚さ

水平方向地盤反力係数$k_h$が深さ方向に一定の半無限弾性地盤における、杭頭の回転が完全に拘束された長い杭の杭頭水平変位および杭頭曲げモーメントは、それぞれ$\frac{Q}{4EI\beta^3}$、$\frac{Q}{2\beta}$で与えられる。(1)，(2)式は、二層系地盤における杭の変位・応力が、一層系地盤のそれに、地盤と杭の条件より決定される係数$\phi_y\cdot\phi_m$を乗ずることによって求められることを示している。

$\beta\ell$を0～3.0、$m$を実務でよく使われるであろう0.1～10.0の範囲で、$\phi_y\cdot\phi_m$をグラフ化すると**図2**、**図3**のようになる。図より、$\beta\ell>2$となると$m$の値には関係なく$\phi_y\cdot\phi_m$ともほぼ1.0となり、$\ell>\frac{2}{\beta}$の層厚があれば、また通常よく現れるであろう$0.5<m<2.0$程度の地盤では、若干の誤差が生じるが、$\ell>\frac{1}{\beta}$の層厚があれば、一層系地盤として取り扱っても良いことがわかる。

### 1－2　水平剛性

(1)式を変形して得られる次式は、前記条件下の杭の水平剛性を与える。

$$K=\frac{Q}{y_0}=4EI\beta^3\frac{1}{\phi_y} \qquad (3)$$

一般に杭は建物の重量分布に応じて配置されるので、建物の重心と杭群の剛心は近接したものとなり、偏心によるねじれの影響はあまり問題になることがないようである。そこで、剛床で結ばれた個々の杭は、杭頭の水平変位が等しくなるように、水平剛性の大きさに比例して水平力を分担すると考えることができる。さらに$\beta$の値が等しい、すなわち上層地盤の$k_h$が等しく、材質・径が同じ杭の間では、水平剛性の比は$\frac{1}{\phi_y}$の比と同じになり、水平力は$\frac{1}{\phi_y}$の比に応じ分担されることになる。

$\frac{1}{\phi_y}$を$\beta\ell$と$m$に関してグラフ化したものが**図4**であり、$\beta\ell=1.0$での$m$に対する$\frac{1}{\phi_y}$の値を示したものが**表1**である。

当然のことではあるが、$\beta\ell$が大きくなれば、また$m$が1.0に近づけば、$\frac{1}{\phi_y}$は1.0に近づくことが図よりわかる。また$\beta\ell>1.0$で$0.2<m<2.5$程度の場合であれば$0.9<\frac{1}{\phi_y}<1.1$となり、一層系地盤における長杭として水平剛性を求めても1割程度の誤差に納まることも、図および表よりわかる。しかし、上層の層厚が薄い場合また上下層の水平方向地盤反力係数の差が著しい場合には、二層系地盤における杭として水平剛性を評価すべきであることを図は示している。

## 2．計算例

**図5**に示す地盤と荷重条件での、3本の杭の分担水平力および杭頭曲げモーメントを、(1)～(3)式を用いて算定したものを**表2**に示す。ここで、杭はPHC杭500$\phi$（$EI$=9.64×$10^{10}$kg/cm²）とし、水平方向地盤反力係数は$k_h=0.8(7N)\,B^{-\frac{3}{4}}$で算出した。

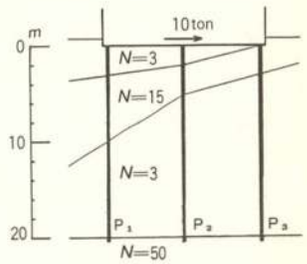


図5　計算例

杭$P_1$は$\beta\ell\fallingdotseq1.0$であるが、$m=5.0$であるため$\frac{1}{\phi_y}=1.20$となり、剛な下層の影響が窺える。杭$P_3$の上層厚さは杭$P_1$のそれと同じであるが、$k_h$の差により$\beta\ell\fallingdotseq1.5$となるため、一層系地盤と見なし得る範囲に近づき、$\frac{1}{\phi_y}\fallingdotseq1.0$となっている。

また表2で（　）内に示した値は、地盤を1mごとの弾性バネに置換し変位法によって解析した結果であるが、杭$P_2$のように第2層の層厚があまり厚くない場合でも、算定式による結果はきわめて良い値を示していることがわかる。

## 3．おわりに

二層系地盤での杭の変位・応力の算定式は、参考文献2、3など数多く紹介されているが、ここでは、参考文献3に示されている算定式を、実務において使いやすい形に置き換えた式と、それによる図を紹介した。本算定式は地盤を弾性体と考え導いた式であり、複雑な挙動を示す地盤のある一面を表したものであることを、読者には理解され、合理的・経済的な杭基礎の設計に役立てていただければ幸いである。

**参考文献**

1．日本建築センター　地震力に対する建築物の基礎の設計指針　付設計例題　昭59
2．横山幸満　くい構造物の計算法と計算例　山海堂　昭53
3．八幡製鉄　杭の横抵抗計算数表　1964

（かんのん　のぶひら／のむら　ときお　株式会社大林組建築設計第5部）

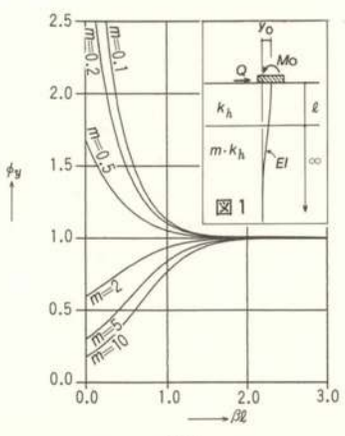


図2

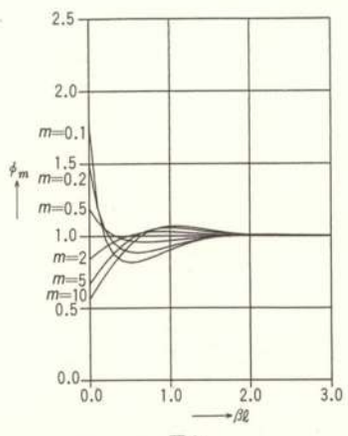


図3

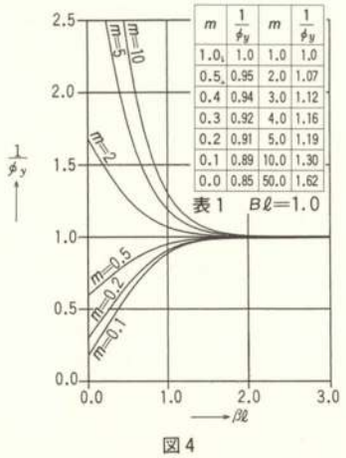


図4

| $m$ | $\frac{1}{\phi_y}$ | $m$ | $\frac{1}{\phi_y}$ |
|---|---|---|---|
| 1.0 | 1.0 | 1.0 | 1.0 |
| 0.5 | 0.95 | 2.0 | 1.07 |
| 0.4 | 0.94 | 3.0 | 1.12 |
| 0.3 | 0.92 | 4.0 | 1.16 |
| 0.2 | 0.91 | 5.0 | 1.19 |
| 0.1 | 0.89 | 10.0 | 1.30 |
| 0.0 | 0.85 | 50.0 | 1.62 |

表1　$B\ell=1.0$

| 杭符号 | $P_1$ | $P_2$ | $P_3$ |
|---|---|---|---|
| $\ell$ cm | 300 | 200 | 300 |
| $k_h$ kg/cm³ | 0.893 | 0.893 | 4.467 |
| $m$ | 5.0 | 5.0 | 0.2 |
| $\beta$ 1/cm | $3.28\times10^{-3}$ | $3.28\times10^{-3}$ | $4.91\times10^{-3}$ |
| $\beta\ell$ | 0.984 | 0.656 | 1.47 |
| $\frac{1}{\phi_y}$ | 1.20 | 1.51 | 0.98 |
| $K=4EI\beta^3\frac{1}{\phi_y}$ t/cm | 16.3 | 20.5 | 44.7 |
| 分担水平力 $Q$ ton | 2.00(2.02) | 2.52(2.54) | 5.48(5.44) |
| $\phi_y$ | 0.83 | 0.66 | 1.02 |
| 杭頭水平変位 $y_0$ cm | 0.122(0.122) | | |
| $\phi_m$ | 1.06 | 1.02 | 0.98 |
| 杭頭モーメント $M_0$ t·m | 3.23(3.20) | 3.92(3.90) | 5.47(5.21) |

表2　計算例

設備の頁

# 130 大阪国際見本市新会場の給水システム

## —PC制御インバータ駆動方式—

三小田　渡

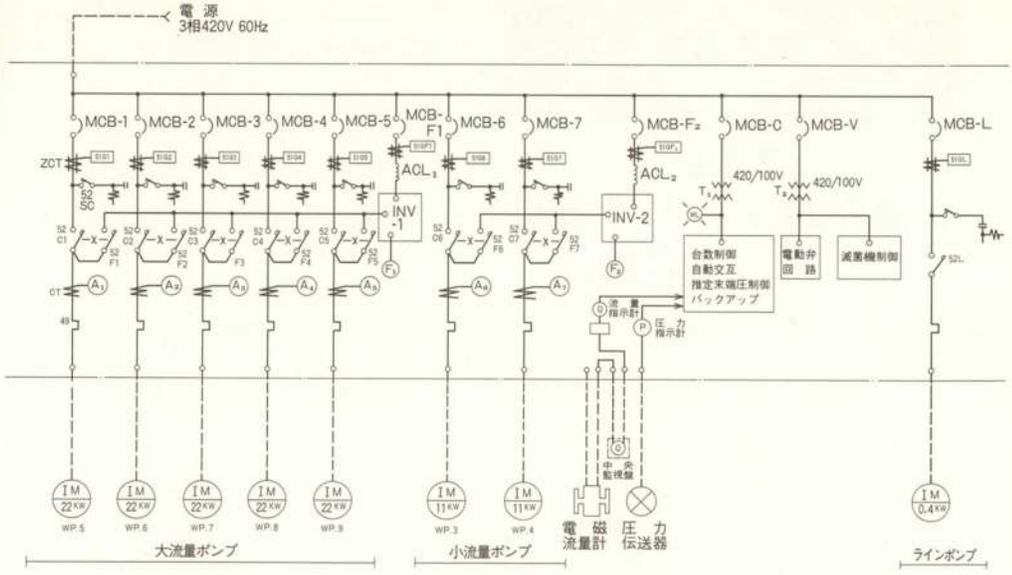



図1

### 給水システム概要

見本市新会場は、給水施設面からみた場合、つぎの特徴を有している。

(1) ポンプ室1ヵ所から枝状配管で放射状に給水するので配管損失が大きく、そのために末端圧力の変動が大きい。

(2) 開催時と休業時の使用流量の差が大きく、かつ、開催時も昼夜間や催事により差が大きい。

(3) 休業期間が長く、水質低下の防止対策が重要となる。

このような背景から、給水システムとしては、開催期間の展示会場用に、ポンプの回転数制御を組み込んだ圧送給水方式と、事務所等の給水を対象とした重力式給水方式の2系統分割方式が採用された。

この中で、展示会場用の圧送給水方式は会場給水の中心となるものであり、省電力・圧力の安定性・水質低下の防止・信頼性の向上の4点を基本思想としたつぎのシステムになっている。

(1) ポンプは小流量ポンプ2台と大流量ポンプ5台の計7台に分割し、使用水量に応じて自動制御で最大6台まで並列運転することにより省電力化を図る。

(2) インバータを小流量ポンプ用と大流量ポンプ用におのおの1台ずつ設置して、使用流量に応じた回転数制御とすることにより、きめ細かい省電力化対策を施すとともに、圧力制御を行う。

(3) 圧力制御は推定末端圧一定制御とし、末端圧力の変動幅を最小化するとともに、圧力一定制御よりも省電力効果を向上させる。

(4) 可変速装置には、インバータを採用する。インバータは、可変速装置の中で最も変換効率が高く、また汎用電動機を可変速運転できるという特長を有することから、最近急速に普及してきた可変速装置である。

(5) 水質低下の防止方法として、受水槽の水を循環ポンプで強制循環しながら残塩（残留塩素）濃度を測定・記録し、残塩濃度が規定範囲内になるように滅菌ポンプをON-OFF制御している。圧送給水システムによる給水は、高架タンクを必要としないので、高架タンク部での残塩濃度の低下がなくなり、水質低下の防止の面でも効果が大きい。

(6) 圧力制御・台数制御や滅菌ポンプの制御等には、PC（プログラマブルコントローラ）を使用して制御盤内の個別機器や配線本数等のハードウェア部分を縮減し、接触不良等の故障要素を少なくして信頼性を向上させる。実際の制御スケルトンを図1に示す。

### 自動制御

**■推定末端圧一定制御**　零流量時のポンプ吐出圧力には配管損失を加えずに、「実揚程＋末端圧力」のみとし、その後、流量の増加に応じて増加する配管損失を演算し加えながら吐出圧力を上昇させていき、末端の圧力がほぼ一定になるように制御していく。この制御方式を推定末端圧一定制御という。配管損失の演算は給水本管に設置した電磁流量計で総流量を測定し、電気信号DC4—20〔mA〕に変換した後、2乗損失曲線演算回路により行う。(図2参照)

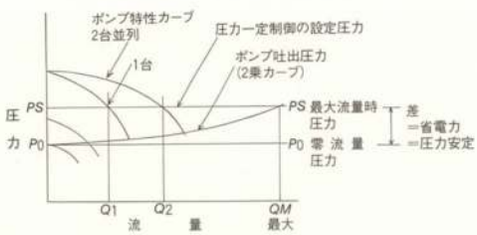



図2

**■自動交互運転**　各ポンプの運転時間を均一化するために、インバータ駆動で変速運転するポンプを順次切り換える。切り換えは、使用水量の変化に応じて小流量ポンプ↔大流量ポンプに切り換わるタイミングに合わせて行う。

**■台数制御**　使用流量が増加して、インバータで変速運転しているポンプが定格流量以上になれば、待機中のポンプを商用電源駆動で運転し、「変速＋定速」運転で圧力制御を行う。以後、流量の増加とともに待機ポンプを順次「定速」運転し、「定速」ポンプはベースロード、「変速」ポンプは圧力制御の分担で、台数制御を行う。

**■バックアップ**　バックアップ機能の充実は、ソフトウェアによる給水の連続性の向上、すなわち信頼性の向上の主要部分をなすものである。ポンプが過負荷・圧力低下・漏電等で故障停止したり、または、オーバーホール等で自動制御系列から脱落する場合、この脱落ポンプが2台以上あっても、残りのポンプが自動バックアップして給水を確保する。

### 主要機器

**■インバータ**　インバータは、50〔Hz〕または60〔Hz〕の商用電源を、任意の周波数に変換する周波数変換機器である。インバータの電圧の制御方法にはPAM（パルス振幅変調）方式とPWM（パルス幅変調）方式があるが、今回は、見本市会場という環境を考慮して、PWM方式より電動機騒音や発生ノイズが少ないPAM方式を採用した。

**■PC**　PCは、システムとしての信頼性向上と、高機能化を実現する主要機器であり、ソフトウェアにより、前記「自動制御」の各項に加えて、つぎの機能を装備している。

- インバータの運転—停止および速度制御
- 故障回数カウンタ
- インバータトリップカウンタ
- インバータ運転時間カウンタ
- 瞬時停電再始動
- 滅菌機運転

なお、PCがトリップの場合、手動操作でポンプを定速運転できる回路を備えており、給水の連続性向上対策を一層進めている。

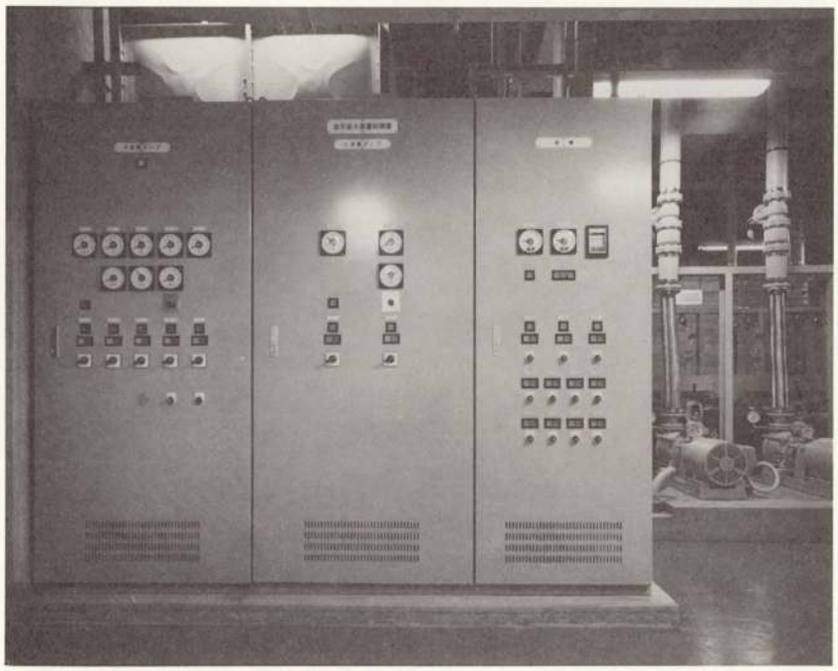
*

現在、給水システムにおいても電子化技術を駆使したPC制御・インバータ駆動方式に移行しているが、高機能化・信頼性向上等の要求の高まりとともに、ますます移行速度が増すものと考える。

最後になりましたが、本給水システム製作納入するに当たり、大阪市都市整備局並びに株式会社東畑建築事務所殿の関係者より絶大なご指導とご協力を賜りましたことを厚く御礼申し上げます。

（みこだ　わたる
三菱電機株式会社名古屋製作所可変速技術課）

# PC制御インバータ駆動方式
## 三菱タンクレス給水システム

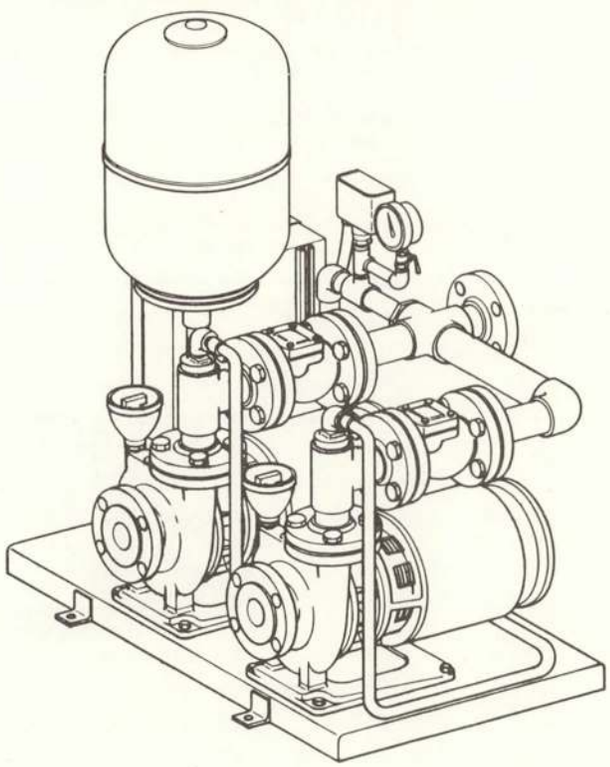


MITSUBISHI

営業所お問い合わせ先
本社機器事業部（03）459-5625

| | | | |
|---|---|---|---|
| 関　東 | (0486)65-6831 | 中　部 | (052)565-3314 |
| 北海道 | (011)212-3785 | 静　岡 | (0542)51-2855 |
| 東　北 | (0222)64-5740 | 関　西 | (06) 347-2833 |
| 新　潟 | (0252)41-7227 | 中　国 | (082)248-5358 |
| 北　陸 | (0762)52-1151 | 四　国 | (0878)51-0001 |
| | | 九　州 | (092)721-2233 |

三菱電機株式会社



UC形自動給水ユニット

# ジンノポンプ

——製造品目——

自動給水ユニット（BL認定品）
消火ポンプユニット（消防認定品）
うず巻ポンプ
水中モーターポンプ
暖房用ポンプ
立軸汚水、汚物ポンプ

JINNO

株式会社 神野製作所

本社・工場　〒462 名古屋市北区大曽根1－12－25　☎(052)981－2571
大阪営業所　〒553 大阪市福島区福島6－19－12　☎(06) 458－9821
営　業　所：東京・名古屋・福岡

施工材料の頁

# 129 浸透型吸水防止材

野々市　迪夫

浸透型吸水防止材とは、建築物の外観を変えることなく水の浸入を防止して、凍害、白華、汚れ等の水による害から建築物を保護することを目的とする材料である。これはアスファルト、シート、塗膜等の被覆型防水材と異なり、躯体に浸透して疎水性の吸水防止層を形成し、防水機能を発揮する。（写真－1）

浸透型吸水防止材は表－1のように、表面に樹脂膜を形成する造膜型と、樹脂膜を形成しない非造膜型に分けられ、機能レベルも多様化している。

ここではシラン系を中心に、概説する。




写真－1 シランモノマー処理建築材料の外観

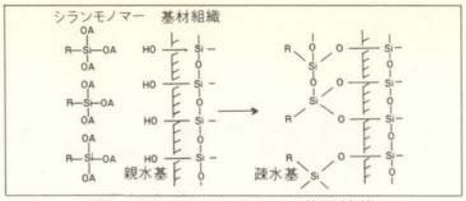
表－1　浸透型吸水防止材の分類と特徴

| 浸透型吸水防止材 | 非造膜型 | | | | | 造膜型 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | シランモノマー | シランオリゴマー | パラフィンワックス | 脂肪酸金属塩 | シリコーン樹脂 | アクリル樹脂系（樹脂酸金属塩、シリコーン樹脂等を併用） | ウレタンオリゴマー |
| 外観変化 | 無し | 無し | やや有り | やや有り | 無し | 有り | 有り |
| 浸透力 | 優 | 良 | 少 | 良 | 少 | 少 | 良 |
| 下地との作用 | 反応 | 反応 | 含浸 | 含浸 | 付着 | 成膜 | 硬化成膜 |
| 吸水防止性 | ○ | ○ | △ | △ | △ | ○ | ○ |
| 耐久性 | ◎ | ○ | △ | △ | △ | △ | △ |

## 1.　作用機構

浸透型吸水防止材には、基材組織と化学的に反応して定着するもの、単に含浸するだけのもの、表面に撥水成分が付着するもの、含浸と成膜成分を併用しているもの等がある。シランモノマーの場合は、基材組織のシラノール（≧Si－OH）と化学的に結合し、また自らも縮合して基材組織と一体化し、網状構造を形成するので耐久性に優れる。（図－1）

シラノールは親水性のため、基材内部に水を吸収するが、シランモノマーで処理された基材はシラノールが消失して疎水化される。このためコンクリート、ALC、セラミック類、セメント二次製品等の無機質建築材料に対して優れた吸水防止効果を発現する。




図－1 シランモノマーの作用機構
注）A、Rはアルキル基を示す。

## 2.　処理方法

浸透型吸水防止材は炭化水素系、芳香族系または水などの溶剤で希釈して使用される。処理量は対象物の状態により異なるが、おおむね0.1～0.6ℓ/㎡である（表－2）。処理方法としてはハケ塗り、ローラー塗り、エアレススプレー吹き付け等が使用され、工場処理では浸漬処理も行われる。

表－2 シランモノマー系の使用量の目安

| 材　料 | 処理量 |
|---|---|
| セメント製品 | 0.2～0.4ℓ/㎡ |
| 陶器タイル | 0.05～0.2 |
| 磁器質タイル | |
| 瓦、レンガ | 0.1～0.3 |
| ボード類 | 0.1～0.3 |
| ALC | 0.4～0.6 |

## 3.　用途

浸透型吸水防止材は、建築物の外観を変化させ難い材料であり、打ちはなし鉄筋コンクリート、タイル、石材、化粧ブロック、サイディングボード、無機質化粧塗材の凍害、風化、白華、汚れ防止等の目的で使用される。

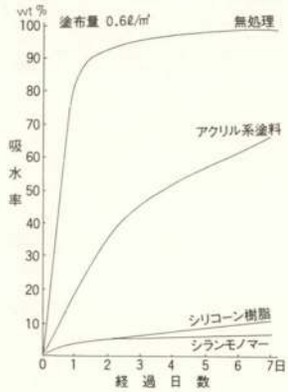
## 4.　特徴

①吸水防止効果が優れる。

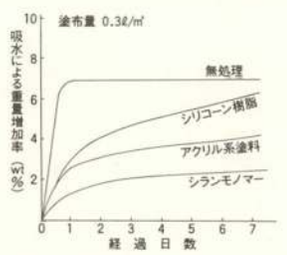
ALCやモルタルに処理した場合の吸水防止効果を図－2に示す。ALCのような空隙率の大きな材料に対しては、浸透性の良いシラン系の効果が顕著である。

②耐久性が優れる。

浸透性が良く、基材と化学的に結合するシラン系が良好な耐久性を示す（図－3）。これに対して浸透性の少ない表面造膜型の材料は紫外線により早期に劣化する。シランモノマーの場合は、サンシャインウェザオメーター 処理2,000Hr（屋外曝露8年相当）後も良好な吸水防止効果を維持する。

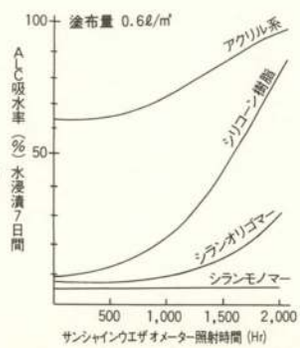



ＡＬＣ板に塗布した場合の吸水防止効果




モルタル板に塗布した場合の吸水防止効果

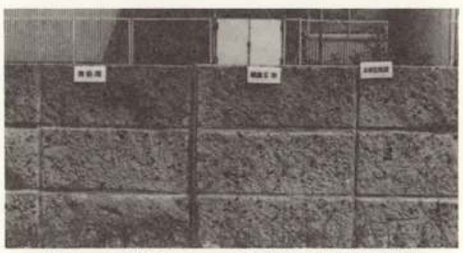
図－2 浸透型吸水防止材の吸水防止効果




図－3　浸透型吸水防止材の耐候試験

③素地の美しさをそのまま保持する。

浸透型吸水防止材は建築物表面に処理しても塗布感の少ない材料である。とくにシラン系は全く建築物の外観を変えることがない。無機質建築材料のような多孔質材料は、長期に渡り外気に曝されると、塵埃の付着、かびの生育、白華の滲出等により次第に汚染されるが、浸透型吸水防止材はこのような汚染を防止する効果がある。写真－2は屋外曝露5年後の化粧ブロックの外観を示すが、無処理部は黒ずみを呈しているのに対し、シランモノマー処理部は秀麗な状態を保持している。



写真－2 化粧ブロック屋外曝露5年後の外観

④呼吸性を損なわない。

水蒸気の透過性は非造膜型に比べ造膜型は劣るが、総じて浸透型吸水防止材は良好である。水蒸気透過性が優れると、結露水等の内部に蓄積した水は速やかに乾燥され、建築物を常に乾燥状態に保持し、凍害等に侵され難い環境を作る。（表－3）

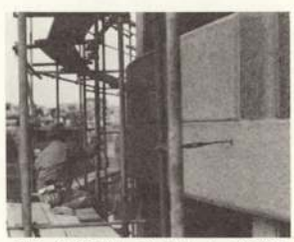
表－3　浸透型吸水防止材の水蒸気透過性

| 試　験　体 | 水蒸気透過抵抗係数 ㎡.h.mmHg/g |
|---|---|
| 無処理モルタル板 | 0.69 |
| シランモノマー処理（0.3ℓ/㎡）モルタル板 | 0.95 |
| 塩化ゴム塗料処理（0.3ℓ/㎡）モルタル板 | 18.5 |

## 5.　今後の展開

建築技術の進歩、コンクリートの早期劣化、省エネの要望等により、建築材料に、より高い機能が求められている。浸透型吸水防止材も時代の要求に応えて、新たな用途分野への応用が試みられており、ここに数例を紹介する。

**塩害防止**　欧米では道路の凍結防止用に大量の塩類散布が行われており、道路橋等の著しい塩害の原因となっている。シランモノマーは鉄筋コンクリート中への塩類の浸入を防止する目的で使用されている。日本においても塩害の厳しい沖縄県の打ちはなしコンクリートに使用されている。（写真－3）



写真－3 打はなしコンクリートへの施工

**アルカリ骨材反応防止**　最近反応性骨材による、異常なコンクリート膨張亀裂が問題になっているが、これの防止にシラン系が検討されている。

**遺跡の保存**　古代遺跡や遺構の保存、補修用にシランモノマーが使用されている。

浸透型吸水防止材の使用分野がさらに拡大され、建築技術の発展に資することを期待する。

（ののいちみちお　東亜合成化学工業株式会社建材事業部長）

## ◀「建築と社会」誌バックナンバーのおしらせ

バックナンバーがそろっております。購入ご希望の方は日本建築協会まで(電話06—348—0635)お申し込み下さい。バックナンバーは特価以外¥ 750(58年4月号以降は¥ 950)です。なお、郵送料は実費いただきます。年間購読のお申し込みも応じます。

＊印は欠号

| 巻＼号 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 昭和41年(47集) | ＊都市住居 | 地下街 | 空気調和設備 | 建具金物 | 建築法規 | 国立京都国際会館 | 第13回青年建築家 | 1970年万国博会場計画 | ＊造園 | 最近の地下工法 | 市街地改造 | 公害と都市・建築 |
| 昭和42年(48集) | ＊国立劇場 | 建設機械 | 日本建築協会50周年記念号 | 社会と建築 | 都市と流通空間 | 住宅と設備 | 生産施設 | モントリオール万博 | 建設資金 | 最近の外装 | 第14回青年建築家 | 建築と生命 |
| 昭和43年(49集) | 都市生活 | 都市のいこいの場 | ＊50周年記念事業記録号 | ＊幼児施設 | ＊教育施設 | ＊医療施設 | 都市交通施設 | 都市供給処理施設 | 群としての住居 | 都市のアクセサリー | 第15回青年技術者 | 新都市計画法の諸問題 |
| 昭和44年(50集) | ＊建築産業の構造と方向 | 鉄筋コンクリート構造耐震設計の再検討 | 計画と住民—中部からの報告 | ＊老人とすまい | 建築史の方向—現代によみがえる過去— | 建築行政に期待するもの | 転換しつつある住宅生産 | ＊解決をせまられる公害問題 | ＊海洋開発 | ＊民家の系譜と保存計画 | ＊第16回青年技術者 | ＊九州からの報告 |
| 昭和45年(51集) | 現代社会とは何か | 建築と安全 | ＊日本万国博と技術開発 | ＊設計のシステム化 | ＊グッドデザイン運動 | 高層建築問題 | 欧米における契約 | 建築家の課題と責任 | ＊工事計画 | ディベロッパー | 第17回青年技術者 | ＊山陽・山陰からの報告 |
| 昭和46年(52集) | 住宅—60年代の総括と70年代の展望 | 都市エネルギと無公害化ビル | 建築基準法 | 都市生活とみどり | ＊企画と設計のプロセス | 解体工学 | 都市と港湾 | 転換期のニュータウン | ＊軟弱地盤と震災 | 変貌する建築生産 | 第18回青年技術者 | ＊自然とレジャ空間 |
| 昭和47年(53集) | 冬季オリンピックと札幌 | 600号記念号 | インテリアデザイン | ＊都市交通問題 | ＊水利用 | 量産住宅の設備 | ＊一般号(桂中学) | | 都市住環境へのアプローチ | ＊都市防災 | 第19回青年技術者 | 北陸の新建築 |
| 昭和48年(54集) | 建築教育 | ＊泉北ニュータウンのコミュニティ施設 | ＊大阪大林ビルディング | ＊レジャーと施設 | ＊大阪国際ビルディング | ＊老人コミュニティ | 住宅—建築家のすまい | ＊新用途地域制と環境 | 構造と施工 | 仕上と材料 | 第20回青年技術者 | ＊ヨーロッパのまちづくり |
| 昭和49年(55集) | 歴史的環境保全 | 明日の建築はどうなるか | 保養所作品 | 既成市街地の住宅地整備の方策 | 北摂ニュータウン計画 | 建築生産と流通機構の変容 | ビルの省エネルギ化 | 高層プレハブ住宅の構造設計 | ＊みどり | ＊屋根防水工事の失敗例とその対策 | 第21回青年技術者 | ＊ビル防災に関する12章 |
| 昭和50年(56集) | 図書館 | ＊東海の新建築 | ＊インテリア | PC板を使用した工業化住宅 | ＊社会・建築・法 | ＊都市の景観と施設 | 建築とプレストレストコンクリート | 生活排水処理施設のあり方 | ＊人間環境としてのターミナル | 騒音対策と防音材料 | 第22回青年技術者 | ＊集合住宅の設備 |
| 昭和51年(57集) | 証言'76—建築デザインの動向 | ＊建築基礎構造の問題点 | 医療施設 | 床工法と材料 | 建築防災と法 | 市街地整備 | 工場建築と設備 | 鉄骨構造のジョイント | 集住体のハードとソフト | ＊結露防止対策と断熱材料 | 第23回青年技術者 | ＊設備からみた建築の問題点 |
| 昭和52年(58集) | ＊デザインの動向—部分と全体 | 兵庫県—その風土と建築・建築界 | ●日本建築協会60周年記念号<br>●ニュータウンの管理 | コンクリートの品質管理と行政指導の方向 | ＊日影規制と法 | ＊身障者施設 | 照明設備 | 埋立地における構造問題—大阪南港と芦屋浜を例として | 日本住宅公団と建築作品 | ミニ乱開発から計画的ミニ開発へ | 建築における省エネルギー化 | 第24回青年技術者 |
| 昭和53年(59集) | デザインの動向—新旧のコントラスト | ＊水 | 医療施設—病院建築と情報システム | 外壁塗装材料 | ＊電波障害と建築 | 組合方式による集合住宅計画 | 住宅設備 | 新しい耐震設計 | CAD—設計とコンピュータ | ＊一般号 | 第25回青年技術者 | ビル環境 |
| 昭和54年(60集) | ＊転換期の再開発 | 大阪南港ポートタウン | 商業空間 | コンクリートのひびわれ | 日影規制 | ホテル建築と情報システム | ＊農村施設の変貌 | 建物の終局強度の検討 | 庄内のまちづくり | 80年代のインテリア | 第26回青年技術者 | 建設業の労務事情 |
| 昭和55年(61集) | 80年代の都市と建築—まちづくりの歴史と展望 | ＊●今後の省エネルギーの趨勢<br>●建築金物 | ＊●最近の銀行建築<br>●安井建築設計事務所作品集 | 住宅の耐久性 | 建築行政と法規 | 最近の防水工法 | ＊都市景観とアメニティ | 屋内体育施設の設備 | 水ぎわのまちづくり | 今後の外装吹付仕上材 | ●第27回青年技術者<br>●転機にたつマンション・集合住宅 | 設計のための新耐震設計法 |
| 昭和56年(62集) | 職能論 | 中国の論文—北京の都市計画 | ＊ポートピア'81 | 台所まわりの計画と設備 | シーリング材の知識 | 災害と法—安全な環境をめざして | 都市住宅—住まい手からの発想 | ●建築物と風—デザイナーのために<br>●日建設計作品集 | 住宅・都市整備公団—関西における都市整備を中心とした新公団の役割 | 間仕切壁の性能評価 | 第28回青年技術者 | 障害者の暮らしやすい環境と設備 |
| 昭和57年(63集) | 新たな商業空間の展開 | 省エネルギーと開口部 | 医療施設—地域医療と設備計画 | 近畿の地盤と地質 | 都市景観—まちなみ美観への誘い | 大阪市庁舎(第1期) | 音とホール建築 | 大スパン構造 | ＊昭和設計作品集 | ●絵本にみるすまいとまちづくり<br>●オー・エム・ホテル日航ビル | ●第29回青年技術者<br>●地方の庁舎建築 | 風土・空気と人間 |
| 昭和58年(64集) | ＊関西の建築文化を考える | マイコンの建築への利用 | ＊多様化する運動施設 | 建築と品質管理 | 計画におけるコミュニケーションとプレゼンテーション | 大阪駅とターミナルビル | 維持管理と設備更新 | 東海の将来と文化を考える | オフィス・インテリアの変革 | プレストレスト(鉄筋)コンクリート構造 | ●第30回青年技術者<br>●大阪城国際文化スポーツホール | 集合住宅と生活音 |
| 昭和59年(65集) | ＊21世紀への関西—魅力あるまちづくりを問う— | 関西の超高層ビル | ビルのリフレッシュー内外装補修技術の現状と発展— | 建設産業とロボット開発 | 住環境と法制度 | ●まちの活性化と商業空間<br>●京都駅南口再開発ビル(アバンティ) | 消防設備のポイント | みどりとそれをとりまく人々 | 高齢化社会と生活空間 | 床の構工法 | ●第31回青年技術者<br>●ディテールの思想 | 光応用システムと建築 |
| 昭和60年(66集) | 大阪湾物語 | 東海の現在と近未来 | ●自由様式への道—建築家安井武雄<br>●建築物の基礎を考える | 情報化をめぐる建築・都市事情 | ホールーそれが生みだす文化— | 建物の表情—最近の外壁材料 | 大阪国際見本市新会場 | 建築と水の演出 | | | | |

雑誌の大きさは第48集からは現行のA4判変形、それ以前はB5判

企画：日本建築協会



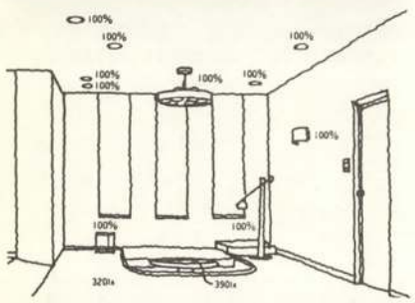
建築技術選書38　A５・176頁・定価1400円

# 住宅の照明

松下電工常務取締役　**大島 博 監修**

## 量的なあかりから質的なあかりへ
## 住まいの表情を一変させる様々な照明手法を
## 現代のトップレベルの知識と技術で解説

現在，様々な光源が開発され，豊富なデザインの照明器具も出そろっているが，住宅のあかりの質はまだまだレベルが低いようだ．しかし，あかりこそが空間の快適性を高めるポイントなのである．本書は，インテリアスタイルに応じた照明の手法や部屋別のあかりのあり方を詳述し，新しい時代のあかりを追求する．住宅のインテリアをより快適に演出する照明手法をわかりやすく解説した．




目　次

1　あかりの変遷
2　あかりの重要性
3　住まいにおけるあかりのあり方
4　部屋別のあかりのあり方
5　住宅の配線



〈目録進呈〉

学芸出版社

〒600　京都市下京区木津屋橋通西洞院東入
TEL 075(343)0811

企画：日本建築協会



プロのノウハウ

最新刊

## ……建築に携わる人へのヒント

知りたくても知るすべがなかったこと，書きたくても公には書けなかったさまざまなトラブルの事例・原因・対策から，その解説・ヒントまで——

最新の設備や技術ゆえに起こるトラブルから，いつも失敗をしながら明確な解決策が出されなかったトラブルまで，現場サイドの技術や知識に裏付けられた，実際に起こった事例とその対策の数々．トップレベルの技術者たちの知識と勇気を結集してまとめた．空調設備や衛生設備で失敗しないための方法や技術をすべて盛り込んだ，画期的なトラブル解消のトラの巻である．

# 空調設備のトラブル50

四六・224頁・定価1800円　**建築設備トラブル研究会著**

●内容概略
1　熱特性にまつわるトラブル
2　梁と天井裏スペースにまつわるトラブル
3　シャフトまわりのトラブル
4　ガラリまわりのトラブル
5　屋上・屋外設置機器まわりのトラブル
6　空調機械室まわりのトラブル
7　居室内のトラブル



# 衛生設備のトラブル50

四六・224頁・定価1800円　**建築設備トラブル研究会著**



●内容概略
1　地中・床にまつわるトラブル
2　シャフト・壁・便所にまつわるトラブル
3　浴室・外壁にまつわるトラブル
4　地下・屋上にまつわるトラブル
5　腐食にまつわるトラブル
6　給水・給湯にまつわるトラブル
7　排水にまつわるトラブル

〈目録進呈〉

学芸出版社

〒600　京都市下京区木津屋橋通西洞院東入
TEL 075(343)0811

日本建築協会

# 月間の動き

## 昭和60年5月分

### 理事会

**常任理事会**
22日　4時～5時
出席者　佐野、足立、市川正副会長ほか11名
議事　(1) 定時評議員会開催の件
(2) 通常総会開催の件
(3) 昭和59年度収支決算案報告の件
(4) 入退会者承認の件
(5) 会員増加に関する件
(6) 報告事項

### 編集委員会

**第2回作品作風小委員会**
1日　4時～6時半
出席者　荒川委員ほか5名
議事　(1) 最近の掲載状況報告
(2) 新建築調査表の選定
(3) 「Gallery」内容報告・検討
(4) 作品作風頁及び新建築頁(1・7月号)の今後
(5) 新頁ー作品評・作品ニュース頁について
(6) 巻頭グラビア頁担当の作品委員選出

**第1回施工材料分科会**
7日　4時～8時
出席者　水口幹事ほか3名
議事　1月号「建物の表情ー最近の外壁材料」特集の"外壁のディテール"収集資料の選定

**第1回巻頭グラビア小委員会**
9日　6時～8時半
出席者　本多委員ほか6名
議事　「建築と社会」巻頭グラビア頁の企画

**第2回委員会**
9日　4時～5時半
出席者　井上委員長ほか6名
議事　(1) 5月号「ホールーそれが生みだす文化」特集経過報告
(2) 6月号「建物の表情ー最近の外壁材料ー」特集報告
(3) 7月号「水の演出」(仮称)及び「大阪国際見本市会場」特集報告
(4) 8月号「都市と健康」特集の企画ー計画分科会の報告ー
(5) 作品作風小委員会報告
(6) 9月号以降の特集企画と特別企画
(7) 巻頭グラビア頁の新設
(8) 「建築の眼」の新執筆者
(9) 収支状況報告

**「都市と健康」特集第1回編集幹事会**
13日　6時～8時半
出席者　田中幹事ほか10名
議事　8月号「都市と健康」特集の具体化

**第2回投稿欄小委員会**
15日　4時～6時
議事　(1) 6月号以降の企画ー読者の頁・建築と社会ニュース
(2) その他

**9月号「日建設計創立35周年記念」特集第1回編集幹事会**
23日　6時～9時
出席者　日建設計大泉幹事ほか2名
議事　特集号の内容について

**第1回法令分科会**
24日　2時～5時
出席者　広江幹事ほか2名
議事　(1) 昭和60年度法令分科会の委員構成
(2) 法令コーナーの企画
(3) 法令特集について

**「都市と健康」特集第2回編集幹事会**
24日　6時～9時半
出席者　田中幹事ほか7名
議事　8月号「都市と健康」特集の具体化

**第2回巻頭グラビア小委員会**
27日　6時～8時半
出席者　田中委員ほか4名
議事　「建築と社会」巻頭グラビア頁の企画

**第2回広告企画小委員会**
28日　4時～5時半
出席者　井上委員長ほか8名
議事　(1) 6月号「建物の表情ー最近の外壁材料」特集広告途中経過報告
7月号「大阪国際見本市会場」特集「建築と水の演出」特集広告途中経過報告
(3) 8月号「都市と健康・スポーツ」特集広告企画
(4) 9月号「日建設計創立35周年記念」特集報告
(5) 収支状況報告
(6) その他

**第1回構造分科会**
30日　4時～6時
出席者　真塚幹事ほか3名
議事　(1) 昭和60年9月号構造特集の企画
(2) 「構造の頁」11月号以降の企画

### 事業委員会

**若い会員の集い企画分科会**
7日　6時半～10時
出席者　山野主査ほか5名
議事　「オーク・ヴィレッジの人びとを囲んで」の企画

**第2回見学会小委員会**
9日　6時～7時　於なだ万新大ビル店
出席者　正楽井副委員長ほか5名
議事　(1) 前回の事業委員会の報告
(2) 6月の見学会企画
(3) 7月以降の見学企画
(4) その他

**第2回若い会員の集い小委員会**
14日　6時半～9時
出席者　石川副委員長ほか15名
議事　(1) 前回の事業委員会の報告
(2) 本年度第1回企画
(3) 本年度の年間企画
(4) その他

**第2回広報小委員会**
15日　6時～8時
出席者　木場幹事ほか9名
議事　(1) 前回の事業委員会の報告
(2) 本年度の事業企画
(3) その他

**委員会**
16日　0時半～2時
出席者　三品委員長ほか4名
議事　(1) 各小委員会の事業報告ならびに事業企画
(2) その他

### 教育委員会

**第1回工高生教育小委員会**
9日　6時～8時20分
出席者　崎山副委員長ほか4名
議事　(1) 本年度工高生デザインコンクール(第31回)
(2) その他

**第2回工高生教育小委員会**
23日　6時～8時45分
出席者　崎山副委員長ほか3名
議事　本年度工高生デザインコンクールの設計課題

**第1回講習会小委員会**
28日　6時～8時10分
出席者　金田・安立・黒川各講師、佐々木・安盛両副委員長ほか5名
議事　(1) 本年度「建築工事実務講習会」の開催
(2) 建築技術選書講座(第13回以降)の企画

### 建材委員会

**建材委員会**
23日　3時半～5時半
出席者　牧田委員長ほか18名、㈱豊和2名
材料説明　ドアコン(防火引戸用自動閉鎖装置)
議事　(1) 今後の検討材料
(2) 委員会開催日と時間について
(3) その他

### 出版委員会

**委員会**
21日　4時～5時半
出席者　須賀委員長ほか7名
議事　(1) 「建築技術選書」及び「プロのノウハウ」経過報告
(2) 今後の発行予定
(3) その他

**設備トラブル研究会(衛生編)**
23日　6時～8時
出席者　「衛生設備のトラブル50」の原稿調整
議事　河津隆之氏ほか3名

### 会計監査

8、9、10の3日間、昭和監査法人によって昭和59年度の収支決算について会計監査を受けた。

### 建築クラブ

**朝食会**
14日　8時～10時　新大阪グランドホテル
出席者　60名
当日は、作家の桝井寿郎氏より井原西鶴の商法と好色文学と題した大阪人のものの考え方などについてのお話を伺った。

### 建築防災関係法令研究連絡会

8日　2時～4時　於日本建築家協会
出席者　構成7団体各委員
議事　各会提出メモの検討

## 5月の入会者（敬称略）

〔個人会員73名〕

板野　昂（錢高組）
森岡弘樹（野村建設工業）
成尾昇一（フジタ工業）
岩本秀雄（日本国土開発）
寺嶋正喜（日本国土開発）
峯山英雄（日本国土開発）
嵐幸雄（日本国土開発）
今次淳一（松村組）
太田収一（松村組）
岸場正治（松村組）
昌司圭吾（松村組）
古津彰宏（松村組）
森本規生（松村組）
和美隆男（松村組）
岡島毅（鹿島建設）
木下守（鹿島建設）
後藤幸満（鹿島建設）
田中正司（鹿島建設）
内藤修（鹿島建設）
橋爪静一（鹿島建設）
福田弘治（鹿島建設）
船越昊（鹿島建設）
水原研三（鹿島建設）
山本幹次（鹿島建設）
吉原勘三（鹿島建設）

木村孝一郎（都市環境設計）
小田修一（大林組）
野田耕市（フジタ工業）
古賀光明（日本国土開発）
戸川彰夫（日本国土開発）
山田寅雄（日本国土開発）
伊藤博（松村組）
岩井武夫（松村組）
岡本幸治（松村組）
小林啓司（松村組）
得田芳宏（松村組）
古本剛士（松村組）
山崎修平（松村組）
大谷泰生（鹿島建設）
葛西賢司（鹿島建設）
日下部弘（鹿島建設）
下村治男（鹿島建設）
高田實（鹿島建設）
中村嘉衡（鹿島建設）
林穣（鹿島建設）
福地繁（鹿島建設）
前川忠嗣（鹿島建設）
森田一彦（鹿島建設）
横井真朗（鹿島建設）

畠山憲司（ジャクソンアンドミキ）
船橋昭三（大林組）
池野堅太郎（日本国土開発）
鈴木幸雄（日本国土開発）
前川尚治（日本国土開発）
山本雄久（日本国土開発）
池田清（松村組）
上西博司（松村組）
加藤浩（松村組）
崎山宜弘（松村組）
中島猛（松村組）
宮城健祐（松村組）
吉川義昭（松村組）
大野昇（鹿島建設）
亀田修身（鹿島建設）
蔵下亀代仁（鹿島建設）
瀬山憲正（鹿島建設）
竹内喜次男（鹿島建設）
野間文夫（鹿島建設）
福島靖夫（鹿島建設）
藤田孝吉（鹿島建設）
前田耕喜（鹿島建設）
森田晴美（鹿島建設）
吉田元亮（鹿島建設）

## 謹んで哀悼の意を表します。（順不同）

元副会長　鷲尾健三氏
昭和60年5月28日逝去　享年78歳

元理事　吉田信武氏
昭和60年4月22日逝去　享年77歳

和歌山支部相談役　雑賀孝夫氏
昭和60年3月30日逝去　享年67歳

名誉正会員 前京都支部長　佐々木米太郎氏
昭和60年5月28日逝去　享年75才

会員　内藤資忠氏
昭和60年3月9日逝去　享年81才

元法規委員　吉仲清氏
昭和59年12月　逝去　享年57歳

会員　本田英生氏
昭和60年2月　逝去　享年46才

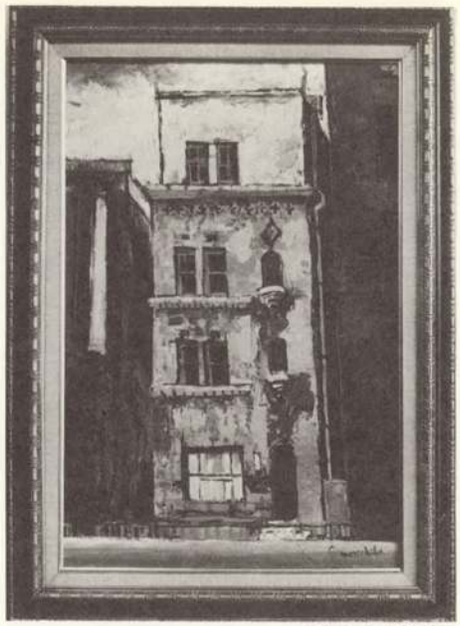
〃　尾野雄三氏
昭和60年3月　逝去　享年44歳

〃　神前良治氏
昭和60年3月2日逝去　享年73歳

〃　田代義雄氏
昭和60年　逝去　享年63歳

〃　和田晋弥氏
昭和60年1月　逝去　享年52歳

# 油絵の寄贈



寄贈者　三木ちえ子

このたび、事務局を定年退職された三木ちえ子さんより、下記油絵一点の寄贈がありましたので、ここに誌して厚く御礼申し上げます。

記

画題「**旧近畿建築会館**」（大阪・北浜）
油絵M20号
画家　**森下一夫**（大阪府美術家協会会員）

旧近畿建築会館は、昭和31年より58年まで27年の長きに亘って日本建築協会の活動の拠点であった想い出の建物であり、画家森下一夫氏は、明治、大正、昭和初期の洋風建築を情熱をもって描きつづけ、近年話題になっている方です。

## ■前進座9月公演の割引券頒布

来る9月、道頓堀中座で公演される前進座の観劇券の一等席を、割引頒布致します。ご希望の方は事務局総務課（348-0635）へお申込み下さい。

観劇日：9月**2・3・6・7**日　昼の部（1時開演）
　　9月**2～7**日　夜の部（6時開演）
観劇料：一等席 **5,000円のところを 3,800円**
演し物：天保図録「おうどかもん茂平次」
原作／松本清張・出演／中村梅之助、高田美和

## ■'85建築展〈都市と防災〉

主催：社団法人大阪建築士事務所協会
会期：昭和60年**8**月**30**日(金)～**9**月**4**日(水)
　　10時～18時
会場：**心斎橋そごう**7階特設会場

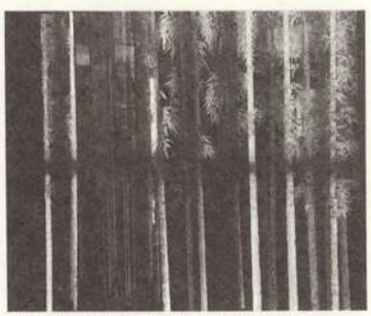
＊

写真や映像により、都市の災害の原因から対策までが解りやすく展示されています。

# スマ・ブライト・アートに好、好（ハオ　ハオ）——「ひかり」が結んだ日中友好




「現代照明技術と建築展」会場風景



光の絵画「月下の竹林」（土屋寿満作品）

中国建築学会（理事長・戴念慈）が主催する「現代照明技術と建築展」は、6月20日から30日までの間、北京市、国家建築材料工業展覧館で開かれ、約8000人を集めた。広大な中国の各省・29か所から、受講と見学のため、往復8日の旅程をはるばると参加した建築関係者もあったという。

内容は、近代化を進める中国の「建築と照明」に関するシンポジュームと展示を中心に構成され、日本のオーヤマ照明がバックアップした。

とくに、国際会議場やホテル、学校、病院、劇場などパブリックな場と、店舗設計における照明の近代化に関する計画、設計、演出、実施とその効果のそれぞれについて、日本の最新情報をプレゼンテーションできたことで、中国関係者に新鮮な刺激と深い感銘を与えた。

スマ・ブライト・アート研究所所長土屋寿満さんの作品「光の絵画」はテーマを「月下の竹林」とし、月光にきらめく竹の林を壮大な光の絵として創造。会場のメイン・ゲートに配置された。色と映像が数限りなく変化して空間をイメージ化する「光の絵画」に初めて接した中国の人たちは、不思議な幻想の世界に包みこまれる楽しさと、設計のナゾに強い興味をいだいたようである。照明が単に明るさの問題だけでなく、生理的にも、さらにはもっと深く人間心理に作用することを、身をもって体験できたと中国の人たちは語っている。

催しは、テレビ、新聞で中国全土に知らされたが、中国の建築界が照明と住居、あるいは照明と環境に、急速に関心をもちはじめたことは、新生中国の方向を示すようで、この「照明展」の意義も、きわめて高いといえるだろう。

# 暑中お見舞申し上げます　昭和60年盛夏

## 設計事務所有志



株式会社
**A.R.I 建築事務所**
代表取締役　亀井晃治

本社事務所　大阪市南区谷町7丁目3番4-203号 新谷町第3ビル2F　TEL(06)768-1771(代)
アトリエ　東大阪市上石切町2丁目14－35　TEL (0743) 73—6137

---

**株式会社 東建築設計事務所**

代表取締役　東　秀保

大阪市北区天神橋2丁目5番18号 南森町センタービル4F　電話 06(358)5598・3497

---

**株式会社 伊東建築設計事務所**

代表取締役　竹原永一郎

〒556 大阪市浪速区幸町2丁目2番20号(清光ビル) 電話(562)4343～5

---

**株式会社 伊藤建築設計事務所**

取締役会長　伊藤鑛一
代表取締役社長　鋤納忠治

本　社　名古屋市中区錦3丁目3-6(日経錦別館)　電話〈052〉951-1110㈹
東京事務所　東京都千代田区神田美土代町7(久保ビル)　電話〈03〉294-6061㈹

---



**株式会社 泉沢建築設計事務所**

代表取締役　泉沢哲史

〒530 大阪市北区神山町14番3号(木津信ビル)　TEL(06)364-9071㈹

---

## 株式会社 浦辺建築事務所

代表取締役　浦辺鎮太郎
代表取締役　松村慶三

大阪市北区梅田1丁目12番39号・新阪急ビル〒530　電話 06(341)1727
東京事務所　電話 03(263)9758　福岡事務所　電話 092(761)2206

---

## 株式会社 久米建築事務所

取締役社長　永井賢城

本　社　東京都港区西麻布1丁目13番11号　電話03(403)0251大代表
大阪事務所　大阪市西区江戸堀1丁目10番8号 帝人殖産ビル　電話06(444)1161代　表

---

## 株式会社 小西設計

取締役会長　小西岬
取締役社長　橋本正章

本　社　大阪市西区立売堀1丁目12番16号　電話(532)4051代表
大阪事務所　大阪市西区阿波座1丁目15番15号(第一協業ビル)　電話(532)4051代表
東京事務所　東京都千代田区神田鍛冶町3－3(大木ビル内)　電話(256)9301代表
広島事務所　広島市中区大手町2丁目7番1号(三葉ビル)　電話(246)0144

---

## 株式会社 篠田川口建築事務所
## 株式会社 協同設備事務所

代表取締役社長　川口喜代枝

名古屋市東区泉1丁目21番21号　TEL 962－7581(代)
TEL 971－2255(協同)

---

## 株式会社 昭和設計

建築・都市・上下水道
調査計画・設計監理

代表取締役社長　岡本行善
代表取締役副社長　林唯夫

本社事務所　大阪市西区新町1丁目5番7号 四ツ橋ビル　TEL代表 532—3421
神戸事務所　神戸市中央区八幡通4丁目2番17号 郵船航空ビル　TEL078—251—0651
東京事務所　東京都港区赤坂3丁目12番5号 赤坂田町ビル　TEL 03—583—2086

---

## 株式会社 AAA(スリーエース)総合設計

代表取締役社長　浅井潤一
代表取締役所長　浅井謙

大阪市南区東清水町66(朝日プラザ心斎橋東ビル2F) 〒542 TEL06(245)7300(代)

---

## 株式会社 創美設計

代表取締役　中原英雄

大阪市北区末広町3番21号 星和地所扇町ビル6階　TEL 大阪(06)312−3587代表

## 株式会社 大建設計

取締役社長　吉田周
常務取締役 大阪事務所長　木村喬夫

大阪市西区江戸堀1−12−8 安田生命大阪ビル　電話 06−441−9351(代)
東京・横浜・名古屋・京都・九州・室蘭

## 株式会社 東海設計

代表取締役社長　小坂忠勝

本社　名古屋市中区栄3丁目7番1号（伊勢町ビル）〒460 TEL 052-261-2651(代表)
東京事務所　東京都中央区京橋1丁目14番4号（東信ビル）〒104 TEL 03-561-0815(代表)

## 株式会社 東畑建築事務所

取締役会長　東畑謙三
取締役社長　市川宏

本社 大阪事務所　大阪市東区伏見町5丁目19　電話 (06)202-0391
東京事務所　東京都千代田区永田町2丁目4番3号（永田町ビル）　電話 (03)581-1251
名古屋事務所　名古屋市中村区名駅3丁目25番9号(堀内ビル)　電話(052)571-8471
九州事務所　北九州市小倉北区魚町1丁目4番21号（清和ビル）　電話(093)541-6531

## 株式会社 長田建築事務所

長田正雄

〒542 大阪市南区上汐2丁目4-12　ケーエスビル　電話 768−6121

## 株式会社 日建設計

取締役社長　薬袋公明
大阪本社代表　大西孝夫
土木業務所代表　松本澄

〒541 大阪市東区横堀2丁目38
電話 06-203-2361(大代表)

# 日積工務株式会社

代表取締役　生島道春

本　　社　〒542 大阪市南区島之内1丁目14番27号(宇野ビル)　TEL(06) 251−3195代表
東京支所　〒111 東京都台東区東上野1丁目3番8号(石沢ビル)　TEL(03) 836−1271代表
名古屋支所　〒460 名古屋市中区錦2丁目9番25号(豊島第2ビル)　TEL(052)221−7561代表
㈱京都日積　〒602 京都市上京区今出川通室町東入今出川町333番地(第2高橋ビル)　TEL(075)441−5690

# 株式会社 林設計事務所

代表取締役　林　茂

大阪事務所　〒531 大阪市大淀区長柄中3丁目1番8号　電話 (06) 351−6831
和歌山事務所　〒646 和歌山県田辺市稲成町東皆代231番地の6　電話 (0739) 22−8227

# 株式会社 安井建築設計事務所

代表取締役社長　佐野正一

本　社　大阪市東区島町2丁目7番地　電話　06(943)1371(大代)
支　社　東京・名古屋・大阪・神戸・広島・福岡

# 暑中お見舞申し上げます　昭和60年盛夏

## 建設業者有志

# 株式会社 あめりか屋

取締役社長　前野慶太郎

〒530　大阪市北区中之島四丁目3番25号　電話 (06) 444−1501

# 株式会社 淺沼組

取締役社長　淺沼茂夫

本社・大阪本店・大阪市天王寺区東高津町12番6号　電話 大代表 (768) 5222
東京本店・東京都新宿区荒木町5番地　電話 代表 (357) 0261
支　店・名古屋・札幌・仙台・横浜・広島・福岡

## 株式会社 新工務所

取締役社長　新　昭一

本　店・大阪市北区曽根崎新地２丁目６番11号　電話 代表 大阪(347) 0110番
支　店・東京都千代田区猿楽町２丁目１番１４号　電話 代表 東京(291) 3741番
支　店・名古屋市中区大須4丁目1番71号(時計ビル)　電話　名古屋 (262) 1725番

---

考える・創る・前進する

## 安藤建設株式会社大阪支店

取締役 支店長　沖田幸作

大阪市福島区福島６丁目３番２１号　電話 代表 (453) ２１９０
本　社・東京都港区芝浦三丁目12番８号　電話 大代表 03 (457) ０１１１
支　店・名古屋・仙台・静岡・九州・広島・横浜・札幌
営業所・千葉・横浜・水戸・盛岡・新潟・神戸・京都・沼津・札幌・宇都宮・北九州・熊本

---

## 株式会社 今西組

取締役社長　今西壽雄

本　社　大阪市天王寺区上本町６丁目６番23-309号　電話06(779) ３３６１
支　店　東京都新宿区内藤町１番地　電話03(354) ０５８１
営業所　京都・奈良・西宮・神戸・埼玉

---

## 株式会社 大林組

取締役社長　大林芳郎

東京本社・東京都千代田区神田司町2丁目3番地　電話 大代表 (292) 1111番
本　店・大阪市東区京橋３丁目３７番地　電話 大代表 (943) 1131番
支　店・札幌・仙台・横浜・北陸・名古屋・神戸・広島・四国・福岡

---

## 株式会社 奥村組

取締役社長　奥村俊夫

本　社　大阪市阿倍野区松崎町２の２の２　電話 大阪(06)621－1101(大代表)
東京本社　東京都港区元赤坂１の３の10　電話 東京(03)404－8111(大代表)
支　店　札幌・仙台・浦和・東京・横浜・千葉・新潟・名古屋・大阪・神戸・広島・高松・北九州・福岡

---

## 鹿島建設株式会社

代表取締役社長　鹿島昭一
大阪支店長　津垣昭夫

本　社　東京都港区元赤坂１－２－７　電話 03 (404)3311(大代)
大阪支店　大阪市西区靱本町１－11－７　電話 06 (448)3311(大代)

# 海原建設株式会社

代表取締役　海原　壹一

〒530 大阪市北区梅田1丁目2番2—300号(大阪駅前第2ビル3F)　電話06(346)1900番

# 株式会社 金山工務店

代表取締役社長　佐野　友彦

本　社　大阪市東区内淡路町1丁目2番地　〒540　TEL 06—942—5461㈹
東京支店　東京都中央区日本橋堀留町1丁目10番12号　共同ビル6F　〒103　TEL 03—663—7844㈹
京都支店　京都市下京区烏丸通り四条下る水銀屋町635番地　梓ビル9F　〒600　TEL 075—351—5841㈹
神戸支店　神戸市中央区加納町3丁目1番25号　広瀬ビル9F　〒650　TEL 078—392—1761㈹
堺支店　堺市三国ケ丘御幸通り8番地　三国ケ丘ビル2F　〒590　TEL 0722—22—3003
滋賀支店　滋賀県大津市皇子ケ丘1丁目2番3号　〒520　TEL 0775—24—1816
出張所　横浜・吹田

# 株式會社柄谷工務店

取締役社長　柄谷順一郎

本　社　尼崎市玄番南之町4番地　電話大阪 06(411)1451(代)
営業所　大阪・西宮・神戸・高砂・豊田・三田・川西

# 株式会社 近畿建設

取締役社長　川﨑敬三

本　社　大阪市西区江之子島1丁目2番2号　電話　大阪06 (448)5601代
滋賀支社　滋賀県栗太郡栗東町岡193の1　電話　0775 (52) 1361代

# 株式会社熊谷組大阪支店

取締役会長　牧田甚一
取締役社長　熊谷太一郎
専務取締役大阪支店長　星野晴彦

本　社　東京都新宿区津久戸町17番1　電話03(260)2111番(大代表)
大阪支店　大阪市都島区片町2丁目10番5号　電話06(352)1151番(大代表)

# 株式会社 小坂井組

取締役社長　小坂井嘉正

本　社　大阪市北区太融寺町5番4号　電話 大阪06 (311)9331代表
京都支店　京都市中京区河原町通蛸薬師上ル ツルヤビル　電話 京都075(231)7934

# 五洋建設株式会社

代表取締役社長　水野廉平
常務取締役大阪支店長　深谷林三

本社　東京都文京区後楽2－2－8　電話 03 (816) 7111(代表)
支店　大阪市北区梅田2－2－25　電話 06 (345) 0631(代表)

# 甲南建設工業株式会社

代表取締役　原精一

大阪市淀川区十三本町2丁目4番28号　電話(06)308—1551大代表
尼崎市南武庫荘2丁目7番23号　電話 (06)437—9631代表
東京都中央区京橋3丁目13番10号(中島ゴールドビル)　電話 (03)564—5711代表
神戸市中央区磯上通5丁目1番24号　電話 (078)221—6293代表
福岡市博多区博多駅前3丁目2番8号(住友生命ビル)　電話 (092)471—7271
寝屋川・高槻・西宮・宝塚・堺

# 株式会社 鴻池組

代表取締役社長　鴻池一季

本社
大阪本店　大阪市東区北久宝寺町4－27　電話 大阪(244)3500(ダイヤルイン受付台)
東京本店　東京都千代田区神田駿河台2-3-11　電話 東京(296)7700(ダイヤルイン受付台)
支店　名古屋・広島・福岡・鹿児島・松江・仙台・高松・札幌・横浜・神戸・京都・金沢

# 株式会社 金剛組

代表取締役　金剛利隆

本社　〒543 大阪市天王寺区四天王寺1丁目14番29号　TEL 大阪06(779)7731㈹
関東支店　〒350-02　埼玉県入間郡鶴ヶ島町脚折町1丁目40番12号　TEL 0492(87)0301

# 佐藤工業株式会社

取締役社長 佐藤欣治・取締役大阪支店長 梅木正二

本社・東京都中央区日本橋本町4－8　電話　東京 (661) 1231(大代)
大阪支店・〒541 大阪市東区北浜1丁目25番地　電話　大阪 (203) 7221(代表)
支店・札幌・東北・関東・東京・横浜・北陸・名古屋・中国・四国・九州・東南アジア

# 清水建設株式会社

社長　吉野照蔵
常務取締役
大阪支店長　宮武保義

本社　東京都中央区京橋2－16－1　電話03(535)4111
大阪支店　大阪市東区本町4－15－1　電話06(263)2811
支店　名古屋・広島・高松・福岡・金沢・仙台・札幌・横浜

# 大末建設株式会社

取締役社長　佐伯正也

本社・大阪本店　大阪市南区島之内2丁目4番10号　電話 03（213）0555（大代）
支店　東京・福岡・名古屋・仙台・横浜・京都・神戸・広島・四国・沖縄

# 大成建設株式会社

取締役社長　里見泰男
常務取締役大阪支店長　平島治

本社　東京都新宿区西新宿1丁目25番1号 新宿センタービル　TEL 東京(348)1111大代表
大阪支店　大阪市東区北浜4丁目38番地　TEL大阪(203)1131大代表
支店　東京・名古屋・九州・札幌・東北・広島・横浜・北信越・四国

限りない未来への挑戦

# 大日本土木株式会社

取締役社長　田口栄

本店　〒500 岐阜市宇佐南1丁目6番8号　電話0582(72)3141
大阪支店　〒530 大阪市北区堂島二丁目2番2号 近鉄堂島ビル　電話06(341) 5931

# 株式会社 竹中工務店

取締役社長　竹中統一

〒541　大阪市東区本町4丁目27　電話 大阪（252）1201番（大代表）

# 鉄建建設株式会社大阪支店

西日本業務担当常務取締役　児島章

常務取締役支店長　谷内与一

〒541 大阪市東区瓦町4丁目56番地（瓦町K.Tビル）　電話（201）1881（代表）
本社・東京都千代田区三崎町二丁目五番三号　電話 東京（262）3411（代表）

# 戸田建設株式会社

取締役社長　戸田順之助
常務取締役大阪支店長　山口道博

本社　東京都中央区京橋1丁目7番1号　TEL東京03(562)6111
大阪支店　大阪市西区西本町1丁目13番47号　TEL大阪06(531)6561
支店　東京・関東・横浜・大阪・名古屋・札幌・仙台・広島・四国・九州

## 東洋興業株式會社大阪支店

常務取締役支店長　三　富　　和

本　　社　東京都中央区銀座７－13－10　電話 東京(545) 5111
大阪支店　大阪市北区堂島浜2-2-8 東洋紡ビル　電話 大阪(348) 5611
支　　店　名古屋・仙台・札幌・福岡・横浜

## 飛島建設株式会社 大阪支店

取締役支店長　石　原　昭一郎

大阪市東区島町２－28－１　〒540　TEL 06（942）2481
本社／東京都千代田区三番町２　〒102　TEL 03（263）3151
支店／札幌・仙台・東京・横浜・名古屋・北陸・大阪・広島・福岡

## 南海建設株式会社

取締役社長　松　川　義　一

本社　大阪市浪速区恵美須西３丁目14番22号　電話 06(644) 1212番
支店　東京都千代田区神田須田町１丁目５(新須田町ビル)　電話 03(251) 8431番
支店　大阪府岸和田市沼町18番１号(川長ビル)　電話 0724(23)2881番

明日をささえる

## 西松建設

本　　社　東京都港区虎ノ門１－20－10　電話 03(502)0211
関西支店　大阪市東区釣鐘町２－41　電話 06(942)1131

限りない可能性を追求する

## 日本建設株式会社

社　長　積　山　吉　興

本　　社　大阪市東区備後町２丁目58番地　TEL(06)226－0630(代)
東京本社　東京都文京区小石川２丁目６番22号　TEL(03)818－6081(代)
支　　店　東京・大阪・名古屋・福岡・札幌・仙台・広島・沖縄

## 日本国土開発株式会社

取締役社長　石　上　立　夫
常務取締役大阪支店長　北　荘　香　也

本　　社　東京都港区赤坂４丁目９番９号　電話 (03) 403－3311(大代表)
大阪支店　大阪市西区西本町1丁目10番10号(西本町全日空ビル)　電話(06)538－7351(代)

## 野村建設工業株式会社

取締役社長　野　村　文　英

本　　社　大阪市東区高麗橋２丁目９番地　電話(202)４７９１代表
東京支店　東京都千代田区大手町２丁目１番１号　電話(241)４１７１代表

## 株式会社 間組大阪支店

取締役支店長　山　本　　惇

大阪市東区瓦町５丁目20番１号　電話（201）２７５１(大代表)
本　店・東京都港区北青山２丁目５番８号　電話（405）１１１１(大代表)
支　店・東京・大阪・名古屋・福岡・仙台・北陸・札幌・広島・四国・東南アジア

## 先端技術と建設をむすぶ フジタ工業

大阪支店　大阪市北区堂島２丁目１番16号　電話 06(348)4510

## 不動建設株式会社

取締役社長　庄　野　　勝

大阪本社　大阪市東区平野町５丁目30番地　電話 ０６（２０１）１１２１番
東京本社　東京都台東区台東１丁目２番１号　電話 ０３（８３１）９１１１番
支　　店　北海道・東北・千葉・横浜・名古屋・神戸・広島・四国・南四国・九州・北九州

## 不二建設株式会社

取締役社長　山　口　慎一郎

大阪本社　大阪市西区西本町３丁目１番９号　〒550 電話 ０６－５４１－５５３４代表
東京本社　東京都新宿区西新宿４丁目５番２号　〒160 電話 ０３－３７７－５１７１代表
支店・出張所　名古屋・福岡・札幌・仙台・静岡・大垣・京都・広畑・広島・大分

## 株式会社 藤木工務店

取締役社長　藤　木　鐵　三

本　　社　〒540 大阪市東区両替町１丁目13　電話 06(944)1468(代)
本 支 店　大阪・東京・倉敷・四国・京都・福岡
営 業 所　埼玉・多摩・静岡・名古屋・宇治・泉南・岡山・徳島・新居浜・長崎

# 豊國建設株式会社

代表取締役社長　松丸哲也

本　社　大阪市北区天満橋2丁目3番1号　電話 06 (353) 1001
支　店　東京・京都・東北
営業所　北上・盛岡・二戸・新井・福井・敦賀・舞鶴・尼崎・加古川・滝野・益田・三隅

# 真柄建設株式会社

取締役社長　真柄敏郎
取締役大阪支店長　永井健治郎

本　　社　金沢市彦三町1－13－43　電話 金沢(0762)31－1266(代)
東京本社　東京都千代田区麹町5－1－6　電話 東京(03) 263－1211(代)
支店・営業所　北陸・東京・大阪・名古屋・福井・富山・新潟・大津・京都・神戸・福岡・立川・七尾

地域社会に貢献する
総合建設
# 株式会社 前田組

取締役社長　前田敏彦
大阪府寝屋川市大成町1－1　TEL (0720) 24－1111

# 株式会社 松村組

取締役会長　松村雄二
取締役社長　松村雄吾
本　社・大阪市北区天満2丁目1番33号　電話 大代表 大阪(353)1131
支　店・東京・名古屋・札幌・仙台・広島・福岡

# 三井建設 株式会社 大阪支店

取締役大阪支店長　高尾清次

大阪支店　大阪市北区中之島3－4－18(三井ビル2号館) TEL 06－446－1535
本　店　東京都千代田区岩本町3－10－1　TEL 03－364－3456

# 村本建設株式会社

代表取締役　村本豊嗣

奈良本店　奈良県北葛城郡広陵町安部547番地　電話 0745 (55) 1151(代表)
大阪本社　大阪市天王寺区上本町9丁目6番15号　電話06(774)2111(ダイヤル受付案内台)
東京本社　東京都千代田区2番町3番4　電話03(238)2111(ダイヤルイン受付案内台)
東北・横浜・名古屋・三重・中国・九州

## 望月建設株式会社

取締役社長　望月小太郎

本　社　大阪市北区中崎西2丁目3番12号　電話 大阪 (375) 2345(代表)

## 株式会社 森組

取締役社長　森　幸彦

本　社　大阪市東区横堀2丁目14番地　電話 201－2761(代)
支　店　東京・名古屋・九州・奈良
営業所　仙台・新潟・横浜・甲府・京滋・神戸・広島・熊本・高松・徳島

## 株式會社 米田工務店

代表取締役　米田良男

本　社　〒543 大阪市天王寺区逢阪1丁目1番7号 TEL 大阪(06)771-7771代表
FAX 大阪(06)779-2676

## 暑中お見舞申し上げます　昭和60年盛夏

## 団体・建材・設備工事・報道有志

## 財団法人 大阪建築防災センター

理事長　小西岬

〒540 大阪市東区常盤町1丁目39(大阪フコク生命ビル5階) 電話 06 (943) 7253

## 株式会社 梅彦

取締役社長　松永嘉一郎

営業所　大阪市北区中崎西2丁目1番3号　電話 06 (312) 6171代
茨木工場　茨木市豊川3丁目1番6号　電話0726 (43) 5185代

各種硝子販売工事請負

## 株式会社 大阪硝子店

代表取締役 佐々木 廣

〒541 大阪市東区本町5丁目4番地 電話 大阪06(262)3536～8

大塚製薬グループ

## 大塚オーミ陶業株式会社

代表取締役社長 大塚 正士

本社 大阪市東区豊後町10番地 TEL 06 (946) 6211
支店 東京都千代田区神田司町2丁目9番地 TEL 03 (294) 1388
工場 滋賀県甲賀郡信楽町大字柞原字寿谷 TEL 07488 (2) 3001

建築用板硝子販売施工

## キムラ硝子建材株式会社

代表取締役 木村喜則

〒540 大阪市東区内平野町2丁目28番地 電話 06(941) 4181㈹

創刊30年

もっとも信頼され、読まれている情報紙

## 株式会社 建設日報社

代表取締役社主 重村登龍

本社 〒550 大阪市西区靱本町2丁目5番2号
電話 大阪06 (444) 2405～9, (444) 6431～4

## クリヤマ株式会社

代表取締役社長 栗山芳雄

本社——大阪市淀川区西中島1丁目12番4号〒532 TEL.06-305-2871大代表
TELEX. 523-3908
東京支店——東京都渋谷区南平台町15番13号〒150 TEL. 03-463-1841代表

装飾合せグラス
レインボーグラス セーフティオパール
JIS表示許可工場 UL規格認承工場

## 株式会社 サトーセン

大阪工場 〒557 大阪市西成区津守3－6－39 TEL(06)658－1305
東京工場 〒144 東京都大田区東糀谷5－12－7 TEL(03)743－5851

よりよき環境へ技術で挑む――

## 株式会社 精 研

クリーンルーム
バイオ関連設備
設計施工

取締役会長　木 内 清 三
取締役社長　和 田 正八郎

本　　社　大阪市南区瓦屋町２丁目11－16（オートセンタービル）　電話 768－5031㈹
東京支店　東京都千代田区九段南２丁目２－５（九段ビル）電話 262－3241㈹
四国営業所　徳島県鳴門市撫養町小桑島前浜28－３（西谷ビル）　電話0886－85－0924㈹

東西アスファルト事業協同組合
西日本床工事事業協同組合

## 株式会社 タテバヤシ商店

代表取締役　舘 林 彦四郎

〒601 京都市南区西九条大国町37　電話（075）681－７２２１（代）
FAX（075）681－７２２４

東亜印ルーフィング

## 東亜工業株式会社

建設省計振発
第５５号認可　東亜アスファルト防水事業協同組合

本　社　〒581 大阪府八尾市南太子堂6丁目4番27号　電話0729－94－5682
営業所　東京・名古屋
工　場　大阪・東京・和歌山

TAJIMA

## 田島応用化工株式会社

東京営業所　〒101 東京都千代田区岩本町３－11　電話（03）866－6101
大阪営業所　〒550 大阪市西区京町堀１－10－５　電話（06）441－5951

## 田島ルーフィング株式会社

## 東西アスファルト事業協同組合

東　京：〒101 東京都千代田区岩本町３－11－13　電話（03）862－8531
大　阪：〒550 大阪市西区京町堀１－10－５　電話（06）443－0431

TOYO

## 東洋シヤッター株式会社

本社　〒540 大阪市東区両替町１－12（日生谷町ビル）　電話（06）943－6571㈹
支店　〒106 東京都港区六本木6-3（第一地所麻布ビル）　電話（03）497－2911㈹
〒980 仙台市二日町７－９（新光社ビル）　電話（0222）62－5245㈹
〒454 名古屋市中川区山王1－2－30（時計ビル）　電話（052）331－6171㈹
〒733 広島市西区小河内２－12（山肩ビル）　電話（082）291－3773㈹

コピーの綜合コンサルタント

naigai

株式会社 ナイガイ

代表取締役社長 木下 みどり

| | | |
|---|---|---|
| 本社 | 大阪市北区堂島2丁目1番18号 | TEL (06) 345－9055 |
| 御堂営業所 | 大阪市東区本町4－27(御堂ビル) | TEL (06) 252－3906 |
| 横堀営業所 | 大阪市東区横堀2丁目36－4 | TEL (06) 202－5260 |
| 神戸営業所 | 神戸市中央区磯辺通4－2－26 | TEL (078) 251－0595 |
| 新大阪営業所 | 大阪市淀川区西中島5－13－15 | TEL (06) 308－2668 |

造園土木　設計施工

株式会社 西川造園

〒573 大阪府枚方市北中振3丁目27番17号
TEL 0720－33－8998代

株式会社 西原衛生工業所大阪店

代表取締役社長 伴 一郎

大阪市大淀区中津六丁目8番4号 電話 大阪 (06) 458－3628

大阪で唯一の

PRESS

株式会社 日刊建設新聞社

代表取締役 中山豊雄
常務取締役 中山敏夫

| | | |
|---|---|---|
| 大阪本社 | 大阪市東区高麗橋1丁目3（東洋ビル） | 電話 202－6861(代表) |
| 社長室 | 大阪市東区高麗橋1丁目20（メゾン高麗橋） | 電話 229－0341 |
| 分室 | 大阪市東区高麗橋詰町26（ユニ高麗橋） | 電話 941－6847(代表) |

建設業界の情報は……日刊建設産業新聞
近畿圏の工事ニュースは……日刊建産速報

PRESS

株式会社 日刊建設産業新聞社

取締役大阪支社長 中村勝則

| | | |
|---|---|---|
| 大阪支社 | 〒541 大阪市東区淡路町1丁目14(八千代ビル) | 電話06(231)8171(代) |
| 神戸支局 | 〒651 神戸市中央区八幡通4丁目2－9 | 電話078(291)0541～2 |
| 京都支局 | 〒602 京都市上京区河原町丸太町東入俵屋町460 | 電話075(211)1911 |
| 本社 | 〒173 東京都板橋区板橋1丁目48－9 | 電話03(961)1691(代) |

電算写植システム

NP

日本写植印刷株式会社

代表取締役 神田都義

| | | |
|---|---|---|
| 本社 | 〒545 大阪市阿倍野区阪南町7－5－30 | 電話06(606)1111代 |
| 東京営業所 | 〒160 東京都新宿区高田馬場3-12-6高田馬場西商店街ビル801号 | 電話03 (360) 6847 |
| 広島営業所 | 〒739-01 東広島市八本松町米満109－5 | 電話0824 (28) 6253 |
| 津山写植センター | 〒708 津山市福田1372－1 | 電話08682(8)4377 |
| 日本写植センター | 〒892 鹿児島市名山町4－7 三宝ビル | 電話0992 (26) 4371 |

マルエス印▲ルーフィング▲シングル▲コーピング▲不燃シングルSPベストロン

## 日新工業株式会社 大阪支店

本　　社　東京都足立区千住東２－23－４　☎東京(882) 2424 (代)
大阪支店　大阪市西区新町１丁目12番22号　☎大阪(533)3191大代表
営 業 所　東京・名古屋・福岡・札幌
出 張 所　広島・仙台　　工場／埼玉・山形・北海道

## 日本アスファルト防水工業 協同組合 関西支部

大阪市西区新町１丁目12番22号　日新工業株式会社大阪支店内
電話 (533) ３１９１大代表

---

## 富士造園土木株式会社

代表取締役　金　岡　昭　雄
本　社　宝塚市山本東２丁目６番17号　電話宝塚0797－88－0501～６

---

ビニロイド　防水　責任施工
アコシート　防水　責任施工
ACフロア35　責任施工
防熱工事設計施工
プラスオール
コーキング　製造販売

## 三星産業株式会社

〒550 大阪市西区京町堀１－10－８(大栄ビル)　Tel.〈443〉9721(代)
〒101 東京都千代田区神田小川町3-28(三東ビル)　Tel.〈292〉1961(代)
出張所：札　幌〈721〉6031・6307　仙台〈21〉5366(代)
名古屋〈931〉4574・3393　福岡〈78〉3361(代)

---

三協アルミニウム工業株式会社代理店　日立化成工業株式会社代理店
アルケン工業株式会社代理店　新明和工業株式会社代理店
豊和工業株式会社代理店　近畿車輌株式会社 代理店
倉敷ユニット株式会社代理店　住友ゴム工業株式会社代理店

ムツミ産業

## ムツミ産業株式会社

代表取締役　傳　馬　正　明
〒550 大阪市西区靭本町１丁目17番15号　電話 (06) 大代表 441－０３７８番
出張所：東 京・広 島　　工 場：大 津・竹 原

---

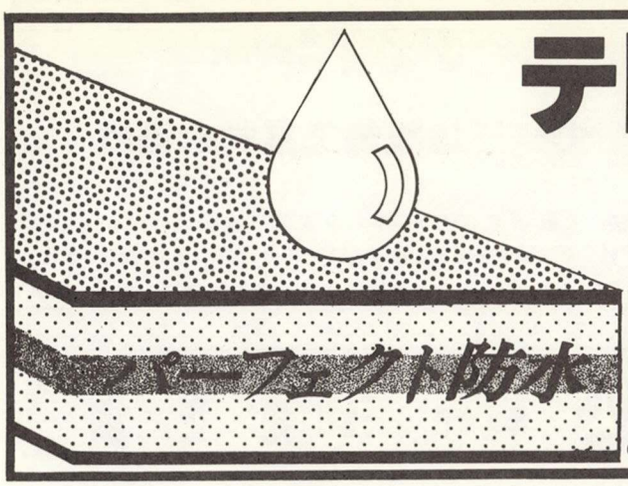
デザインされた環境づくり

UNION

## 株式会社ユニオン

取締役社長　立　野　一　郎

本　　社　大阪市西区南堀江2-13-22　〒550 電話 06(532)3731(代)
東京営業所　東京都墨田区石原4－3－1　〒130 電話 03(625)8131(代)
名古屋営業所　名古屋市東区筒井町1-14-9　〒461 電話052(935)6021(代)
虎ノ門ショールーム(17森ビル1F)東京都港区虎ノ門1-26-5　〒105 電話 03(508)2558(代)




# テトカッパー防水層

防水専業の研究・経験から生れたすくない資源のパーフェクトな防水層です。
この防水層は（一層防水）施工するだけで、防水は完璧です。
温度変化に伸びがなく、柔軟性に富み、耐酸、耐薬品性に優れ、腐蝕しません。

カッパー防水帯　コーパータイト　新工法
オクロン防水帯　プレノテクト吹付工法

●お申込次第カタログ進呈

奥山化工業株式會社

| | | |
|---|---|---|
| 本　社 | 東京都中央区銀座8—4—9 | 電話03（571）2703 |
| 大阪事務所 | 大阪市淀川区東三国6—1—41 | 電話06（391）1081-2 |
| 埼玉営業所 | 埼玉県桶川市東1—3—30 | 電話0487(74)2845-6 |
| 厚木出張所 | 神奈川県厚木市金田259 | 電話0462（21）1761 |
| 名古屋出張所 | 名古屋市南区若草町33 | 電話052（811）3660 |
| 九州出張所 | 佐賀県佐賀郡諸富町大字諸富津450 | 電話0952（47）2945 |

■防火・防煙シャッター　■軽量シャッター
■ステンレスシャッター　■クリスタルシャッター
■アルミニュームシャッター　その他特殊シャッターの製造

アフターサービスの24時間態勢完備

鈴木シャッター工業株式会社

| | | |
|---|---|---|
| 大阪市北区茶屋町5番2号 | 電話大阪（06市外局番）371代表 | 4151～6 |
| 北陸営業所　金沢市長田町119番地 | 電話金沢（0762市外局番） | 65—5135～6 |
| 神戸営業所　神戸市長田区大橋8-4-7 | 電話神戸（078市外局番） | 611—7971<br>631—2021 |

防火・防煙から避難装置まで
建築防災の総合メーカー

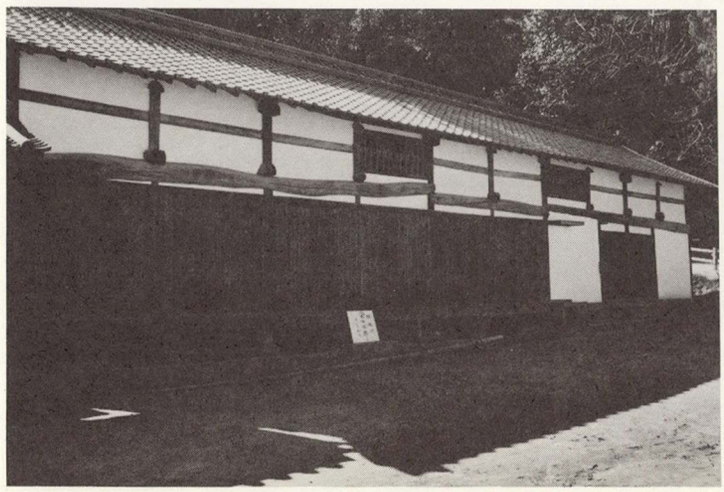
豊かな経験
最新の技術

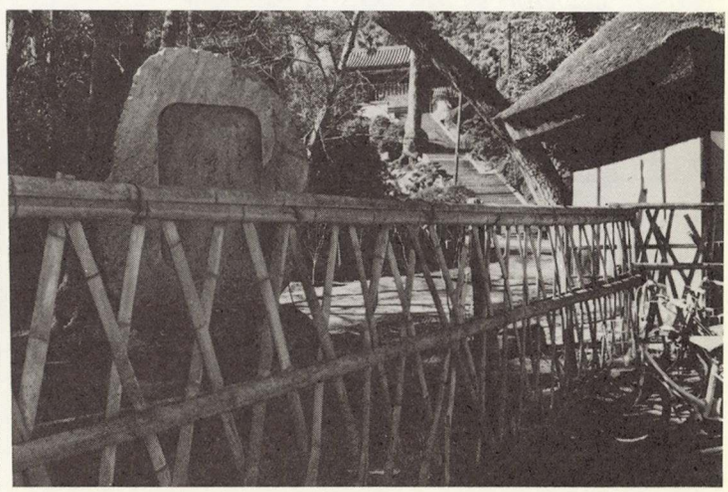
# 東洋シャッター

東洋シャッター株式会社

本社：大阪市東区両替町1—12 日生ビル　☎（943）6571代表

東京・横浜・盛岡・仙台・水戸・静岡・岡崎・名古屋・富山・大津・京都・神戸・広島・高松・福岡他全国主要都市





空気調和・給排水・衛生・防災設備　設計・施工

株式会社 朝日工業社

本　社　東京都港区浜松町1-25-7　電話（434）6171(大代)
大阪支社　大阪市淀川区加島1-58-59　電話（302）2271(代)
支　店　北海道・東北・名古屋・中国・九州
営業所　釧路・函館・盛岡・横浜・静岡・京都・神戸

空気調和設備
衛生設備 設計施工

三建設備工業株式會社

大阪支店　大阪市北区紅梅町3番5号　電話（352）1131（代）
本　社　東京都中央区日本橋蠣殻町1-35-8　電話（667）3431（大代）
支　社　名古屋・仙台・札幌・広島・福岡・金沢・新潟・横浜

空調・衛生
防災・汚水処理 設計施工

株式会社 大阪城口研究所

取締役社長　城口庸平

大阪市北区角田町2番15号 電話 大阪372局7151(代)
京都市東山区大和大路正面上ル 電話 京都561局4944(代)
神戸市中央区下山手通6-2-8 電話 神戸341局5892

空気調和・衛生設備 設計施工

株式会社 三晃空調

本　社　大阪市北区西天満3丁目13番20号　電話 06—363—1371
東京本店　東京都新宿区西新宿　新宿住友ビル　電話 03—344—1911
大阪本店　大阪市北区西天満3丁目13番20号　電話 06—363—1371
支　店　仙台市大町2丁目2番10号　電話0222—61—3002
名古屋市中村区名駅南2丁目14番19号　電話052—581—8571
広島市中区紙屋町1丁目2番22号　電話082—247—4535
福岡市中央区大名2丁目4番22号　電話092—761—3795
出張所　青森・秋田・宇都宮・千葉・横浜・福井・京都・神戸・松江・高松・下関・熊本・鹿児島・沖縄

電気・空調・衛生・防災・産業廃水設備
設　計　施　工

大阪電気暖房株式会社

本店・大阪本社　大阪市西区江戸堀1丁目9番25号　〒550 電話(06)441-8231(大代)
東京本社　東京都中央区銀座2丁目2番17号　〒104 電話(03)535-5251(大代)
支　社　名古屋・福岡
支　店　札幌・仙台・新潟・大宮・千葉・横浜・金沢・天理・岡山・広島・高松・熊本
営業所　帯広・函館・青森・秋田・盛岡・前橋・長野・静岡・豊田・津・富山・福井・京都・神戸・徳山・松山・高知・北九州・鹿児島・那覇
出張所　旭川・福島・松江・徳島・長崎・宮崎
海外支店　シンガポール・ホンコン・スリランカ

空調衛生・冷凍冷蔵・地盤凍結
よりよき環境へ技術で挑む——

株式会社精研

本　社　大阪市南区瓦屋町2丁目11番16号（オートセンタービル1.2階）
郵便番号542　電話 大阪(06) 768—5031代表
メンテナンス部　電話 大阪（06）768—1651代表
東京支店　東京都千代田区九段南2丁目2番5号（九段ビル2～4階）
郵便番号102　電話 東京(03) 262—3241代表

■給排水衛生　■冷暖房
■空気調和設備　■その他管工事一切の設計・施工

斎久工業株式会社

本　社　東京都千代田区大手町2-6-2（日本ビル）
電話 03-(270)-7411(代)
大阪支社　大阪市北区中之島4-2-38　電話 06-(443)5041(代)
支　店　札幌・岡山
営業所　仙台・千葉・横浜・名古屋・金沢・四国・広島・福岡
出張所　福井・倉敷・松山・宇都宮・静岡・苫小牧

新日本空調株式会社

大阪支店　大阪市北区堂島浜1丁目2番6号（新大ビル）
電話（06）344—6031（代）
本　社　東京都中央区日本橋本石町4-2(三井第二別館)
電話（03）279—5671（大代）
名古屋・九州・広島・札幌・東海村・北陸・大分

空気調和設備
給排水・衛生水道
電気設備
厨房

環境衛生施設
荷役運搬機械
化学鉱山機械

三機工業株式会社

取締役社長　玉置純治郎
大阪支店長　杉浦敏郎
大阪市東区北浜2丁目22番地　電話 大阪(202) 代表3071
本　店　東京・日比谷・三信ビル
支　店　名古屋・九州・北海道・中国・東北・北陸・四国・シンガポール
営業所　横浜・静岡・豊田・岡山・金沢・新潟・香港

cleanair
一年中 秋のすがすがしさ！

創業1901
須賀工業株式会社
大阪市西区土佐堀1丁目2番30号 TEL.06-441-5171(大代表)〒550

商品は空気です。



熱と空気のエンジニア
株式会社
**大気社**

●営業種目
空気調和設備　給排水衛生設備　塗装設備　公害防止関連設備の設計・製作・施工

本社・東京支店　東京都新宿区西新宿2-6-1　☎03－344－1851(大代)　大阪支店☎06－448－5851(代)
名古屋支店☎052－211－1535(代)　九州支店☎092－431－2147　営業所：札幌・仙台・横浜・京都
神戸・広島　出張所：新潟・金沢・大宮・静岡・豊田・岡山・松山・熊本・鹿児島・沖縄・バンコク

---

給・排水・衛生・消火・暖冷房設備

**㈱西原衛生工業所大阪店**

大阪市大淀区中津6丁目8番4号　電話大阪(458)3628番
支店・営業所　福岡・京都・天理・川西

---

空気調和　搬送機設備
給排水衛生　設計施工

**第一工業株式会社**
**大阪支店**

大阪支店　〒530　大阪市北区西天満3丁目6番14号
電話　06－364－6661(代表)
本　社　〒100　東京都千代田区丸の内3丁目3番1号
電話　03－211－8511(代表)

---

空調・衛生・防災設備　設計並施工

**日本管工業株式会社**

本社及京都支店　京都市南区西九条豊田町20番地の1
電話(681) 5101～5・夜間専用(691) 1045
大阪支店　大阪市北区天満1-5-20　電話(06)352－3501㈹
三重支店　津市栄町2－111　電話(0592)26－3610㈹
四日市営業所　四日市市西末広町　電話(0593)53－7431㈹
滋賀営業所　大津市中央2丁目4-28　電話(0775)22－9738㈹

---

暖・冷房・空気温湿度調整装置
設計施工

**高砂熱学**

大阪支店　大阪市北区芝田1丁目4-8(北阪急ビル9階)
電話　大阪(372)2511　(代表)
本　社　東京都千代田区神田駿河台4丁目2番地

---

Carrier
**冷暖房はキャリア**
CARRIER

東洋キヤリア工業(株)デストビューター関西地区
**日本冷熱工産株式会社**
本社及大阪営業所　吹田市豊津町40番38号
電話大阪(384)1201～7

---

MODAIR
空気調和設備
換気・除塵設備　設計施工

**東洋熱工業株式会社大阪支店**

大阪市西区靭本町3－1－27　TEL(443) 8071
本　社　東京都中央区京橋2丁目9　TEL(562) 1351
支　店　名古屋・福岡

---

活字のない印刷

**日本写植印刷株式会社**

代表取締役　神田都義

本　社　〒545 大阪市阿倍野区阪南町7-5-30　☎06(606)1111代
日本写植センター　〒892 鹿児島市名山町4-7 三宝ビル　☎0992(26)4371
津山写植センター　〒708 津山市大手町8番5号 模範店会館　☎08682(4)1771
沖縄写植センター　〒900 南風原村兼城　沖縄印刷団地　☎0988(55)6100

---

**ガス設備の設計・施工のご相談は**
大阪ガス指定工事会社・大阪ガス住設機器特約店

**大晃設備株式会社**

本社：設備部
大阪営業所　大阪市北区西天満5-11-12　電 06－313－1846
枚方営業所　枚方市甲斐田東町9－3　電0720－49－2128

---

空気調和設備・給排水衛生設備・上下水道施設
環境衛生施設・公害防止施設／設計・施工・監理

**山田工業株式会社**

本　社　大阪市西区京町堀1－6－8　電話 06(443)8161(大代表)
(環境装置事業部専用)　電話 06(447)0831　(代表)
分析センター　大阪市淀川区三津屋南1-1-35　電話 06(308)1491
支　店　東京・名古屋・福岡
営業所　京都・神戸・姫路・広島・高松・松山

電気・計装工事 設計施工

**栗原工業株式会社**

取締役社長 栗 原 信 英

大阪市北区角田町1-1 東阪急ビル TEL06-313-1101
支 店 東 京・名 古 屋・舞 鶴・京 都・天 理
大 阪 南・神 戸・広 島・四 国・九 州

電気設備 設計施工

**朝陽電気株式会社**

代表取締役 山 本 貴 士

本　　社 大阪市北区中之島3－2－4 朝日ビル TEL 大阪06 (385)1361(代)
大阪営業所 TEL 大阪06(385)1361(代) 京都営業所 TEL 京都075(311)1185(代)
東京営業所 TEL 東京03(574)0665 福岡出張所 TEL 福岡092(771)6168

電気工事設計施工

**株式会社 三 興 社**

代表取締役 土 井 敏 裕

本　社 大阪市北区西天満2丁目6－8(堂ビル7階)
電　話 (361) 3671 (代)
支　店 東京都中央区日本橋箱崎町20番5号
電　話 (671) 1478 (代)
出張所 川 崎・相 模 原・堺・滋 賀

電気設備工事設計施工

**東光電気工事株式会社**

**大 阪 支 社**

大阪支社長 横 田 幸 一

大阪市東区高麗橋五丁目二八番地 電話大阪 (202)0325～9番
本　社 東京都千代田区西神田1丁目4番5号
支　社 札幌・仙台・丸ノ内・名古屋・福岡
営業所・出張所 全国主要都市2ヶ所

総合設備工事〈設計・施工〉
建築・電気・通信・送電線・プラント・計装・空調・土木

**住友電設株式会社**

取締役会長 小 林 四 郎
取締役社長 代 谷 正 元

本社 大阪市福島区福島7—22—8 Tel 06-452-1151(大代)
東京 東京都港区芝2－2－17 Tel 03-454-7311(大代)
支社 福岡・広島・名古屋・神戸・京都

限りなきクリーンに挑戦する!!
電気設備・クリーンルーム・冷暖房設備
給排水衛生設備・計装制御設備・立体自動倉庫
エネルギー集中監視システム・回転式自転車置場
設 計 施 工

**三宝電機株式会社**

取締役社長 嘉 納 伝 三

本　　社 〒530 大阪市北区西天満2－6－8(堂ビル) TEL 06(364)1471
TELEX 523－3287
東京支店 〒105 東京都港区新橋2-16(ニュー新橋ビル) TEL 03(504)0231
TELEX 222－6724
名古屋支店 〒462 名古屋市北区金城三丁目12－14 TEL 052(991)5131
神戸支店 〒657 神戸市灘区岩屋中町1-2-9(エビスビル) TEL 078(881)5571

奉仕感謝の店
タイル工事施工

**株式会社 川岸窯業商店**

本　　社 大阪市西区西本町1－13－33(鞠本町バス停前)
電話 大阪 06(532)代0461 〒550
天理営業所 天 理 市 丹 波 市 新 町 50

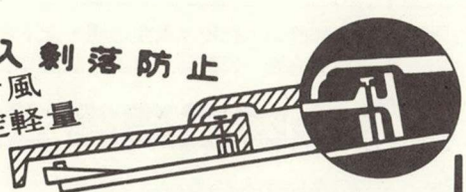
電気・計装・空調工事 設計施工

**ヤマト電気エンジニアリング株式会社**

取締役社長 山 本 永 造

本 社 大阪市北区西天満5丁目1番3号
TEL 06—364—3056 (代)
支 店 東京・神戸・広島・岡山
事業所 名古屋・岡山・札幌・苫小牧・浜松・滋賀
京都・高砂・三原・徳山・松山・新居浜・福岡・沖縄

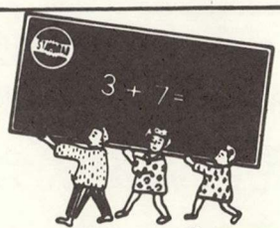
雨水浸入剝落防止
耐震耐風
安定軽量



**ナニワ緩勾配瓦**

3寸緩勾最適軽量水止付(空葺)瓦

ナニワ瓦株式会社
大阪市港区築港三丁目一丁目七四二電話(461)五〇六五




Standard Board&Slate

**フタバ工業**

〒547 大阪市平野区加美北3－4－5 TEL 大阪06(792)5858(代)

特殊壁装材製造販売　和室に最適
●聚楽壁紙●ホクシノン(無機質壁紙)
(株)ホクシンクロス
〒583 大阪府羽曳野市島泉8－173－1
TEL(0729)39－3610
工場　〒580　大阪府松原市三宅中8丁目1番9号
第一　〒639-11奈良県大和郡山市小泉町2744
第二　〒597　大阪府貝塚市王子501

岡田ペーパー株式会社
OPCo
大阪市西区北堀江2丁目5番20号
TEL 06－531－4601(代)
06－541－2305(代)
フロアーサンディングシステム関連商品
研磨材料 & 研磨機器
布紙ペーパー & ジスクペーパー

営業種目
●防水工事　塗布防水・シート防水・モルタル防水
●樹脂注入接着工法　各種樹脂注入接着補修工事
●亀裂補修工事　各種樹脂注入・充填・コーキング
●シーリング工事　シリコン・チオコール・ウレタン・アクリル
●吹付工事　アクリル・リシン・弾性タイル・その他
◇建設業許可　大阪府知事許可（般－53）第51225号
◇日本シーリング工事業協会々員
大阪市北区末広町3－21
星和地所扇町ビル201 S
TEL 06(315)0701
(株)特殊技研

建設業界をアシストする
ポゾリス
■コンクリート用混和剤　■無収縮グラウト材
■鉄筋コンクリート用防せい剤　■工業用特殊床材
製造元 日曹マスタービルダーズ株式会社
販売元 ポゾリス物産株式会社
本社/東京都港区六本木3－16－26 ☎03-582-8811
大阪営業所/大阪市東区北浜3－7 ☎06-202-3294

デンカCSA　デンカセメント
セキサンバイル(S M.AC.PC.RC)
カネライトフォーム.ALC.鋼材
建築材料一式
浜宗産業株式会社
代表取締役 濱岡 浩
本社　〒629-31 京都府竹野郡網野町字網野
TEL (07727)2－2220(代)
舞鶴営業所　〒624　舞鶴市福来160-1
TEL (0773) 76－0133(代)

省エネルギー時代の断熱用シート防水材
日立バイナリーシートP
日立バイナリーシートPは，日立防水シートに発泡ポリエチレンを独自の貼り合わせ技術で積層した，二重構造の断熱兼用二重防水シートです。
日立電線株式會社 本社 東京都千代田区丸の内2丁目1番2号(千代田ビル)

デンカCSAファミリー製品
●デンカCSA……コンクリートのひびわれ防止に
(膨張性混和材)
●デンカタスコン……鉄骨ベース、逆打部の充填モルタルに
(グラウト用無収縮材)
●デンカキューテックス……コンクリート躯体の漏水補修に
(止水・補修用急硬セメント)
●デンカES……地盤補強用薬液注入
(土質安定用急硬材)
●デンカΣ1000……コンクリートパイルの早期出荷とハイモメント製造用に
(製品用超高度混和材)
電気化学工業株式会社
近畿地区販売店
金森藤平商事株式会社
TEL 大阪（06）332－6861
TEL 東京（03）272－8501
光洋物産株式会社
TEL 大阪（06）252－6000
小浦産業株式会社
TEL 大阪（06）443－6181
株式会社 トーゴー/本社
TEL 滋賀・守山（0775）83－2381

特　許・耐酸被覆鋼板
耐久建築屋根・外壁材料

# オリエンタルメタル

## 半世紀の実績が誇る技術とアフターケアー！

長尺物・色彩豊富・責任施工

品　種・オリエンタルカラースーパーメタル(CSPM)
・オリエンタルスチールライト(ＳＴＬ)
・オリエンタルメタル(ＯＰＭ)


電発竹原火力石炭庫屋根に採用

波板規格　S小波・S大波・V波・ボックス波・Wジャンボ波・Vデッキ
SVジャンボ波・其の他

用　途　平板・波板・棟包・雨押類・谷樋・竪樋・軒樋
各種換気装置〔モニター・ベンチレーター・ムーバー・エキゾスター(強制)〕
ホーンタイト(防音壁)・其の他

※ カタログを御請求下さい

オリエンタルメタル製造株式会社

大阪本社　〒660　尼崎市昭和南通り３－26 松本ビル　電話大阪(06)412－5131(代)
営業部　〒660　尼崎市昭和南通り３－26 松本ビル　電話大阪(06)412－5131(代)
支店及工場　大阪・九州・名古屋・広島・東条・刈谷
姫路(東洋建材工業．株)
東京本社及工場　〒335　蕨市塚越５丁目６番32号　電話 蕨(0484)42－3115(代)
支店及工場　東北

井上允彦 著
うっかり間違える構造力学
▼B6・93頁 定価1200円 送200円

北中克己 著
増補 最新場所打ぐい工法
▼A5・341頁 定価3500円 送300円

井上 博・北小路宏 共著
建築配筋読本●改訂版
▼B5・162頁 定価3200円 送300円

高橋 昌 著
建築型わく工法マニュアル
▼A5・216頁 定価2600円 送300円

井上 博 著
増補 溶接読本
▼B5・157頁 定価3000円 送300円

同編集部 編
建築構造問題快答集 5
▼A5・366頁 定価3800円 送300円

筒井助幸 著
山形鋼組の応力計算
▼A5・210頁 定価3200円 送300円

西 忠雄 監修
建築の接着工法
▼B5・430頁 定価3000円 送400円

同編集部 編
建築工事 内外装の損傷と補修
▼B5・289頁 定価3600円 送300円

小池正次 著
住宅団地の土木設計
▼B5・113頁 定価1600円 送250円

月刊 建築技術
No.409　9月号予定目次　定価1,000円

大阪市・中高層
共同住宅の２戸１化設計指導……北山 啓三
住戸規模可変を考慮した集合住宅
―住宅都市公団関西支社における実践―……浜 恵介ほか

▶ RC建物の結露と対策……須貝 高
▶ 表とパソコンによる場所打ち
コンクリートぐい水平耐力の計算……佐竹 次男
▶ 略算法 地盤の塑性を
考慮した単ぐいの水平抵抗……岸田英明ほか
▶ 連載／補強れんが構造
材料・工法（その２）……高橋 泰一
▶ 柱脚の設計と施工（６）
―材料と工法―……渡辺誠一ほか

新連載
建築企画の実務対策……田中 修一

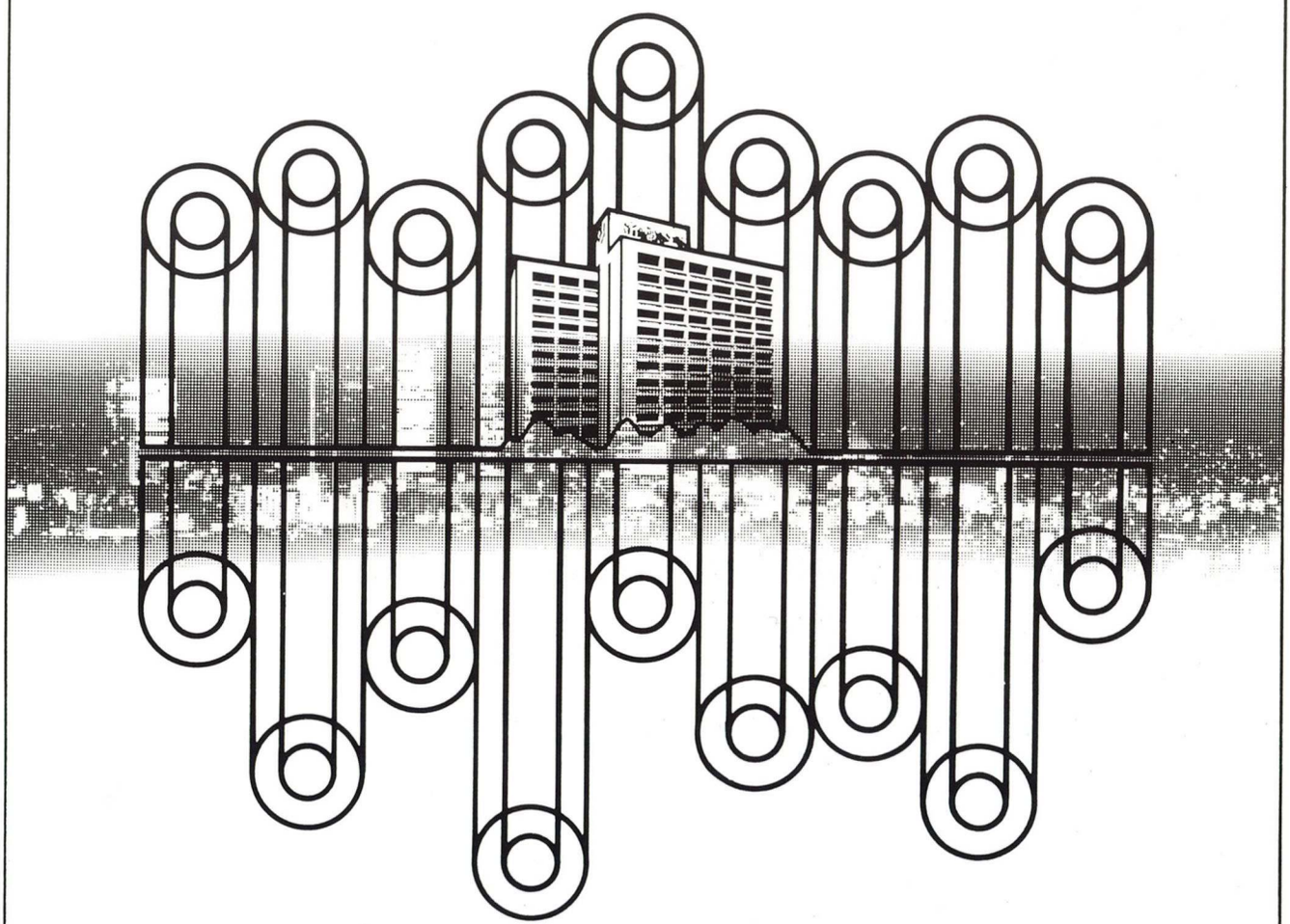
●建築経済統計図表●フォトニュース●トピックス●建築家の良識●読者コーナー●海外の話題●建材の動向 その他

直接購読ご希望の場合年間予約金 ¥12,000（送料共）

〒160 東京都新宿区北新宿 1-8-1 中島ビル８Ｆ 株建築技術 ☎東京 03(363)4211(代) 振替口座 東京0-72417番

# 情報世紀を照準する…
# 近電工の全国ネットワーク。

いつでも、どこでも、どんな工事でも、情報とエネルギーと環境の全機能を築く、近電工の総合施工体制——。



電気・計装・空調・管・防災・土木

システムの信頼を高める

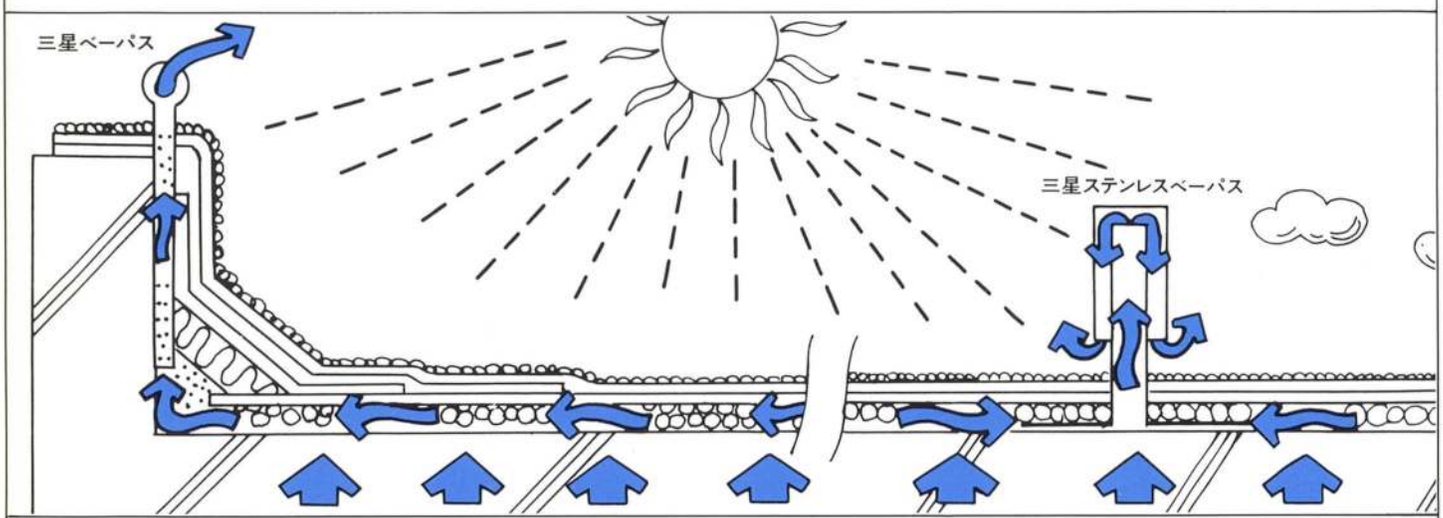
近電工

近畿電気工事株式會社

大阪市大淀区本庄東2丁目3番41号 〒531 ☎06・375・6000

# 防水層の“ふくれ”を追求した

# 三星ベーパス
# 三星ステンレス・ベーパス



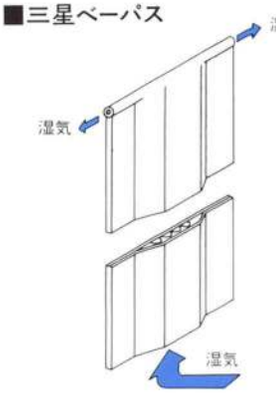

## 湿気の逃げ道をつくりました。!

**三星ベーパス・ステンレスベーパス**は、防水層の立上り部と平面部から湿気抜きを行う、もっとも優れた湿気抜きシステムです。
露出防水におけるふくれ防止に取組んできた田島ルーフィングが、画期的な工法〈絶縁工法一部分接着工法〉を開発、さらに露出防水機能を一段と高める湿気抜き材〈三星ベーパス・ステンレスベーパス〉を登場させました。

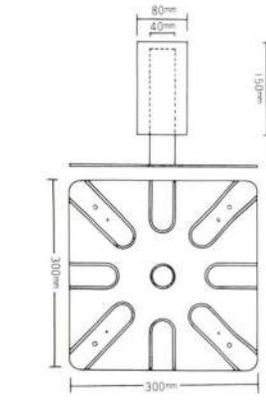
| | |
|---|---|
| 部分接着工法＋ | 三星ベーパス<br>三星ステンレスベーパス |
| バリボード工法＋ | 三星ベーパス<br>三星ステンレスベーパス |

上記工法と併用すれば、理想的な湿気抜きシステムが完成します。

■三星ベーパス




■三星ステンレスベーパス




●企画係まで資料をご請求ください。

露出防水の機能を高める、湿気抜き材料

三星ベーパス〈立上り部用〉

三星ステンレス・ベーパス〈平面部用〉


田島ルーフィング株式会社
東京 〒101 東京都千代田区岩本町3-11-13 電話(03)862-8531
大阪 〒550 大阪市西区京町堀1-10-5 電話(06)443-0431
札幌・仙台・金沢・名古屋・広島・高松・福岡



建築と社会 第66輯第7号
昭和60年7月25日発行（毎月1回25日発行）
昭和24年3月19日第3種郵便物認可
社団法人 日本建築協会 〒530 大阪市北区梅田1の1の3の2 (電話大阪(06)345-5...)
（表紙デザイン・吉引顕久）
定価九五〇円（送料共）